

Panamera

WKD 971 01 D 70 22



**Panamera**  
Good to know - 取扱説明書

WKD 971 01 D **7022**

01/2022

## 車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡しください。  
車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Vertrieb Customer Relations

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

## 装備品

ポルシェでは絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストおよび記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品は、標準または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

# 取扱説明書のレイアウト

この取扱説明書について



取扱説明書は、車内の車載デジタル形式およびアプリ版が入手可能です。

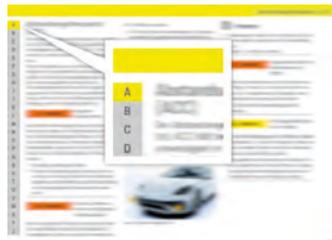
▷ P. 2

## 目次



概要を把握し、確認したいテーマを探することができます。

## トピック



部品やコントロールの仕組み、およびそれら进行操作する方法をご覧ください。

▷ P. 30

## 安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ P. 5

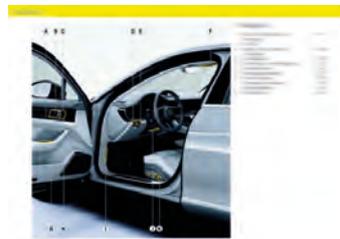
## テクニカルデータ



特定の図を検索してください。

▷ P. 264

## 概要



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ P. 21

## 索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

# この取扱説明書について

## 警告およびシンボル

この取扱説明書にはさまざまな警告およびシンボルが使用されています。

### ⚠ 危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。

### ⚠ 警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。

### ⚠ 注意

中程度の怪我または軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度の怪我または軽傷を負う可能性があります。

### 情報

車両が損傷する可能性

「通知」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。

### 📘 インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。
- ▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

2. タッチディスプレイに関して遵守していただく必要のある指示です。

▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている通知です。

## 詳細情報

お客様の車両、コネクテッド サービス、および充電機器（国別仕様により異なる）に関する詳細情報は、お客様の車両の車載の取扱説明書、アプリ、および

▶ [www.porsche.com](http://www.porsche.com)

をご覧ください。

詳細機能、ビデオ説明、インタラクティブグラフィックス、キーワード検索機能（索引検索）。

## 車載



取扱説明書は下記のポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) で確認できます。

▶ 🏠 ▶ 取扱説明書

## 免責事項

Apple、Apple ロゴ、CarPlay、iPod、Siri、iPhone、および他の Apple の商標は Apple Inc. の登録商標であり、米国およびその他の国で登録されています。App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービス マークです。iOS は米国およびその他の国における Cisco Technology, Inc. の商標または登録商標であり、Apple によりライセンスに基づいて使用されています。Android、Android Auto、Google Play、Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

## 目次

安全性とドライビングプレジャー.....	5	ブレーキ.....	96	オンラインソフトウェアアップデート.....	194
概要図		走行プログラム.....	98	ポルシェ コネクト.....	195
センサーおよびカメラ.....	22	車両の始動、走行、駐車.....	100	スマート サービス.....	198
フィルターキャップ.....	23	トランスミッション.....	102	スポーツ クロノ ストップウォッチ.....	199
運転席.....	24	HOLD 機能.....	106	電話.....	202
コックピット.....	25	ハイブリッド車両.....	107	荷物および運搬	
コントロールパネル.....	26	ライト.....	111	収納スペース.....	204
オーバーヘッド コンソール.....	27	ナイト ビュー アシスト.....	116	ルーフ トランスポート システム.....	206
リヤ.....	28	パークアシスト.....	118	ドリンクホルダー.....	209
リヤコントロールパネル.....	29	ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM).....	120	ラゲッジ コンパートメント.....	210
トピック.....	30	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM).....	122	スモーカーズ パッケージ.....	218
開閉操作とロック		フロント ウィンドウ ワイパー.....	126	電気ソケット.....	218
警報システム.....	31	スポイラー.....	130	モビリティおよび軽修理	
キー.....	32	レーン キープ アシスト.....	131	12V バッテリー.....	220
ウィンドウ.....	34	レーン チェンジ アシスト (LCA).....	134	けん引.....	223
ボンネット.....	37	トラフィック ジャム アシスト (TJA).....	139	ブレーキ フルード.....	226
リヤリッド.....	39	クルーズコントロール.....	141	クーラント.....	227
ルーフ システム.....	41	速度制限および前方カーブあり警告の表示.....	142	エンジン オイル.....	229
セントラル ロック.....	44	警告およびブレーキ アシスト.....	143	充電.....	232
エアコンおよび人間工学		表示および入力		緊急電話システム.....	237
エアバッグ.....	51	ヘッドアップ ディスプレイ.....	146	車両のお手入れ.....	238
インテリア ライト.....	52	インストールメント パネル.....	147	テスト スタンドでの測定.....	243
チャイルド シート.....	54	ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM).....	158	タイヤおよびホイール.....	244
エアコン システム (2-/4-ゾーン エアコン).....	63	ボイス コントロール.....	165	パンク.....	252
ステアリング ホイール.....	72	警告および情報メッセージ.....	168	ヒューズ.....	255
パーソナル設定.....	74	操作および使用		補給.....	259
シート ベルト.....	78	Android Auto.....	176	ジャッキおよびリフティング プラットフォーム.....	262
シート.....	80	Apple CarPlay.....	178	ウォッシュャー液.....	263
ミラー.....	85	通知.....	180	テクニカル データ	
プレヒーター.....	87	車両設定.....	181	車両識別データ.....	264
運転 / ドライバー アシスタンス		デバイス マネージャー.....	183	寸法.....	265
アダプティブ クルーズ コントロール (ACC).....	88	ホーム画面および個人画面.....	185	充填容量.....	265
オート スタート / ストップ機能.....	94	メディア.....	186	燃費と CO2 排出.....	265
		メッセージ.....	188	重量.....	266
		ナビゲーション.....	189	ホイールおよびタイヤ.....	269

ホルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM).....	273
リサイクル.....	276
欧州化学物質規制 (REACH) に基づく表示.....	276
無線機器 (EU 地域外).....	277
索引.....	289

## 安全性とドライビング プレジャー

### あなたの貢献

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。これは、ポルシェが安全性も最高水準の質と同じくらい重要な問題であると考えているからです。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

### 完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

### 車両の損傷および正常な動作の点検



たとえば、技術的な損傷のある車両は不適正な作動により、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し [少なくとも 1 か月に 1 度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
  - タイヤに損傷がなく、空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
  - ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
  - エアロパーツに損傷がない
  - ワイパー ブレードに損傷がない
  - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
  - ドアミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
  - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
  - クーリングエアダクト、センサー、およびカメラの動きを妨げるものがない (フィルム、ストーンガードまたはライセンスプレートホルダーなど)
- ▶ 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

### タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に 1 度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがなければ確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が極端に低いまは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。

- ▶ 264 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ空気圧モニタリングメニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
  - ▶ 244 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ インストルメント パネルに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を**続け**ないでください。必要に応じてタイヤ シーラントで応急処置を行ってください。
  - ▶ 252 ページの「パンク」の章を参照してください。

### ライトの点検



ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
  - 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
  - フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

### エアロ パーツの点検



エアロ パーツ (スポイラーまたはアンダーボディ パネル) が損傷または紛失していると、ハンドル操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

### ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードに不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ ワイパー ブレードの凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントウィンドウに筋が残るようなら交換します。
  - ▶ 126 ページの「フロントウィンドウワイパー」の章を参照してください。

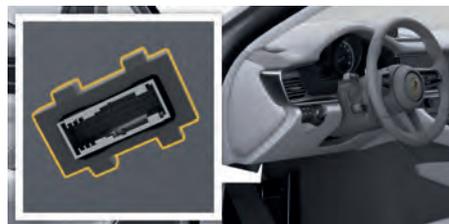
### メンテナンスおよび仕様変更はポルシェ正規販売店以外では行わないでください



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずボルシェ正規販売店で行ってください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店が故障診断機器を接続するために使用されます。

外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、イグニッションをOFFにしたときにバッテリーを消費させたり損傷（完全放電）させたりする恐れがあります。外部機器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

## ボルシェのスペアパーツ



- ▶ ボルシェ純正スペアパーツ、またはボルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペアパーツのみを車両にはご使用ください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェ テクニクシリーズのアクセサリ、またはボルシェが検査および認定したアクセサリのみをご使用ください。ボルシェ テクニクシリーズに関するインフォメーション：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ① インフォメーション

他社製のスペアパーツまたはアクセサリを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペアパーツやアクセサリを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。

ボルシェ社の承認していないスペアパーツまたはアクセサリを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

## 荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ボルシェ ドライバーへの注意事項

ボルシェ車両は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。これほどのパワーを思いのままに操るには、お出かけの前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

## あなたの命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは、正しく使用されていて完全に機能している場合のみ、乗員を怪我から守ります。

## ① インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- ▶ 1つのシートベルトが固定するのは、乗員1人だけです。
- ▶ だぶついた衣服、厚手の衣服（例：冬物コート）は脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください（例：メガネやボールペン）。
- ▶ シートベルトがねじれないようにしてください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷している場合は、ベルト、ベルトバックルまたは取り付け部を交換してください。  
▶ 78ページの「シートベルト」の章を参照してください。

## エアバッグ



エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ 乗員とエアバッグが展開する間のエリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ シートカバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください（例：ステアリングホイール、フロントシート、天井の内張り）。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。

▶ 51ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

## 車内の荷物をすべて固定する



車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、投げ出される可能性があります。これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

## ① インフォメーション

たとえば、50 km/h で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大50倍の力で前方に投げ出される可能性があります。たとえば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75kgの力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントやルーフトランスポートシステムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物がはみ出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードまたはラゲッジコンパートメントカバーの上に荷物を置かないでください。
- ▶ タイダウンベルトで荷物を固定してください（引き裂き強度は最低700kg）。

- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくボルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▶ 204 ページの「収納スペース」の章を参照してください。
- ▶ 210 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

### 狭み込み防止



以下に記載されている車両構成部品の可動範囲に人や動物がいると、挟まれたり押しつぶされたりする可能性があります。特に以下の部品が挙げられます。

- 調整式シート
- ドア
- ウィンドウ
- トウバー システム
- フラップ、リッド、ルーフ、スポイラー
- 小物入れのリッド
- ▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいないことを確認してください。

### 子供の行動を監視する



子供は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。

子供は誤って自動設定（座椅調整など）を作動させて怪我する可能性があります。子供は緊急時（車内の過熱状態など）に車両から降りることができません。これは、特に小さな子供にとって命に関わります。

- ▶ 高温部品（排気テルパイプなど）や作動中の部品に子供が近づかないようにしてください。
- ▶ 有毒物質（タイヤシーラントやエンジン オイルなど）は子供の手の届かない所に置いてください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

### チャイルド シートの安全な使用



チャイルド シートは、正しく装備された場合のみ効果を発揮します。

- ▶ **必ず** ボルシェによって承認されているチャイルドシートを使用してください。
- ▶ チャイルド シートを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルド シートのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。  
▶ 54 ページの「チャイルド シート」の章を参照してください。

### 安全で優れたドライビング：常に正しい判断をする

ボルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロール機能から緊急ブレーキ機能まで - この車で走り出せば、すべてが可能になります。しかしながら、その一方で、最終的にこの能力を常に制御下に置く責任はドライバーにあります。

### 注意力の低下を防ぐ



運転中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリング ホイールの調整は行わないでください。シートやステアリングホイールが思った以上に動く場合があります。

す。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラー、シート、ステアリングホイールの位置調整は運転前に行ってください。

- ▶ マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみに行ってください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
- ▶ 運転席からリヤのタッチディスプレイの操作を行わないでください。
- ▶ 運転中は電話やその他の携帯デバイスを使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

### 雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

### 適切なタイヤと適切な運転スタイル



▶ 244ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

#### 走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

### 新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の200 kmは、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

### ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ インストルメントパネルで最高許容速度を制限速度として設定します。  
▶ 147ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

### サマータイヤでの走行

外気温が15°C以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温度が7°Cを下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

### スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ（ウルトラハイパフォーマンスタイヤ）がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法律等の基準および安全基準に適合しています。このタイヤはレースサーキット（安全運転トレーニングコース、スポーツドライビングスクール、クラブスポーツイベント）での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。スポーツタイヤは、約-7℃未満の非常に低い温度になると硬化します。このような状態は、タイヤのひび割れや摩耗につながります。

- ▶ 外気温度が約-7℃を下回るときは車両を走行させないでください。

特殊なトレッドパターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。

これらのスポーツタイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります：

- スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビングスタイルおよび使用状況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、濡れた路面、特にハイドロブレーニング現象が発生しやすい状況（冠水路、水たまり、轍など）に注意し、状況に合わせて速度を適切に調節してください。
- パフォーマンスの限界域付近で使用すると、タイヤの性能限界を超える危険性の増大を招くため、十分注意を払ってください。
- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

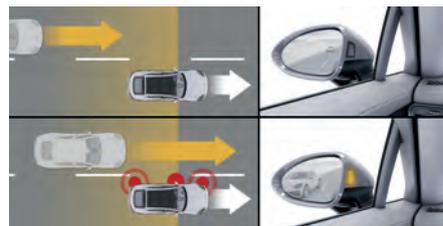
タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロブレーニング現象を起こす危険性が増大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

- ▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。

- ▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

### アシスタンスシステムおよびその制限



ボルシェ車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

### 緊急ブレーキ機能



通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合は急制動をかけ、停車させることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にもみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、スイッチ(P)を引き続けてください。ブレーキを解除するには、ボタンを放してください。  
▶ 96ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

### 荷物積載時の運転



ボルシェ車の操縦性は積載量によって変化します。ルーフトランスポートシステムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 装着したルーフトランスポートシステムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ポルシェテックアップメントの積載器具については、速度に関する情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して走行する前に、本書の以下のセクションをお読みください：
  - ▶ 206 ページの「ルーフトランスポートシステム」の章を参照してください。

### ローンチコントロールを使用した発進



発進時にローンチコントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。
  - ▶ 102 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。
- ▶ スポーツエキゾーストシステムを排気音最適化モードに切り替えて非常にスポーティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。社会的な責任を考慮に入れ、近隣住民に配慮してください（特に夜間）。

### 警告音への適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を発します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
  - ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
  - ▶ 147 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

### 給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ フューエルタンクを補給する前に、補助ヒーターを OFF にします。
- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
  - ▶ 259 ページの「補給」の章を参照してください。

事故の際、燃料キャップが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながる恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

### 有害なフルード



燃料だけでなく、エンジン オイル、トランスミッション オイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残ったフルードの廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

エンジン オイルは発火することがあります。エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジン オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

### 有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

### 安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- ▶ トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。インストルメント パネルで作動モード P が点滅している場合、パーキング ロックが正しくかかっていません。セクターレバーでもう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。

イグニッションが OFF になると、トランスミッション パーキング ロックが自動的にがかかります。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- ▶ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様かテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

### 万が一の場合：故障および緊急時の安全確保

安全のため – 故障時には、以下の情報に注意してください。

#### 緊急時はボイス コントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。

## 車両への作業に関する注意事項



エンジンの作動中は、エンジン コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント リザーバーには圧力がかかっています。

ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- ▶ エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、装飾品などは、ファンやドライブ ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにクーラント リザーバー タンクを開けないでください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備（切り傷防止用の手袋など）を着用する必要があります。

- ▶ 車両の作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、不適切な始動手順を行ったりすると、回路がショートして火災が発生する恐れがあります。

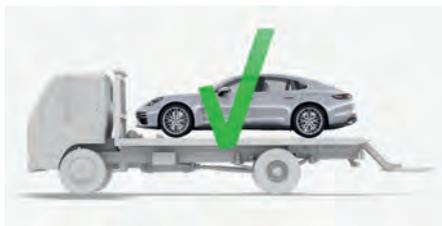
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動時、爆発性の高い混合ガスがバッテリー内で発生することがあります。

さらに、自動的に始動する部品（ラジエーター ファンなど）により、エンジン コンパートメント内で負傷するリスクがあります。

ジャンプ スタートを提供または受ける前に：

- ▶ 220 ページの「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章を参照してください。

## けん引



けん引または押しがけによる始動により、車両に重大な損傷を与えるリスクがあります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は**行わない**でください。
- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。
- ▶ 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：
  - ▶ 223 ページの「けん引」の章を参照してください。

## パンクしたとき



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行**しない**でください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
  - ▶ 252 ページの「パンク」の章を参照してください。

## 衝突後



衝突後は、安全装備（例：シートベルト プリテンショナーおよびエアバッグ）が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- ▶ 安全装置が作動してなくても、点検を受けてください。
- ▶ 一度作動した安全装置は必ず取り替えてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 緊急装備を携行する



一般的に、緊急装備を車両に携行ことをお勧めします。

## 発煙筒



発煙筒は、事故や道路の欠陥のために車両を停止する必要がある場合に、周辺地域に警告するために使用されます。発煙筒は、ドア側の助手席の足元に取り付けられています。

### ▲ 警告

使用すると火傷や火災の原因となることがあります。

- ▶ 発火の危険性があるため、可燃物の近くで発煙筒を使用しないでください。
- ▶ 火傷の恐れがありますので、使用中は発煙筒を顔や体に向けたり、顔や体の近くについたりしないでください。
- ▶ 発煙筒は子供の手の届かない所に保管してください。不適切な使用は、火傷や車両の損傷を引き起こす可能性があります。

### ▲ 注意

トンネルで発煙筒を使用すると、事故を引き起こす可能性があります。

- ▶ トンネルなどの空気循環の悪い場所で使用すると、発煙筒からの煙が視界を損なうため、事故の原因となることがあります。必要に応じてハザードライトを点灯します。

## 発煙筒を使用する

1. キャップを取り外します。ケースをひねって発煙筒をゆるめます。
2. 発煙筒の後端をケースに挿入します。
3. 発煙筒は、点火ヘッドをキャップの点火面にこすりつけることによって点火されます。

### ① インフォメーション

発煙筒は約5分間燃えます。

発煙筒には有効期限があります。印刷されている有効期限内に、発煙筒を交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## お出かけの前に：車両に関する重要な情報

### 車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください。

- ▶ なるべく長距離走行をする。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避ける。
- ▶ モーター スポーツ イベント、スポーツ ドライビング スクールなどに参加しない。
- ▶ エンジンを高回転域 (4,000 rpm を超える) まで回さない。エンジン冷間時は低回転域で運転する。

## 新しいブレーキパッドの慣らし運転



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキパッドおよびブレーキディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦に達します。

ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合もこれと同じ状況になります。

## 地上高に注意する

- ▶ 水たまりや浅瀬の走行時は、車体の下側を水に浸さないようにしてください。

## E-ハイブリッド車の特徴について



### 電気システム

高電圧車両電気システムの電圧および高電圧バッテリーは非常に危険です。損傷のある電気システム構成部品 (高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧補助ヒーター、高電圧バッテリー、電動モーター、パワー エレクトロニクス、エアコンコンプレッサーなど) に触れると、致命的な感電を引き起こす恐れがあります。

高電圧電気システムの高電圧ケーブルおよび他の構成部品はオレンジ色です。電気システムのすべての構成部品は、警告ステッカーでマーキングされています。



図. 1: 高電圧部品の警告サイン



図. 2: 高電圧バッテリーの警告サイン

- 1 高電圧によって重傷または死亡に至る可能性があります。指、工具、装飾品やその他の金属製の物体でバッテリー端子に触れないでください。
- 2 高電圧バッテリーには危険な液体および固体が含まれています。ガスが放出された場合、重度の火傷および失明を招く可能性があります。高電圧バッテリーの作業時は、バッテリー液が皮膚や目に触れないように、必ず適切な保護メガネと保護服を着用してください。バッテリー液が皮膚と目に付着した場合、該当箇所をきれいな流水で 15 分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受けてください。
- 3 高電圧バッテリーは可燃性です。高電圧バッテリーを火気、スパーク、裸火にさらさないでください。損傷やフルード漏れを防ぐため、高電圧バッテリーは必ず慎重に取り扱ってください。
- 4 お子様を高電圧バッテリーに近づけないでください。
- 5 詳細については、取扱説明書およびワークショップの資料を参照してください。

- 6 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。高電圧バッテリーのカバーを取り外したり、高電圧バッテリーを取り外したりしないでください。
- 7 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。高電圧バッテリーのメンテナンスは、適切な資格を持ちトレーニングを受けた専門のスタッフのみが行ってください。高電圧バッテリーを改造しないでください。開いている高電圧バッテリーが水や他の液体に決して触れないようにしてください。液体によって、短絡、感電、火傷を招く恐れがあります。

### イラストの説明



正しい使用方法を守らなかった場合、感電する恐れがあります。



危険な電圧の警告。



危険!



ハイブリッドシステムの構成部品に関する指示に従ってください。

- ▶ 高電圧車両電気システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧補助ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクス、モーター/ジェネレーター、エアコンコンプレッサー、その他の電気システム構成部品には作業を実施しないでください。
- ▶ オレンジ色の高電圧ケーブルを、損傷したり、高電圧車両電気システムから取り外したり、切り離したりしないでください。

- ▶ 事故の後などに、損傷した電気システムの一部に触れないでください。疑わしい場合：感電や火傷などの致命傷を負う危険があるため、オレンジ色のケーブルや高電圧システム (400 V) の他の構成部品に触れないでください。
- ▶ 高電圧システムの損傷や作動不良に関して表示される警告メッセージには常に注意を払い、指示に従ってください。疑わしい場合：車両を直ちに安全な場所に停車し、車両から離れてください。  
▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 高電圧バッテリーを取り外さないでください。
- ▶ 警告ラベルまたは警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。
- ▶ 警告ステッカーが貼り付けられている高電圧システム構成部品のカバーを取り外さないでください。
- ▶ 損傷したバッテリーは発火する恐れがあります。直ちに安全かつ適切な場所で停車してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。  
▶ 153 ページの「警告灯およびインジケータライト」の章を参照してください。

### 聞こえやすさの低下

電動走行時は、内燃エンジン作動時より車両の走行音が大幅に減少します。交通静音化対策地域、後退または駐車時など特定の状況下では、他の通行者に車両の音が聞こえないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。

### 電磁互換性

物理法則により、あらゆる電気機器の周辺には電磁場が生成されます。これは、車両の電装品にも当てはまりません。ボルシェは、製品の開発初期段階でさえ、製品が乗員や通行人の健康に影響を決して与えないようにすることを重視してきました。ボルシェは、国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) の時変電界、磁界、電磁場の暴露限度のガイドラインを厳守し、従っています。ICNIRP は、国際連合世界保健機関 (WHO) などの国内および国際健康機関と緊密に連携する非営利科学機関であり、どの業界からも独立しています。上記の基準に準拠し、隣接するデバイスやインプラントの機能はボルシェ社の製品の影響を受けません。しかし、市場にはさまざまなインプラントが多数あるため、個別のケースごとに具体的な説明をすることはできません。医療に関する質問がさらにある場合は、医師に相談することをお勧めします。

### ハイブリッドシステムの緊急スイッチ OFF

#### ① インフォメーション

事故後の迅速で安全なレスキュー措置または復旧を確実にするため、「e-hybrid」ロゴを取り外さないでください。

ハイブリッドシステムを危険な高電圧状態から保護するため、次のような状況では自動的にスイッチが OFF になります。

- シートベルト プリテンショナーまたはエアバッグが作動するような事故。
- ハイブリッドシステムに短絡が検出された場合。
- ハイブリッドシステムのコネクタが切り離された場合。

ハイブリッドシステムの緊急スイッチ OFF が作動すると車両を始動できません。

- ▶ ご自身では絶対にハイブリッドシステムを再起動しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## レース サーキット走行の前に



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。この点検および整備には、各サーキットでの走行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのポルシェ正規販売店にご確認ください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12か月以上経過したブレーキフルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

## タイヤ

レースサーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ レースサーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェはレース用タイヤを承認していません。

## エンジンオイル

- ▶ レースサーキット走行の前にエンジンオイルを最大のマーク位置まで補充します。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを確認します。
  - ▶ 147ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。
  - ▶ 229ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。

## 海外での走行の前に



すべてのポルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいはポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか？
- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか？
- 左側/右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか？

▶ 181ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 車両のデータ処理



この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能 (ドライバースタシスシステム) を提供します。さらに、

車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

各車両には固有の車台番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両登録番号の使用など、車両から収集されたデータをオーナーまたはドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

### 車両のテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータメモリーを備えています。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システム構成部品の作動モード (例：給油レベル)
- 車両および個々の構成部品 (例：ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータスメッセージ
- 重要なシステム構成部品の故障 (例：ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例：エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムの作動)
- 環境要因 (例：温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部分のみがイベントメモリーまたは故障メモリーに保存されます。さらに、車両には電子コント

ロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

### テクニカルデータの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にのみローカルで保存されたデータを読み出すことができます。このために法定規定が存在する個々のケースでは、政府機関の要請に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのボルシェに義務付けられる場合があります (例：犯罪行為の場合の事実認定のため)。

車両の整備時、サービスネットワーク作業者 (例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー) は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。サービスには修理サービス、サービスプロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。データは車両の OBD (オンボード診断) 用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービスネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためボルシェに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよびイベントメモリーは、修理またはサービス実施とともに修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

### 車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的のおよびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス (例：携帯電話、USB スティック、MP3 プレイヤー) に保存されます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンラインサービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。携帯電話からの画像およびサウンドは、マルチメディアシステムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。これは、装備品のタイプに応じ、たとえば一般的な車両情報または位置データを含みます。これにより、たとえばナビゲーションシステムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。携帯電話による車両データへの有効なアクセスは行われません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。携帯電話のアプリやオペレーティングシステムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

## オンラインサービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器 (携帯電話など) により、ワイヤレス ネットワークに接続可能です。このワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これには、ポルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンライン サービスおよびアプリケーション / アプリが含まれます。

ポルシェ オンライン サービスでは、さまざまな機能が適切な場所 (例: ポルシェ コネクト ウェブサイト) にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。オンライン サービスの提供のために個人データが使用されることがあります。必要なデータの交換は、保護された接続を介して実施されます (例: この目的のためのポルシェ IT システム設定)。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われます。

通常、(料金ベース) サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

他のプロバイダーのオンライン サービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。ポルシェはこのようなデータ交換について干渉しません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの使用の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

## 概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概要図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。



## センサーおよびカメラ

- A サラウンドビュー ▷ P. 118
- B レーンキープアシスト  
ダイナミックハイビーム ▷ P. 131
- C パークアシスト ▷ P. 111
- D アダプティブクルーズコントロール  
(ACC) ▷ P. 118
- E ナイトビューアシスト ▷ P. 88
- F 車線変更アシスタント ▷ P. 116
- G 足の動きでリヤリッドを開く ▷ P. 134
- ▷ P. 39

図. 3: センサーおよびカメラ

## フィルター キャップ

- A ウォッシャー液
- B ブレーキ液
- C クーラント
- D エンジン オイル

- ▷ P. 263
- ▷ P. 226
- ▷ P. 227
- ▷ P. 229

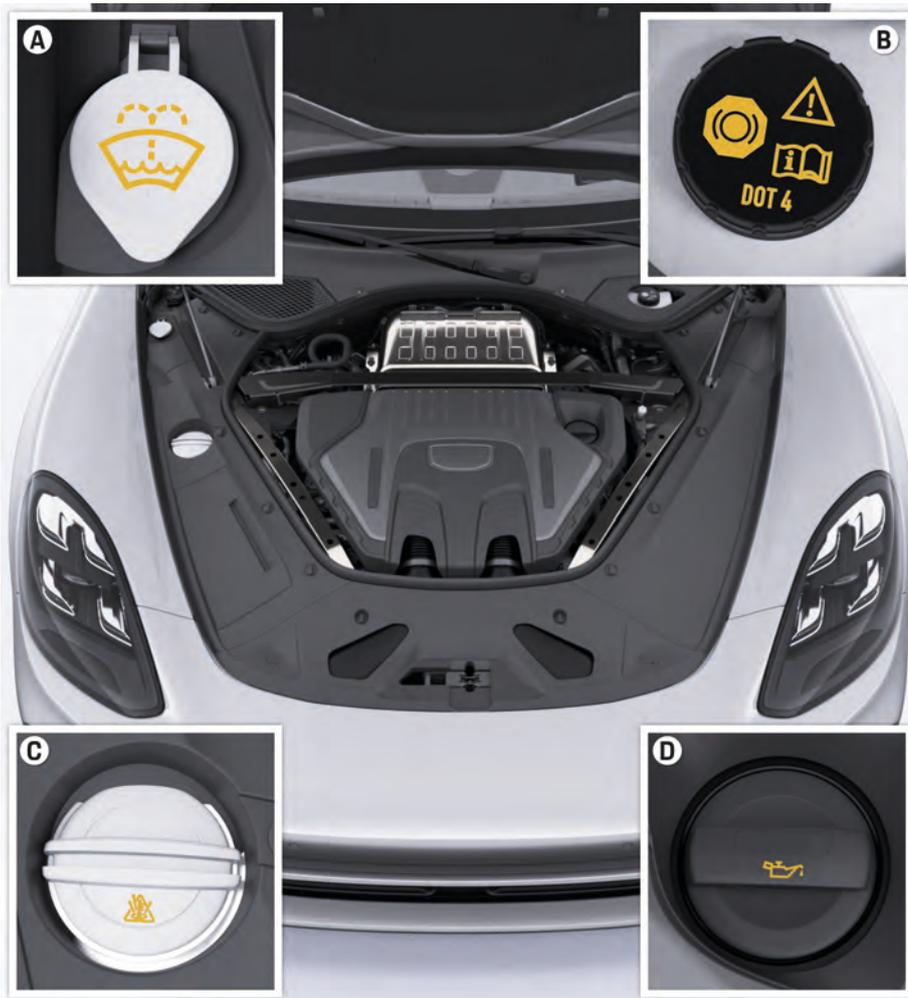


図. 4: フィラー キャップ



## 運転席

- A パワー ウィンドウおよびリヤリッド,      ▷ P. 34
- B インナー ドア ハンドル                      ▷ P. 39
- C パーソナル設定用メモリー ボタン        ▷ P. 44
- D ライト コントロール パネル              ▷ P. 74
- E イグニッションロック、ステアリングロ  
ック    ▷ P. 100
- F オーバーヘッド コンソール                ▷ P. 27
- G ドア ミラーの調節                          ▷ P. 85
- H セントラル ロッキング システム        ▷ P. 44
- I ボンネット リリース                        ▷ P. 37
- J ステアリング ホイール調節              ▷ P. 72
- K シート調節                                    ▷ P. 80

図. 5: 運転席

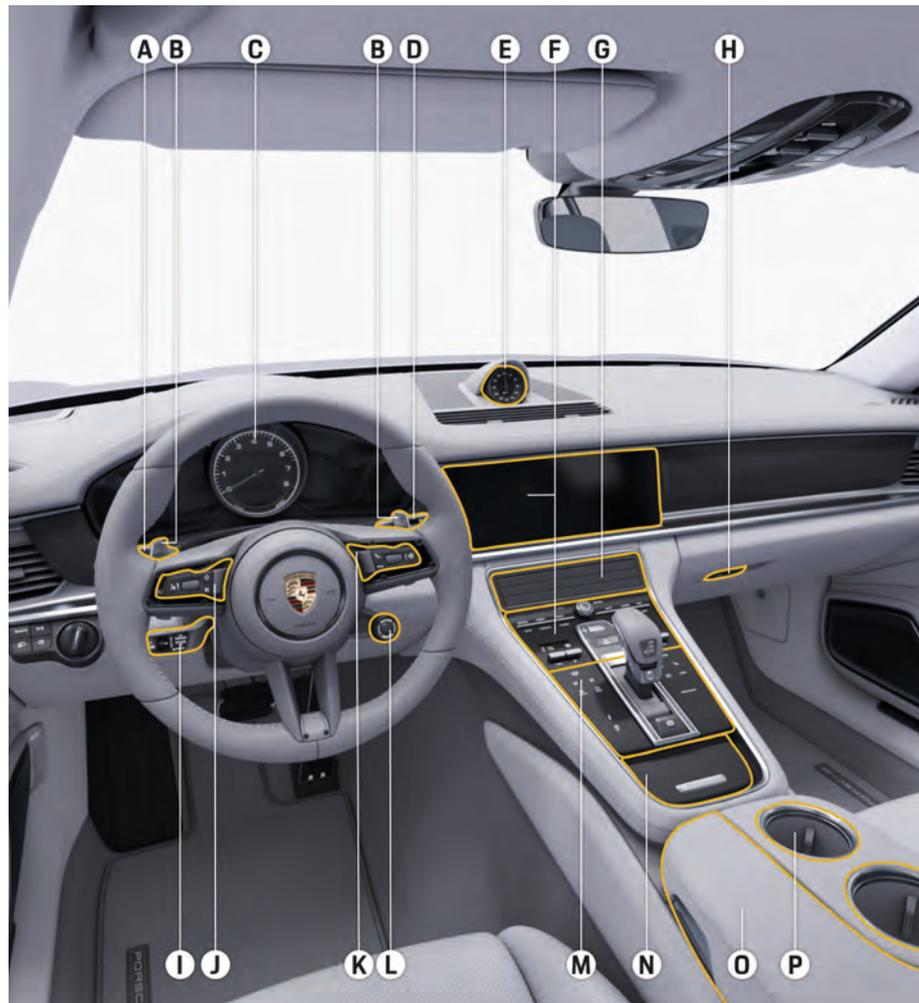


図 6: コックピット

## コックピット

- A** 方向指示灯およびハイビームヘッドライト ▶ P. 111
- B** PDK シフトパドル ▶ P. 102
- C** インストルメントクラスター ▶ P. 147
- D** フロント ウィンドウワイパー ▶ P. 126
- E** スポーツクロノストップウォッチ ▶ P. 199
- F** ボルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) ▶ P. 158
- G** 電動エアベント ▶ P. 67
- H** グローブ ボックス ▶ P. 204
- I** クルーズコントロール ▶ P. 141  
アダプティブクルーズコントロール (ACC) ▶ P. 88  
レーンキープアシスト ▶ P. 131  
車線変更アシスタント ▶ P. 134  
渋滞アシスト ▶ P. 139
- J** ボイスコントロール、インフォテインメント、インストルメントパネル ▶ P. 148
- K** 電話コントロール、インフォテインメント、インストルメントパネル ▶ P. 148
- L** モードスイッチ ▶ P. 98
- M** コントロールパネル ▶ P. 26
- N** 灰皿 ▶ P. 218
- O** アームレスト、小物入れ ▶ P. 204
- P** ドリンクホルダー ▶ P. 209



## コントロールパネル

- A エアコン システム ▶ P. 63
- B ボルシェ コミュニケーション マネジメン  
トシステム (PCM) ▶ P. 158
- C シート ヒーター、シートベンチレーター ▶ P. 83
- D ボリューム スイッチ、ミュート ▶ P. 158
- E ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操  
作用) ▶ P. 158
- F ハザード ライト ▶ P. 115
- G SPORT 走行プログラム ▶ P. 98
- H ボルシェ アクティブ サスペンション マネ  
ージメント (PASM) ▶ P. 120
- I ボルシェ ・ スタビリティ ・ マネージメント  
(PSM) ▶ P. 122
- J エレクトリック パーキング ブレーキ ▶ P. 97
- K INDIVIDUAL 走行プログラム ▶ P. 98

図. 7: コントロールパネル

## オーバーヘッドコンソール

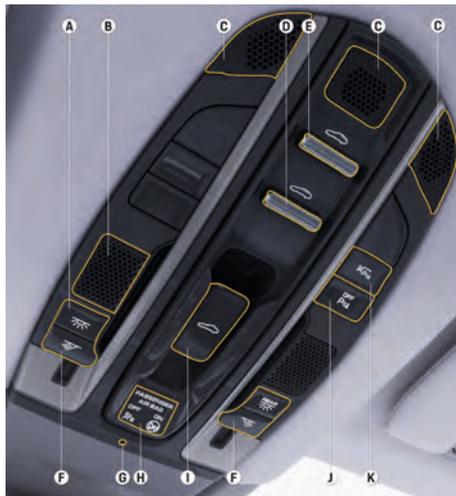
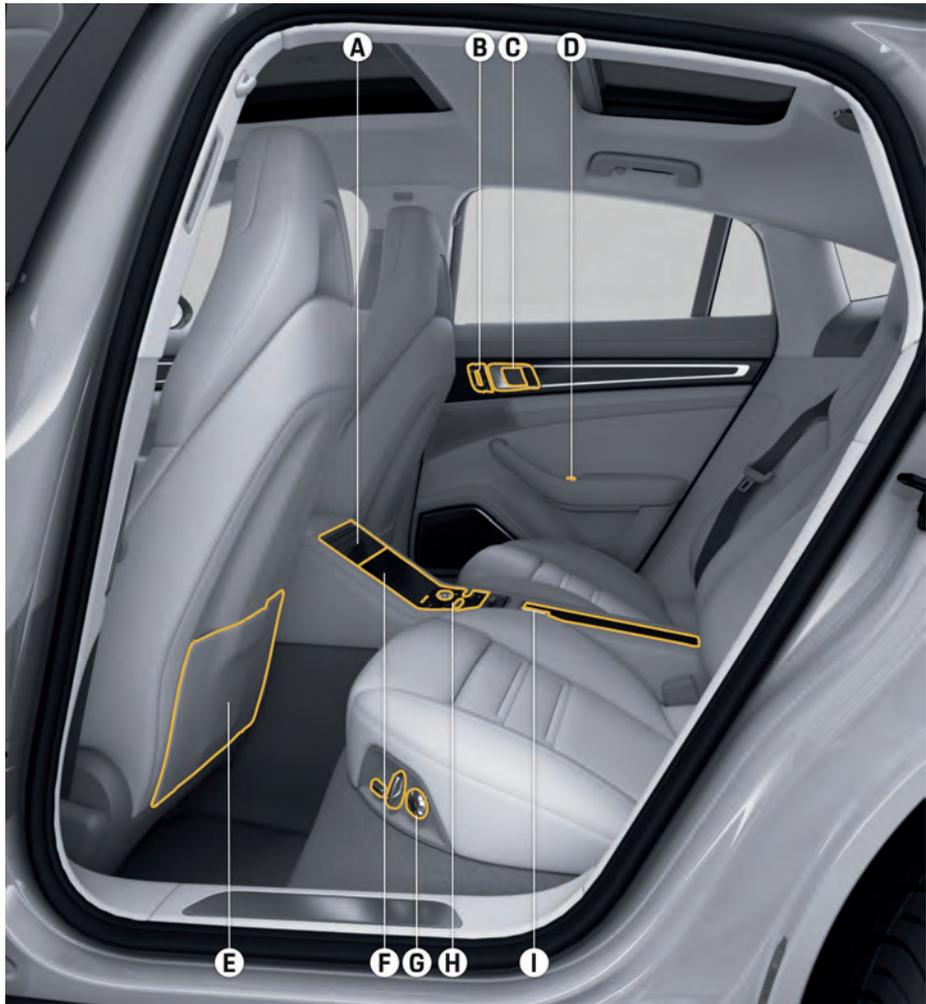


図 8: オーバーヘッドコンソール

- A インテリアライト▷ P. 52
- B ハンズフリーマイク
- C 車内モニタリングシステム センサー
- D フロント サンシェード▷ P. 41
- E リヤサンシェード▷ P. 41
- F 読書灯▷ P. 52
- G オリエンテーションライト
- H 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯▷ P. 51
- I パノラミックルーフシステム▷ P. 41
- J パークアシスト OFF ボタン▷ P. 118
- K Surround View (サラウンドビュー) を有効にする



リヤ

- A エアVENT ▷ P. 63
- B パーソナル設定用メモリー ボタン ▷ P. 74
- C インナー ドアハンドル ▷ P. 44
- D パワー ウィンドウ ▷ P. 34
- E マップ ポケット
- F タッチ ディスプレイ ▷ P. 158
- G シート 調節 ▷ P. 80
- H コントロールユニット ▷ P. 29
- I ストレージコンパートメント ▷ P. 204

図. 9. リヤ

## リヤコントロールパネル

- A** エアコン ▶ P. 83
- B** ポルシェ コミュニケーション マネジメン  
トシステム (PCM) ▶ P. 158
- C** ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操  
作用) ▶ P. 158
- D** シート ヒーター、シート ベンチレーター ▶ P. 83
- E** ロール アップ 式 サンブラインド ▶ P. 34
- E** リヤ ロール アップ ブラインド ▶ P. 34



図. 10. リヤコントロールパネル

## トピック

以下のページでは、さまざまな車両のトピックに関する  
内容を見つけることができます。

## 開閉操作とロック

### 警報システム

#### 作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、リヤリッド、およびボンネットの警報接点
- 室内モニタリングシステム：車両がロックされているときの車内への侵入（例：ウィンドウを壊して窃盗を行おうとしたとき）
- 傾斜センサー：車両の傾き（例：車両をけん引して盗難しようとしたとき）
- 故障診断用ソケット
- トレーラーヒッチソケット

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラームホーンが約25秒間鳴り、ハザードライトが約300秒間点滅します。

5秒間警告が中断した後、再度音による警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

#### 警報システム機能表示

ドアのインジケータライトおよび警告灯の点滅間隔によりロック状態が示されます。

#### 警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケータライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。ハザードライトが2回点滅します。

#### 警報システムが起動、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーがスイッチOFF

車両をロックするときにインジケータライトが素早く点滅した後、28秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

ハザードライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。

#### セントラルロックシステムおよび警報システムの故障

車両をロックするときに、インジケータライトは素早く点滅し、28秒間点灯し続けて、その後はノーマルモードで点滅します。

ハザードライトがゆっくり1回点滅します。

#### 警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、約30秒後に警報システムが有効になります。
- ▶ 車両のロックを解除すると、警報システムは無効になります。

PCMで、次回車両がロックされたときに、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFのままにするかどうかを設定できます。

▶  ▶  設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ 室内モニタリングシステム

#### インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

#### 作動した警報システムをOFFにする

- ▶ 車両のロック解除
  - または -
- ▶ イグニッションをONにします。

#### 室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする

▶ 44ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

#### 盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください。

- ▶ ウィンドウとルーフを閉じます。これは室内モニタリングシステムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
- ▶ パーキングロックPとエレクトリックパーキングブレーキを作動します。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の書類、電話、自宅の鍵を車両に残さないようにします。
- ▶ ドアとリヤリッドを閉じます。
- ▶ ボンネットを閉じてください。
- ▶ 車両をロックします。

#### イモビライザー

すべてのキーに、コードが保存されたトランスポンダー（電装部品）が内蔵されています。イモビライザーを停止してエンジンを始動するのに、認定されたキーが必要です。

## キー

### キーの使用

#### ① インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

ボタンを押すと、キーのポルシェクレストが点灯します。また走行中には、キーが作動していなくてもキーのクレストが点灯する場合があります。

走行中に、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。ボタン押されていないときに、キーのポルシェクレストが点灯する場合があります。キーへのデータ保存やキーからのデータ読み取りに関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモートコントロールが機能しない場合があります。

- 電磁波が送信に干渉している (ポルシェ コンフォート アクセスの場合、キーと車両間の無線通信を含む)。
- キーが、作動中の電子機器 (携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管されていないことを確認してください。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。
- 故障のためにリモートコントロールに不具合が発生している場合。
- キーのバッテリーが消耗している場合。



図. 11: キー

- A** 車両のロック解除
- B** 車両のロック
- C** リヤリッドを開き、車両のロックを解除する
- D** エマージェンシー キー

すべてのキーにエマージェンシー キーが内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

### キーのバッテリー交換

#### ⚠ 警告

リチウム ボタンセルを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーにはリチウム ボタンセル (バッテリー) が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開けて、バッテリーを取り外す可能性があります。
- ▶ リチウム バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

#### ① インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する法規を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要がある場合、メッセージがインストルメント パネルに表示されます。キーが作動しても、キーのポルシェクレストが点灯しなくなります。



図 12: バッテリーの交換

### バッテリーの交換 (CR 2032、3 V)

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キーハウジングの左右2箇所のクリップを外します。
3. バッテリーカバーを反時計回りにゆるめて取り外します。
4. バッテリーを交換します (極性を確認してください)。
5. バッテリーカバーを再セットして、しっかりと時計回りに締め戻します。

エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。

6. キーハウジングがクリップ留め箇所にはまるまで、下から上方向へと押し上げます。
7. エマージェンシー キーを挿入してください。

### キーのバッテリーが切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動。

車両とキー間の無線通信の誤動作、またはキーのバッテリー切れにより、ボルシェ コンフォート アクセス機能が無効になることがあります。

この状況で車両を始動する場合は、以下を順守してください：

1. センターコンソール内の小物入れのフロント左側にキーをおもて面を上にして置きます。
2. コントロールユニットをイグニッションロック位置2まで回し、その後位置0に戻します。
3. コントロールユニットを再度イグニッションロック位置2まで回します。

▶ 100 ページの「イグニッションロック」の章を参照してください。



図 13: 小物入れ内のキー

### エマージェンシー キーの使用

#### エマージェンシー キーの取り出し



図 14: エマージェンシー キーの取り出し

- ▶ エマージェンシー キーを押し上げ、キーから取り出してください。

### エマージェンシー キーの挿入

- ▶ しっかりとハマるまで、エマージェンシー キーをキーに挿入します。

### スペアキーの注文と登録

キーの注文は、ボルシェ正規販売店でのみ行えます。これには時間がかかる場合があります。

- ▶ スペアキーを常に利用できるようにしてください。
- ▶ スペアキーを安全な場所に保管し、いかなる場合も車内または車両上に保管しないでください。

車両用の新しいキーを登録するには：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ その車両に使用するすべてのキーを再登録します。

#### ① インフォメーション

合計 8 個のキーを登録することができます。

#### ① インフォメーション

- ▶ キーを紛失したり盗まれたりした場合は、ボルシェ正規販売店に依頼し、車両のキーを無効にし、必要に応じて機械式ロックを変更してください。
- ▶ キーの紛失または盗難について保険会社に通知し、追加または交換用のキーを作成したことを知らせます。

## ウィンドウ

### ウィンドウの開閉



警告

ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じるときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれてしまうことがあります。

- ▶ ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：直ちにキーのボタンを放してください。ボルシェ コンフォート アクセス装備車は、直ちにドアハンドルのタッチセンサーを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



警告

サイドウィンドウを手動で閉じる

サイドウィンドウが干渉されてオートモードが無効になった場合、手動でサイドウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。可動サイドウィンドウと固定車両部品に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる可能性があります。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

### ① インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動閉操作で一度完全に閉じてください。

### パワーウィンドウ ボタンによるウィンドウの開閉

- ✓ イグニッションがONになっていること。  
-または-  
イグニッションをOFFにしてから10分以内。
- ✓ 運転席/助手席ドアがまだ開いていない。

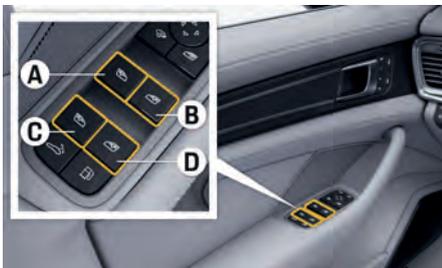


図. 15: 運転席ドアのパワーウィンドウスイッチ

- A パワーウィンドウ、フロント、運転席側
- B パワーウィンドウ、フロント、助手席側
- C パワーウィンドウ、リア、運転席側
- D パワーウィンドウ、リア、助手席側

ロッカースイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

### 第1段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカースイッチを1段階目の位置まで押すか、引いてください。  
スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

### 2段階目 - ワンタッチ操作

1. ロッカースイッチを2段階目まで押すか、引いてください。  
ウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
2. ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

### キーによるウィンドウの開閉



図. 16: キーによるウィンドウの開閉

- ✓ 機能が作動していること。  
▶ 181ページの「車両設定」の章を参照してください。

- ▶ ウィンドウが希望の位置になるまでキーの車両ロック/ロック解除ボタンを押し続けてください。すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが2回点滅します。

### ① インフォメーション

リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドが上がっている場合、リヤウィンドウは開きません。

### ドアハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる



図 17: ドアハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じる

- ✓ ポルシェ コンフォート アクセス
- ✓ この操作を行うときは、キーを携帯している必要があります (バッグ内など)。
- ✓ 機能が作動していること。
  - ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

- ▶ 車両をロックする時に、ウィンドウが希望の位置に達するまでドアハンドルの近接センサーを押し続けてください。すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが2回点滅します。

### ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを切り離したり、再接続したりすると、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

### すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. スイッチを2段階まで引いて、1回完全にウィンドウを閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカースイッチを再度短く2段階目まで引いてください。
3. ロッカースイッチを押して、1回ウィンドウを完全に開いてください。

### リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドの使用

#### 情報

180 km/h 超の速度でリヤサイドウィンドウを開けると、展開したロールアップ式サンブラインドが破損する恐れがあります。

- ▶ ロールアップ式サンブラインドの展開中には、180 km/h 超の速度でリヤサイドウィンドウを開けないでください。

### ① インフォメーション

リヤサイドウィンドウのサンブラインドは、リヤサイドウィンドウが閉じている場合にのみ持ち上げたり下げたりすることができます。

サンブラインドが自動的にそれぞれの停止位置へ移動します。

チャイルドプロテクション機能が作動しているときは、リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドを操作できるのは、運転席ドアのパワーウィンドウボタンを使用した場合のみです。



図 18: 運転席ドアのパワーウィンドウ/ロールアップ式サンブラインド用スイッチ

### リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドを下げる

- ▶ 必要な位置に達するまで、該当するウィンドウのロッカースイッチを引きます。
  - または-
  - リヤシェードが格納されたら、サンブラインド用スイッチを押し続けます。
- ➡ リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドが展開します。

## リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドの格納

- ▶ 希望する位置に達するまで、該当するウィンドウのロッカースイッチを押します。  
-または-  
リヤシェードが下降したら、サンブラインド用スイッチを押し続けます。
- ➡ リヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドが格納されます。

## リヤシェードの使用

### **i** インフォメーション

チャイルドプロテクションが有効になっている場合、リヤブラインドはPCMでのみ操作できます。

### フロントからのリヤシェードの上昇/下降

- ✓ イグニッションがONになっていること。

▶ **設定** ▶ 車両リヤシェード

### リヤのリヤシェードの上昇/下降

- ✓ イグニッションがONになっていること。



図. 19: リヤシェードのスイッチ

1. リヤのスイッチを短く押します。  
➡ リヤシェードが上昇/下降します。
2. リヤのスイッチを長押しします。  
➡ リヤシェードおよびリヤサイドウィンドウのロールアップ式サンブラインドが上昇/下降します。

## リヤシェードの自動下降

- ✓ 機能が作動していること。  
▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ✓ イグニッションがONになっていて、リバースギヤに入れてある。

## リヤでの操作を無効にする - チャイルドプロテクション



図. 20: リヤでの操作を無効にする

運転席ドアコントロールパネルのセーフティボタンを押すと、リヤドアのパワーウィンドウスイッチ、リヤセンターコンソールのコントロールパネル、リヤシートの電動コントロールが無効になります。

### チャイルドプロテクションのON/OFFの切り替え

- ▶ セーフティボタンを押します。  
ボタンのインジケータールイトが点灯します。

リヤコントロールパネルで入力されたシート設定は保持されます。

リヤコントロールパネルの機能が停止します。

- ▶ ソフトクローズ装備車では、チャイルドロックも作動します。

▶ 44 ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

## ボンネット

### ボンネットの開閉

#### ボンネットを開く

##### 情報

ボンネットまたはフロント ウィンドウワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ エンジン コンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF (ワイパーレバーを **0** の位置) にしてください。ワイパーアームが停止位置にない場合、イグニッションが OFF のときでもボンネットが開いている状態では、ワイパーがその位置に自動的に移動します。
- ▶ ワイパーアームはボンネットを閉じて、フロントワイパーを OFF にしてから再度 ON にするまでこの位置になります。

▶ 126 ページの「フロント ウィンドウワイパー」の章を参照してください。



図 21: ボンネットのロック解除

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリースレバーを引いてください。



図 22: ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリースレバーを押します。
4. ボンネットを完全に開きます。

#### ボンネットを閉じる

##### 注意

重いボンネット

半分開いた状態のボンネットを閉じるとき、ボンネット自体の重さを利用して2箇所のロック部をロックできます。

- ▶ 可動部品 (ヒンジ) やボンネット下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。
1. 半分開いた状態のボンネットから手を放してロックします。必要に応じて、ロックエリアを手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。
  2. ボンネットが確実にロックされ、リリースレバー (図 21) が初期位置に戻っていることを確認してください。
- ▶ ボンネットが正しく閉じられていない場合、インストルメント クラスターに警告メッセージが表示されます。ボンネットを再び開き、そこで手を放

してリッドを落とし、ロックしてください。必要に応じて、ロックエリアを手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。

#### 歩行者保護

フロントバンパーのセンサーが歩行者または類似した物体との衝突を検出します。その後、ボンネットの後ろ側が開き、衝撃を低減します。

##### 注意

歩行者保護が起動しない

衝突後に歩行者保護が起動しない場合は、システムが故障している可能性があります。

- ▶ 起動しなかった場合、歩行者保護システムを点検する必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### 歩行者保護が起動してからボンネットを閉じる

歩行者保護が起動した場合は、メッセージがインストルメント クラスターに表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。



図 23: 歩行者保護

1. ボンネットの後部の各側面を下へ連続して強く押し、ヒンジ(図. 23)をはめます。
  2. ボンネットの後部部分を持ち上げて、正しくはまっていることを確認してください。
  3. 作動した歩行者保護装置システムを交換してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 歩行者保護システム エラー

故障の場合には、警告メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 歩行者保護

フロント バンパーのセンサーが歩行者または類似した物体との衝突を検出します。次に、ボンネットの後ろ側が開き、衝撃を低減します。。



**注意** 歩行者保護が起動しない

衝突後に歩行者保護が起動しない場合は、システムが故障している可能性があります。

- ▶ 起動しなかった場合、歩行者保護システムを点検する必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 歩行者保護が起動してからボンネットを閉じる

歩行者保護が起動した場合は、メッセージがインストルメント パネルに表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。



図. 24: 歩行者保護

1. ボンネットの後部の各側面を下へ連続して強く押し、ヒンジ(図. 24)が作用するようにします。
2. ボンネットの後部を持ち上げて、正確に作用していることを確認します。
3. 契機となった歩行者保護装置システムを交換してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 歩行者保護システム エラー

故障の場合には、警告メッセージがインストルメント パネルに表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## リヤリッド

### リヤリッドの開閉



危険

有毒な排気ガスの吸引

リヤリッドが開いているか正しく閉じられておらず、エンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。



警告

オートマチック リヤリッドの不用意な開閉

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、怪我をする危険があります。

- ▶ リヤリッドの開閉は停車中のみに行ってください。
- ▶ リヤリッドの開閉は、作動範囲内に人や動物がいないことを確認してから行ってください。
- ▶ 危険があるときはいつでも作動を中断できるように、リヤリッドの開閉作動から目を離さないでください。

### 情報

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。

開閉時、リヤリッドがガレージの天井や突き出た荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください(ルーフトランスポートシステムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジコンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

### ボタンでリヤリッドを車外から開く



図. 25: リヤリッドのロック解除ボタン

- ✓ 車両のロックが解除されている(ボルシェ コンフォート アクセス非装備車)。
- ✓ キーを携帯している(ボルシェ コンフォート アクセス装備車)。
- ▶ ボタンを押してください。
  - ➔ 設定によっては、車両のロックが解除されません。
 リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

### キーでリヤリッドを開く

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ▶ キーの  ボタンを押してください。
  - ➔ 設定によっては、車両のロックが解除されません。
 リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

### 足動作でリヤリッドを開く



注意

リヤリッドの不用意な作動

後方のセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開くため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの不用意な作動を防ぐには：

- ▶ PCM で機能を無効にします。  
-または-
- ▶ ボルシェ コンフォート アクセスを無効にします。

▶ 44 ページの「セントラル ロック」の章を参照してください。



図. 26: 足動作コントロール

- ✓ コンフォート アクセス装備車。
  - ✓ 機能が作動している。
  - ✓ イグニッションがOFFになっている。
  - ✓ キーを携帯している。
1. 車両の後方中央に立っている。
  2. 足を車両後方に向けて前後に1回転かします。
    - ➔ リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

セントラルディスプレイでこの機能の有効/無効を切り替えることができます。

▶ 設定 ▶ ロックする

**i** インフォメーション

次のような状況では、足動作機能は利用できない場合があります：

- 悪天候 (雨、雪または凍結) の場合。
- バンパーが汚れている場合。
- 車両キーの信号が電波干渉の影響を受けている場合。

**運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを開く**



図. 27: 運転席ドアのリヤリッド ボタン

- A** 開く  
開閉操作 (E ハイブリッド車両)
- B** 閉じる

- ▶ 運転席ドアのボタン **A** (図. 27) を押します。  
➔ リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

**リヤリッドを開く高さの設定**

リヤリッドを開く高さは個別に設定できます。

レベリング システム装備車の場合、必ず車両が最も高い状態にあるときにリヤリッドの高さを調整してください。

1. 車両の後方に立ってリヤリッドを開いてください。
2. 開プロセスを中断するには、キーのボタンまたはリヤリッドのトリムパネル内のボタン  を押します。
3. リヤリッドを設定したい高さまで動かします。
4. リヤリッドのトリムパネルのボタン **A** (図. 27) を約 3 秒間押し続けてください。  
➔ 設定された高さの確認が完了すると、確認音が鳴ります。

**リヤリッドが不意に作動した場合の自動停止**

リヤリッドが開いた後、不意に降り積もった雪の重みなどですぐに下がると、パワーメカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制制するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤリッドの動きが止まってから約 1 秒が経過すると、  
➔ 自動停止が無効になります。

**リヤリッドの閉操作**

**運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを閉じる**

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- 1. リヤリッドが完全に閉じるまで運転席ドアのボタン **B** (図. 27) を押してください。
- 2. **E ハイブリッド車両**：リヤリッドが完全に閉じるまで運転席ドアのボタン **A** (図. 27) を押してください。  
➔ 警告音が鳴り、リヤリッドが閉じます。

**リヤリッドのトリムパネルのボタンを操作してリヤリッドを閉じる**

- ✓ 車両のロックが解除されている (ポルシェ コンフォート アクセス非装備車)。
- ✓ キーを携帯している (ポルシェ コンフォート アクセス装備車)。



図. 28: リヤリッドのトリムパネルのボタン

- ▶ リヤリッドのトリムパネルのボタン **A** (図. 28) を押してください。  
➔ リヤリッドが閉じます。

**i** インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は 4 回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約 45 秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされません。スペア キーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

### 閉作動中の障害物の検出

リヤリッドの開操作が障害物によって妨げられると、動作は自動的に中断されます。

警告音が鳴り、リヤリッドが動作を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤリッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

### 緊急時の開閉動作の中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに開閉動作を中断します：

1. キーの  ボタン。  
 - または -  
 運転席ドアの  ボタン。  
 - または -  
 リヤリッドのトリムパネルのボタン A (図. 28) を押してください。  
 - または -  
 足で動作をします。
2. ワンタッチ操作を再作動するには該当するボタンを押します。

## ルーフ システム

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

ルーフ システムの開閉

ルーフ システムを開閉するときは、車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。特にワンタッチ操作の場合に十分に注意してください。

- ▶ 車両の可動部品と固定部品の間に身体の一部が挟まれないように十分に注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションを OFF にしてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。危険を十分理解していない人 (お子様など) がルーフ システムを操作すると、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：開閉プロセスをキャンセルします。

#### 情報

ルーフ エLEMENT が正しく取り付けられていないと、ルーフ システムを操作するときに怪我をする恐れがあります。

- ▶ 運転を開始する前に、ルーフ アタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ ルーフ システムと取り付けられたルーフ エLEMENT の間に十分な空間があることを確認してください。

#### 情報

雨の中、ルーフ システムの操作をしたときに損傷する恐れがあります。

- ▶ 雨の際は、ルーフ システムを直ちに閉じてください。

#### i インフォメーション

ルーフ システムは、挟み込み防止機能を備えています。閉操作中にルーフに障害物があると、すぐにまた開きます。

ルーフ システムは、極端に走行速度が速い場合や気温が極端に低い場合には作動しません。

### ルーフ システムの開閉

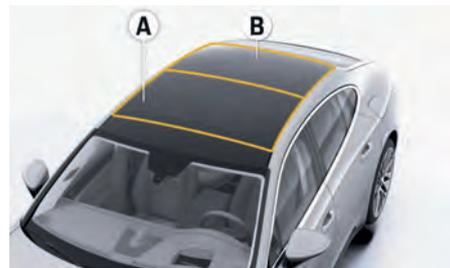


図. 29: パノラミック ルーフ

- A スライディング / チルティング ルーフ エLEMENT
- B 固定ガラス エLEMENT

ルーフ エLEMENT A は、車両の縦方向に動かすことができます。また、持ち上げることもできます。

ルーフ エLEMENT B は、固定ガラス エLEMENT です。

#### ▲ 警告

ルーフ システムを緊急に閉じる

ルーフ システムを緊急に閉じる場合、閉じる力が必要に応じて徐々に増加します。

- ▶ 誰も怪我をしたり、挟まれたり、押しつぶされたりしないように注意してください。

### ① インフォメーション

ルーフトランスポートシステムが取り付けられている場合、ルーフを開くことはできません。

- ✓ 作動待機が ON になっている。  
- または -  
イグニッションを OFF にしてから 10 分以内。
- ✓ 運転席 / 助手席ドアがまだ開いていない。



図. 30: ルーフシステムの開閉

ボタンには**2-段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、ボタンを操作する際にはっきりと感じ取れます。

走行速度によっては、風の音がすることがあります。

### 第1段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ボタンを1段階目の位置まで該当する方向へ押すか、または引いてください。
  - ➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

### 2段階目 - ワンタッチ操作

1. 2段階目まで該当する方向へボタンを完全に押し下り引いたりしてください。
  - ➡ ルーフシステムが停止位置まで自動的に開閉します。
2. ルーフシステムを希望の位置で停止させるため、ボタンを再度押します。

### 挟み込み防止機能が繰り返し介入した後に閉じる

閉操作が障害によって阻害された場合、ルーフシステムは手で強く押して手動で閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. ルーフシステムが閉位置で止まるまで、ボタンを閉じる方向に押し続けてください。

### 傾斜位置でルーフシステムとサンブラインドを開ける

ルーフシステムを傾斜位置で開けると、サンブラインドは自動的に約 10 cm 開き、手動であっても完全に閉じることはできません。

### キーによるルーフシステムの開閉

#### ルーフシステムを開く

- ▶ 希望の位置になるまでキーの ボタンを押し続けます。

#### ルーフシステムを閉じる

- ▶ 希望の位置になるまでキーの ボタンを押し続けます。
  - ➡ すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが1度点滅します。

### ドアハンドルの近接センサーでルーフシステムを閉じる

- ✓ ボルシェ コンフォート アクセス
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ▶ 希望の位置に達するまでドアハンドルの近接センサーを押します。
  - ➡ すべてのウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが1度点滅します。

### サンブラインドの開閉操作

リヤサンブラインドは、リヤコントロールパネルを使用して操作することもできます。

チャイルドプロテクションが有効な場合、リヤサンブラインドはオーバーヘッドコンソールスイッチを使用してのみ操作できます。



図. 31: サンブラインドの開閉操作

- A フロントサンブラインド
- B リヤサンブラインド

ボタンには**2-段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

## 第1段階－手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで該当するスイッチを押したり引いたりします。
  - ➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

## 2段階目－ワンタッチ操作

1. 2段階目まで該当するボタンを押したり引いたりしてください。
  - ➡ サンブラインドが自動的にいっぱいまで開閉します。
2. サンブラインドを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度操作します。

## ルーフシステムおよびサンブラインドを閉じる

- ルーフシステムを閉じているときにサンブラインドを閉じると(ワンタッチ操作)、ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。
- サンブラインドを閉じているときにルーフシステムを閉じると(ワンタッチ操作)、サンブラインドの開動作は中断されます。ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。

## ルーフドライブメカニズムが故障している場合のルーフシステムの閉操作

ルーフシステムを修理するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ルーフシステムの停止位置およびサンブラインドの停止位置の保存



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサンブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

## ルーフシステムの停止位置の保存

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ 作動待機がONになっている。

1. オーバーヘッドコンソールの(図. 30)を下向きに長押しします。
  - ➡ 約10秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。
2. ルーフシステムの動きが完全に止まるまでボタンを引きます。
  - ➡ この開作動と保存のプロセスは最大45秒で完了します。

## サンブラインドの停止位置の保存

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ 作動待機がONになっている。
- ✓ サンブラインドが閉じている。

- ▶ 閉じるには、該当するボタン(図. 31)を押すか引いた状態で保持してください。
  - ➡ 約10秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。

## サンブラインドの清掃



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサンブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ 作動待機がONになっている。

1. ルーフシステムを全開にします。
2. 可能な限りサンブラインドを閉じます。
3. サンブラインド(図. 31)のAボタンを押します。
  - ➡ サンブラインドが10秒後に閉じ始めます。
4. サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
5. 汚れを取り除きます。

## 清掃機能の終了

- ▶ 発進します。
  - または-
  - ルーフシステムを操作します。
  - または-
  - サンブラインドを操作します。

## セントラルロック

### 概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要は「セントラルロック」の章に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 32: キー

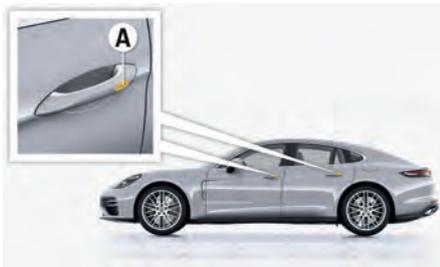


図. 33: コンフォート アクセス

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
ロック解除	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。</li> </ul> ポルシェ コンフォート アクセス装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルをしっかりと握ってください。</li> </ul>	ハザード ライトが1回点滅します。 ドアおよびリヤリッドを開くことができます。	▶ P. 45
ロック	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。</li> </ul> ポルシェ コンフォート アクセス装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルの近接センサー A (図. 33) に触れてください。</li> </ul>	ハザード ライトが2回点滅します。ドアとリヤリッドがロックされ、車内からドアハンドルを引いてもドアを開くことはできません(セーフロック)。	▶ P. 45

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
<p>人/動物を車両に残してロックする</p> <p>▶ セーフロックと警報システムの車内モニタリングシステムを OFF にします。</p>	<p>キーを使用する：</p> <p>▶ キーの  ボタンを 2 回押してください (約 2 秒以内)。</p> <p>ポルシェ コンフォート アクセス装備車：</p> <p>▶ ドアハンドルにあるタッチ センサー A (図. 33) に 2 回触れてください (約 2 秒以内)。</p>	<p>ハザード ライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。</p> <p>ドアとリヤリッドがロックされます。</p> <p>ドアはインナー ドアハンドルを引くことにより、車内から開くことができます。車内からドアハンドルを引くと、警報システムが作動します。</p>	▶ P. 45
警告システムの警告音を OFF にする	▶ キーの  ボタンを押してください。 -または- イグニッションを ON にします。	警告音が OFF になります。	▶ P. 31

## セントラル ロッキング システムの使用

### インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

車両装備により、キーを使用して、またはキーを使用せずにポルシェ コンフォート アクセスで、ドアのロック解除およびロックができます。

車両のロックを解除する際、運転席ドアとフィラー フラップのみを解除するか、または車両全体のロックを解除するかを指定できます。

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

選択した設定にかかわらず、両側のドアをロック解除できます：

- ▶ キーの  ボタンを 5 秒以内に 2 回押してください。

### インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されています。

### ポルシェ コンフォート アクセス<sup>1</sup>

ポルシェ コンフォート アクセス装備車は、キーを使用せずにロックおよびロック解除ができます。ただし、常にキーをズボンのポケットなどに入れて携帯する必要があります。

ドアハンドルの汚れがひどいと、コンフォート アクセス機能が制限されることがあります。

### キーを使用するコンフォート アクセスの解除

第三者による車両の不正なロック解除および始動を防ぐため、キーを使用してコンフォート アクセス機能を一時的に停止することができます。

- ▶ キーのインジケータ ライトが点灯し続けるまで、ボタン  とボタン  を同時に押します。
  - ➔ キーのインジケータ ライトが点灯し続けている間は、解除されていることを示しています。

キーのボタンを押すと、コンフォート アクセス機能が自動的に起動します。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。ポルシェ コンフォート アクセスに悪影響を与える場合があります。

## ドアのロック解除とロック

### ドアのロック解除

### インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはトランク リッドを 45 秒以内に開かなかった場合、車両は自動的に再ロックされます。

1. コンフォート アクセス システムは最先端技術です。しかし、無線キーのキー コードが傍受され、使用されて車両の盗難にあう、といった可能性を完全に排除できていません。

**i** インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

キーによるドアのロック解除



図 34: キーによるドアのロック解除

1. ボタンを押してください。  
 ➔ ハザードライトが1回点滅します。  
 設定によっては、車両のロックが解除されます。
2. ドアハンドルを引いてください。

ドアハンドルの近接センサーによるドアのロック解除



図 35: ボルシェ コンフォートアクセス装備車でのドアロック解除

- ✓ ボルシェ コンフォート アクセス
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

1. 機能を事前に有効にします。

▶ 設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ ドアのロック解除

2. キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドアロックを解除することができます。  
 ドアハンドルをしっかり握ってください。作動中にドアハンドル前部の近接センサーに触れないでください。  
 ➔ ハザードライトが1回点滅します。  
 設定によっては、車両のロックが解除されません。

3. ドアハンドルを引いてください。

**i** インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は次第に OFF になります。その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車内からのドアのロック解除



図 36: ドアパネルのセントラルロック ボタン

- ▶ ドアパネルの ボタンを押してください。  
 –または–  
 インナー ドアハンドルを引いてください。  
 ➔ すべてのドアとリヤリッドのロックが解除されます。  
 インジケータライト A (図 36) が消灯します。

**i** インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシーキーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

車両の自動ロック解除

ドアを開けるか、ドアパネルのセントラルロックボタンを押すと、車両が自動的にロック解除されます。

## ドアをロックする

### セーフロックの使用 (国別仕様による)



警告

車外からドアをロックする

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。そのため、ロックする前に車内に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

セーフロック (国別仕様による) を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドア ハンドルとセントラル ロッキング ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。

セーフロックが作動: インナー ドア ハンドルを引いて、**ドアを車内側から開くことはできません**。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。

人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

### キーでドアをロックする

- ✓ 作動モード **P** を選択している。
- ✓ すべてのドアが閉じられていること。
- ▶ ㊦ ボタンを 1 回押してください。
  - ➡ ハザード ライトが 2 回点滅します。

### 車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ㊦ ボタンを 2 秒以内に 2 回押してください。
  - ➡ ハザード ライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。

ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

2. ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

### ① インフォメーション

ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライトは点滅しません。

### ② インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、ハザード ライトが 4 回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約 45 秒以内に開かなかつた場合、車両はロックされません。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にいないことを確認してください。

### ドアハンドルの近接センサーによりドアをロックする

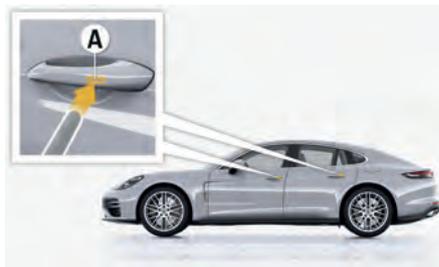


図. 37: ポルシェ コンフォート アクセスによるドアのロック

- ✓ ポルシェ コンフォート アクセス
- ✓ 作動モード **P** を選択している。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ✓ すべてのドアが閉じられていること。
- ▶ ドアハンドルのボタン **A** (図. 37) をタッチしてください。
  - ➡ ハザード ライトが 2 回点滅します。
    - 一時的にドアハンドルでドアを開けられなくなります。車両がロックされたかどうかを確認するには、ドアハンドルを引いてください。

### 車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ドアハンドルのボタン **A** (図. 37) を 2 秒以内に 2 回押してください。
  - ➡ ハザード ライトが 2 回短く点滅し、その後 1 回長く点滅します。
    - ドアはロックされますが、インナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。
2. ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

### ① インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライトは点滅しません。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

## 車内からドアをロックする

- ✓ ドアが閉じられていること。
- ▶ ドアパネルの  ボタンを押してください。
  - ➔ すべてのドアとリアリッドがロックされます。フィラーフラップはロックされません。インジケーターライト A (図. 36) が点灯します。
  - インナー ドア ハンドルを引くことによるのみ、車内からドアを開くことができます。

## 自動ロック

- ✓ 機能が作動していること。
- 速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。
- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## ドアを閉じる (ソフトクローズ装備車)



**注意**

パワー クロー징 メカニズム

ドアが押されるかまたはロックに少し引かれる場合、ドアは自動的にロックされるまで完全に引かれます。

- ▶ ドアと車両固定部間に指を挟まないように注意してください。
- ▶ パワー クロー징 メカニズムの可動部品 (ロックのロータリー ラッチ) の近くに物を置いたり、手足を近づけたりしないでください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

ソフト クローズ装備車には、4 つのドアすべてにパワー クロー징 メカニズムが備えられています。

- ▶ ドアがロックする方向に静かに押し込むか引っ張ります。
  - ➔ ドアは自動的に引かれて閉まります。

## 緊急時の開作動の中断

- ▶ 内側のドア オープナーを引きます。  
- または -  
外側のドア ハンドルを引きます。

## チャイルド ロックの作動 / 解除

リヤ ドアは、車内から開けられないようにロックできます。

チャイルド ロックは、リヤ ドアのロック部分に設置されています。

## ソフトクローズ非装備車のチャイルド ロック機能の作動 / 解除



図. 38: 右リヤドアのチャイルドロック

## 作動

- ▶ エマージェンシー キーを使用して、右リヤ ドアのチャイルド ロックは反時計回りに約 45°、左リヤ ドアのチャイルド ロックは時計回りに約 45° 回してください。
  - ➔ チャイルド ロックが作動すると、スロットが縦位置になります。
  - リヤ ドアを内側から開くことはできません。

## 停止

- ▶ エマージェンシー キーを使用して、右リヤ ドアのチャイルド ロックは時計回りに約 45°、左リヤ ドアのチャイルド ロックは反時計回りに約 45° 回してください。
  - ▶ 32 ページの「キー」の章を参照してください。
  - ➔ リヤ ドアを内側から開くことができます。

## ソフトクローズ装備車のチャイルド ロック機能の作動 / 解除

チャイルド ロックはチャイルド プロテクションと連動して作動します。

- ▶ 36 ページの「リヤでの操作を無効にする - チャイルド プロテクション」の章を参照してください。

チャイルド ロックが故障した場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## セントラルロック設定の調整

セントラルロックの動作の設定は、PCMで調整できます。例：

- ドアのロック解除 (運転席ドアのみ、サイド選択、すべてのドア)。
- 速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。
- ロック / ロック解除時のドア ミラーの自動格納および復帰

▶  ▶  設定 ▶  車両 ▶  車両ロックシステム

## ドアの緊急ロック解除および緊急ロック

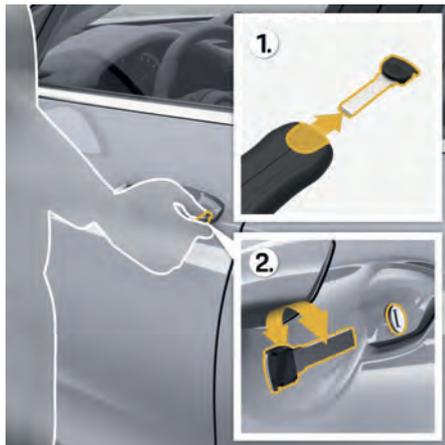


図. 39. 緊急ロック解除 / 緊急ロックの実行

キーのリモートコントロールが機能しない場合、リモートコントロールなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

### 緊急ドアロック解除の実行

- ▶ リヤウィンドウの右上にキーを置き、同時に  ボタンを押してください。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。  
▶ 32 ページの「キー」の章を参照してください。
2. ドアハンドルを引いたままにしてください。
3. ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向くようにして、エマージェンシーキーを挿入してください。

4. エマージェンシーキーを、最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. アラームシステムの作動を回避するため、15 秒以内にイグニッションを ON にしてください。

### インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

### 緊急ドアロックの実行

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。  
▶ 32 ページの「キー」の章を参照してください。
2. ドアハンドルを引いたままにしてください。
3. ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向くようにして、エマージェンシーキーを挿入してください。
4. ドアを開けた状態で、エマージェンシーキーを最初に抵抗を感じるところまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. ドアを閉じてください。
7. 車両がロックされているか確認してください。

### インフォメーション

セントラルロックが故障した場合、セントラルロックシステムすべてのファンクションロックは運転席のドアロックからロックすることができます。

- ▶ セントラルロックシステムの故障は修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### セントラルロックシステムが故障した場合のドアの緊急ロックの実行

- ✓ 助手席ドアおよびリヤドアに対して、この手順を行ってください。

1. ドアを開けます。



図. 40. 緊急ロック解除 / 緊急ロックの実行

2. クリップを外し、カバーを取り外してください。



図. 41: 助手席ドアの緊急ロック

3. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
4. エマージェンシーキーを使用して、キースイッチを車両の外側方向に回してください。
5. カバーを再度取り付けてください。
6. それぞれのドアを閉じます。
7. すべてのドアがロックしているか確認してください。  
 ▶ ドアはインナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

### **i** インフォメーション

緊急ロック機能は、車両を駐車する際にドアをロックする場合にのみ使用してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

## ラジオ アンテナの取り付け位置



**警告**

電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ アンテナから約 22 cm の距離を維持してください。
- ▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。



図. 42: ラジオ アンテナの取り付け位置

装備によってはラジオ アンテナ A▶ (図. 42) の数が異なる場合があります。

- ▶ 264 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

# エアコンおよび人間工学

## エアバッグ

### 一般的な安全に関する指示



危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合のみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

エアバッグは、衝突の強さおよび角度に応じて作動しません。最適な保護機能を提供するため、エアバッグは非常に高速で展開する必要があります。シートベルトを着用していない、不適切なシート位置が想定される、または乗員がエアバッグに近すぎる場合、エアバッグの展開時に正しく保護効果を発揮できず、ケガや死亡の危険性があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようにしてください。
- ▶ 保護効果を発揮するには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。シート位置が不必要にエアバッグに近くならないようにします。
- ▶ ドアの内側(エアバッグが膨らむエリア)にもたれかからないでください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。

- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ シートバックレストには何も掛けないでください(ジャケットやコートハンガーなど)。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

### エアバッグの機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、ドライバーや乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を保護します。

**フロントエアバッグ**は、運転席側のステアリングホイールパッドの下、助手席側のダッシュボード、運転席側と助手席側の膝の高さに取り付けられています。

フロントシートの**サイドエアバッグ**は、バックレストの側面に取り付けられています。リヤシートのサイドエアバッグ(装備により異なる)はサイドボルスター内にあります。

**ヘッドエアバッグ**はサイドルーフレームに取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度や力に応じて作動します。



危険

作動済みのエアバッグを作動させることはできません。

エアバッグは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバッグは直ちに取替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



危険

エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

## 助手席エアバッグを OFF にする



危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

作動待機が確立されていて助手席エアバッグが OFF のときに PASSENGER AIR BAG OFF ライトが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 54 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

## 故障の認識

エアバッグシステムが故障した場合、インストルメントクラスターの赤いエアバッグ警告灯によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない。
- または-  
イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない。
- または-  
走行中に警告灯が点灯する。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## インテリアライト

### インテリアライトの ON/OFF の切り替え



図. 43: インテリアライトの操作

- A フロント インテリアライト用ボタン
- B 左フロント読書灯用ボタン
- C 右フロント読書灯用ボタン
- D リヤインテリアライト用ボタン (装備によって異なる)



図. 44: 読書灯の操作

## インテリアライトのON/OFFの切り替え

### インテリアライト

- ▶ ボタン **A** (図. 43) または **D** (図. 43) を押してください。

## 読書灯のON/OFFの切り替え

### フロント読書灯

- ▶ ボタン **B** (図. 43) または **C** (図. 43) を押してください。

### リヤ読書灯

- ▶ 該当するドアの上のボタン **E** (図. 43) を押してください。

## 明るさの調節

- ▶ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも 1 秒間押し続けてください。

## インテリアライトのON/OFFの自動切り替え

- ▶ **設定** ▶ **車両** ▶ **ライトと視界** ▶ **インテリアライト** ▶ **ドアを開いている間作動**。

暗い場合、インテリアライトは以下の状況でONになります。

- 車両のロックが解除されている場合、またはドアが開いている場合
- イグニッションをOFFにした後で、運転席シートベルトが着用されていない場合

インテリアライトは以下の状況では、再びOFFになりません。

- すべてのドアを閉じた後
- イグニッションをONにした直後

- 車両をロックした直後
- ONにしてから約 10 分後(自動)

インテリアライトの遅延消灯が設定できます。

- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 明るさの調節

- ▶ **設定** ▶ **車両** ▶ **ライトと視界** ▶ **インテリアライト** ▶ **明るさ**。

## アンビエントライトのON/OFFの切り替え

### アンビエントライトのON/OFFの切り替え

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**
2. **ライトをONにする**を選択します。

## アンビエントライトの色の設定

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**。
2. **色**を選択します。
3. **希望のライトの色を設定**してください。

## アンビエントライトの明るさ調節

### 車室内全体の明るさ設定

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**。
2. **全体の明るさ**を選択します。

3. **明るさを希望の値に設定**してください。

## 車内の各エリアの明るさの設定

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**。
2. **ルーフ、ドア、センターコンソール**または**フットウェル**を選択します。
3. **明るさを希望の値に設定**してください。

## チャイルドシート

### 一般的な安全に関する指示

#### ⚠ 危険

チャイルドシートの誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。

チャイルドシートが車種に適していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ推奨のチャイルドシートは、テストが実施されており、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席で使用するときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてから行ってください。

ポルシェでは、ポルシェテクニク製品製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。

取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ 国によって異なる基準および規則を遵守してください。

#### ⚠ 危険

助手席のチャイルドシート

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは**使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お子様が致命傷または重傷を負う危険があります。**
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

▶ 57 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 52 ページの「助手席エアバッグをOFFにする」の章を参照してください。

▶ 身長 150 cm 未満または 12 歳未満の子供は、適切なチャイルドシートがないと乗車することができません。国別の法律を遵守してください。これらは異なる場合があります。

▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ずOFFにしてください。



図. 45: エアバッグ警告ラベル



図. 46: サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグ警告と警告標識付きラベル A (図. 46) を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

この章の説明は UN-R 14 または UN-R 145 の要件に準拠しています。

### チャイルドシート正しい使用

チャイルドシートは、万一の事故の際に負傷するリスクを軽減します。そのため、お子様を必ずチャイルドシートに乗せてください。

このセクションは、1 つずつ遵守していただく必要のある 3 つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の 3 つの項目すべてを注意深くお読みください。

- 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用
  - ▶ 55 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。
  - ▶ 57 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- チャイルドシートを確実に固定して取り付けてください。
  - ▶ 59 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

## 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、チャイルドシートが正しく取り付けられており、取り付け位置が適切であることも確認してください。
  - ▶ 57 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
  - ▶ 59 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。



図. 47: チャイルドシートの ECE ラベルの例

- A サイズグループ
  - B 「汎用 (ユニバーサル) または「準汎用 (セミユニバーサル)」マーク
  - C 体重グループ
- ▶ 準汎用 (セミユニバーサル) 認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

### チャイルドシートの体重グループによる分類

グループ0 および 0+ のお子様：13 kg まで (i-Size システム、ISOFIX システム、車両のシートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

### 体重グループ I のお子様：9~18 kg (i-Size システム、ISOFIX システム、または車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

### 体重グループ II のお子様：15~25 kg (車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

### 体重グループ III のお子様：22~36 kg (車両のシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

### チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
- B ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1 ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B2 ISO/B2：バックレスト付き前向き i-Size ブースターシート
- C ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
- D ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- D1 ISO/R2X：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- E ISO/R1：後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート

**F** ISO/L1：左向きチャイルドシート (ベビー キャリア)

**G** ISO/L2：右向きチャイルドシート (ベビー キャリア)

**バックレスト装備または非装備のブースターシート**

ISO/B2：前向きチャイルドシート (バックレスト装備

または非装備のブースターシート)、減少幅 440 mm

ISO/B3：前向きチャイルドシート (バックレスト装備  
または非装備のブースターシート)、全幅 520 mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

**体重およびサイズグループの概要**

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ/ISOFIXグループ
グループ0 0 ~ 10 kg	左向き	F/L1
	右向き	G/L2
	後ろ向き	E/R1
グループ0+ 0 ~ 13 kg	後ろ向き	C/R3
		D/R2
		E/R1
グループ1 9 ~ 18 kg	前向き	A/F3
		B/F2

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ/ISOFIXグループ
グループII 15 ~ 25 kg	後ろ向き	B1/F2X
		C/R3
		D/R2
グループIII 22 ~ 36 kg	前向き	—
	後ろ向き	—
i-Size チャイルドシート	後ろ向き	-/R2X
	前向き	-/B2, F2X
ブースターシート	前向き	-/B2, B3

## チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底

- ▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルド シートが正しい体重およびサイズ グループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ 55 ページの「適切な体重およびサイズ グループのチャイルド シートの使用」の章を参照してください。
- ▶ 59 ページの「チャイルド シートの正しい取り付け」の章を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルド シートを使用する方法の概要です。

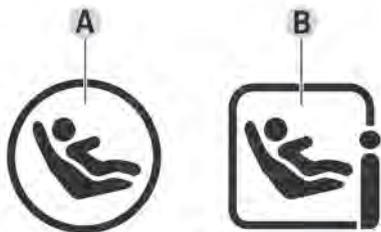


図. 48: ISOFIX および i-Size のシンボル

- A** ISOFIX チャイルド シートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)
- B** i-Size チャイルド シートのアタッチメントのシンボル (国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルド シート用の標準化されたアンカー システムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルド シートおよび i-Size チャイルド シートは、i-Size のアンカー ポイントに取り付けることができます。

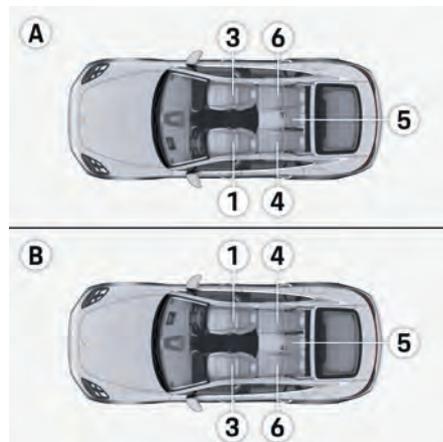


図. 49: リヤシート 3 席装備車にチャイルド シートを取り付けるためのシート番号

**A** リヤシート 3 席装備の左ハンドル車

**B** リヤシート 3 席装備の右ハンドル車

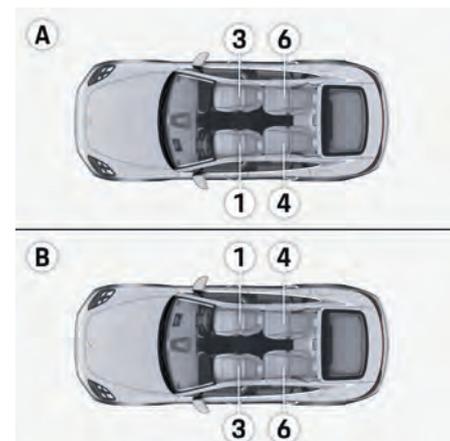


図. 50: リヤシート 2 席装備車にチャイルド シートを取り付けるためのシート番号

**A** リヤシート 2 席装備の左ハンドル車

**B** リヤシート 2 席装備の右ハンドル車

	i-Size システムによる固定	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置	なし	3、4、5 <sup>1</sup> および 6	4 および 6

1. シート 5 は、リヤシート 3 席装備車でのみ使用可能で、車両のシートベルトで固定されるチャイルド シートの取り付けのみに適しています。

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 <sup>1</sup>	4 <sup>2</sup>	5 <sup>3</sup>	6 <sup>2</sup>
シートベルトによる固定	いいえ	はい	はい	はい	はい
ISOFIX の取り付け位置	いいえ	はい <sup>4</sup>	はい	いいえ	はい
i-Size の取り付け位置	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
横向きのチャイルドシート	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	いいえ	R2X	R2/R3	R2 <sup>5</sup>	R2/R3
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	いいえ	F2X	F3	F2 <sup>5</sup>	F3
適切なチャイルドシートで最大のもの（バックレスト装備または非装備のブ ースターシート）（B2/B3）	いいえ	B3	B3	B3	B3

いいえ シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

▶ 59 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け」の章を参照してください。

### 助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用 (U) または「準汎用」(L) 認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

**X:** シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

**U/L:** 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

1. 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。
2. この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適しています。
3. この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。
4. 可 ISOFIX マウント ブラケットによる固定（国別仕様および装備による）
5. シートベルトによる固定

グループ	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ ON
グループ0： 0～10 kg	X	U/L
グループ0+： 0～13 kg	X	U/L
グループ1： 9～18 kg	X	U/L
グループ1： 9～18 kg	U/L	U/L
グループII： 15～25 kg	U/L	U/L
グループIII： 22～36 kg	U/L	U/L

## チャイルド シートの正しい取り付け

- ▶ チャイルド シートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズグループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
  - ▷ 55 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルド シートの使用」の章を参照してください。
  - ▷ 57 ページの「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- ▶ チャイルド シートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。

## ベビー キャリア

サイズ分類 F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルド シート (ベビー キャリアなど) は、通常いかなるシートにも使用しないでください。

▷ 57 ページの「チャイルド シートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

ポルシェでは、ポルシェ テクニップメント製品のチャイルド シートを使用することを推奨いたします (例：Porsche Babyseat ISOFIX GO+)。

## 助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え

 **危険** 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルド シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルド シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



図 51: 助手席エアバッグを OFF にする

✓ イグニッションが OFF になっている。

1. グローブボックスを開いてください。

## 2. 情報

キースイッチおよびエアバッグシステムが損傷する危険があります。

- ▶ エマージェンシーキーは必ず、キースイッチにいったん押し込んでから回してください。キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずですが。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションが OFF のときにのみ、ON または OFF に切り替えてください。

キーからエマージェンシーキーを取り外してください。

▶ 32 ページの「キー」の章を参照してください。

3. エマージェンシーキーをキースイッチにいったんまで押し込んでください。

4. **危険** 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシーキーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

エマージェンシーキーを回し、助手席エアバッグを OFF (スイッチ位置 OFF) または ON (スイッチ位置 ON) にしてください。

5. エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。

6. グローブボックスを閉じます。

## PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータ

助手席エアバッグ OFF/ON インジケータは、オーバーヘッドコンソールにあります。

**OFF** **ライト作動点検**  
イグニッションを ON にすると、ライト作動点検のために PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータが約 5 秒点灯します。

**OFF** **助手席エアバッグ OFF**  
助手席エアバッグを OFF にすると、イグニッションが ON のときやエンジンが作動しているときは、PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが継続的に点灯します。

**ON** **助手席エアバッグ ON**  
助手席エアバッグを ON にすると、イグニッションが ON のときは PASSENGER AIR BAG ON インジケータが点灯し、約 1 分後に消灯します

**危険** 助手席エアバッグの故障と作動不良

作動準備が確立されて助手席エアバッグを OFF にしたときに PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが点灯しない場合は、システムに不具合が生じている可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## i-Size または ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け

▶ 55 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

- ▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

### 助手席へのチャイルド シートの取り付け

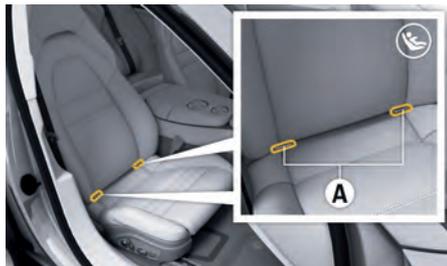


図. 52: 助手席シートの ISOFIX アンカー システム (装備により異なります)

ISOFIX チャイルド シート用アンカー システムのリテーニング ラグ A (図. 52) の位置を示すマークは、リヤシートのバックレストおよび助手席のシート面の間にあります (国別仕様により異なります)。

1. エマージェンシー キーを使用して、助手席エアバッグを **OFF** にしてください。
  - ◆ オーバーヘッド コンソールの**助手席エアバッグ OFF** 警告灯が点灯します。
2. チャイルド シートを付属の説明書に従ってリテーニング ラグ A (図. 52) に固定してください。
3. チャイルド シートを引っ張って、両側のアンカーポイントが確実に固定されているか点検してください。

### リヤシートへのチャイルド シートの取り付け

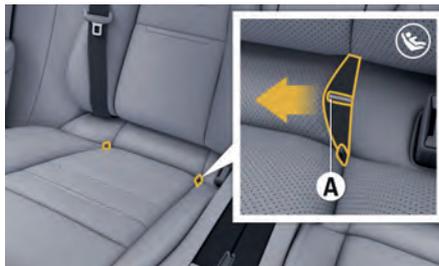


図. 53: リヤシートの ISOFIX アンカー システム

チャイルド シート用 ISOFIX アンカー システムのリテーニング ラグ A (図. 53) の位置を示すマークは、シート面にあります。

1. チャイルド シートを付属の説明書に従ってリテーニング ラグ A (図. 53) に固定してください。
2. チャイルド シートを引っ張って、両側のアンカーポイントが確実に固定されているか点検してください。

### ISOFIX トップテザー付きチャイルド シートの取り付け



図. 54: リヤシート 2 席装備車： ISOFIX リテーニング ラグ (トップテザー) の固定位置



図. 55: リヤシート 3 席装備車： ISOFIX リテーニング ラグ (トップテザー) の固定位置

- ▶ ISOFIX トップテザー付きチャイルド シートを使用する場合は、トップテザーをリヤシート後部の固定位置に装着してください。



図 56: ISOFIX リテーニング ラグ(トップテザー) 付きチャイルドシートの取り付け



図 57: ISOFIX トップテザーの取り付け

1. チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A (図. 56) に固定してください。
2. チャイルドシートを引っ張って、両側のアンカーポイントが確実に固定されているか点検してください。
3. ISOFIX トップテザー B (図. 56) をヘッドレストに通してください。

4. ISOFIX トップテザー B (図. 56) をバックレスト後方の固定箇所に取り付け、トップテザーを締め付けてください。

## エアコン システム (2-/4- ゾーン エアコン)

### 概要 - エアコン

#### フロントコントロールパネル

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

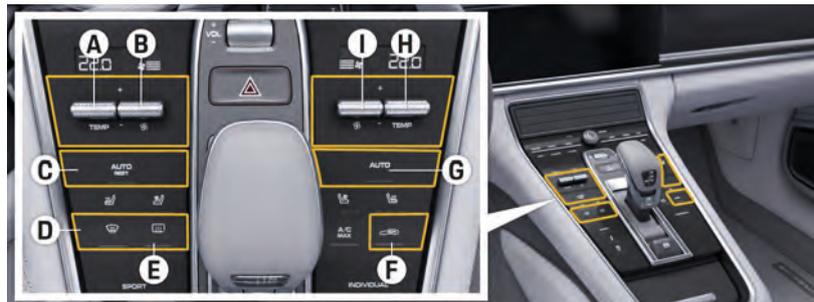


図. 58: 概要 - フロントエアコン

希望する操作	操作方法	操作箇所
オート モードを ON にする	左側はボタン C (図. 58)、右側はボタン G (図. 58) を押してください。	▷ P. 67
温度の設定	左側はボタン A (図. 58)、右側はボタン H (図. 58) を押してください。	▷ P. 67
オート モードで風量を設定する	🏠 ▶ エアコン 📉 ▶ 🌀	▷ P. 67
フットウェル温度の設定 <sup>1</sup>	🏠 ▶ エアコン 📉 ▶ 🪑	▷ P. 67
風量を設定する	左側はボタン B (図. 58)、右側はボタン I (図. 58) を押してください。	▷ P. 67
送風口を調節する	🏠 ▶ エアコン 📉 ▶ 🪑、🪑 または 🌀	▷ P. 67
センターエアベントを調節する	🏠 ▶ エアコン 📉	▷ P. 67
フロント ウィンドウデフロッスター	ボタン D (図. 58) を押してください。	▷ P. 67
リヤウィンドウヒーターおよびドア ミラーヒーターを ON にする	ボタン E (図. 58) を押してください。	▷ P. 67

1. 必要条件：4 ゾーンエアコン

希望する操作	操作方法	操作箇所
手動で内気循環モードを ON にする	ボタン F (図. 58) を押してください。	▷ P. 66



図. 59: 概要 - リヤエアコン

### リヤコントロールパネル(4ゾーンエアコン)

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

希望する操作	操作方法	操作箇所
オートモードをONにする	左側はボタンC(図. 59)、右側はボタンD(図. 59)を押してください。	▶ P. 66
温度の設定	左側はボタンA(図. 59)、右側はボタンE(図. 59)を押してください。	▶ P. 67
オートモードで風量を設定する	ボタン <b>CLIMATE</b> ▶	▶ P. 67
風量を設定する	左側はボタンB(図. 59)、右側はボタンF(図. 59)を押してください。	▶ P. 67
送風口を調節する	ボタン <b>CLIMATE</b> ▶ 、または	▶ P. 67
センターエアベントを調節する	ボタン <b>CLIMATE</b> ▶ エアコン	▶ P. 67

## 作動原理

オートモードでは、車内温度、日射量、空気の状態など、様々な環境条件に応じて、エアコンシステムが送風口や送風量を完全に全自動で制御します。

イグニッションをONにすると、どのキーが使用されたかに関わりなくLastMode(最後に選択した設定)のエアコンの設定が呼び出されます。

エアコンシステムの設定を手動で調整すると、オートモードが直ちに解除されます。

エアコンシステムは、センターコンソールのボタンおよびダッシュボードと後部のタッチディスプレイを介して操作することができます(装備により異なります)。

エアコンシステムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合：

- ▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

バッテリー電圧が低すぎると、最初エアコン機能が制限され、その後OFFになります。

## 2ゾーンエアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは、**左**および**右**の空調エリアに対して個別に設定できます。

## 4ゾーンエアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは**左前**、**右前**、**左後**、および**右後**の空調エリアに対して個別に設定できます。

## エアコンのON/OFFの切り替え

### 車両全体のエアコンのON/OFFの切り替え

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

- ▶  ▶ エアコン  ▶ OFF

### リヤエアコンシステムのON/OFFの切り替え

リヤのタッチディスプレイ：

- ▶ ボタン **CLIMATE** ▶ エアコン  ▶ OFF

リヤの空調エリアへの風量を少なくしたり、リヤエアコンシステムをOFFにしたりしても、フロントの空調エリアの快適性は向上しません。

### オートモードをONにする

フロントおよびリヤの空調エリアは、個別にオートモードに切り替えることができます。

- ▶ フロントまたはリヤのコントロールパネルにある、該当する空調エリアのボタン **AUTO** を押してください。
  - ➔ ボタン **AUTO** のインジケーターライトが点灯します。風速および送風口が自動的に制御されます。

必要であれば、自動システムを手動で制御できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または **AUTO** ボタンを押すまで設定が維持されます。

### 冷房機能のON/OFFの切り替え

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房の出力は自動制御されます。

- ▶  ▶ エアコン  ▶ A/C
  - ➔ 冷房機能はONまたはOFFに切り替えることができます。

### 最大冷房出力のON/OFFの切り替え – A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、最大出力で車内が冷却されません。



図. 60: A/C MAXモードの起動と停止

### 最大冷房出力をONにする

- ▶  ボタンを押してください。
  - ➔ ボタンのインジケーターライトが点灯するか、消灯します。

A/C MAXモードがONまたはOFFです。

–または–

- ▶  ▶ エアコン  ▶ A/C最大
  - ➔ A/C MAXモードがONまたはOFFです。

## リアのタッチディスプレイで最大冷房出力の ON/OFF を切り替える

✓ エグゼクティブ車両

- ▶ ボタン **CLIMATE** ▶ エアコン  ▶ A/C 最大
  - ➔ 最大出力で車内が冷却されます。ここでは、リアの空調ゾーンに注目します。

## エアコンシステムの操作

### 温度の設定

温度は 16 °C~29.5 °C の範囲に設定できます。推奨：22 °C

温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

### インフォメーション

**Eハイブリッド車両**：E-POWER 走行プログラムでは、電動走行可能距離向上のため外気温度の低い状態（約 0 °C 以下）でのヒーター出力が減少します。そのため、車内がなかなか温まらないなど、快適性に限界が生じる可能性があります。

別の走行プログラムを選択することによって、最大ヒーター出力が可能です。

▶ 109 ページの「モードスイッチでの走行プログラムの選択」の章を参照してください。



図. 61: フロントの温度および風量の設定



図. 62: リアの温度および風量の設定（4ゾーンエアコン）

### 温度を上げる / 下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン **TEMP** を押して調節してください。
  - ➔ 選択した温度は、該当する空調エリア用ボタンの上にあるディスプレイに表示されます。

ディスプレイに LO または HI が表示された場合、エアコンは冷房 (LO) または暖房 (HI) の最大出力で作動しています。このときオートモードは OFF になります。

1 つの空調エリアが LO または HI に設定されている場合、車両のすべての空調エリアも LO または HI に切り替わります。

## 風量の調整

### 送風量を上げる / 下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン  を押して調節してください。
  - ➔ 設定した風量はボタン  の上のバーディスプレイに表示されます。バーの数が増えるほど、車室内への風量が多いことを示します。

**AUTO** ボタンを押すと、オートモードに戻ります。

エアコンディスプレイに **OFF** と表示されるところまですべての空調エリアの風量を少なくすると、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが OFF になります。



**警告**

風量 OFF による視界の低下

風量設定を OFF にすると、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を再び強くしたい場合、 ボタンを上方向に押し、オートモードに戻してください。

## エアイベントの調整

エアイベントは手動で開閉することができ、ダッシュボード内とドアピラー上にあります。送風方向も調節可能です。

前部と後部（装備による）のセンターエアイベントは、タッチディスプレイによって電子的にのみ調節できません。

### 情報

エアイベントを損傷する恐れがあります

- ▶ エアVENTに物（携帯電話クレードルや差し込み式のエアフレッシュナーなど）を挟まないでください。
- ▶ 電動エアVENTは、タッチディスプレイでのみ調節できます。
- ▶ エアVENTの電動調節を妨害しないでください（スラットの動きを妨げるなど）。

▶ 68 ページの「センターエアVENTを調節する」の章を参照してください。

## エアVENTの開閉

- ▶ エアVENTの刻み付きホイールを回してください。

## 風向の変更

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

## 外気の取り入れを可能にする

- ▶ フロントウィンドウとボンネットの間の外気導入口を雪、氷、木の葉などが塞がないようにしてください。

## センターエアVENTを調節する

### センターエアVENTのON/OFF切り替え

1.  ▶ エアCON 
2. センターエアVENT  を選択します。

## 個別の気流方向の調節



図 63: フロントの風向の変更

1.  ▶ エアCON  ▶ 送風  
 ➔ 調節可能なエアVENTは、PCM に白い○印で示されています。
2. 目的のエアVENTを選択します。  
 ➔ 選択したエアVENTが赤色に変わります。
3. エアVENTを希望の方向に調節します。

## センターエアVENTの開閉および送風の調節

1.  ▶ エアCON  ▶ 送風  
 ➔ 調節可能なエアVENTは、PCM に白い○印で示されています。
2. 目的のエアVENTを選択します。  
 ➔ エアVENTを調節するためのスライダーが表示されます。  
 選択したエアVENTが赤色に変わります。
3. スライダーを使用して、エアVENTの開き具合を調節します。

## 送風口を調節する

### フロントの送風口の調節

1.  ▶ エアCON  ▶ 、 ですか？あるいは  ですか？
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。

-  フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
-  中央および左右エアVENTからの送風を開始します。
-  フットウェルへの送風を開始します。

## リヤ送風口を手動で調節する

1. ボタンを押してください **CLIMATE**
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。

-  センターエアVENTおよびドアピラーのVENTからの送風を開始します。
-  足元およびドアピラーのVENTからの送風を開始します。

## アッパー換気パネルの調節



図 64: アッパーベンチレーションパネル

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルでも車内への補助的な換気ができます。換気パネルは、個別にON/OFFを切り替えることができます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。ベンチレーションパネルのコントロールを使用して送風方向を設定することができます。

- ▶ ▶ エアコン ▶ ベンチレーション ▶ ... ▶ を選択します。

## エアコンの種類の設定

オートモードでは各空調エリアのために3段階で送風の強さを調節できます。

1. ▶ エアコン ▶
2. 該当する空調エリアに、希望するタイプのエアコンを選んでください。

## EcoモードのON/OFFの切り替え

EcoモードがONの場合、エアコンシステムは最大燃料効率で作動します。燃料消費を低減させるために、車両の快適性を低下させる場合があります（たとえば、車室内が暖まるまで、または冷えるまで時間がかかるなど）。

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

- ▶ ▶ エアコン ▶ A/C/ECO

## フットウェル温度の設定

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

対象：4ゾーンエアコン装備車

フロント空調エリアでは、全体の室内温度とは別に、フットウェル温度を個別に設定できます。

1. ▶ エアコン ▶
2. 該当する空調エリアでの希望するフットウェル温度を選択してください。

## イオナイザーのON/OFFの切り替え

対象：イオナイザー装備車

イオン発生機は、空気の状態が悪い地域—大都市など—において車室内の空気の状態を向上させることができます。

イオン発生機は無臭です。

1. センターベントを開けます。

2. ▶ エアコン ▶ 空気質

- イオナイザーがONになっています。
- イオナイザーがOFFになっています。

## 自動内気循環のON/OFFの切り替え

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5℃を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

- ✓ 対象：イオナイザー装備車

- ▶ ▶ エアコン ▶ 空気質

- 自動内気循環モードがONになっています。
- 自動内気循環モードがOFFになっています。

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

- ✓ 対象：イオナイザー非装備車

- ▶ ▶ エアコン ▶ 送風

- 自動内気循環モードがONになっています。
- 自動内気循環モードがOFFになっています。

## 内気循環モードのON/OFFの手動切り替え



警告

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間ONにすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間ONにしないでください。



図. 65: 内気循環モードのON/OFFの切り替え

手動で内気循環モードをONにする

- ▶ ボタンを押してください。  
 ➔ 内気循環モードをONにすると、 ボタンが赤く点灯します。

### インフォメーション

手動または自動で冷房機能をOFFにすると、約5分後に内気循環モードが停止します。

手動で内気循環モードを OFF にする

- ✓ 対象：イオナイザー装備車
- ▶  ボタンを押してください。  
-または-
- AUTO** ボタンを押してください。  
-または-

▲ ▶ エアコン ↓ ▶ 空気質 ▶ 

手動で内気循環モードを OFF にする

- ✓ 対象：イオナイザー非装備車
- ▶  ボタンを押してください。  
-または-
- AUTO** ボタンを押してください。  
-または-

▲ ▶ エアコン ↓ ▶ 送風 ▶ 

車両全体のエアコン設定の調節 - SYNC モード

ダッシュボードのタッチディスプレイで SYNC モードの ON/OFF を切り替える

- ▶ **▲ ▶ エアコン ↓ ▶ 同期**
  - ➔ SYNC モードを ON または OFF にします。  
SYNC モードが作動すると、他の空調エリアの表示値が運転席の値に変わります。

後部のタッチディスプレイで SYNC モードの ON/OFF を切り替える

- ✓ エグゼクティブ車両
- ▶ **ボタン CLIMATE ▶ エアコン ↓ ▶ SYNC**
  - ➔ SYNC モードを ON または OFF にします。  
SYNC モードが作動すると、他の空調エリアの表示値が右リヤ空調エリアの値に変わります。

ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

- ▶ 車室内の快適性を最大限に高めるには、ダッシュボードのタッチディスプレイで SYNC モードを ON にしてください。
- 4ゾーンエアコン**：リヤ空調エリアへの風量を少なくしたり、リヤエアコンシステムを OFF にしたりしても、フロント空調エリアの快適性は向上しません。

リヤ最適化エアコンの ON/OFF の切り替え

- ✓ エグゼクティブ車両
- ▶ **ボタン CLIMATE ▶ エアコン ↓ ▶ リヤプラス**
  - ➔ リヤのエアコンコンフォートは最適化されています。

リヤ空調エリアをフロントから設定する

4ゾーンオートエアコンでは、ダッシュボードのタッチディスプレイを使用してリヤ空調エリアを調節できます。

1. **エアコン ↓ ▶ 後部**
2. 必要に応じて設定を調節します。

グローブボックスの冷房



図. 66: グローブボックスの開放空気口

- ▶ グローブボックスを冷やすには、エアベントを矢印の方向に開きます。
  - ➔ 冷気は直接グローブボックスに送り込まれます。

## フロントウィンドウ、リヤウィンドウ、ミラーヒーターの操作

### フロントウィンドウデフロスター



図. 67: フロントウィンドウデフロスター

#### デフロストモードをONにする

- ▶  ボタンを押してください。
    - ➡ ボタンのインジケーターライトが点灯します。
- フロントウィンドウおよびフロントサイドウィンドウへの送風を開始します。
- なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロスターモードでは、リヤへのエアの供給が状態に応じて制御されており、曇りを取り除く効果を最大にします。

**4-ゾーンエアコン:** リヤのエアコンコントロールパネルが無効です。

#### デフロストモードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
  - ➡ ボタンのインジケーターライトが消灯します。

## リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターのON/OFFの切り替え



図. 68: リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターボタン

#### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶  ボタンを押してください。
  - ➡ ボタンのインジケーターライトが点灯します。

#### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
  - ➡ ボタンのインジケーターライトが消灯します。

## リモートエアコンのタイマーおよびプレクーリング/ヒーティングの使用

### エンジンの余熱の利用 - REST モード



図. 69: RESTモードの作動および停止

イグニッションをOFFにしてから最大20分間は、作動温度に達しているエンジンの余熱を利用して車内を暖めることができます。

- ✓ イグニッションをOFFにする
- ▶ フロントコントロールパネルのボタン **AUTO REST** を押してください。
  - ➡ ボタンのインジケーターライトが点灯します。RESTモードではエアコンシステムの設定を変更できません。
- ▶ 機能を停止するには、フロントコントロールパネルのボタン **AUTO REST** をもう一度押します。
  - ➡ ボタンのインジケーターライトが消灯します。

## エアコンタイマーおよびプレクーリング/ヒートティングの使用 (E ハイブリッド)

### プレクール/ヒートタイマーの作動および停止

車両プラグが挿入されていなくても、車内温度はプレクール/ヒートタイマーを使用して選択した時間までに事前に調節できます (冷房/暖房)。

タイマーは1回 (シングルタイマー) または定期的 (反復タイマー) のいずれかに設定可能です。補助ヒーターのタイマーは、3つまでプログラム設定できます。

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている (最低10%)。
- ✓ 燃料タンクの残量が少なくない。

1. ▶ エアコン ▶ リモート AC
2. リモートエアコンのプランにチェックマークを付けます。
3. 出発時刻をタッチして希望の時間を設定します。
4. 希望の日付を設定するには、日付をタッチします。
5. 希望のタイマーを繰り返すには、繰り返すにチェックマークを付け、曜日をタッチします。希望の曜日を選択します。

選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大10分後まで維持されます。イグニッションがONの場合、風量、送風方向および温度を個別に調節することができます。

### プレクール/ヒートタイマーの停止

1. ▶ エアコン ▶ リモート AC
2. リモートエアコンのプランのチェックマークを外します。

この操作を行っても、すでに開始されているリモートエアコンが停止されることはありません。

### プレクーリング/ヒートティングをONにする

プレクーリング/ヒートティングは、内燃エンジンが作動していない状態でも、車内を暖めたり冷したりするのに使用することができます。

1. ▶ エアコン ▶ リモート AC
  2. リモート AC エアコン をタップします。
- ➔ プレクーリング/ヒートティングをONにすると、電動走行可能距離が減少します。
- 車両が走行可能状態で、停車している場合、プレクーリング/ヒートティングは30分後までにOFFになります。

### インフォメーション

車内プレクーリング/ヒートティングは、イグニッションをOFFのままにして使用すると、最も効率的に動作します。

### プレクーリング/ヒートティングをOFFにする

1. ▶ エアコン ▶ リモート AC
  2. リモート AC エアコン をタップします。
- ➔ リモートエアコンタイマーによって開始されたプレクーリング/ヒートティングも停止されます。

## ステアリングホイール ステアリングホイールの調節

**警告** 運転中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。

**注意** メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリングホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

### ステアリングホイールの手動調節



図. 70: ステアリングホイールの手動調節用レバー

1. ドライバーから離して、レバーを下方に回転させてください。
2. ステアリングホイールを垂直および平行に動かし、ステアリングホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。

3. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

### ステアリングホイールの電動調節



図. 71: ステアリングホイール調節用スイッチ

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調節してください。

### ステアリングホイール設定の保存

ステアリングホイール設定の保存と呼び出しに関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 74 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

### マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターの操作

インストルメントクラスターの操作に関する詳細なインフォメーション:

- ▶ 148 ページの「インストルメントクラスターの操作」の章を参照してください。

### ステアリングホイールヒーターのON/OFFの切り替え



図. 72: ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ インストルメントクラスターにメッセージが表示されるまで、センターステアリングホイールスポークのボタン(図. 72)を押します。

## パーソナル設定

### 概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 73: 運転席ドアメモリーボタン (運転席およびコンフォートメモリーパッケージ)



図. 74: 助手席ドアのメモリーボタン (運転席およびコンフォートメモリーパッケージ)

どのように設定を保存 / 呼び出しできますか?	どちらの設定を、メモリーパッケージで保存 / 呼び出しできますか?	どの機能ですか?	操作箇所
<p>運転席ドアのメモリー ボタン <b>1</b> および / または <b>2</b>、あるいは <b>3</b> (装備により異なる：助手席ドア、リヤドア) を使用します。</p>	<p><b>人間工学に基づいた設定</b></p>	<p>運転席メモリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 運転席シート</li> </ul>	<p>▷ P. 80</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ドアミラー</li> </ul>	<p>▷ P. 85</p>
	<p>コンフォートメモリーパッケージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 運転席シート、フロント助手席シート、リヤシート (装備により異なる)</li> </ul>	<p>▷ P. 80</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ステアリングホイール</li> </ul>	<p>▷ P. 72</p>
<p>運転席ドアのキー ボタン  を介してキーで行います。</p>	<p><b>人間工学に基づいた設定</b></p>	<p>運転席メモリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 運転席シート</li> </ul>	<p>▷ P. 80</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ドアミラー</li> </ul>	<p>▷ P. 85</p>
	<p>コンフォートメモリーパッケージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 運転席シート</li> </ul>	<p>▷ P. 80</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ドアミラー</li> </ul>	<p>▷ P. 85</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>- ステアリングホイール</li> </ul>	<p>▷ P. 72</p>
	<p><b>コンフォート設定</b> (コンフォートメモリーパッケージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ライト</li> <li>- フロントウィンドウワイパー</li> <li>- セントラルロック</li> </ul>	<p>▷ P. 111</p> <p>▷ P. 126</p> <p>▷ P. 44</p>

## パーソナル設定の保存と呼び出し

人間工学に基づいた設定の機能：シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの設定(装備による)。

人間工学に基づいた設定を運転席と助手席のドアのメモリーボタンで3件まで手動で保存でき、呼び出すことができます(装備による)(図. 73)/(図. 74)。

**コンフォート設定の機能**：ライト設定(オートマチックカミングホームライトの遅延消灯の設定など)、視界の設定(リバースギヤ選択時のリヤワイパー機能など)、およびセントラルロック設定(自動ロックなど)。

ドアのロックを解除し、ドアを開くと、キーに保存された設定が自動的に呼び出されます。複数の人が車両を使用する際、各自が1本ずつ鍵を使用し、専用設定をキーに保存すると便利です。

**運転席メモリーパッケージ**装備車では、最後に選択されたコンフォート設定が自動的に呼び出されます。**コンフォートメモリーパッケージ**装備車では、キーに保存されたコンフォート設定が呼び出されます。

### ① インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。さらにキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

### ▲ 注意

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ メモリーボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押し、必要に応じて**人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能をキャンセル**できます。
- ▶ メモリーボタンかシート調節ボタンのいずれかを押すか、またはPCMにより、必要に応じて**コンフォート設定の自動呼び出し機能をキャンセル**できます。

## コンフォート設定の保存と呼び出し

### コンフォート設定の保存

- ▶ イグニッションをOFFにすると、それまでに行った設定は**自動的に**PCMのドライバープロフィールに保存されます。

### コンフォート設定の呼び出し

- ✓ 車両が停止している。
- ▶ PCMを使用してドライバープロフィールを変更します。  
-または-  
車両をロック解除します。  
➡ ドライバープロフィール設定が呼び出されます。

設定のロードが中断された場合：

- ▶ PCMで**ドライバーを有効にする**を選択します。

## アカウントを管理する

PCMで最大7つのアカウントを登録および管理できます。1つのゲストアカウントが利用可能です。これは削除できません。

PCMの初回起動時には**セットアップアシスタント**が表示され、PCM設定のための重要なステップが案内されます。最初のアカウントを正しく作成するために、**セットアップアシスタント**を完全に実行することをお勧めします。アカウントを設定して使用するには、ポルシェID(Porsche Connectユーザー)が必要です。▶ 195ページの「ポルシェコネクト」の章を参照してください。

イグニッションをONにした直後、およびイグニッションがONのときはいつでもPCMを使用して、インストールメントクラスターから登録済みアカウントを切り替えることができます。

キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは必ず作動中のアカウントに自動的に割り当てられます。

### ① インフォメーション

ポルシェコネクトに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェコネクト取扱説明書およびヘルプ)は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)で入手できます。

アカウントはPCMで管理することができます。

- ▶ 195ページの「ポルシェコネクト」の章を参照してください。

有効になった個人設定が現在のドライバーと一致しない場合、別の登録済みアカウントに切り替えることをお勧めします。ご自身のアカウントを使用することをお勧めします。必要であれば、新しいアカウントを作成して車両設定を調整できます。これにより、最初に選択したアカウントの車両設定を不用意に調整することを避けることができます。

## キーへの設定の保存

### 運転席ドアのキー ボタンを押す

1. 設定ボタンを押してください。
  - ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
2. 10 秒以内にキー ボタン  を押してください。
  - ➡ 人間工学に基づく設定およびコンフォート設定 (キーに特有の設定) が保存されます。保存されると確認音が鳴り、設定ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

## キーから設定を呼び出す

### 車両ロック解除による自動呼び出し

- ▶ 車両をロック解除し、運転席ドアを開けてください。
  - ➡ 既存のキーの設定が呼び出されます。運転席シートとステアリング ホイールが保存した位置まで戻ります。

### 運転席ドアのキー ボタン を押す

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでキー ボタン  を押し続けてください。
- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ✓ 運転席ドアが開いています。
- ▶ キー ボタン  を短く押してください。
  - ➡ 既存のキーの設定が呼び出されます。運転席シートとステアリング ホイールが保存した位置まで戻ります。

## 人間工学に基づいた設定の保存と呼び出し

### メモリー ボタン 1、2 または 3 への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー ボタン 1 と 2 に割り当てることができます。

助手席シートとリヤシートの設定は、助手席ドアまたはリヤドアのボタン 1、2、および 3 に個別に割り当てることができます。

1. 設定ボタンを押してください。
  - ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
2. 該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を 10 秒以内に押してください。
  - ➡ 設定が保存されます。

保存されると確認音が鳴り (運転席ドアのみ)、設定ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

### メモリー ボタン 1、2 または 3 による設定の呼び出し

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー ボタン 1 と 2 を使って呼び出すことができます。助手席シートとリヤシートの設定は、助手席ドアまたはリヤドアのメモリー ボタン 1、2、および 3 を使って呼び出すことができます。

- ▶ すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を押し続けてください。

- ✓ イグニッションが OFF になっている。
- ✓ 運転席ドア、助手席ドア、または該当するリヤドアが開いている。
- ▶ 該当するメモリー ボタン 1、2 または 3 を短く押してください。
  - ➡ 設定が自動的に適用されます。助手席シートまたはリヤ シートが収納位置に移動します。

## シートベルト

### シートベルトの正しい使用方法

#### ⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服（ジャケットなど）は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物や壊れやすい物（メガネ、ボールペン、携帯電話など）の上からシートベルトを締めないでください。衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、ゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- ▶ すべてのお子様適切なチャイルドシートを使用してください。
- ▶ 身体の上半身と腰が前方にスライドしないよう、シートベルトを身体の正しい位置に着用してください。シートベルトを正しい位置に着用しないと、事故の際に重傷を負う可能性があります。
- ▶ 肩のストラップは必ず上半身に当てる必要があります。肩のストラップは背中の後ろや腕の下にるように着用しないでください。

- ▶ 最大限の効果を得るため、腰のベルトが腰の低い位置に当たるように着用してください。
- ▶ 妊娠中の方の場合、シートベルトは骨盤の上のできるだけ低い位置に着用する必要があります。腹部の圧迫を避けるようにしてください。
- ▶ ベルトストラップの損傷を防ぐため、シートベルトが鋭利なものに擦れることがないようにしてください。

#### ⚠ 危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルトは清潔に保つ必要があります。そうしないと、リトラクターローラーが正しく機能しない場合があります。
- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 清掃後は、シートベルトが乾くまでリトラクターに巻き取らないでください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。

▶ 238ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

### シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーの作動条件：

- 車両の前方および後方からの衝突時。
- 車両の側面からの衝突時。
- 車両が横転した場合。

#### **i** インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

## シートベルトの着用と取り外し シートベルトを着用する

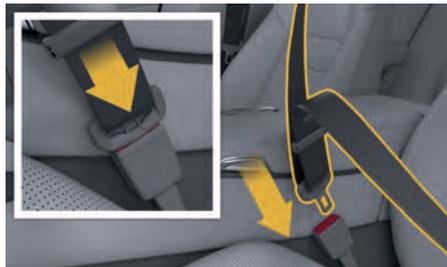


図. 75: シートベルトを着用する

- 適切な位置に着座します。  
▶ 80 ページの「シート」の章を参照してください。
- シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
- シートベルトのバックルプレートをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸とひざに回します。
- シートベルトのバックルプレートを、シートの内側の適切なベルトバックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
- シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
- 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかがっていることを確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上へ引っ張ってください。**妊娠中の方**：腰ベルトをできるだけ低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。

- 走行中は肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

### ① インフォメーション

シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。

- 車両が傾いている。
- シートベルトが急激に引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

## シートベルトを外す

- シートベルトのバックルプレートを手で持ちます。
- シートベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
- シートベルトのバックルプレートをベルトアウトレットまでガイドします。

## シートベルトの調節

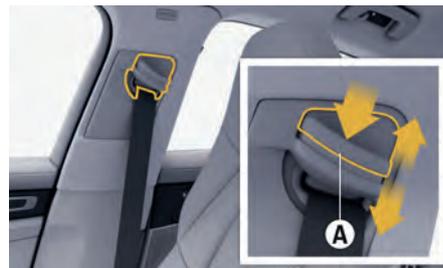


図. 76: ベルトの高さ調節

フロントシートのベルトアウトレットは、高さ調節が可能です。

- ▶ ベルトが首ではなく、肩の中央を横切るようにベルトアウトレットの高さを調節します。
  - 上げる - ベルトアウトレットを上方向に押しします。
  - ロックボタン A (図. 76) を押し下げ、ベルトアウトレットを動かします。

## シートベルト警告灯および警告メッセージの確認

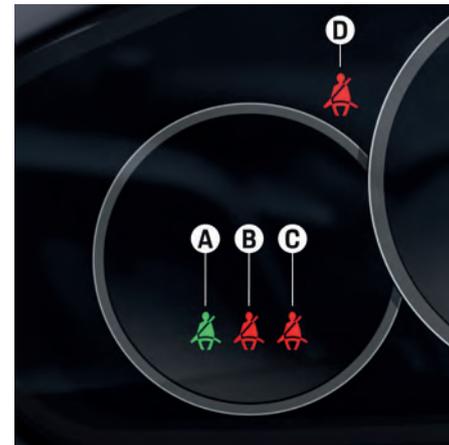


図. 77: インストルメントクラスターのシートベルトステータス表示

- A 左リヤシート用のシートベルトステータス表示
- B センターリヤシートのシートベルトステータス表示 (装備により異なる)
- C 右リヤシート用のシートベルトステータス表示
- D 警告シンボル：運転席または助手席のシートベルトが着用されていない

## フロントシート

イグニッションをONにすると、インストルメントクラスターに赤色の警告シンボル  D (図. 77) が点灯し、運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、インストルメントクラスターに警告シンボルが表示されます。

速度が約 24 km/h を超えると、運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシートベルトが着用されていない場合、インストルメントクラスターに赤色の警告シンボル  D (図. 77) が点滅し、警告音が鳴ります。

## リヤシート

イグニッションをONにすると、リヤシートのベルトステータスインジケーターがインストルメントクラスターに表示されます。

ベルトステータスインジケーターは、発進後約 60 秒で消灯します (図. 77)。

緑色のシンボルマーク  は、そのシートに座った人がシートベルトを着用していることを示します。

赤色の警告シンボル  は、そのシートに座っている人がシートベルトを着用していないか、誰もそのシートに座っていないことを示します。シートベルトが着用されてないシートがあると、約 24 km/h の速度から警告音が鳴り、インストルメントクラスターで赤色の警告シンボルマーク  が約 60 秒間点滅します。

## シート

### 正しいシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。

運転席シート位置を個別に調節するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっぱい踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリングホイールの上部を握ってください。バックレストの角度とステアリングホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調整してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。

### 警告

走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

事故が起きた場合、首に怪我を負うリスクを最小限に抑えるため、ドライバーを含むすべての乗員のシートバックレストが正しい位置に調節されてから運転するようにしてください。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。
- ▶ シートバックレストの角度を調節し、ヘッドレストが垂直になるようにします。
- ▶ ドライバーおよび他の乗員は背筋を伸ばしてシートの中央に座るようにします。

電動シートの調整機能は走行中制限されます。

### 注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする危険があります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。
- ▶ 動く範囲に物があつたり人がいたりする場合はメモリーボタンを作動しないでください。
- ▶ シート調整ボタンを押して、自動設定プロセスを終了します。

### 情報

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

## ヘッドレスト

### 危険

取り外されたまたは未調節のヘッドレスト

ヘッドレストなし、ヘッドレストの調節が正しくない、またはヘッドレストが正しく取り付けられていない状態で走行すると、事故の際に重傷または死亡に至る可能性があります。

- ▶ ヘッドレストの上端が目線の位置になるように、ヘッドレストを調節してください。
- ▶ ヘッドレストを取り付けずに、またはヘッドレストを正しく調節せずに車両を走行させないでください。

運転席と助手席およびリヤシートにはシートバックレスト一体型のヘッドレストがあります。運転席と助手席のヘッドレストおよび外側のリヤシートのヘッドレストは調整できません。中央のリヤシートのヘッドレストの高さ(装備仕様により異なる)は調整可能です。

## フロントシートの調整

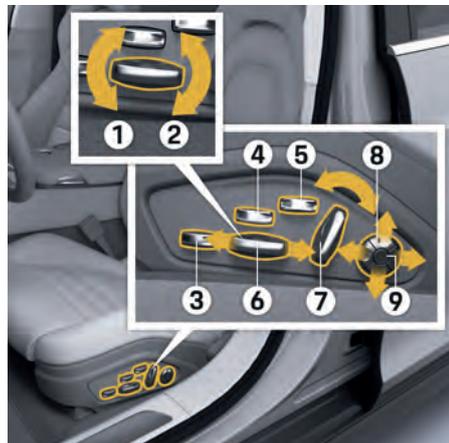


図. 78: フロントシートの電動調整

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイ サポートの調節
- 4 シートクッションのサイド ボルスターの調節
- 5 シートバックレストのサイド ボルスターの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 バックレストの角度調節
- 8 ランバー サポートの調節
- 9 マッサージ機能の ON/OFF の切り替え

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

## リヤシートの調整

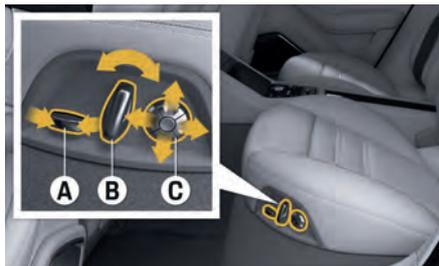


図. 79: リヤシートの調整

- A** サイ サポートの調節  
**B** バックレストの角度調節  
**C** ランバー サポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

## シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関する情報：  
 ▶ 74 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

## 運転席からの助手席シート調整

### ダッシュボードのタッチディスプレイ：

1. ▶ 車両 ▶ コンフォート ▶ 助手席シートを調整
2. 運転席のコントロールを使って助手席シート位置を調整します(図. 78)。

### 調整を終えるには：

- ▶ シート調整を停止を選択します。

## リヤからの助手席シート調整

### リヤのタッチディスプレイ：

- ✓ 機能は作動しています。

1. ボタン **SEAT** ▶ コンフォート ▶ 助手席
2. 後ろに倒す、前に倒す、後方に移動、および前方に移動の機能を使って、助手席シートを調整します。

## リヤシートバックレストを前方に倒して垂直位置に戻す

リヤシートバックレストは、ラゲッジコンパートメントをより広く使用するため、個別に前方に倒すことができます。

### 情報

リヤシートに置いた物によりリヤシートが損傷する恐れがあります。

- ▶ バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

## リヤシートバックレストを前方に倒す



図. 80: リヤシートバックレストを前方に倒す

### 4ゾーンエアコン装備車の場合：

1. 運転席ドアのアームレストにあるセーフティ ボタンを押してから、シートバックレストを前方に倒してください。

▷ 83 ページの「リヤシート中央のヘッドレスト調節」の章を参照してください。

- ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

リヤセンター コンソールのコントロール パネルおよびリヤ ドアのパワー ウィンドウ スイッチの機能は無効です。

2. フロント シートを前方に動かしてください。
3. リリース ボタン A (図. 80) を引き上げながらバックレストを前方に倒してください。

装備によりリヤシート間の積載開口部も前方に倒すことができます。

## 中央のリヤシートバックレストを前方に倒す

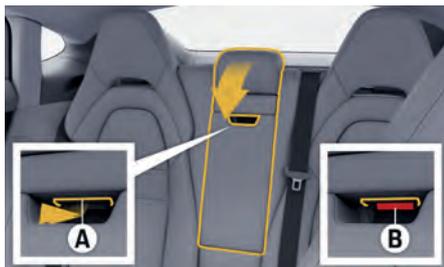


図. 81: リヤシート3席装備車で中央のリヤシートバックレストを前方に倒す

- ✓ リヤシート3席装備車

- ▶ 解除レバー A (図. 81) を矢印の方向に操作しながらバックレストを前方に倒してください。

## リヤシートバックレストをラゲッジコンパートメントから前方に倒す



図. 82: リヤシートバックレストをラゲッジコンパートメントから前方に倒す

装備により、リヤシートはラゲッジコンパートメントから前方に倒すことができます。

- ✓ Sport Turismo 車両

- ▶ 運転席ドアのアームレストにあるセーフティ ボタンを押してから、シートバックレストを前方に倒してください。

▷ 36 ページの「リヤでの操作を無効にする - チャイルド プロテクション」の章を参照してください。

- ➡ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

リヤセンター コンソールのコントロール パネルおよびリヤ ドアのパワー ウィンドウ スイッチの機能は無効です。

1. フロント シートを前方に動かしてください。
  2. ボタン A (図. 82) を左または右に引いてください。
- ➡ 該当するシートバックレストが前方へ倒れます。

## リヤシートバックレストを垂直位置に戻す

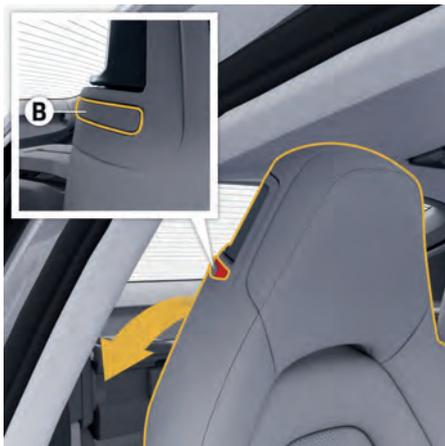


図. 83: リヤシートバックレストを垂直位置に戻す

### ▲ 警告

シートバックレストが正しく固定されていない

リヤシートバックレストが正しく固定されていないと、走行中に意図せずに前に倒れてしまう場合があります。

赤いマーク **B** がまだ見える場合、シートバックレストは正しく固定されていません。

- ▶ シートバックレストを起こした後、赤いマーク **B** が見えなくなったことを確認してください。
  - ▶ 必要に応じて、再度シートバックレストを倒してから、もう一度起こしてください。
- 
- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。シートベルトを挟まないように注意してください。

## リヤシート中央のヘッドレスト調節

✓ リヤシート3席装備車

1. ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
2. ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

リヤシート中央のヘッドレストは、高さ調節が可能です。

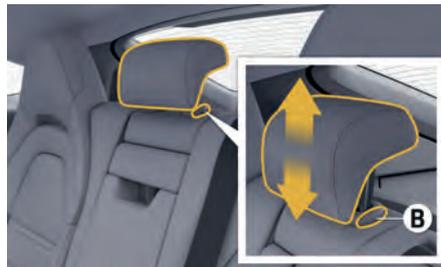


図. 84: リヤシート中央のヘッドレストの高さ調節

### 上げる

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを押し上げててください。

### 下げる

- ▶ 希望の位置に達するまでヘッドレストを押し下げながら **B** (図. 84) ボタンを押します。

後方視界を確保するために、リヤシート中央のヘッドレストの位置を格納位置まで通常より下げることができません。

### ▲ 警告

リヤシート中央のヘッドレスト格納位置

ヘッドレストが正しく調節されていないと、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ リヤシート中央に乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から上部に動かして調節してください。
- ▶ ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

## シートヒーター/シートベンチレーターの使用

### シートヒーター/シートベンチレーターのON/OFFの切り替え



図. 85: フロントシートヒーター/フロントシートベンチレーターのON/OFFの切り替え

シートヒーター/シートベンチレーターをONにする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 必要に応じてボタンA(図. 85)(シートヒーター)またはボタンB(図. 85)(シートベンチレーター)を繰り返し押します。
  - ➔ 選択した設定に応じた数のインジケータースタイルライトが点灯します。

シートヒーター/シートベンチレーターをOFFにする

- ▶ インジケータースタイルライトがすべて消灯するまで、必要に応じてボタンA(図. 85)(シートベンチレーター)またはボタンB(図. 85)(シートヒーター)を繰り返し押します。

### インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が低いときはシートベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、まずシートヒーター/シートベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

### シートヒーター/シートベンチレーターの設定

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

シートヒーターとシートベンチレーターに対し、シートクッションとバックレストのバランスを設定することができます。

1.  ▶  ▶ 車両 ▶ コンフォート ▶ 運転席/助手席 ▶ ヒートバランス/換気バランス
2. バランスを設定します。

リヤのタッチディスプレイ：

1. ボタンSEAT ▶ コンフォート ▶ ヒートバランス/換気バランス
2. バランスを設定します。

### イージー エントリー機能およびマッサージ機能の使用

フロント マッサージ機能の使用

フロント マッサージ機能のON/OFFを切り替える

✓ 作動待機がONになっている。

1. 動作させるシートのボタン9(図. 78)を押してください。
  - ➔ マッサージ機能のONとOFFが切り替わります。
2. 希望のプログラムを選択してください。
3. 希望の強さを選択してください。

マッサージ機能は10分後に自動的にOFFになります。

フロント マッサージプログラムの設定

マッサージプログラムは運転席と助手席で別々に調節できます。

1.  ▶ コンフォート ▶ 運転席/助手席 ▶ マッサージプログラム
2. 希望のマッサージプログラムを選択してください。

フロントのマッサージの強さの調節

マッサージの強さは運転席と助手席で別々に調節できません。

1.  ▶ コンフォート ▶ 運転席/助手席 ▶ マッサージの強さ
2. 希望のマッサージ強度を選択してください。

リヤマッサージ機能の使用

リアマッサージ機能の選択およびマッサージ機能のON/OFFの切り替え

マッサージプログラムは左右のリヤシートで別々に調節できます。

1. SEAT ボタン ▶ マッサージ ▶ マッサージプログラム
2. 希望のマッサージプログラムを選択してください。

マッサージ機能は10分後に自動的にOFFになります。

リヤシートのマッサージの強さの調節

マッサージプログラムは左右のリヤシートで別々に調節できます。

1. SEAT ボタン ▶ マッサージ ▶ マッサージの強さ
2. 希望のマッサージ強度を選択してください。

イージー エントリー機能の利用

イージー エントリー機能は、車両への乗り降りを容易にするための装備です。

**▲ 注意**

運転席シートの自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調節された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▶ 運転席の後ろに人がいる場合は、イージーエントリー機能を OFF にしてください。

**情報**

リヤシートを前方に倒した状態で設定を呼び出すと、車両を損傷する恐れがあります。

シートが後退して破損する可能性があります。

- ▶ リヤシートが折りたたまれている場合は、イージーエントリー機能を OFF にしてください。

**降車するとき**

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

機能を作動させる

- ▶  ▶  ▶ 車両 ▶ コンフォート ▶ イージーエントリー

- ✓ 機能が作動している
- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。
  - ◆ ステアリングホイールが上方に移動します。運転席が後方に移動します。

**乗車するとき**

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

機能を作動させる

- ▶  ▶  ▶ 車両 ▶ コンフォート ▶ イージーエントリー

- ✓ 機能は作動しています。
- ✓ 運転席とステアリングホイールは、イージーエントリーで設定した位置にあります。
- ▶ 運転席のドアを閉じて、イグニッションを ON にします。
  - ◆ 運転席シートとステアリングホイールが保存した位置まで戻ります。

**① インフォメーション**

キーを交換した場合、シートおよびステアリングホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

**② インフォメーション**

シート設定を手動で変更すると、イージーエントリー機能はキャンセルされます。

- ▶ ドライビングポジションを手動で調節してください。

**ミラー**

**ドアミラーの使用**

**▲ 警告**

ドアミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルームミラーと併用して行ってください。

**▲ 注意**

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

**情報**

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

**情報**

洗車機で洗車を行う場合にドアミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドアミラーを格納してください。
- ▶ 電動格納式ドアミラーを手動で格納/復帰しないでください。

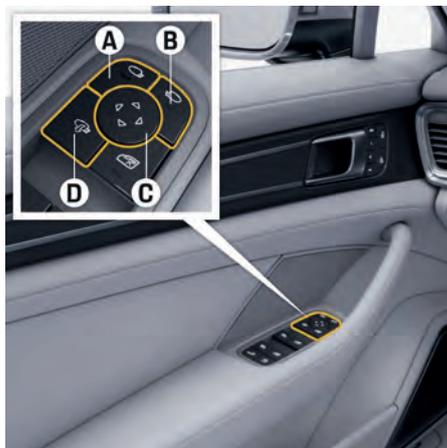


図. 86: ドアミラーコントロールパネル

- A** ドアミラーの選択 - 運転席側
- B** ドアミラーの選択 - 助手席側
- C** ドアミラーの調節
- D** ドアミラーの格納および復帰

## ドアミラーの調節



図. 87: ドアミラーの調節

- ✓ イグニッションを ON にする  
-または-  
イグニッションを OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分以内)。
1. ボタン **A** または **B** を押して、操作するドアミラーを選択します。
    - ▶ 選択したボタンのインジケーターライトが点灯します。
  2. 調節ボタン **C** (図. 87) を押して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

### 電動機能が故障した場合

- ▶ ミラーの表面を押してミラーを調節します。

## ドアミラーの格納および復帰

### 車内からのドアミラーの格納および復帰

- ✓ 約 50 km/h の最高速度。
- ▶ ボタン **D** (図. 86) を押します。
  - ▶ ドアミラーが格納または復帰します。
- ▶ 手でドアミラーの格納や復帰をしないでください。

### ドアミラーの自動格納および復帰

#### ロック時のドアミラーの格納

- ▶ キーのボタンを少なくとも 2 秒間押し続けるか、運転席ドアハンドルの近接センサー (装備による) に少なくとも 2 秒間触れ続けてください。
  - ▶ ドアミラーが格納されます。

#### ドアミラーの自動格納

- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ✓ 機能が作動している。
- ▶ 車両をロックします。
  - ▶ ドアミラーが格納されます。

#### ドアミラーの自動復帰

- ▶ 車両をロック解除します。
  - ▶ ドアミラーが復帰します。

### **i** インフォメーション

手動でドアミラーを格納した場合はドアロックを解除した後、自動的に元の位置には復帰しません。

## 自動防眩機能の使用

明るい光がルーム ミラーに当たるとすぐに、ルーム ミラーおよびドア ミラーはそれぞれ自動的に防眩機能が作動します。

リバース ギヤに入れた場合またはインテリア ライトが点灯している場合は、ミラーの自動防眩機能は作動しません。

ルーム ミラーの、またはフロント ウィンドウを通してフロント ライト センサーに照射される光をステッカー等で妨げないようにしてください。

1. ルーム ミラーの前のフロントガラス、またはリヤ ウィンドウにはいかなるステッカーも貼付しないでください。
2. ラゲッジ コンパートメント カバーの上に物を置いたまま運搬しないでください。
3. ラゲッジ コンパートメントに荷物を安全に収納して、ラゲッジ コンパートメント リッドを閉じてください。

## ドア ミラー設定の保存

ドア ミラー設定の保存と呼び出しに関するインフォメーション：

▶ 74 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

## パーキング エイドとしてのミラー ガラスの下向き切り替え

リバース ギヤを選択すると、助手席側のドア ミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

## ドア ミラーを自動で下向きにする

- ✓ 作動待機が ON になっている。
  - ✓ 機能が作動している。
- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## ドア ミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。
  - ➔ 運転席ドア ミラーを調節するためのボタン **A** のインジケーター ライトが点灯します。
2. 助手席側ドア ミラーを調節するにはボタン **B** を押してください。
  - ➔ 助手席のドア ミラーが下向きになります。

## ドア ミラーの下向き角度の個別調整

- ▶ ボタン **C** を押して、ドア ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

## ドア ミラーを通常位置に戻す

車両速度が 15 km/h 以上に達すると、ドア ミラーが通常の位置に戻ります。

## 助手席のミラー ガラスを手動で通常位置に戻す

- ▶ 運転席ドア ミラーのボタン **A** を押してください。

## プレヒーター

## 運転 / ドライバー アシスタンス アダプティブクルーズコントロール (ACC)

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。システムが作動している場合でも、ドライバーは安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

#### ▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合、このシステムを使用すると事故を起こす危険があります。

車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事中のエリアを走行する場合、車両は設定速度まで加速できません。

- ▶ 道路工事が行われている交通量の多い場所、市街地、私道または野道、あるいは交通静音化対策地域では、システムを使用しないでください。
- ▶ 車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域では、システムを一時的にOFFにしてください。

#### ▲ 警告

覆われたレーダー センサー

レーダー センサーが覆われると、システムの機能に悪影響が及んだり、無効になったりする可能性があります。

- ▶ レーダー センサーは常に汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。



図. 88: レーダー センサーの位置

#### ▲ 警告

レーダー センサーへの損傷

駐車場の段差などで、バンパー、ホイールアーチ、アンダーボディに衝撃や損傷が発生すると、センサーが作動することがあります。これは、アダプティブクルーズコントロールの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### ▲ 警告

アクセルペダルに足が置かれている

アクセルペダルに足が置かれている場合、システムが自動的にブレーキをかけることはありません。足をアクセルペダルに置くと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が無効になることがあります。

- ▶ システムが作動している場合は、アクセルペダルから足を離してください。

#### ▲ 警告

システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメント パネルに警告シンボルが表示されません。この場合、システムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに十分ではありません。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

## システム制限

アダプティブクルーズコントロール(ACC)のレーダーセンサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。

#### ▲ 警告

検出されない車両または物体

レーダー センサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域をカバーします。そのため、場合によっては、車両または物体がタイミングよく検出できなかったり、全く検出できないこともあります。

- ▶ 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- ▶ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

そのため、以下の場合、車両または物体がタイミングよく検出できなかったり、全く検出できないこともあります。

- 車線変更または割り込みをする車両
- 断面が小さな車両または幅の狭い車両
- カーブの入口 / 出口
- 停車中の車両
- オーバーハングの長い車両
- 歩行者、自転車、動物
- 路上の障害物
- 対向車および交差車両

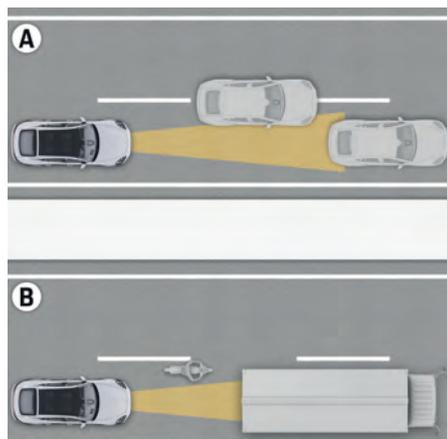


図. 89: 車線変更または割り込みをする車両、および幅の狭い車両

### A - 車線変更する / 割り込む車両

車線変更をする車両は、完全に同一走行車線に入りセンサーの検出範囲内に収まるまで検出されません。

### B - 断面が小さい / 幅の狭い車両

は検出できないか、検出のタイミングが遅すぎます。

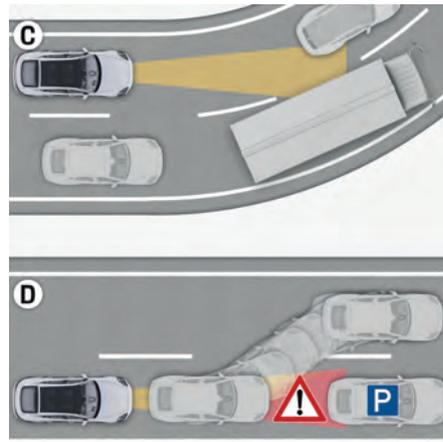


図. 90: コーナリングおよび停止中の車両

### C - カーブの入口 / 出口

カーブに入るときやカーブから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングが遅すぎたりする場合があります。また、システムが隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

### D - 停止中の車両

前走車が車線変更した後や渋滞の終わりなど、レーダーセンサーの監視範囲に停止中の車両や障害物が突然現れても、アダプティブクルーズコントロール(ACC)は限定的にしか検出できません。

**▲ 警告** アダプティブクルーズコントロールの停止車両の不検出

アダプティブクルーズコントロール(ACC)のレーダーセンサーは、停止中の車両を限定的にしか検出できません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。



図. 91: オーバーハングの長い車両

### E - オーバーハングの長い車両

オーバーハングの長い車両(木材運搬トラックなど)が前方にいる場合、レーダーセンサーはその車両の後部を検出できないか、正しく検出することができません。

**▲ 警告** 前走車の後部が正しく検出されない

前走車のオーバーハングが長い場合、アダプティブクルーズコントロール(ACC)のレーダーセンサーはその車両の後端を検出できない、または距離を正しく検出することができません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### 作動原理

アダプティブクルーズコントロール(ACC)を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセルペダルを踏まなくても、約30~210 km/h の範囲で希望する速度と車間距離を維持したまま走行できます。

設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、ACC は既定の車間距離を自動的に維持します。アダプティブクルーズコントロールは、前走車との車間距離が短くなるとブレーキをかけ、車間距離が長くなると加速します。

また ACC は、前の車両が停止すると自車両を減速して停止させ、前の車両が 15 秒以内に再び動き始めると自動的に運転を再開します。それ以外の場合は、ドライバーが自動速度制御と車間距離制御を再開できます。

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。保存した希望の速度と車間距離が保持され、アクセルペダルを放すと復元されます。車両の速度はブレーキを踏むことでいつでも減速できます。これにより、システムは停止状態に切り替わります。

## 表示部と制御部

### 各操作部



図 92: Porsche InnoDrive の操作

- R** システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く
- S** オプションメニューを開く (システムが ON の場合)
- 1** 減速
- 2** 設定速度の設定 / 加速
- 3** 中断: 制御のキャンセル
- 4** 再開: 制御を再開し、速度を適用する

## ディスプレイ

アダプティブクルーズコントロールに関するすべての重要な情報、メッセージ、および警告は、インストルメントクラスターの速度 & アシスト機能ディスプレイの ACC メインメニューに表示されます。



図 93: 速度 & アシスト機能ディスプレイの ACC

- A** 前走車との目標車間距離
- B** ステータスディスプレイと目標速度
- C** 前走車の検知
- D** 前走車からの現在の距離
- E** 前走車の現在の速度
- F** 目標速度の表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を ON にすると、インストルメントパネルの速度 & アシスト機能ディスプレイにステータスディスプレイ **B** (図 93) が表示されます。

アダプティブクルーズコントロールが作動すると、ステータスディスプレイ **B** が緑色になります。

アダプティブクルーズコントロールの作動を中断すると、ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。

記号	意味
	アダプティブクルーズコントロールが ON で目標速度が保存されていません。
	目標速度が保存されており、前方の車両は検出されていません。
	目標速度が保存されており、前方に車両が検出されています。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の ON 時の作動モード

アダプティブクルーズコントロール ON 時には、3 種類の作動モードがあります。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動中

アダプティブクルーズコントロールが自動的に速度および前走車との車間距離を制御します。ステータスディスプレイ **B** は緑色です。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) スタンプイン

ブレーキペダルを踏んだときや、レバーを下方 (**3** の位置、**キャンセル**) に押して中断したときは、クルーズコントロールおよび車間距離制御が解除されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。

クルーズコントロールと車間距離制御の再開に関する情報：

▶ 91 ページの「ACC の操作」の章を参照してください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) は停止中

アクセルペダルを踏むと、クルーズコントロールおよび車間距離制御は停止します。

インストルメントクラスターに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。

アクセルペダルから足を放すと、アダプティブクルーズコントロールは再び作動します。

## ACC の ON/OFF の切り替え

常に、前回選択されたシステムが ON になります。ON になった時点では、システムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

### ACC を ON にする

✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだ ON になっていません。

- レバーの **R** ボタンを押してください。
  - ➔ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
- ACC をまだ選択していない場合は、ステアリングホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確定します。
  - ➔ ACC が ON になっていて、**停止中**。

### 既に作動中のドライバーアシスタンスシステムから ACC への切り替え

- レバーの **S** ボタンを押します。
  - ➔ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
- ステアリングホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確定します。
  - ➔ ACC が ON になっていて、**停止中**。

### **i** インフォメーション

作動したドライバーアシスタンスシステムは、OFF にして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

### ACC を OFF にする

- ▶ レバーの **R** ボタンを押してください。
  - ➔ 設定速度目標が削除されます。
  - 目標車間距離が保存されます。

## ACC の操作

### 速度の設定 / 設定速度の変更

- ✓ アダプティブクルーズコントロールが ON になっている。
  - ✓ 静止した物体が前方に検出されていない。
- 例外：静止物が車両として検出されています。

### 目標速度の設定

- アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
- ステアリングホイールのコントロールレバーを前方に短く押してください。
  - ➔ 現在の速度が目標速度として保存され、自動的に維持されます (約 30–210 km/h の制御範囲内)。ステータスディスプレイ **B** に緑色で表示されます。
  - 緑色のバー **F** は車両の設定目標速度を示します。
- アクセルペダルから足を放してください。
  - ➔ アダプティブクルーズコントロールが作動しました。

### **i** インフォメーション

前方に静止物が検出されていて、コントロールレバーを前方 (**1** の位置) に押すと、インストルメントパネルに ACC 作動不可のメッセージが表示されます。

### 設定速度を上げる

- ✓ ACC 作動中。
  - ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを前方(1の位置)に軽く押すか(1 km/h 単位)、押し続けてください(10 km/h 単位)。
    - ➔ ステータスディスプレイ B が新しく設定した速度を表示します。
- 緑色のバー F は車両の設定目標速度を示します。

### 減速

- ✓ ACC 作動中。
  - ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーをステアリングホイール方向(2の位置)に短く引く(1 km/h 単位)か、引き続けます(10 km/h 単位)。
    - ➔ ステータスディスプレイ B が新しく設定した速度を表示します。
- 緑色のバー F は車両の設定目標速度を示します。

### 目標車間距離の設定

前走車との目標車間距離は5段階に設定できます。段階3をお勧めします。実際の車間距離は速度に応じて変化します。車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。



図. 94: 目標車間距離の設定

### ① インフォメーション

システムディスプレイが作動していない場合、初めてロッカースイッチ Z を押すと、目標距離が変更されず、ドライバーアシスタンスシステムのメインメニューが表示されます。

#### 目標車間距離を長くする

- ▶ ロッカースイッチ Z を上方向に押します。
  - ➔ 前走車 C までの目標車間距離表示 A のより長い距離セグメントが表示されます。

#### 目標車間距離を短くする

- ▶ ロッカースイッチ Z を下方向に押します。
  - ➔ 前走車 C までの目標車間距離表示 A のより短い距離セグメントが表示されます。

### 前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、インストルメントパネルまたはステータスディスプレイ B に車両のシンボルマーク C が表示されます。グレーゾーン D が、前走車(図. 93)との現在の車間距離を示します。

前走車 C までの距離が短ければ短いほど、ディスプレイに車両は大きく表示されます。前走車 C までの距離が長ければ長いほど、ディスプレイに車両は小さく表示されます。

記号	適した走行	120 km/h での距離
	流れに乗った高速走行	約 33 m (△ 約 1 秒)
	少し余裕のあるドライビング	約 43 m (△ 約 1.4 秒)
	「走行速度の半分の距離」に相当	約 60 m (△ 約 1.8 秒)
	郊外道路での走行	約 73 m (△ 約 2.2 秒)
	交通量が少ない道路での走行	約 87 m (△ 約 2.6 秒)

**警告** 車間距離が近すぎる

前走車との車間距離が近すぎると、衝突する恐れがあります。

- ▶ 常に各国で規定されている距離を維持してください。

### 自動ブレーキ制御での停止

アダプティブクルーズコントロールが作動している場合、前走車が停止すると、車両はシステムの制御範囲内で減速して停車します。インストルメントパネルのインジケータライト HOLD が点灯します。車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

HOLD 機能に関するインフォメーション：

- ▶ 106 ページの「HOLD 機能」の章を参照してください。

**i** インフォメーション

周囲の交通状況によっては(たとえば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

**i** インフォメーション

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

**再発進**

アダプティブクルーズコントロールシステムの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

**アダプティブクルーズコントロール(ACC)作動中**

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを上方(4の位置、再開)に押ししてください。  
-または-  
アクセルペダルを短く踏んでください。  
➡ 車両が自動的に走行を再開します。  
渋滞走行時に、数秒以内に自動的に再発進します。

**i** インフォメーション

状況に応じて、アダプティブクルーズコントロールは渋滞走行時の再自動発進をサポートします。これは、低速走行する交通状況での快適な制御を可能にします。



**警告**

障害物がある場合の発進

渋滞走行時、自車と前走車との間に障害物がある場合でも、車両は再発進する可能性があります。その結果、衝突する恐れがあります。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

**i** インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

**アダプティブクルーズコントロール(ACC)スタンバイ中**

自動クルーズコントロールおよび車間距離制御は車両が停止中または発進後、前方に静止した物体を検出していないとき再開できます。

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを上方(4の位置、再開)に押ししてください。  
-または-  
目標速度の設定。

**速度および車間距離制御の中断と再開**

**クルーズコントロールおよび車間距離制御の中断 - キャンセル**

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。  
-または-  
コントロールレバーを下方向に押ししてください(3の位置、キャンセル)。  
➡ アダプティブクルーズコントロールは停止中です。  
保存されている目標速度と目標車間距離が保持されます。  
ステータスディスプレイBが緑色からグレーになります。

**i** インフォメーション

停車時は、速度および車間距離制御はコントロールレバーを使用してのみキャンセルできます。これによって、停止時にACCも有効になる場合があります。

**クルーズコントロールと車間距離制御の再開 - 再開**

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを上方(4の位置、再開)に押ししてください。  
➡ 前走車が目標速度よりも遅く走行していることが検出される場合、および先行車両との車間距離があらかじめ設定した車間距離未満である場合を除き、車両は保存されている目標速度になるまで加速します。  
ステータスディスプレイBがグレーから緑色になります。

**i** インフォメーション

コントロールレバーを3の位置(キャンセル)にして速度および車間距離制御を中断していた場合、前方に静止した物体を検出していない状態でのみ制御を再開できます。

**ACC警告メッセージ**

**アダプティブクルーズコントロール作動時のドライバー引き継ぎリクエスト(ACC作動)**

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の警告メッセージに関する情報:

- ▶ 168ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

**▲ 警告**

システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。この場合、システムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに十分ではありません。

▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

**アダプティブクルーズコントロール (ACC) の例外**

以下の場合、アダプティブクルーズコントロール (ACC) が使用できないか、OFF になります。

- イグニッションが OFF になっている場合。
- 運転席ドアが開いている場合、または運転席のシートベルトが着用されていない場合。
- エレクトリックパーキングブレーキが作動している場合。
- セレクターレバーが **N**、**R** または **P** の位置にある場合。
- 急な上り坂または下り坂。

**オートスタート/ストップ機能**

**オートスタート/ストップ機能**

たとえば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされるとエンジンは自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。こうしてオートスタート/ストップ機能により燃料消費が節減されます。

エンジンが自動停止しているときもイグニッションは ON の状態のままで、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

**エンジン自動停止の前提条件**

- ✓ オートスタート/ストップ機能が ON になっている。
- ✓ ボンネットが閉まっている。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている
- ✓ PDK 作動モード **D**、**M**、**N** または **P** が選択されている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。
- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または運転席ドアが閉じている。

**エンジンの自動停止および自動始動**

**エンジンの停止**

1. フットブレーキを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ブレーキペダルを踏み続けてください。  
-または-  
停車中にセレクターレバーのボタン **P** を押してください。

**① インフォメーション**

停車中にブレーキペダルをいっぱいまで踏み込むと、HOLD 機能が作動します。これにより、自動停止が作動し、ブレーキペダルを踏み続けなくても車両は停止した状態に維持されます。

エンジンはアクセルペダルを踏み、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

**① インフォメーション**

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が ON の場合、前走車が停車したら車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。

車両は HOLD 機能によって停止状態に維持されます。

**エンジンの始動**

- ✓ 作動モード **D**、**M**、**N** または **P** を選択している。
- ▶ フットブレーキを放してください (作動モード **P** 以外)。  
-または-  
アクセルペダルを踏み込んでください。  
-または-  
ステアリングホイールを動かしてください。  
-または-  
作動モード **R** を選択してください。  
➡ エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

**① インフォメーション**

エアコンで車内を快適にするためなど特定の条件下で、エンジンが自動的に始動する場合があります。場合によっては、ドライバーにブレーキペダルを踏むよう指示するメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

## ① インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

### 降車後の反応

エンジンが自動停止した後に降車する(運転席シートベルトを着用しておらず、運転席ドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合)と、エンジンは**自動的に始動しません**。作動モードが**D**、**R**または**M**の場合:

- エレクトリックパーキングブレーキがかかります。
- トランスミッションはパーキングロック**P**に入っている。

▶ 96 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

▶ 102 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。

運転席ドアが開き、運転席シートベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を動かすことができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッションレンジは選択された位置のままになります。

作動モード**D**、**R**または**M**でパーキングブレーキが解除された場合、またはブレーキを踏んだ状態で作動モード**D**、**R**または**M**に切り替えた場合、エンジンは再始動します。

降車後 30 秒以内に以下の条件のうちの 1 つが検出された場合、オートスタート/ストップモードが再開します。

- ブレーキペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シートベルトを着用した場合。  
- または -  
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
- または -  
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用したうえで、アクセルペダルを踏んだ場合。

車両を離れてから 30 秒以内にオートスタート/ストップ機能を OFF にした場合、運転席ドアを閉めてシートベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを**手動で始動**する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスターに表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

▶ 100 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

▶ 78 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

## オートスタート/ストップ機能の ON/OFF

▶  ▶ ドライブ ▶ Start/Stop OFF

- エンジンの自動停止が無効になります。
- 停車すると、エンジンが自動的に停止します。

## オートスタート/ストップ機能の例外

たとえば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません。

- SPORT および SPORT PLUS 走行プログラムが有効
- PSM が OFF または PSM がスポーツモードのとき。
- 操作中。
- エアコン機能の「最大冷房出力」が有効になっている場合
- 「フロントウィンドウデフロスター」機能が有効になっている場合。
- 標高が高いとき
- 車高を調整しているとき
- トレーラーが検出されている場合(バイクラックまたはトレーラーコネクタが差し込まれている)。他のメーカーのトレーラーヒッチが車両に取り付けられている場合は、オートスタート/ストップ機能を手動で停止する必要があります。

たとえば次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が制限されます。

- エアコンや車室内ヒーターが高負荷で作動している場合
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂または下り坂
- オートエンジン診断機能など車両が内部点検を実行している場合
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いとき、または高いとき

## ① インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

## オートスタート/ストップ機能の表示



### 自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能がエンジンが自動停止し、エンジンの自動始動が利用できる場合、インストルメントクラスタのインジケータライトが緑色に点灯します。



自動停止または再始動の準備ができていないエンジンの自動停止が利用できない、またはエンジンが自動停止した後、再始動できない場合は、停車中にインストルメントクラスタのインジケータライトが黄色に点灯します。

オートスタート/ストップシステムは、次の状態を検出します：

- エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。
- または -
- オートスタート/ストップ機能の例外条件が1つ以上満たされている。

▷ 94 ページの「エンジンの自動停止および自動始動」の章を参照してください。

▷ 95 ページの「オートスタート/ストップ機能の ON/OFF」の章を参照してください。

## 警告メッセージへの対応

故障したときは、スタート/ストップ機能が停止しているというメッセージがインストルメントクラスタに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ブレーキ

### 一般的な安全に関する指示



警告 ペダル操作の妨げ

フットマットの固定が不適切であるか、正しく固定されていないと、アクセルペダルやブレーキペダルが誤って操作されたり、ペダルが固定される可能性があります。

その結果、意図せず車両が加速または減速したり、加速や減速が困難になる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。



警告 ブレーキブースターの機能停止

ブレーキブースターは、エンジン作動時に作動準備完了状態になります。エンジン停止時やブレーキブースターに不具合がある場合は、ブレーキペダルを踏み込むときに大きな力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両は、必ず車両輸送専用車かトレーラーでけん引してください。



警告 ブレーキディスクの水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したときや洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。



警告 ブレーキ性能の低下

塩分を含んだ道路や砂利の多い道路を長時間運転した後、ブレーキディスクとパッドにコーティングが形成され、ブレーキ性能が低下する場合があります。

車両を長期駐車すると、ブレーキディスクが腐食して振動を引き起こす可能性があります。

- ▶ ブレーキ効果が著しく損なわれている場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、トレーニングを受けたメカニックと必要な部品とツールが備わっているため、ポルシェ正規販売店のご利用を推奨します。

- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジンブレーキを利用してください。坂道でのエンジンブレーキ効果が十分でない場合は、間隔を置いてフットブレーキを使用します。継続的にブレーキをかけると、ブレーキの過熱を引き起こす恐れがあり、ブレーキ効果が損なわれます。

ブレーキフルードとブレーキフルードレベルの点検に関する情報：

- ▷ 226 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両を ON にすると、ブレーキ機能によって自動的に作動状態が点検されます。警告灯とインジケータライトが短時間点灯し、再び消灯します。ブレーキ警告灯が常時点灯している場合は、故障が発生しています。

- ▶ 直ちに故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

停車中にエレクトリックパーキングブレーキを完全に作動させることができない場合、P ボタンのインジケータライトとブレーキ警告灯が点滅します。

## ブレーキパッドの摩耗限界

ブレーキパッドが摩耗限界に達すると、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ブレーキブレーキパッドとブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力、車両を取り巻く環境（気温、湿度など）によってブレーキから異音が発生することがあります。

## 警告シンボルへの対応

ブレーキパッドが摩耗限度に達すると、警告シンボルが表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ぼろしえらみつくこんぼじつとぶれーき (びーしーしーびー)

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離に依存するとは言えません。

ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や同様の運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ブレーキパッドおよびブレーキディスクに摩耗がないか定期的に点検します。

## エレクトリックパーキングブレーキ

エレクトリックパーキングブレーキは停車中に車両が動き出さないよう固定するために使用します。



図 95. エレクトリックパーキングブレーキの作動

## パーキングブレーキの作動

- ✓ 車両が停止していること。
- ▶ P ボタンを引いてください。
  - ➡ P ボタンのインジケータライトとブレーキ警告灯が点灯します。

## パーキングブレーキの手動解除

- ✓ イグニッションがONになっていること。
- 1. ブレーキペダルを踏んでください
- 2. P ボタンを押してください。
  - ➔ ブレーキ警告灯が消灯します。

## パーキングブレーキの自動解除

- ✓ エンジン始動状態 / 車両走行可能状態 (E-Hybrid 車両)。
- ✓ 運転席ドアが閉じていること
- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または作動モード **D**、**R** または **M** が選択されている。

パーキングブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

## パーキングブレーキの自動ロック

- ✓ 車両が停止していること。
- ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** が選択されている。
- ✓ 運転席ドアを開きます。
- ✓ 運転席シートベルトをします。

P ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルのブレーキ警告灯が点灯します。

エレクトリックパーキングブレーキの自動締結を手動解除によって無効にした場合、この機能は再度ドアを開くか、または運転席シートベルトを外した場合にのみ利用できます。

## 緊急ブレーキ機能の作動



警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時以外作動させないでください。

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合は急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ P ボタンを引いたままにします。
  - ➔ ブレーキ警告灯と P ボタンのインジケータライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには:

- ▶ P ボタンを放します。

## 走行プログラム

### 走行モードの概要

装備により、全体的によりスポーティーで多様な走行プログラムがあります。

#### ノーマル

日常での走行中、コントロールシステムは快適さと燃費のバランスを取りながら機能します。

#### スポーツ

日常での走行中、コントロールシステムは情動性およびダイナミズムを重視して調整されます。

#### スポーツプラス

レースサーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

#### INDIVIDUAL

ノーマル、スポーツ、スポーツプラスの走行プログラムの一部の設定を個別に組み合わせることができます。

ノーマル、スポーツ、スポーツプラスおよび INDIVIDUAL 走行プログラムの車両設定に関するインフォメーション:

- ▶ 98 ページの「走行プログラムの選択」の章を参照してください。

**Eハイブリッド車両**の走行モードの選択およびEパワー、ハイブリッドオート、Eチャージ、Eホールド走行プログラムの車両設定に関するインフォメーション:

- ▶ 109 ページの「モードスイッチでの走行プログラムの選択」の章を参照してください。

## 走行プログラムの選択

### インフォメーション

作動準備が整うと、ノーマル走行モードが自動的に有効になります。

## PCMによる走行プログラムの選択

- ▶  ▶ 走行 ▶ 走行モードを選択します。

## センターコンソールでの走行プログラムの選択

- ✓ スポーツクロノパッケージ非装備車。

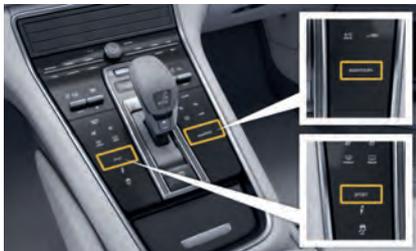


図 96: センターコンソールの走行プログラムボタン

- ▶ SPORT または INDIVIDUAL ボタンを押します。
  - ➔ 走行プログラムが作動している場合、ボタンのインジケーターライトが点灯し、インストルメントクラスターに走行プログラムが表示されます。

## モードスイッチによる走行モードの選択

- ✓ スポーツクロノパッケージ装備車



図 97: ステアリングホイールのモードスイッチ

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。
  - ➔ デジタルスピードメーターに選択した走行プログラムが表示されます。

## INDIVIDUAL 走行モードの設定

INDIVIDUAL 走行プログラムでは、シャーシ、車両レベル、スポーツエキゾーストシステム、オートスタート/ストップ機能 (E ハイブリッド車両ではない)、およびリヤスポイラーを、ノーマル、スポーツ、スポーツプラスの各走行プログラムに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モードスイッチを INDIVIDUAL に切り替えるか、INDIVIDUAL ボタンを使用して再び呼び出すことが可能です。

## INDIVIDUAL での設定の選択と保存

- ▶  ▶ 走行 ▶ … ▶ 走行モード INDIVIDUAL の設定

## SPORT Response モードの使用

- ✓ スポーツクロノパッケージ装備車



図 98: SPORT Response タイマーディスプレイ

SPORT Response モードでは、エンジンおよびトランスミッションが最大レスポンスに設定されるとともにタイマー制御されます。

## SPORT Response モードの作動

- ▶ モードスイッチの **SPORT Response** ボタンを押してください。
  - ➔ 「車両&情報」ディスプレイ内のタイマーは、この機能が有効な残り時間を示します。次に、約 20 秒後、車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

## SPORT Response モードの作動停止

- ✓ SPORT Response モードが作動している
- ▶ モードスイッチの **SPORT Response** ボタンを再度押してください。
  - ➔ 車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

## 選択した走行モードの車両設定の概要

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

走行プログラム	ノーマル / ハイブリッド	SPORT	SPORT PLUS
アイドル回転数上昇	無効	作動	作動
シフトダウン用インターミディエイト スロットル アプリケーション	無効	作動	作動
車内のエンジン サウンド最適化	無効	作動	作動
バックファイアー	無効	作動	作動
ローンチ コントロール	使用不可	使用不可	使用可能
オート スタート / ストップ	作動	使用不可	使用不可
スポーツ エキゾースト システム	無効	作動	作動

## スポーツ エキゾースト システムの ON/OFF の切り替え

スポーツ エキゾースト システムは PCM で排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ▶  ▶ 走行 ▶ スポーツ エキゾースト システム

### 追加情報

#### 走行可能距離

走行可能距離は、運転の仕方、天候、大量のエネルギーを消費する負荷の使用、および走行モードなどの選択された車両設定によって異なります。電力消費量に配慮した運転を心掛け、大量のエネルギーを消費する負荷の使用を控えると、走行可能距離が延びます。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 車両の始動、走行、駐車

### イグニッションロック

キーはイグニッションロック内のコントロールユニットに変更されました。必要なのはキーを携帯していることだけです。



図. 99: イグニッションロック / コントロールユニット

0 初期位置

- 1 イグニッション ON
- 2 エンジン始動 / 作動準備の確立 (E-Hybrid 車両)

### 0-イグニッション OFF (初期位置)

イグニッションロックが位置 **0** のとき、エンジンとイグニッションは OFF になっています。

### 1-イグニッション ON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメントクラスターの警告灯がランプ作動確認のために点灯します。

### **i** インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。初めにコントロールユニットをイグニッションロック位置 **0** (初期位置) に回します。

### 2-エンジン始動

コントロールユニットは、E-Hybrid 車両でエンジンが始動、または作動準備が確立すると、自動的に位置 **2** から位置 **1** にリセットされます。

## エンジンの始動

E-Hybrid 車両の始動に関するインフォメーション:

▶ 107 ページの「ハイブリッド車両」の章を参照してください。

1. ブレーキ・ペダルを踏み込んでください。
2. セレクターレバーの **P** ボタンを押すか、作動モードの **N** を選択してください。
3. アクセル・ペダルは踏まないでください。
4. コントロールユニットをイグニッションロック位置 **2** に一時的に回してください。
  - ➡ イグニッションロック位置 **2** (エンジン始動) にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。

- ▶ エンジンが始動しない場合は、10 秒程度間をおいてから再度始動させてください。まずコントロールユニットをイグニッションロック位置 **0** (初期位置) に戻してください。

停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

車両が始動しない場合:

- ▶ 32 ページの「キー」の章を参照してください。

## エンジンの停止



警告

車両が動き出す危険

車両を適切に駐車しなかった場合、車両が不意に動き出して人や物に危害を与える恐れがあります。

- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキをかけ、セレクターレバーの **P** ボタンを押してください。



警告

作動停止状態のパワーステアリングおよびブレーキブースター

パワーステアリングおよびブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが OFF になると、ステアリングホイールを回すことやブレーキングに普段より大きな力が突然必要になります。

- ▶ イグニッションは、車両が停止している場合のみ、OFF にしてください。

1. 停車してください。
2. コントロールユニットをイグニッションロック位置 **0** に回してください。

### **i** インフォメーション

コントロールユニットは取り外せません。

## トランスミッション

### Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

Porsche Doppelkupplung (PDK) はオートマチックシフトモードとマニュアルシフトモードを備えた8段変速トランスミッションです。

**オートマチックシフトモード (作動モード D)** では、ギヤは自動的にシフトされます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックシフトモードからマニュアルシフトモードに切り替えることができます。

**マニュアルシフトモード (作動モード M)** では、セレクターレバーまたはステアリングホイール上にあるシフトパドルの操作でギヤを変更できます。

**D** と **M** の作動モードは、走行中も必要に応じて切り替えられます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでも、ステアリングホイールのギヤシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギヤシフトが発生してしまいます。

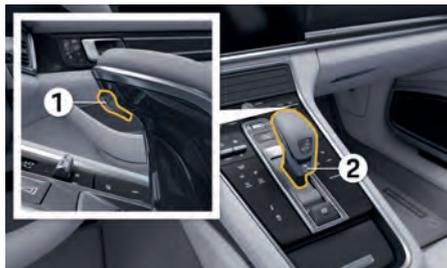


図 100: 作動モードの変更

- 1 リリース ボタン
- 2 トランスミッションパーキングロック (P ボタン)

### 作動モードの変更

イグニッションが OFF の場合、作動モード **P** が有効となり、セレクターレバーはシフトゲート内で自由に動かさず。

作動モードはセレクターレバーのリリースボタン (1 [図 100]) を押した場合にはのみ変更できます。作動モードを **P** または **N** から切り替える場合には、リリースボタンに加え、ブレーキペダルを踏む必要があります。作動モード **M** は、作動モード **D** になっている場合のみ有効にできます。作動モード **P** に切り替えるには、セレクターレバーの P ボタン (2) を押すか、イグニッションを OFF にします。

各操作の後、セレクターレバーは元の中央位置に戻り、選択されている作動モードがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 103 ページの「セレクターレバー ポジションインジケーターおよびギヤ ポジションインジケーターを読み取る」の章を参照してください。

### リリース ボタン

セレクターレバーのリリースボタン (1 [図 100]) は、シフトの誤操作を防止します。作動モードを変更するたびにリリースボタンを押す必要があります。

### P ボタン

セレクターレバーの P ボタン (2 [図 100]) は、トランスミッションパーキングロックを作動させます。作動モード **D**、**M** または **R** でイグニッションを OFF にすると、トランスミッションパーキングロックが自動的に作動します (自動 P)。

### ① インフォメーション

車両から離れる (運転席シートベルトが着用されていない、運転席ドアが開いている、ブレーキペダルを踏んでいない) ときは、作動モードが **D**、**M** または **R** でもトランスミッションパーキングロックがかかります。

運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない状態でも、電動パーキングブレーキを手動で解除し、必要に応じて希望する作動モード **D**、**M** または **R** に切り替えると、車両を動かすことができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、希望する作動モード **D**、**M** または **R** が選択された状態のままになり、トランスミッションパーキングロックは自動的に作動しません。

- ▶ 100 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

### エンジンの始動

セレクターレバーが **P** か **N** の位置にあり、ブレーキペダルを踏んだ状態でないと、エンジンを始動することはできません。

E ハイブリッド車両の始動に関するインフォメーション:

- ▶ 100 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

### ① インフォメーション

E ハイブリッド車両: 車両を電気のみ (例: バッテリー電圧、温度) で走行する条件が満たされたとき、内燃エンジンは始動せず作動スタンバイ状態になります。

### 車両の発進

- ▶ 希望する発進用の作動モードの選択 (**D**、**M** または **R**) はエンジンのアイドル中に行い、その間はブレーキペダルを踏み続けてください。

- ▶ ギアが入ると車両はゆっくりと動き出そうとするので、発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないでください。

#### 坂道での発進

- ▶ 106 ページの「HOLD 機能」の章を参照してください。

#### 車両の停止

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクターレバーを作動モード **D** のままにし、ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂でアクセルペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、電動パーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ず電動パーキングブレーキを作動させ、作動モードを **P** にしてください。

#### 駐車

- ▶ アクセルペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フットブレーキを使用して速度を調節してください。

### セレクターレバーポジションインジケータ およびギヤポジションインジケータを読み取る



図. 101: インストルメントクラスター内のモードおよび締結ギヤインジケータ

エンジン作動中に、作動モードと締結ギヤが表示されます。

ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクターレバーが **P** または **N** 位置から異なるモードに動いてしまった場合、希望する作動モードは作動しません。インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

- ▶ 発進するには、ブレーキをかけた状態で、セレクターレバーを再び **P** または **N** から希望する作動モードに動かしてください。

インストルメントクラスター内での作動モード **R** または **D** の点滅

駆動力が伝達されません。

原因:

最高許容速度以上で、または進行方向と反対方向にセレクターレバーを **R** または **D** にシフトした。

対策:

- ▶ ブレーキペダルを踏み、セレクターレバーを **N** から希望するギヤに移動させてください。

#### 作動モード

##### P - パーキングロック

- ▶ 必ず車両が停止してから、P ボタンを使ってパーキングロックをかけてください。作動モード **P** が点滅している場合、パーキングロックがかかっています。車両が不意に動き出す恐れがあります。もう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。

##### R - リバースギヤ

- ▶ セレクターレバーの選択は、必ず車両が停止しブレーキをかけてからにしてください。

##### N - ニュートラル

たとえば、洗車機を使用するときなどは、作動モード **N** を必ず選択してください。

- ▶ 希望する発進用の作動モードの選択 (**D**、**M** または **R**) はエンジンのアイドリング中に行い、その間はブレーキペダルを踏み続けてください。

##### D - オートマチックシフトモード

- ▶ 「ノーマル」の走行時には、作動モード **D** を使用してください。アクセルペダルの踏み込み方と車速により、ギヤが自動的に選択されます。

**i** インフォメーション

ステアリングホイールのギヤシフト操作により、一時的にオートマチックシフトモード **D** からマニュアルシフトモード **M** に切り替えることができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき。
- 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき。
- 急加速のためにシフトダウンしたいとき。

**i** インフォメーション

以下の場合、マニュアルモードが維持されます：

- オーバーランモードのとき。
- 車両が交差点などで停車した場合

**i** インフォメーション

次の場合は、マニュアルシフトモードが解除されます。

- オーバーランモード以外は、自動的に約6秒後、

**M- マニュアルシフトモード**



図 102: セレクターレバーのマニュアルモード

ステアリングホイールのギヤシフトパドルまたはセレクターレバーの操作により、ドライバーは8つの前進ギヤを快適かつ安全に選択することができます。

- ▶ セレクターレバーを **D** の位置から **M** の位置に押ししてください。

現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

**M** から **D** にシフトするとき、現在の走行スタイルに適したギヤシフトマップが選択され、対応するギヤに入ります。



図 103: シフトパドル付きステアリングホイール

**セレクターレバーまたは右「+」シフトパドルでのシフトアップ**

- ▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

**セレクターレバーまたは左「-」シフトパドルでのシフトダウン**

- ▶ セレクターレバーを前方に押ししてください。または左側シフトパドルを手前に引いてください。

**シフトパドルを使用したクラッチの解除**

- ✓ ACC - またはクルーズコントロール無効
- ▶ 両方のシフトパドルを同時に引いて、すぐに放してください。

トランスミッションがクラッチを開きます。車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。直前の作動モードが **D** または **M** であった場合、ギヤシフトインジケータの数字が点滅します。シフトパドルのいずれかを引くかセレクターレバーを操作すると、再びクラッチが閉じます。

**i** インフォメーション

速度いきい値を下回ると、クラッチは締結しません。その場合はブレーキペダルを踏みながら、**N** から希望する作動モードを再度選択します。

**最適な燃費で走行するためのシフトアップインジケータ**

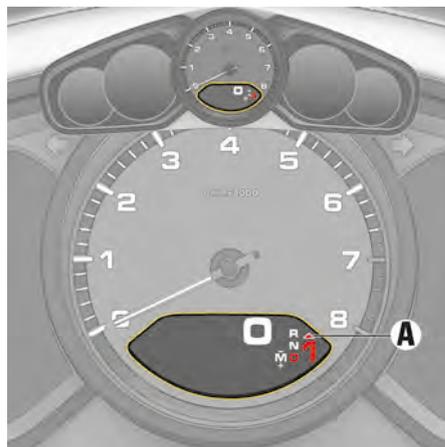


図 104: シフトアップインジケータA

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータ **A** は、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペ

ダルの踏み込み方に応じて、シフトアップインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

### キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はモード **D** で作動します。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速が必要な場合は、アクセルペダルを素早くいっぱい踏み込んで [キックダウン] ください。

走行速度とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

### 惰性走行モードで走行する

- ✓ Panamera、Panamera 4、Panamera 4S、Panamera GTS、Panamera Turbo S

惰性走行モードでは、締結ギヤが自動的に切り離され、エンジンブレーキによる減速を防止します。車両はニュートラルで惰性走行します。

### 惰性走行モードを開始する

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ノーマル走行モードが選択されている。
- ✓ 作動モード **D** が選択されている。
- ✓ ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) が有効になっている。
- ✓ クルーズコントロールが作動していない。
- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が有効になっていない。

- ✓ Porsche InnoDrive (PID) が無効になっている。
- ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配
- 1. アクセルペダルから足を完全に離してください。
- 2. ギヤシフトパドルまたはセレクターレバーを使用して、可能な限り高いギヤに手でシフトアップします。
  - ➔ 惰性走行モードが開始されます。

### 惰性走行モードの終了

- ▶ アクセルペダルを踏みます。
  - または -
  - シフトパドルまたはセレクターレバーを使用してギヤを切り替えます。
    - ➔ エンジンが締結され、惰性走行モードが終了します。

### ローンチコントロールを使用した発進

ローンチコントロール機能は停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

#### ▲ 警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況 (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど) では、車両の制御が失われることや、他の道路利用者に危険が及ぶ恐れがあります。

- ▶ ローンチコントロールの使用は、路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合のみにしてください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

### ① インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ 作動温度の車両。
- ✓ 道路の勾配率が低い。
- ✓ SPORT PLUS 走行プログラム作動中。
- ✓ ステアリングホイールは直進位置。
- 1. 左足でブレーキペダルを踏んでください。
- 2. 素早くアクセルペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。
  - ➔ エンジン回転数が自動的に均一になります。
  - ローンチコントロールが作動していることを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。
- 3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

### e ローンチを使用した発進

- ✓ Eハイブリッド車両
- e ローンチ機能で、停車状態から電気のみを使用して最大加速度で発進することができます。
- ✓ 高電圧バッテリーは十分に充電され、作動温度になっています。
- ✓ 作動温度の車両。
- ✓ 道路の勾配率が低い。
- ✓ ステアリングホイールは直進位置。
- 1. E-POWER 走行プログラムを作動させます。
- 2. 左足でブレーキペダルを踏んでください。
- 3. ローンチコントロールが作動していることを示すメッセージがインストルメントクラスターに表示されるまでアクセルペダルを踏み込み、そのポイントで停止します。
- 4. 数秒以内にブレーキを解除してください。

## ① インフォメーション

Eパワー走行プログラムでは、アクセルペダルにハイブリッド特有のエンドポイントがあります。このエンドポイントを超えると、内燃エンジンが始動します。

## HOLD 機能

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

車両コントロールの喪失

HOLD 機能を使用している場合でも、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面（凍結している、またはぬかるんだ路面など）での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。

HOLD 機能が作動しない場合、ドライバーは坂道での発進時にアシストを受けられなくなります。

- ▶ フットブレーキをかけて停車してください。

#### ▲ 警告

上り坂での僅かな後退

フットブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD 機能が作動する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、フットブレーキを踏むことにより後退を抑制することができます。

- ▶ 停止をサポートするために、フットブレーキですらに制動力を上げます。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### 作動原理

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。HOLD 機能が作動すると、インストルメントクラスターのインジケーターライト **HOLD** が点灯します。

HOLD 機能は車両が停止状態にあるとき作動します。

この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。

車両が HOLD 機能により保持されている場合は、通常の運転操作で発進できます。HOLD 機能の作動中にドライバーのシートベルトが外され、運転席ドアが開いた場合、車両は動き出さないように自動的に固定されます。

## ① インフォメーション

PKD 装備車の HOLD 機能は、以下の条件では作動しません。

- 作動モードが **P** および **N** のとき。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 未満の場合。
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない場合。

## ① インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。これにより、ブレーキペダルを踏み続けなくても車両の停止状態を維持することができます。セレクターレバーを操作してトランスミッションレンジを変更しても HOLD 機能は無効になりません。

## ① インフォメーション

HOLD 機能作動時にドライバーがブレーキペダルに違和感を感じる場合や、油圧作動音が聞こえる場合があります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

## ハイブリッド車両

### ハイブリッド作動モード

パラレル プラグイン ハイブリッド ドライブにより、以下のハイブリッド作動モードが可能になります：

- 電気モーターによる走行。
- 内燃エンジンの駆動による走行（その際、内燃エンジンはモータージェネレーターをによって同時に高電圧バッテリーを充電します）。
- 電気モーターおよび内燃エンジンによる走行。電気モーターは、車両の駆動（ブースト）時にも燃焼エンジンをサポートします。
- 回生（エネルギー再生）による走行。電気モーターは、例えば内燃エンジン作動状態で車両が惰走時に惰力運転し、車両降坂時は自動的に高電圧バッテリーを充電します。

### 電動ドライブの作動の前提条件

#### ① インフォメーション

エンジン オイル内に燃料が溜まるのを防ぐため、時には、内燃エンジンを作動させた状態でより長い距離を走行してください。

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている。
- ✓ エンジン湯音が約 0 °C 以上。
- ✓ 高電圧バッテリーが適温（低すぎることも高すぎることもない）。
- ✓ モータージェネレーターの温度が高すぎない。
- ✓ ボンネットが閉じている。

これらの条件が満たされていない場合、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

## 車両を始動

- ✓ 車両プラグが車両充電ポートに挿入されています。
- 1. フットブレーキを踏んでください。
- 2. セクターレバーの **P** ボタンを押すか、作動モードの **N** を選択してください。
- 3. アクセルペダルは踏まないでください。
- 4. コントロールユニットをイグニッションロック位置 **2** に一時的に回してください。
  - ➔ インストルメントクラスターに **READY** と表示されます。
 エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

#### ① インフォメーション

車両プラグが車両充電ポートに挿入されている状態で車両を始動すると、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。

## 降車後の作動

エンジンの自動停止時に降車する（運転席シートベルトを着用しておらず、運転席のドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合）と、エンジンは**自動的に始動しません**。さらに、作動モード **D**、**R**、または **M** になっている場合：

- エレクトリックパーキングブレーキも作動します。
- トランスミッションパーキングロック **P** に入れます。

▶ 96 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

▶ 102 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。

運転席ドアを開き、運転席シートベルトを外した場合でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除することによって、車両を動かすことができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッションレンジは選択された位置のままになります。

降車後 30 秒以内に下記のいずれかに該当すると、自動エンジン始動が再び可能になります。

- ブレーキペダルが踏まれ、運転席ドアが閉められるか、運転席シートベルトが着用された場合。
- または -  
運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
- または -  
パーキングブレーキを手動解除され、車両の作動モードが **D**、**R** または **M** である。
- または -  
ブレーキペダルが踏まれており、走行プログラムが変更されている。
- または -  
車両が 2 km/h を超える速度で動いている状態でブレーキが踏まれた場合。

上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを手動で始動する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントパネルに表示されます。

▶ 100 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

降車後の車両の反応は、運転席シートベルトが適切に使用されているかどうかに応じて異なります。

▶ 78 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

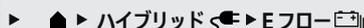
## ① インフォメーション

状況により、内燃エンジンを自動始動することができるように、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントクラスターに表示される場合があります。

## エネルギーフローを表示する

ハイブリッドエネルギーフローディスプレイは、内燃エンジン、高電圧バッテリー、ホイール間のエネルギーの流れを示します。

### ダッシュボードのタッチディスプレイ：



### インストルメントパネル

▶ 147 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

## インストルメントパネルのパワーメーター

パワーメーターでは、現在の電気駆動力が 6 時方向の左側に表示され、現在の回生電力が 6 時方向の右側に表示されます。

▶ 147 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

## PCM でゼロエミッションを表示

ハイブリッドゼロエミッションディスプレイは、内燃エンジンなしで車両が何時間走行したかをパーセントで示します。



## Eドライブアシストをインストルメントクラスターで表示

**Eドライブアシスト** は電気駆動力を計測する補助として使用されます。

緑色部分はアクセルペダルの可動域を表します。アクセルペダルを強く踏み込むほど、より多くの電力が利用可能になります。内燃エンジンはパワー限界値 **E max** で ON になります。利用可能なパワー限界値は選択された走行プログラムによって異なります。

目盛りの中央に表示される値は、おおよその電気走行可能距離を示します。上下の矢印は、現在の走行スタイルおよび電装品が現在オンになって状態で、走行可能距離に達することができるかどうかの傾向を示しています。

## 電力消費量をインストルメントクラスターで表示

**E 燃費** は、車両始動以降における瞬間消費量または累計消費量として平均電気消費量を表示します。さらに、リングは車両走行およびコンフォート機能の配分率（エアコンなど）の面で燃費値がどのように構成されているかを表示します。

## ブースト補助をインストルメントクラスターで表示

**ブースト補助** は加速のために使用された電気車両走行のパーセンテージを示します。

十分なブースターがない場合は、目盛りがグレーになります。ブースト充電によって、最大になるまで目盛りが白色で満たされます。

## モードスイッチでの走行プログラムの選択



図. 105: ステアリングホイールのモードスイッチ

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。
  - ▶ デジタルスピードメーターに選択した走行プログラムが表示されます。

### ① インフォメーション

該当する走行プログラムも PCM で選択することができます。

- ▶ ▶ 走行 ▶ 走行モードを選択します。

### ① インフォメーション

ハイブリッド車両の場合、INDIVIDUAL 走行プログラムは通常センターコンソールの **INDIVIDUAL** ボタンを使用して選択されます。

## E-POWER 走行プログラム

E-POWER 走行プログラムが**作動するよう標準で設定されており**、電動モーターだけでの走行を可能にします。イグニッションを OFF にした後に、選択された走行プログラムは、この走行プログラムの条件が満たされる場合に自動的に E-POWER に戻ります。

電動走行可能距離は走行スタイル、気象、およびエネルギー多消費型の負荷によって異なります。

慎重な走行スタイルおよびエネルギー多消費型の負荷の使用を抑制することが、有効な電動走行可能距離にプラスの影響を与えます。

### ① インフォメーション

E-POWER 走行プログラムでは、電動走行可能距離向上のため外気温度の低い状態 (< 約 0 °C) でのヒーター出力が減少します。そのため、車内がなかなか温まらないなど、快適性に限界が生じる可能性があります。

E-POWER 走行プログラムの前提条件が満たされない場合 (高電圧バッテリーの充電不足など)、E-POWER 走行プログラムの作動後、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

**E-POWER 走行プログラムのステータスディスプレイ** 利用可能な電力のみがインストルメントクラスターの出力 & 駆動ゲージに表示されます。

**E** E-POWER 走行プログラムが利用可能です。

## ハイブリッド走行プログラム

ハイブリッド走行プログラムでは、3 つの異なる作動モード HYBRID AUTO、E-HOLD、E チャージが利用可能です。

### HYBRID AUTO モード

HYBRID AUTO モードは、HYBRID 走行プログラムを選択した場合**標準で作動します**。ナビゲーションシステムおよび現在の速度から得たルート固有データを考慮に入れて、最も効率的な車両の走行を予測します。高電圧バッテリーの充電が E-POWER 走行プログラムで走行するには低すぎる場合、HYBRID AUTO モードが自動的に作動します。

### E-HOLD モード

E-HOLD モードは、たとえば、現在使用可能な高電圧バッテリーの充電が意図的に維持されるようにして、後で車両が電動モーターのみで走行できるようにします。ブースティングおよび制限された電動モーター走行は、この走行プログラムでも可能ですが、充電状態が変動することがあります。

### E-HOLD モードの作動

- ✓ HYBRID 走行プログラムが選択されている。

- ▶ ▶ 走行 ▶ ハイブリッドモード ▶ E-HOLD

### E チャージモード

E チャージモードでは、走行しながら高電圧バッテリーを充電できます。このモードは、内燃エンジンの駆動走行時に電動モーターによる走行可能距離を延ばす目的に特に役に立ちます。高電圧バッテリーは、たとえば高速道路を走行しているときに充電でき、そうすることにより、市街地ではバッテリーの電力だけを使用して走行できます。

## Eチャージモードの作動

✓ HYBRID 走行プログラムが選択されている。

▶  ▶ 走行 ▶ ハイブリッドモード ▶ Eチャージ

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## SPORT および SPORT PLUS 走行プログラム

**SPORT**、**SPORT PLUS** および **INDIVIDUAL** 走行プログラムの車両設定に関する追加情報：

▶ 98 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。

## SPORT 走行プログラム

SPORT 走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションもスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーの充電は、ブースト機能を使用するために最少レベルになります。

## SPORT PLUS 走行プログラム

SPORT PLUS 走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションが最もスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーは、より頻繁に長い時間ブーストできるように、なるべく早く約 80% 充電されます。

## ライト

### 概要 - ライト

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 106: ライトコントロールパネル

希望する操作	操作方法	操作箇所
オートマチックヘッドライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ☀️ ボタンを押してください。</li> </ul> オートマチックヘッドライトとボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS/PDLS Plus) が ON になります。	▶ P. 112
パーキングライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ☞ ボタンを押してください。</li> </ul> ライセンス プレート ライト、インストルメント照明、および車幅灯が ON になります。	-
ロービームを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ イグニッションを ON にする</li> <li>▶ ☞ ボタンを押してください。</li> </ul> ロービームが ON になります。 オートマチックヘッドライト、デイトタイム ドライビング ライト、およびボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS/PDLS Plus) が OFF になります。	-
リヤフォグライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ☞ ボタンを押してください。</li> </ul>	-
エクステリアライトを完全に OFF にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ☞ ボタンを約 2 秒間押してください。</li> </ul> ボタン ☀️ のインジケータ ライトが消灯します。 すべてのエクステリア ライトは、速度が 10 km/h または距離が 100 m を超えるまでは消灯したままです。	▶ P. 112

## 一般的な安全に関する指示

### ⚠ 警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界が大幅に制限されるばかりでなく、他の道路利用者の視認性を大きく妨げることとなります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 特定の国では、ロービームヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。

### ⚠ 警告

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを使用して走行するときの注意の欠如

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを過信せず、走行時はたとえば周囲の明るさ、視界、交通状況などに応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ハイビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。

次のような場合には手動での設定が必要になることがあります。

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時
- 高速道路など、対向車が確認しづらい道路
- 自転車など、ライトが暗い道路利用者がある場合
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道
- 明かりが少ない市街地

- 道路標識などの強い反射がある場合
- フロントウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている

### ⓘ インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにすること：

- ▶ ルームミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、水、雪などが付着していない状態を保ってください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## オートマチックヘッドライト / エクステリアライトのON/OFFの切り替え

### オートマチックヘッドライトをONにする

- ▶  ボタンを押してください。  
 ▶ オートマチックヘッドライトがONになります。

次のような状況では、ロービームは自動的にONになります：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時

ロービームがONになると、インストルメントクラスターのインジケータライト  が点灯します。

### ⓘ インフォメーション

霧は検出されません。

- ▶ 霧の場合には、ロービームとリアフォグライトのスイッチを手動で入れてください。

### エクステリアライトを完全にOFFにする

- ▶  ボタンを約2秒間押ししてください。  
 ▶  ボタンが消灯します。

次のような状況では、自動ヘッドライトは再度ONになります (国により異なる)：

- 10 km/h 以上の速度。
- エクステリアライトをOFFにした後 100 m 以上走行した場合。

### 雨機能

ワイパーの連続作動が検出されると、ロービームが自動的にONになります。ワイパーが一時停止すると、ロービームがOFFに戻ります。

### ⓘ インフォメーション

気温と湿度によっては、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。

この曇りは十分な距離を走行すると乾燥して消えます。

## ライト機能の使用

### オートマチックカミングホームライトの調整

- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっています。

一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らします：

- デイタイムドライビングライト
- 開いた状態の格納式ドアミラーのドアカーテシーライト

- フロントおよびリヤの車幅灯
- ライセンスプレートライト

### ウェルカムホーム機能 (遅延消灯)

車両をロックすると、設定した遅延消灯時間の間ライトが点灯したままになります。

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### エントリー/イグジット機能

車両をロック解除すると、設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。以下の場合、ライトが消灯します。

- イグニッションを ON にする
- オートマチックヘッドライトが OFF になっている

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)

✓ PDLS を含む LED ヘッドライト。

### スタティックコーナリングライト

最大 130 km/h の速度でステアリングホイールを回すと、スタティックコーナリングライトのスイッチが ON になります。

### ダイナミックコーナリングライト

速度が約 5 km/h を超えている場合、車両の速度やステアリングホイールの回転角に応じて、カーブの方向にロービームまたはハイビームヘッドライトが回転され、道路がよりはっきり見えるように照射されます。

### 状況に応じたライト配光

状況に応じたライト配光 (一部の国で利用可能) により、ロービームおよびハイビームヘッドライトの配光が市街地、郊外道路、または高速道路の走行に適応されます。

### 悪天候のライト

速度が約 60 km/h 未満でリヤフォグライトが点灯している場合、ロービームの配光特性が変化します。ライトは眩しさを抑えるように照射され、照射エリアが広がります。

### ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)

✓ PDLS Plus 付き LED マトリックスヘッドライト

PDLS Plus には PDLS 機能も含まれます。

▶ 113 ページの「ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)」の章を参照してください。

### ジャンクションライト

ナビゲーションデータを使用して交差点と合流点が検出され、状況に適切な照射になるよう配光が修正されます。

### ダイナミックハイビーム

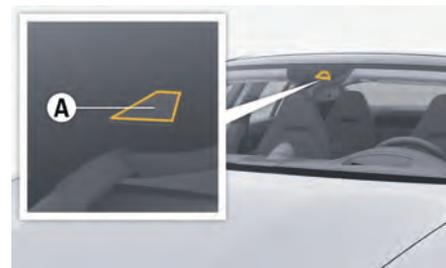


図. 107: フロントウィンドウカメラ

ルームミラー付近に取り付けられたカメラ A (図. 107) により光源や他の通行者を検出することができます。他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイビームヘッドライトの各 LED セグメントを点灯または消灯されます。車両の前方領域はロービームになり、残りは完全に点灯したままです。これにより、他の道路利用者を眩惑させることなく確実に最も効果的な方法で周囲を照らすことができます。

ダイナミックハイビームは、車速 30 km/h から 60 km/h の間でナビゲーションデータに応じて ON または OFF にされます。カメラが街灯を検出した場合も、ハイビームからロービームに切り替わります。

### パッシングライト

- ✓ 対向車なし。
  - ✓ 前走車がいる。
  - ▶ 運転中に追い越し場合、方向指示灯を作動させてください。
    - ➔ 前走車の隣の領域が明るく照らされます。これにより、前方の道路が見やすくなります。
- ターンシグナルが OFF になった場合または対向車が検出された場合、パッシングライトは自動的に再び OFF になります。

## 検知ライト

- ✓ 前走車なし。
- ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。

走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようにします。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

## 標識の眩しさの軽減

- ✓ ダイナミックハイビームがONになっている。
- 反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって(特にハイビームを使用して運転する際)ドライバーが眩惑されてしまう場合があります。

標識の眩しさ軽減機能は、素早く車両のローまたはハイビームヘッドライトの各LEDセグメントを減光して適切に調整します。交通標識や他の標識の反射による、ドライバーの眩惑を軽減します。

## 方向指示灯 / ハイビームレバーの操作

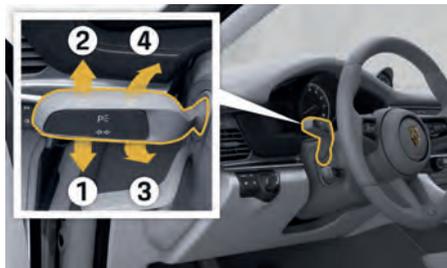


図. 108: 方向指示灯、ハイビーム、およびヘッドライトパッシングの操作

- 1 方向指示灯 / 左側パーキングライト
- 2 方向指示灯 / 右側パーキングライト
- 3 ハイビーム / ダイナミックハイビーム
- 4 ヘッドライトパッシング

## 方向指示灯の操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 **1** または **2** (図. 108) を超えるまでレバーを押してください。
  - ➡ 方向指示灯は、レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

## コンフォート方向指示

- ▶ 抵抗を感じる位置 **1** または **2** (図. 108) までレバーを1度押してください。
  - ➡ 方向指示灯が3回点滅します。
- ▶ コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。

## ハイビームのON/OFFの切り替え

- ✓ PDL S Plus 非装備車  
-または-  
LEDマトリックスハイビームアシスタント調整が停止しています。

## ONにする

- ▶ 抵抗を感じる位置 **3** (図. 108) までレバーを1度押してください。
  - ➡ インジケーターライト  が点灯します。

## OFFにする

- ▶ 抵抗を感じる位置 **4** (図. 108) までレバーを1度引いてください。
  - ➡ インジケーターライト  が消灯します。

## ダイナミックハイビームの作動 / 停止

- ✓ PDL S Plus 装備車。
- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっていません。
- ✓ LEDマトリックスハイビームアシスタント調整が作動しています。
  - ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 作動

- ▶ 抵抗を感じる位置 **3** (図. 108) までレバーを1度押してください。
  - ➡ インジケーターライト  が点灯します。
  - ➡ ハイビームの部分的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーターライト  が点灯します。

## 停止

- ▶ 抵抗を感じる位置 **4** (図. 108) までレバーを1度押してください。
  - ➡ インジケーターライト  が点灯しているときのみダイナミックハイビームを解除できます。

ハイビームアシストの作動条件が満たされない場合、手動でハイビームのON/OFFを切り替えることができません。

## 手動でONにする

- ▶ 抵抗を感じる位置 **3** (図. 108) までレバーを2度押してください。
  - ➡ インジケーターライト  が点灯します。

## 手動でOFFにする

- ▶ 抵抗を感じる位置 **4** (図. 108) までレバーを1度押してください。
  - ➡ インジケーターライト  が消灯します。

### ヘッドライトパッシングの操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 **4** (図. 108) までレバーを1度押ししてください。
  - ◆ インジケーター ライト  が短時間点灯します。

### パーキングライトのON/OFFの切り替え

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ▶ 抵抗を感じる位置 **2** (図. 108) または **1** を超えるまで操作レバーを押すと、右または左のパーキングライトが点灯します。パーキングライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとインストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

## ハザードライトのON/OFF



危険

衝突の危険

危険な場所で停止すると衝突の危険があります。

- ▶ 安全かつ適切な場所で停車してください。
- ▶ 車両から離れてください。
- ▶ ハザードライトをオンにして、停止表示板を設置します。

### ハザードライトのON/OFF

- ▶ センターコンソールのボタンを押してください。
  - ◆ すべての方向指示器とボタンが点滅します。

### 緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約 70 km/h 以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザードライトが自動的に作動します。ブレーキ中にブレーキライトが点滅します。

- ▶ センターコンソールのボタンを押して、ハザードライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザードライトが自動的に停止します。

### 事故後のハザードライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザードライトが自動的に作動します。

### トラベルモード作動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光を調整する必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの眩惑を防ぐことができます。配光の適応は、通常、ナビゲーションデータに基づいて自動的に行われます。変更後は、イグニッションをONにするたびにインストルメントパネルにメッセージが表示されます。

自動的に変更が行われない場合：

- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

- ▶ 帰国したときは、ヘッドライトを元の設定に戻すことを忘れないでください。

### バルブの交換

車両のエクステリアライトおよびインテリアライトにはLEDが取り付けられています。LEDは個別に交換できません。

ライトの取り外しおよび取り付けには、大きな労力を必要とします。

- ▶ 壊れたバルブとライトの交換または修理は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

情報

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ▶ ヘッドライトにカバー (ストーンガードやフィルムなど) を装着しないでください。

### インフォメーション

LEDマトリックスヘッドライトを備えた車両では、ロービームの設定を確認するにはボンネットを開ける必要があります。

- ▶ ヘッドライト調整は、必ず専用の調整装置を使用しているボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ナイトビューアシスト

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

集中力の低下、およびナイトビューアシストにより障害物が検出されない

ナイトビューアシストはサポートシステムであり、あらゆる状況下で衝突が差し迫っていることを警告するものではありません。事故を起こす恐れがあります

適時ブレーキをかけること、および状況に適した車両ライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

#### ▲ 注意

ナイトビューアシストの制限または使用不可

パーキング分路などによるバンパーへの衝撃や損傷により、センサー位置がずれる場合があります。これは、システムの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## システム制限

#### ▲ 警告

システムは制限付きで利用可能

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

人物や動物をいつも検出できるわけではありません。

外気温が 28 °C を超える場合、システムは自動的に無効になります。外気温が 25 °C よりも下がると、再び自動的に有効になります。

豪雨、降雪、凍結など、悪天候によって、カメラの動作に支障をきたし、結果として衝突リスクの検出能力が低下する場合があります。

システムの内部制限により、複雑な走行状況では、人物および動物警告が不意に作動することがあります。

- ▶ 進行方向と周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理



図. 109: ナイトビューアシストサーマルイメージ

ポルシェナイトビューアシストには、次の機能が搭載されています。

- サーマル画像の表示
- 歩行者および動物警告

車両フロントのナイトビューアシストのサーマルイメージングカメラは周囲のサーマル画像を提供し、この画像はインストルメントクラスターの車両 & 情報ディスプレイで見ることができます。システムはヘッドライトにより照らされたエリアを超えて人および動物を検知し、カメラ画像内で対象物をハイライトします。

サーマルイメージングカメラは、熱放射の帯域のみを感知します。そのため、このカメラの画像は人間の目に知覚できる映像とはかなり異なる場合があります。ナイトビューアシストは、周囲がかなり暗く、温度が 28 °C 未満の場合に人と動物を検出します。

衝突が起こりそうになる場合、または歩行人に危険なほど近づいた運転をした場合、システムの限界内で警告が発せられます。この場合、システムはドライバーに、視覚と音により警告します。ボルシェダイナミックライトシステム プラス装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。

市街地の外で野生動物と衝突が起こりそうになる前にも、システムの限界内で警告が発せられます。この場合、システムはドライバーに、視覚と音により警告します。動物を赤色で示したカメラ画像も表示され、危険位置を察知できるようドライバーをサポートします。

### 歩行者警告



図. 110: インストルメント クラスターの歩行者警告

歩行者と衝突する危険性をシステムが検出した場合、車両の速度が最大 250 km/h の範囲内であれば、警告音とインストルメント クラスターでの表示によりドライバーに警告が行われます。歩行者警告は、歩行者が走行車線内で立ち止まっているか、走行車線内に入ってくる

場合に行われます。ボルシェダイナミックライトシステム プラス装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

### 動物警告



図. 111: インストルメント クラスターの動物警告

動物警告は、市街地の外でシカなどの野生動物による危険を警告します。動物警告は予測される走行車線に動物がいるか、危険なほど接近している場合に作動します。市街地走行中、動物警告は自動的に無効になり、リードにつながれた犬などにより警告が誤作動するのを防止します。

## ナイトビューアシストのON/OFFの切り替え

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ 標準アシスタンス ▶ ナイトビューアシスト

### 衝突警告および画像調整の設定

衝突警告のタイミングおよびナイトビューアシストのイメージパラメーターはPCMで設定できます。

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ ナイトビューアシスト

## ナイトビューアシストステータスディスプレイ

シンボル	インストールメントパネル	意味
	速度 & アシストディスプレイ	ナイトビューアシストはバックグラウンドで作動します。
	車両 & 情報ディスプレイ	カメラ画像が表示されている場合、車外状況 (外気温度や明るさ) が原因でシステムは人や動物を確実に検出できないことを示しています。この場合、警告機能は使用できません。

## ナイトビューアシストカメラの清掃

- ✓ ロー / ハイビームが作動している。

イグニッションをONにした後、フロント ウィンドウ ウォッシャー システムが初めて作動するとき、および10回作動するごとに、ナイト ビュー アシスト カメラは自動的に清掃されます。

▶ 127 ページの「フロント ウィンドウ ワイパーの操作」の章を参照してください。

## パークアシスト

### 一般的な安全に関する指示



警告

運転中または駐車中の不注意

パークアシストによって運転は快適になりますが、無謀な運転は避けてください。パークアシストはあっても、駐車の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が取り回しの範囲内にいないことを確認してください。
- ▶ 操作中、および人、動物、障害物、または他の車両がある場合は、赤色のエリアに進入しないでください。



警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。赤色のマークは車両後部を示します。リバース カメラ画像は車両の後方全体を映してはいません。

- ▶ 常に車両周囲全体を確認してください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にいないことを確認してください。

### システム制限

システムは以下を検出できません。

- 音を吸収する障害物 (冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音を反射する障害物 (ガラス面やなめらかな塗装面など)。
- 非常に細い障害物 (細い支柱など)。

- その他の超音波を発する機器 (他車のエア ブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

### 機能

ドライバーが車庫入れ操作をしているとき、パーキングアシスタントは車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。

パーキング アシスタント情報はPCMに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

### 距離測定



図. 112: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリアバンパーの超音波センサー A (図. 112) が、最も近くにある障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると、警告音が断続的に鳴ります。車両が障害物に近づくにつれて警告音の断続間隔は短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検知できません。警告音の音量は PCM で設定できます。

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## パークアシストの作動および停止

### パークアシストの作動

#### 自動作動

- ✓ イグニッションが ON になっていること。
- ✓ リバース (後退) ギヤに入っていること。
  - または -
  - 前方の距離が約 80 cm 以下です。
  - または -
  - 車両の後退が検出されていること。

#### 手動での作動

- ▶ アシスト ▶ パークアシスト

### ダッシュボードのタッチディスプレイの表示



図. 113: パークアシストのカラーコーディング

カラー	フロント側の距離	リア側の距離
白	障害物が操車範囲内にはなく、30 cm を超える距離があります。	
オレンジ	< 120 cm	< 180 cm
赤	< 40 cm	< 40 cm
赤 + 連続音	< 30 cm	< 30 cm

記号	意味
×	現在の駐車操作でパークアシストを無効にします。15 km/h の速度を超えるか、トランスミッションレンジ R を再度選択した場合、無効化はキャンセルされます。
P	オーディオ再生を OFF にします。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

### パークアシストの停止

#### 自動停止

- ✓ セレクター レバーの P ボタンが作動している。

#### 手動での停止



図. 114: パークアシストの停止

- ▶ オーバーヘッド コンソールのボタン A (図. 114) を押してください。
  - ➔ ボタンのインジケータ ライトが点灯します。
 ダッシュボードのタッチ ディスプレイに何の表示もありません。ダッシュボードのタッチ ディスプレイの表示を手動で再起動することはできません。

– または –

ダッシュボードのタッチ ディスプレイで **X** をタップします。

## パークアシストの設定

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンス システム設定 ▶ パークアシスト

## ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

### 一般的な安全に関する指示

#### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### 作動原理

PASM システムは、シャーシダイナミクスを能動的に調整します。アジャスタブル シャーシ システムは、路面状況などにに基づき、各ホイールの減衰力を適切な力に調整します。

シャーシには 3 種類の設定があり、ボタン操作で切り替えることができます。

- **標準**：快適に走行できる設定
- **スポーツ**：スポーティーに走行できる設定
- **スポーツ プラス**：サーキットでの走行などに適した、非常にスポーティーなショック アブソーバー設定。

## 選択可能なエア サスペンションとレベリングシステムを備えた PASM

エア サスペンションを備えたレベリングシステムは、均荷変動を自動的に均等化し、一定の車高を保ちます。以下のシャーシ レベルが用意されています：

### 中間の高さ

標準レベルが、「ノーマル」と「スポーツ」シャーシモードの標準として採用されています。「スポーツ プラス」モードでは、中間の高さを手動で選択できます。

### 高レベル

レベリングシステムにより、車両の切り返し操作中に縁石や傾斜を乗り越えるために、車両を通常のレベルと比較して約 20 mm 上げることができます。ハイレベルは約 30 km/h 未満の速度のとき、手動でのみ選択できます。車速が約 30 km/h を超えると、ハイレベルは自動的に解除されます。

### インフォメーション

ハイレベル時、リフレクターの規定の取り付け高さを超えることがあるため、公道では、ハイレベルでの走行は禁止されています。

### 低レベル

#### 情報

トレーラー車両けん引時に車高レベルを調整すると、車両の最大ドローバー荷重を超えることがあります。

- ▶ 標準の高さでの垂直荷重を必ず確認してください。

車高も中レベルより約 18 mm 下降し、低レベルに設定されます (モデルによって異なります)。「PASM スポーツ プラス」モードを選択すると、自動的に低レベルに切り替わります。

## トレーラーけん引時のレベリングシステム

国により利用可能なトレーラー車両けん引時、低レベルは利用できません。トレーラーけん引時、高レベルは30 km/h 以下で走行している場合のみ選択できます。速度が30 km/h を超えると、車両は自動的にノーマルレベルまで下がります。

## シャーシ設定の選択



図. 115: センターコンソールのPASMボタン

1. イグニッションを ON にします。
2. PASM ボタンを繰り返し押します。
  - ▶ PASM ボタンのインジケーター：
    - 「ノーマル」(デフォルト設定) を選択した場合、インジケーターライトは点灯しません。
    - 「スポーツ」を選択すると、インジケーターライトが1つ点灯します。
    - 「スポーツ プラス」を選択すると、インジケーターライトが2つ点灯します。

さらに、選択したシャーシ設定はインストルメントパネルに短時間表示されます。

シャーシ設定はPCM でも行えます:

▶ ▶ 走行 ▶ シャーシ

## ① インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

## シャーシ高の選択

対象：エアサスペンションおよびレベリングシステム付き PASM

エアスプリングの高さはPCM で設定できます。

▶ ▶ 走行 ▶ シャーシ高

## ① インフォメーション

ドアが開いている場合、車両は下がりません。ドアが閉じた後に、選択したレベルが設定されます。

## ① インフォメーション

「ノーマル」モードの状態では低レベルを選択すると、車両は自動的に「PASM スポーツ」モードに切り替わりま

## ① インフォメーション

車両が停止している場合、車両重量のバランスを保つため車高が自動的に調整されることがあります。

## ① インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、最後に手動で選択したシャーシ高と車両レベルがメモリーに保存されます。

## ① インフォメーション

エンジン作動中にのみ個別レベルステップが設定できます。

## ① インフォメーション

レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリングシステムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

## ① インフォメーション

車両を数週間駐車していた場合、車高が低くなる場合があります。エンジン始動後、車両によってこの降下が自動的に調整されます。このプロセスは、車両によっては数分かかります。このとき、地上高が減少します。

## レベリングシステムを OFF にする



**警告** 車両のリフトアップ

PASM 警告メッセージ、または車両が高温になっているという警告メッセージが表示されている場合、車高を上げると怪我や車両損傷の恐れがあります。

- ▶ 必ず車両がクールダウンした状態で車高を上げてください。
- ▶ PASM からの警告メッセージが表示されている状況では、お客様ご自身でシャーシに関する作業を行わないでください。ボルシェ正規販売店にご連絡ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**▲ 警告**

レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両の高さを上げる際には、事前に車両の高さを「標準」に設定し、レベリング システムを OFF にします。

車両をリフトで持ち上げたり、ジャッキを使用して持ち上げたりする場合、オート レベリング システムは必ず OFF にしてください (車両ジャッキ モード)。

- ▶ **調整** ▶ 車両 ▶ シャシー ▶ ジャッキ モード
- ▶ これですべてをジャッキ アップできます。

**i インフォメーション**

車速が約 7 km/h を超えると、レベリング システムは自動的に ON になります。

車両のリフト アップに関する情報：

- ▶ 262 ページの「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章を参照してください。

## ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)

### 一般的な安全に関する指示

**▲ 警告**

車両コントロールの喪失

PSM は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSM の利点にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### 機能説明

ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) は、極端な条件での運転時に車両を安定させるためのアクティブ コントロール システムです。作動待機が確立されると、自動的に有効になります。

PSM システムの主要構成部品は、オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) システム、アンチスリップ コントロール (ASR) システム、ドライブ ドラッグ トルク コントロール システム、およびアンチロック ブレーキ システム (ABS) です。

PSM コントロールは、以下によって示されます。

- インストルメント パネルの PSM 警告灯が点滅しなくなります。
- 油圧作動音が聞こえます。

- 車両は減速し、ステアリングホイールの力は目標を定めたブレーキ介入によって変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。

### オートマチック ブレーキ ディファレンシャル

駆動中のアクスルの一方のホイールがスピンし始めると、そのホイールにブレーキがかかり、同一アクスルのもう一方のホイールが駆動できるようになります。

### アンチスリップ コントロール

アンチスリップ コントロール システムは、駆動力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実なレーン維持性および走行安定性を実現します。

### アンチロック ブレーキ システム (ABS)

アンチロック ブレーキ システムは、フル ブレーキをかけたときにホイールがロックするのを防ぎます。

- ▶ 123 ページの「ABS ブレーキ システム (アンチロック ブレーキ システム)」の章を参照してください。

### エンジン ドラッグ トルク コントロール

極度に滑りやすい状況で加速した際に、エンジン ドラッグ トルク コントロール システムがすべての駆動輪のロックを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

### ステアリング トルク パルス

ステアリング トルク パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング アシストを行います。カウンターステアリング中も操舵力を追加してドライバーをサポートします。

## PSMの操作

### PSMをOFFにする



図.116: センターコンソールのPSM OFF ボタン

- ▶ PSM OFF ボタンを2秒以上押します。
  - ➡ ボタンのインジケータライトとインストルメントクラスターのPSM OFF 警告灯が点灯します。
 インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

### **i** インフォメーション

ABS コントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSM が OFF の状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSM を OFF にしていても空転を抑制します。

以下の例外的な状況では、PSM を一時的に OFF にすることが有効な場合があります。

- ぬかるみ
- 深い雪道
- 「ぬかるみなどからの脱出」時

### **i** インフォメーション

PSM スポーツモードの作動中は、PSM が事前に作動していた場合にのみ PSM OFF モードに切り替えることができます。

### PSMをONにする

- ▶ PSM OFF ボタンを押します。
  - ➡ ボタンのインジケータライトとインストルメントクラスターのPSM OFF 警告灯が消灯します。
 インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

### PSMスポーツの作動

- ✓ スポーツクロノパッケージ装備車。

PSM スポーツモードにすると、システムが非常にスポーツーティーなモードで作動ようになります。

### **⚠** 警告

PSM サポート制限

PSM スポーツモードの場合、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況ではPSM によるサポートが制限されます。

- ▶ 「ノーマル」走行では常に PSM スポーツを OFF にすることをお勧めします。
- ▶ スペアホイールを装着して走行している場合は、絶対に PSM スポーツを有効にしないでください。
- ▶  ボタンを短く押してください。
  - ➡ ボタンのインジケータライトとインストルメントクラスターのPSM OFF 警告灯  が点灯します。
 インストルメントクラスターの表示は、PSM スポーツが作動中であることを示しています。

### 警告メッセージへの対応

PSM 警告灯に関するインフォメーション：

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## ABS ブレーキシステム(アンチロック ブレーキシステム)

### **⚠** 警告

車両コントロールの喪失

ABS は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。アンチロック ブレーキ システムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ アンチロック ブレーキ システムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

ABS の特徴：

- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避：タイヤのフラット スポットを回避できます。

### ポジション

ABS は、緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリングコントロール性を維持しません。

ABS は、フルブレーキをかけた際に、実質的にあらゆる路面において車両が停止する直前までホイールがロックすることを防ぎます。

ホイールが1本でもロックしそうな場合は、ABS が適切に制御し始めます。

このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整するようにという警告の役目をします。

フルブレーキをかける必要がある場合：

- ▶ ブレーキをかける際、ブレーキペダルが小刻みに動いても、ブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。ブレーキ圧力を低下させないようにしてください。

## 警告メッセージへの対応

ABS 警告灯に関する情報：

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## トレーラー スタビリティ マネージメント

(国によって異なります)

トレーラー スタビリティ マネージメントは、トレーラー一連結運転を支援する PSM 内の支援機能です。

トレーラー スタビリティ マネージメントは、トレーラー一連結車両の蛇行を検出します。

このような危険な走行状態である蛇行が少しでも検出されると、フロント アクスルの各車輪に対して個別にブレーキ介入が行われ、トレーラー一連結車両の走行を安定化させます。その場合でも、ドライバーはトレーラー一連結車両を加速させることができます。より激しい蛇行が生じている場合、トレーラー スタビリティ マネージメント機能は、トレーラー一連結車両の走行が安定するまで車両にブレーキをかけます。

トレーラーは、すべての走行状況において安定させることができるものではありません。例：滑りやすい道やぬかるんでいる路面を走行すると、トレーラーが破損する恐れがあります。またトレーラーの重心が高いと転倒する恐れがあります。

- ▶ 車両制御中には慎重にステアリング操作してください。

### 警告 車両コントロールの喪失

トレーラー スタビリティ マネージメントは、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。トレーラー スタビリティ マネージメントが装備されていても、物理的原則を回避することはできません。

- ▶ トレーラー スタビリティ マネージメントがもたらすメリットがあっても、ドライバーには、路面、天候および周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

### 警告 トレーラーのV字屈曲

(滑りやすい路面やぬかるみなどで) トレーラーがV字形に折れ曲がると、トレーラー一連結車両の走行を安定化できません。

- ▶ 路面状況に応じた運転を心がけてください。

### 警告 トレーラーの転倒

またトレーラーの重心が高いと転倒する恐れがあります。

- ▶ 適切な運転を心がけてください。

### 警告 速度超過

トレーラー一連結車両は、路面、交通状況および車両 / トレーラーの積載物に適した速度で運転する必要があります。走行場所の周辺状況に対して速度が速すぎると、ドライバーはトレーラー一連結車両を制御できなくなる恐れがあります。

- ▶ トレーラーを連結した運転用の国ごとの法律を遵守します。
- ▶ 車両とトレーラーを組み合わせた走行安定性は、速度が上昇するにつれて悪化します。下り坂コース、悪い路面状態および悪天候(強風など)では特にスピードを落として走行します。
- ▶ エンジン ブレーキ効果を利用するために、下り坂コースでは適切な低いギヤで走行します。
- ▶ けん引車両は空で、トレーラーに荷物をたくさん積んだ状態にして、運転しないでください。この好ましくない状況がどうしても避けられない場合は、特にスピードを落として運転してください。
- ▶ トレーラーが蛇行を始めた場合はすぐに減速します。カウンターステアリングしないでください。必要に応じてブレーキをかけます。加速することによって車両とトレーラーの組み合わせをまっすぐにしようにしないでください。

▶ 266 ページの「重量」の章を参照してください。

- ✓ トレーラー コネクタが差し込まれ、トレーラーが検出されている。
- ✓ トレーラー上の各ライト(各灯、ブレーキライト、方向指示器)が正しく作動しており、トレーラー自体も正常に機能している。
- ✓ インジケーターを ON にすると、トレーラーの方向指示器インジケーターライトが点灯する。

▶ 153 ページの「警告灯およびインジケーターライト」の章を参照してください。

## 作動準備が整っています

- ✓ トレーラー スタビリティ マネージメントは、PSM が ON の状態で速度が約 65 km/h に達すると作動する。
- ▶ トレーラーを連結した運転用の法定速度を遵守します。

### インフォメーション

- PSM を OFF にするとトレーラー スタビリティ マネージメントも OFF になります。
  - PSM が OFF の状態でも、制動力が高まるとトレーラー スタビリティ マネージメントが作動します。
  - 電動格納式トレーラーは、完全に伸長され、最大伸長位置になければなりません。
-

## フロント ウィンドウワイパー

### 概要

この概要は「フロント ウィンドウワイパー」セクションの詳しい情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 117: フロント ウィンドウワイパー レバー

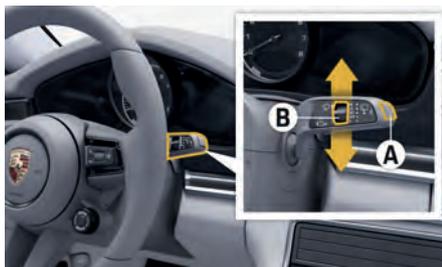


図. 118: リヤワイパー用のボタンAおよびレイン センサー感度用のスイッチB

希望する操作	操作方法	操作箇所
フロントのワイパーの自動作動(レインセンサー作動)	▶ 操作レバーを押して <b>1</b> (図. 117)の位置にしてください。	P. 127
レインセンサー作動感度を設定する	▶ スイッチ <b>B</b> (図. 118)を上方向(作動回数が増える)または下方向(作動回数が減る)に押ししてください。	P. 127
フロントのワイパーを作動させる	▶ 低速: 操作レバーを押して <b>2</b> (図. 117)の位置にしてください。 ▶ 高速: 操作レバーを <b>3</b> の位置にしてください。 ▶ ワンタッチ: 操作レバーを <b>4</b> の位置に押ししてください(4の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	P. 127
フロントのワイパー & ウォッシャー作動	▶ 操作レバーをステアリング ホイール方向に向かって <b>5</b> の位置に引いて、保持してください。	P. 127

希望する操作	操作方法	操作箇所
リヤのワイパーを作動させる (間欠作動)	▶ ボタン <b>A</b> を押してください。	P. 127
リヤのワイパーを作動させる (1 回のみ作動)	▶ ボタン <b>A</b> を短く 2 回続けて押してください。	P. 127
フロント ウィンドウワイパーを格納位置から出す アイスまたはサンシールドの装着とワイパー ブレードの交換	▶ イグニッションを OFF にして、ワイパー レバーを <b>4</b> の位置まで 1 回押し下げます。フロント ウィンドウワイパーが上方に約 45° 移動します。	P. 127

## 一般的な安全に関する指示



警告

ワイパーの不意の作動

フロント ウィンドウ清掃時に怪我をする恐れがあります。レインセンサー モードでは、フロント ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ フロント ウィンドウワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

### 情報

ラゲッジコンパートメント リッド、フロント ウィンドウおよびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライト ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ (レインセンサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF にしてください。

- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト ウォッシャー システムを操作しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー ブレードの長さが異なることを念頭においてください。
- ▶ エンジン コンパートメントリッドを開く前に、必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF (ワイパーレバーを **0** の位置) にしてください。イグニッションスイッチが OFF で、ワイパー アームが停止位置にない場合、エンジン コンパートメントリッドを開くとワイパーアームが停止します。エンジンコンパートメント リッドを閉じ、ワイパーシステムを OFF にしてから再度 ON にするまで、この位置が保持されます。

## フロント ウィンドウワイパーの操作



図. 119: フロント ウィンドウワイパーレバー

### 0 フロント ウィンドウワイパー OFF

フロント ウィンドウワイパーおよびイグニッションが OFF の場合、ワイパーの端が正しい位置に調整されるように、ワイパーがレストポジションから少し持ち上がります。

### 1 レインセンサー / 間欠作動、フロント ウィンドウワイパー

- ▶ ワイパーレバーを最初の位置にまで動かします。

### 2 フロント ウィンドウワイパー低速

- ▶ ワイパーレバーを2番目の位置にまで動かします。

### 3 フロントウィンドウワイパー高速

- ▶ ワイパーレバーを3番目の位置にまで動かします。

### 4 フロントウィンドウワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパーレバーを押し下げます。  
フロントウィンドウワイパーが1回作動します。
- ▶ ワイパーレバーを押し上げて保持します。  
フロントウィンドウワイパーが高速でワイブします。

### 5 フロントウィンドウワイパー/ウォッシャーシステム

- ▶ ワイパーレバーをステアリングホイールに向かって引きます。  
レバーを引いている間、ウォッシャーシステムとワイパーが作動します。ワイパーレバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

#### **i** インフォメーション

噴出する水の量は走行速度およびワイパーレバーの作動時間に基づいて調節されます。

#### **i** インフォメーション

- ▶ フロントウィンドウが非常に汚れている場合は、洗浄プロセスを繰り返します。
- ▶ 頑固な汚れ(昆虫の死骸など)は定期的に清掃してください。

フロントウィンドウワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

### レインセンサー作動の調節

レインセンサーが作動すると、フロントウィンドウに付着する水滴の量を検知します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロントウィンドウワイパーがONになっているとき(ワイパーレバーが**2**の位置)に速度が約4 km/h以下になると、レインセンサーは自動的に作動します。速度が約12 km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

#### **i** インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパーレバーが既に**1**の位置にあった場合、速度が4 km/hを超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、既にワイパーレバーが**2**または**3**の位置にある場合、フロントウィンドウワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

### レインセンサー感度の手動調節

#### 高感度。

- スイッチ **B** を押し上げてください。  
フロントウィンドウワイパーが1回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

#### 低感度。

- スイッチ **B** を押し下げてください。

### リヤワイパーの操作



図. 120: リヤワイパー用のボタン A

#### リヤワイパーの間欠作動をONにする

- ▶ ボタン **A** (図. 120) を押ししてください。

#### リヤワイパーの間欠作動をOFFにする

- ▶ ボタン **A** (図. 120) を押ししてください。

#### リバース機能をONにする

PCMでは、雨天時やフロントウィンドウワイパー作動中にギヤをリバースに入れると一連のワイブ作動が自動的に実行されるようにリヤワイパーを設定できます。PCMでこの機能の有効/無効を切り替えることができます。

- ▶ **設定** **設定** ▶ 車両 ▶ ライトと視界

### リヤウィンドウの清掃

- ✓ Panamera Sport Turismo



図. 121: リヤウィンドウの清掃

- ▶ ワイパー レバーを前方に押しします (図. 121)。
  - ➡ ワイパー レバーを前方に押ししている間、ウォッシャー システムとワイパーが作動します。レバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

## ワイパー ブレード

### 情報

ワイパー アームを誤ってフロント ウィンドウに勢いをつけて戻すと、フロント ウィンドウが損傷することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

## ワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

### ▲ 注意

正しく取り付けられていないワイパー ブレード

交換が正しく行われていないと、ワイパー ブレードが走行中に外れる可能性があります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に固定されていることを確認します。

## フロントウィンドウワイパー ブレードの交換

### ワイパーの展開

✓ イグニッションが OFF になっている。

1. ワイパー レバーを下方向に 1 回押します (位置 4、図. 119)。
  - ➡ フロントウィンドウワイパーが上方に約 45° 移動します。
2. メーカーの取扱説明書 (別冊) に従い、ワイパー ブレードを交換してください。ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

### ワイパーの格納

✓ 作動待機が ON になっている。

- ▶ ワイパー レバーを下方向に約 1 秒間押します (位置 4、図. 119)。
  - ➡ フロントウィンドウワイパーが通常位置に戻ります。

### ① インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## リヤワイパー ブレードの交換

✓ Panamera Sport Turismo

### 情報

ワイパー アームを損傷する恐れがあります。リヤウィンドウのワイパー アームにはジョイントがないのでウィンドウから完全に折り曲げることができません。

- ▶ ワイパー アームを最大 15° ウィンドウから持ち上げます。

### ワイパー ブレードの取り外し



図. 122: リヤワイパー ブレードの交換

1. ワイパー アームを約 15° ウィンドウから持ち上げます。
2. ワイパー ブレードを手で支えます。
3. マウント A (図. 122) の後ろに人差し指を置き、ワイパー ブレードを少し押し上げます。
4. 両手の親指と親指の腹を使ってマウント A (図. 122) からワイパー ブレードを持ち上げます。

## ワイパー ブレードの取り付け

1. マウント **A** (図. 122) にワイパー ブレードを位置決めします。
2. ワイパー ブレードがマウント **A** (図. 122) にしっかりとハマるまで押し込んでください。

## スポイラー

### 一般的な安全に関する指示

#### 格納式リヤスポイラー



警告

エアロダイナミクスの変化

ルーフ スポイラーの故障に関するインストールメント パネルの警告メッセージは、高速走行時にリヤ アクスルが浮き気味になるため走行安定性が損なわれることを示します。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



注意

リヤスポイラーの展開 / 格納

停車中にリヤ スポイラーを手動で展開 / 格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤ スポイラーが稼働する範囲に人や物がないことを確認してください。

#### 情報

リヤ スポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤ スポイラーを持って車両を押さないでください。

### 作動原理

リヤ スポイラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

Panamera Turbo には追加フラップが取り付けられているため、空気力学的に優れており、より大きく効果的な形状の改良型リヤ スポイラーが装備されています。

### リヤスポイラーの展開 / 格納

#### オートモード

リヤスポイラーの自動展開および格納には、さまざまな条件が関係します。

リヤスポイラーが自動的に展開します。

- 約 90 km/h で **A** 位置に移動。
- 約 200 km/h で **B** 位置に移動。

リヤスポイラーが自動的に格納します。

- 約 180 km/h で **B** 位置から **A** 位置に移動。
- 約 60 km/h で **A** 位置から停止位置に移動。

自動コントロール システムが故障した場合、インストールメント パネルにリヤ スポイラーの故障についての警告メッセージが表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

#### マニュアルモード

イグニッションが ON の場合、リヤ スポイラーは、ダッシュボード内のタッチ ディスプレイを使用して、手動で展開および格納することができます。マニュアルモードでは、リヤ スポイラーが完全に自動格納されないようになっています。

1. ▶ **設定** **車両** を選択します
2. **スポイラー** ボタンを押してください。
  - ▶ 現在のスポイラー位置は、車両モデルに表示されます。

## ① インフォメーション

選択されたスポイラー位置は、パーソナルモードに保存できます。

### 手動格納

1.  ▶ **設定**  **車両** ▶ **スポイラー** を選択します

2. 現在のスピードが 15 km/h 未満の場合：リヤスポイラーが最終位置に達するまで**スポイラー** ボタンを押し続けます。

▶ リヤスポイラーはオートモードに切り替わります。

– または –

現在のスピードが 15 km/h を超える場合：**スポイラー** ボタンを短く押します。

## レーンキープアシスト

### 一般的な安全に関する指示

レーンキープアシストは一部の国でのみ利用可能です。

#### 警告

集中力の低下

システムは、その制限内で、車両が走行車線に留まるようにドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。ドライバーは、たとえレーンキープアシストが作動中であっても、走行車線内に留まるようにするなど、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリングホイールを握ってください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ▶ ステアリングホイールには物を取り付けしないでください。

#### 警告

ステアリング介入がない、またはほとんどない

急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。同様に、ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が低減されるか、または行われないことがあります。

- ▶ 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリングホイールを握ってください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

#### 警告

ステアリング介入による補正が不十分

わだち、カーブの多い道、坂道、または横風がある場合など、ステアリング介入による補正だけでは車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。

- ▶ そのような状況では、積極的なステアリング操作によりアシストしてください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

## ① インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーンキープアシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーンキープアシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## システム制限

### ▲ 警告

物理的な限界とシステム制限

状況によっては、システムが車線を適切に検出できず、ステアリング介入による補正が不十分で車両を車線内に維持できなかったり、機能ステータスが操作中から停止中に突然変わったりすることがあります。事故を起こす恐れがあります！

- ▶ これらの状況ではシステムを使用しないでください。

以下のような状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候（霧、雪、または豪雨など）
- 道路状況（悪路、道路のくぼみ、汚れている路面を含む）が悪い場合。
- 道路工事区間の近く
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- カーブの多い道および細い道での走行

### ▲ 警告

カメラの視界の低下

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。その他の道路構造物や障害物なども、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ カメラレンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

## システムの使用には制限があります

以下の状況では、システムが停止状態になる場合があります。

- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行している。
- 現在のレーンの車線区分線が検出されない（例：降雪、土砂、濡れた状態、前方車両との距離が近いなどの条件が発生した場合）
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーンキープアシストが起動できない。
- カーブの半径が小さすぎる。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎる。

- 車線区分線が車両に近すぎる。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われている。
- 方向指示灯が操作中。
- システムにより、ドライバーがステアリングホイールを握っていないことが検出された。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理

- ✓ Panamera および Panamera Sport Turismo モデル。

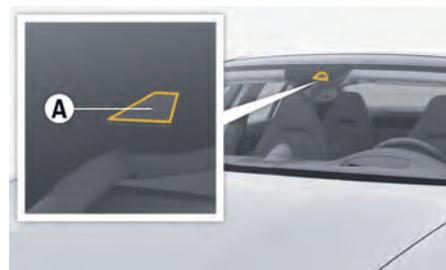


図. 123: フロントウィンドウカメラ

レーンキープアシストは、ドライバーが車両を車線内に維持するのをアシストする機能です。そのために、システムはフロントカメラ (A (図. 123)) を使用し、車線区分線に基づいて前方の道路のコースを検出します。さらに、車両が検出された車線区分線に接近して車線を逸脱する危険がある場合、ステアリング補正介入を開始して車両を車線内に維持します。ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にできます。

方向指示器を使用せずに車両が車線区線を横切る場合、システムがドライバーに警告音を発するよう設定することができます。このためには、セントラルディスプレイで警告音を有効にする必要があります。車線変更前にドライバーが方向指示器を使用すれば、システムは警告やステアリング補正を行いません。こうした状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

このシステムは高速道路やよく整備された郊外道路での走行を想定して設計されており、約 65 km/h - 250 km/h の速度範囲で作動します。

### レーンチェンジアシスト装備車

車両がレーンチェンジアシストを装備している場合、危険な状況の可能性のある車線変更を行おうとすると、作動しているシステムがステアリング補正介入を行ってドライバーに警告します。該当する方向に方向指示器を出す場合も、ステアリング介入が行われます。ステアリング介入がドライバーにより無効にされた場合は、さらに警告音による警告が行われます (作動している場合)。

### ステアリングが操作されない場合の挙動

レーンキープアシストがONで有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合 (ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じず操作しない場合、システムは停止状態に切り替わります。

### レーンキープアシストの表示および読み方

#### 各操作部



図 124: レーンキープアシストの操作

**R** システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く

**S** オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

### レーンキープアシストの表示および読み方



図 125: 速度 & アシストディスプレイ

**A** レーンキープアシスト表示

**B** 車線区分線の表示

**C** ステータス表示

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車

アシストメインメニューの「速度 & アシスト機能」ディスプレイには、車線区分線 **B** とステータスディスプレイ **C** が表示されます。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非装備車

車線区分線はステータスディスプレイ **C** にのみ表示されます。

## システムステータスの読み方

表はレーンキープアシストのシステムステータスおよびインストールメントクラスターにおけるその表示を示します。

レーンキープアシスト表示	ステータス表示	意味
	表示なし	レーンキープアシストがOFFになっています。
		レーンキープアシストはONになっていますが、停止しています。車線区分線および車両はグレーでディスプレイに表示されます。
		レーンキープアシストはONで有効です。認識された車線区分線および車両は緑色でディスプレイに表示されます。
		車線区分線は片側のみ検出される場合があります。
		ドライバーはレーンキープアシスト作動中に車線を逸脱すると、右側で警告されます。該当する車線区分線は赤色で表示されています。

## 表示部と制御部

### レーンキープアシストのONおよびOFFの切り替え

- コントロールレバーの**R**ボタンを押します。  
➔ ドライバーアシスタンスシステムがONになります。
- コントロールレバーの**S**ボタンを押します。  
➔ ドライバーアシスタンスシステムの状況がインストールメントパネルに表示されます。
- ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用してレーンキープアシストを選択し、ボタンを押して確定します。

### ステアリングポイントと警告音の設定

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ 車線逸脱警告

### ステアリングポイント

**早く**：この設定では、ステアリング介入による補正が常時行われ、ドライバーが車両を車線の中央に保持できるよう支援します。

**遅く**：この設定では、ステアリング介入による補正が行われるのは、検出された車線区分線を車両が横切る直前になります。

### 警告音

警告音は個別にONおよびOFFに切り替えることができます。警告音量も3段階から選択することができます。

## レーンチェンジアシスト (LCA)

### 一般的な安全に関する指示



集中力の低下

レーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。



レーダーセンサーの視界の妨げ

レーダーセンサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

**▲ 警告**

車両が検出されない

- ▶ 以下のような状況で、システムはタイミングよく車両を検知できない場合があります。
  - レーダーセンサーの視界は、悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）、急カーブ、急勾配への接近時に低下することがあります。
  - レーンチェンジアシストは約 15 km/h 以上の速度で走行しているときのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
  - 高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両。
  - 車両が道をそれて、道路に対して斜めまたは直角になっている場合、レーダーセンサーは接近する車両を検出できなくなります。
  - 自分の車両と移動または静止している物体の速度差が小さいと、リヤターンアシストが低速走行車両の検出に失敗したり、逆に固定されている物体（車止めポールなど）で警告が発生したりする場合があります。
  - リヤターンアシストは発進時に作動します。そのため、既に移動するか発進している車両を検出できなかったり、遅れて検出したりする場合があります。同様に、既に車両のすぐ隣にあり、センサーの検出範囲外にある車両を検出することはできません。
  - リヤ衝突警告は、交差車両、断面が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

**システム制限**

- システムは車速が約 15 km/h を超えるとアシスタンスを提供します。
- 15 km/h 以下の速度で、リヤターンアシストがドライバーをサポートします。ただし、方向指示灯が作動している車両の側に対して発進時のみ作動します。
- レーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーンチェンジアシストとリヤターンアシストは利用できません。
- レーダーセンサーは、車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出する場合があります。
- このディスプレイはドライバーがドアミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

**i インフォメーション**

例えば、レーダーセンサーの位置が事故によって変わった場合などは、レーンチェンジアシストの機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**i インフォメーション**

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部をステッカーなどで覆わないでください。また、この周囲から汚れや雪、氷を取り除いてください。
- ▶ ドアミラーの警告インジケータを（ステッカーまたは接着式の死角ミラーなどで）覆わないでください。
- ▶ バンパーに上塗りすると、塗料の厚みが増すことにより、センサーの反応が悪くなる可能性があります。新しい塗料の電気的な特性も、承認された塗料の特性とは異なる場合があります。



図 126: リヤバンパーのレーダーセンサー

**作動原理**

リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用して、レーンチェンジアシストは、検出した車両と自車との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方 70 m までの範囲（アプローチゾーン）および死角を検出します。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラーに表示されます。車両の右側および左側に個別に表示されます。例えば、左ドアミラーの警告インジケータは左車線に車線変更する際にドライバーをサポートし

ます。ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり(速度差約 15 km/h 未満)と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

発進直後は、レーンチェンジアシストの速度範囲には達しません。速度範囲に達するまで、ドライバーはリヤターンアシストによりサポートされます。

方向指示灯が作動すると、リヤターンアシストは車両の側方および後方の物体を検出しますが、インジケーターが作動している側に対してのみ作動します。レーンチェンジアシストと同様、危険の可能性が認識されると該当するドアミラーに警告が表示されます。

### ① インフォメーション

レーダーセンサーは左右の隣接する車線を検出します。他の車線は検出しません。

### 情報および警告ステージ

方向指示灯が設定されたかに応じて、レーンチェンジアシストには適切に作動する2つのインジケーターレベルがあります。

### 情報ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、車線変更する場合に検出した車両が危険であると判断すると、ドライバーに知らせます。レーンチェンジアシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドアミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

### 警告ステージ

方向指示灯がONで、その側でレーンチェンジアシストが危険とみなす車両を検出した場合、その側のドアミラーの警告インジケーターが明るく点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、ドアミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

### 表示要素

レーンチェンジアシスト(LCA)は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラーの警告インジケーターが直ちに点灯します。

脇道に入る状況でレーンチェンジアシスト作動範囲を下回る速度で走行している場合、追加のリヤターンアシストも車両の後方を監視することでドライバーをサポートします。リヤターンアシストとレーンチェンジアシストは常に自動でスタンバイ状態に切り替わります。



図. 127: ドアミラーの警告インジケーターA

### レーンチェンジアシストのON/OFFの切り替え

車線変更アシスタントは、PCMのドライバーがオンとオフを切り替えることができます

#### ▶ ① ▶ アシスタンスレーンチェンジアシスト

- ▶ レーンチェンジアシストの作動中は、シンボルがインストルメントクラスターに表示されません。

### レーンチェンジアシスト画面の明るさの設定

情報と警告の画面の明るさは、どちらも周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。ドアミラーの警告インジケーターの基本的な明るさも調節可能です。

#### ▶ ① ▶ アシスタンス... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ レーンチェンジアシスト ▶ LEDの明るさ

### ① インフォメーション

- 車両の接近が高速であるほど、ドアミラーの警告インジケーターは早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも死角に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドアミラーの警告インジケーターがまだ作動していても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

### 運転状況

起こり得るケースとそれに関連するレーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

### 急速に接近する車両

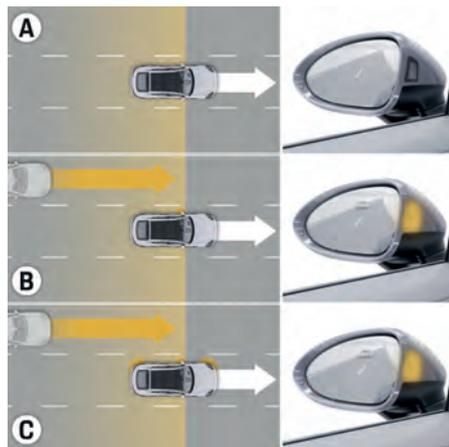


図. 128: 急速に接近する車両

**A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない**  
 センサーは車両を検出していない。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する**  
 高速で接近する車両 - 図の例は左車線を示す - を検出しました。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、すでに車速変更を行うには危険であると判断されます。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**  
 運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

### ゆっくりと接近する車両

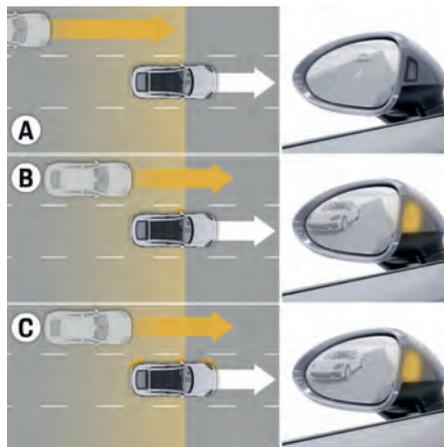


図. 129: ゆっくりと接近する車両

**A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない**  
 この例では、センサーはゆっくりと接近する車両を左車線で検出します。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドアミラーに表示されません。

**B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する**  
 車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラーのインジケーターが点灯します。レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合にのみ、該当するドアミラーに表示されます。

レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角」に入るまでにドライバーに警告されます。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**  
 運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

### ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

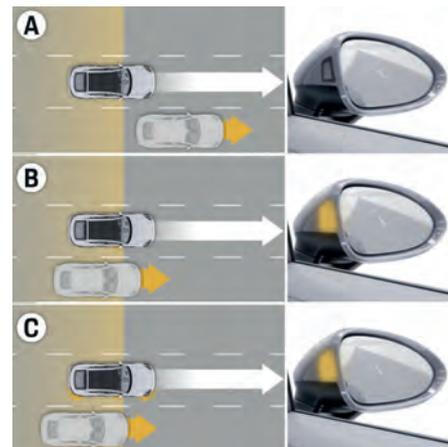


図. 130: ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

**A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない**  
 レーンチェンジアシストはこの車が追い越した車両をまだ検出していない。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

**B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する**  
 レーンチェンジアシストはゆっくりと遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 未満) を右側車線で検出しました。ドアミラーのインジケーターが点灯します。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**  
 運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

### 急速に後ろに遠ざかる車両

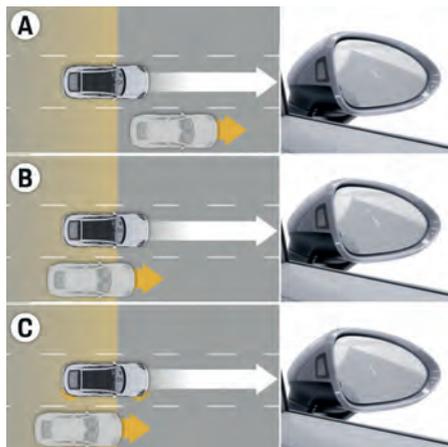


図. 131: 急速に後ろに遠ざかる車両

#### A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーンチェンジアシストはこの車が追いついた車両をまだ検出していません。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

#### B - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

この例では、レーンチェンジアシストは高速で遠ざかる車両 (速度差約 15 km/h 以上) を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

#### C - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラーの警告インジケーターは作動しません。

### 車両が脇道に入る

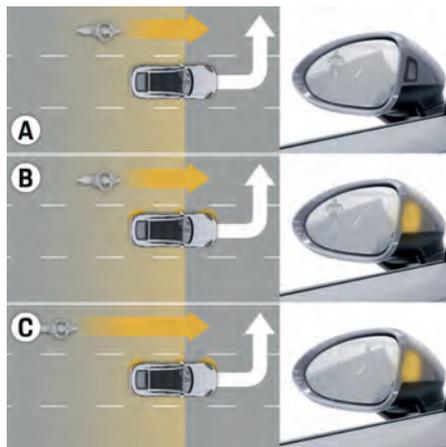


図. 132: 車両が脇道に入る

#### A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

方向指示灯が ON にならなかったため、脇道に入った後にリヤターンアシストは作動しておらず、死角のバイクは検出されません。同様に、高速で接近する車両が検出されない場合があります。ドアミラーの警告インジケーターが点灯しません。

#### B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する

運転状況 A でドライバーが該当する方向指示灯を操作すると、ドアミラーのインジケーターが数回明るく点滅して、点灯します。ターンアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

#### C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

該当する側の方向指示灯が ON になると、急速に接近する車両 (この例は左側線を示す) がセンサーによって検出されます。車両との距離はまだ離れていますが、著

しい速度差があるため、すでに脇道に入るには危険であると判断されます。ドアミラーのインジケーターが数回明るく点滅して、点灯します。

### コーナリング

コーナリング時に、レーンチェンジアシストは1つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。レーンチェンジアシストは急カーブでは車両を検出できません (約 50 m 未満の半径のカーブ)。

- ▶ レーンの幅が異なるカーブを走行するときは十分に注意してください。

### 車線幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているに関わらず、レーンチェンジアシストの検出エリアには隣接した車線 (左 / 右) が含まれます。

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれます (特に車線の端を走行している場合)。このような状況では1つ離れた車線を走行する車両が検出されることもあり、レーンチェンジアシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、とても幅広い車線を走行している場合、隣接車線の車両が検出範囲外にあるために検出されないことがあります。

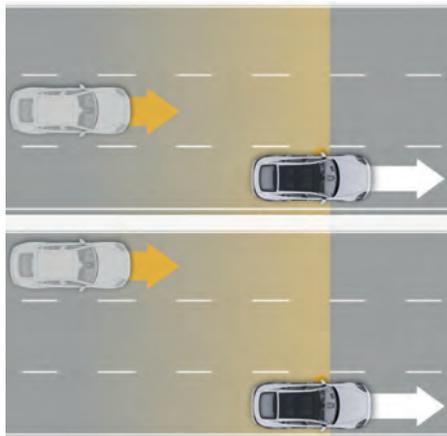


図. 133: 車線幅および検出範囲

## トラフィック ジャム アシスト (TJA)

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

注意の欠如および環境要因の変化

トラフィック ジャム アシストは、高速道路やよく整備された郊外道路でのみ使用することを想定して設計されています。トラフィック ジャム アシストのおかげで運転は非常に快適になりますが、無謀な運転は避けてください。車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。

- ▶ 常にステアリング ホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作 (加速または減速) を引き継げる状態でいてください。  
インストルメント クラスタに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 以下の状況では、トラフィック ジャム アシストを決して使用しないでください：
  - 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合。
  - 雪、氷、または豪雨など悪天候のとき。
  - オフロードまたは未舗装および滑りやすい路面。
  - カーブの多い道、道路工事区間や市街地。
  - 狭い車線。
  - 分岐点や料金所などの不安定な交通状況。
- ▶ アダプティブクルーズコントロール (ACC) およびレーンキープアシストに関する制限や情報：
  - ▷ 131 ページの「レーンキープアシスト」の章を参照してください。
  - ▷ 88 ページの「アダプティブクルーズコントロール (ACC)」の章を参照してください。

#### 情報

システムは、常に、車両を車線の中央部分または車列最後尾の中央位置に保持できるわけではありません。トラフィック ジャム アシストは路上の障害物を避けて走行するためのものではありません。トラフィック ジャム アシストは、人、動物、同一車線上の対向車両または交差車両に反応しません。センサーはこれらを障害物として検知しません。

#### i インフォメーション

- ▶ この章の記載どおりにシステムの故障または交通渋滞アシストが機能しない場合は、交通渋滞アシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。  
ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### 警告シンボルへの対応

- トラフィック ジャム アシストの警告およびインフォメーションメッセージの情報：
- ▷ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

#### 作動原理

トラフィック ジャム アシストは、交通渋滞時や約 65 km/h 未満の速度で低速走行する交通状況で、ドライバーの運転をサポートします。

トラフィック ジャム アシストは、システムが計算した車線を車両が維持できるようにします。ACC が ON になっている場合は、システムの制限内で、システムが車両のハンドル操作を自動で行います。

トラフィック ジャム アシストはアシスタンス システムであるため、ドライバーはいつでも車両のハンドル操作ができるように、常にステアリング ホイールを握っていないければなりません。ドライバーはいつでも思い通りにステアリングを操作して、アシスタンス システムを解除することができます。

このシステムは、高速道路やよく整備された郊外道路での運転向けに設計されています。市街地では、トラフィック ジャム アシストを決して使用しないでください。

### 各操作部



図. 134: 交通渋滞アシストの使用

**R** システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く

**S** オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

### トラフィック ジャム アシストの ON/OFF の切り替え

トラフィック ジャム アシストの ON/OFF は PCM で切り替えることができます。

#### 1. アシスト ▶ 渋滞アシスト

—または—

レバーの **R** ボタンを押してください。

▶ ドライバー アシスタンス システムが ON になります。

#### 2. レバーの **S** ボタンを押します。

▶ ドライバー アシスタンス システムの状況がインストルメントパネルに表示されます。

#### 3. ステアリングホイールのロータリー プッシュ ボタンを使用してレーンキープアシストを選択し、ボタンを押して確定します。

ACC が作動している場合、インストルメントパネルにトラフィック ジャム アシストのステータスディスプレイが表示されます。

▶ 90 ページの「表示部と制御部」の章を参照してください。

### トラフィック ジャム アシストのステータス表示

表示	意味
	トラフィック ジャム アシストは ON になっていますが、停止しています。交差車両はありません。
	トラフィック ジャム アシストは ON になっており、作動しています。前方の車両が認識され、他のすべての条件が満たされています。車両は走行中に制御されます。
	ドライバーの操作がないと、トラフィック ジャム アシストは車両が停止するまで車両にブレーキをかけます。

### インフォメーション

レーンキープアシストも同時に作動している場合は、

トラフィック ジャム アシストのシンボル  の代わりにレーンキープアシストのシンボル  が表示される場合があります。これは、最後の作動状態のシステムまたは PCM で最後に作動したシステムがインストルメントパネルに表示されるためです。

トラフィック ジャム アシストが有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合、短時間でインストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

システムは、警告音とインストルメントパネルのテキストメッセージによって、積極的にステアリング操作を行うようにドライバーに促します。

一定時間内にドライバーが反応しない場合、トラフィック ジャム アシストは停止中に切り替わります (ステータスディスプレイ / システム状態を参照)。この状況で、システムは車両にブレーキをかけて停止させることができます。減速中は警告音が鳴り、インストルメントパネルには警告が表示されます。

## クルーズコントロール

### 一般的な安全に関する指示



警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態(冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など)ではクルーズコントロールを使用しないでください。

### 作動原理

クルーズコントロールを使用すると、約30~240 km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

### ① インフォメーション

アクティブダウンシフト機能とアクティブブレーキ介入機能は、(特に下り坂などで)設定速度を維持するため、自動的に作動します。

## 表示部と制御部

### 各操作部



図. 135: クルーズコントロールの使用

R クルーズコントロールのON/OFF

1 設定速度の設定 / 加速

2 減速

3 クルーズコントロールの中断 (OFF)

4 クルーズコントロールの再開 (RESUME)

S オプションメニューを開く (ドライバーアシスタンスシステムがONになっている場合)

## クルーズコントロールのON/OFFの切り替え

### クルーズコントロールをONにする

- ▶ レバーのRボタンを押してください。
  - ➔ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

—または—

- ✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだONになっていません。
- 1. レバーのRボタンを押してください。
  - ➔ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
- 2. ステアリングホイールのロータリーノブを使用してクルーズコントロールを選択し、ノブを押して確定します。
  - ➔ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

### すでに有効化されたドライバーアシスタンスシステムからACCへの切り替え

1. レバーのSボタンを押します。
  - ➔ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ステアリングホイールのロータリーノブを使用してクルーズコントロールを選択し、ノブを押して確定します。
  - ➔ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ停止中になります。ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。



### クルーズコントロールON

インストルメントクラスターのグレーのアイコンは、クルーズコントロールがスタンバイ状態にあることを示します。

### クルーズコントロールを OFF にする

- ▶ レバーの **R** ボタンを押してください。
  - ➔ メモリーが消去され、スタンバイのシンボルマークが消灯します。

### クルーズコントロールの作動

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. コントロールレバーを前方(1の位置)に短く押します。

### クルーズコントロールの使用

#### 速度の維持と保存

- ▶ アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバー1(図. 135)を前方に押してください。



#### 設定速度

現在の設定速度は赤色のクルーズコントロールシンボルの下に表示され、自動的に維持されます。

#### 目標速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリングホイールのコントロールレバーを前方1に押します。短く押す = 1 km/h、押し続ける = 10 km/h。
- ▶ 速度を下げる場合は、ステアリングホイール2に向かってコントロールレバーを引きます。短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h。

新しく設定した速度がインストルメントクラスターに表示されます。

### ① インフォメーション

アクセルペダルを使用して加速することができます。こうしても保存された値は変更されません。アクセルペダルから足を離すと、保存された値はリセットされます。

### クルーズコントロールのキャンセル-キャンセル

クルーズコントロールをキャンセルする前の走行速度はメモリーに保存されており、コントロールレバーを押して再開することができます。

- ▶ コントロールレバーを下方向に押します(3の位置)。
  - または-
  - ブレーキペダルを踏みます
  - または-
  - セレクターレバーを作動モード **N** にしてください。
  - または-
  - レバーの **R** ボタンを押してください。

### 次のような状況では、クルーズコントロールは自動的にキャンセルされます。

- 車両が設定速度を超える速度、または設定速度未満の速度で一定時間走行している。
- ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) が有効。

### クルーズコントロールの再開 - RESUME

- ▶ コントロールレバーを上方向に押します(4の位置)。
  - ➔ クルーズコントロールは設定速度に達するまで加速または減速します。

### 速度制限および前方カーブあり警告の表示



図. 136: インストルメントクラスターの交通標識表示

- A** 主要交通標識
- B** 補助標識
- C** 前方カーブあり警告

インストルメントクラスターに、補助標識 **B** を含む主要交通標識 **A** (図. 136) を最大3個まで表示することができます。最も優先度の高い交通標識が左側に表示されます。

イグニッションを ON にすると、有効な最新の制限速度がインストルメントクラスターに表示されます。制限速度が検出されない場合(制限速度がない高速道路など)、または現在地で交通標識検知が利用できない場合は、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

- 交通静音化対策地域または住宅街では、「5 km/h」と表示されます。
- 交通標識のない高速道路や〔中央分離帯のある〕幹線道路の入口 / 出口では、郊外道路の該当する制限速度が表示されます。

## 警告およびブレーキ アシスト

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

システムが使用できないか、使用が制限されています

システムはその制限内でドライバーをサポートしますが、すべての状況で事故を防ぐことはできません。

事故を回避するために適切な運転を心がけるのは、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ システムを利用できない、または期待どおりに機能しない場合、ドライバーは常に車両を制御できるように備えていなければなりません。

### システム制限

システムの制限内で、システムは差し迫った正面衝突を警告し、適切なブレーキ操作を開始できます。すべての通行人および危険な状況を正確に素早く認識できるわけではありません。

車両の横および後方は監視されていません。

複雑な走行状況では、システムが不適切な警告を発したり、不必要なブレーキ介入を行ったりする可能性があります。

危険な状態に応じて、すべての警告およびブレーキアシストの保護措置を起動できるわけではありません。

システムは歩く速度よりも速ければ利用でき、85 km/h の速度まで歩行者に反応できます。速度が 250 km/h までの車両に反応できます。

システムは、動物や交差車両のほか、支柱、フェンス、列車などの障害物には反応しません。

次の場合、機能は使用できません。

- 後退時
- ブレーキライトが故障している場合
- PSM が作動不良で OFF になっている場合
- エアバッグコントロールユニットが故障している場合

次の場合、機能は制限されるか、使用できない可能性があります。

- 垂直連結荷重が大きい場合、警告およびブレーキアシスタントの反応が制限されるか、利用できない場合があります。
- シートベルトを着用していない場合
- 急カーブ
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物がある場合
- 豪雨、雪、霧、氷の場合
- フロントウィンドウが損傷している場合
- フロントウィンドウが非常に汚れている場合〔フロントカメラの領域〕
- パンパーが破損している場合〔パーキング分路などにより〕
- レーダーセンサーが損傷しているか、汚れている場合
- アダプティブクルーズコントロール(ACC) が作動不良の場合

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理

警告とブレーキアシスト (WBA) は、特定の危険な状況で、乗員および他の通行者を保護するための措置を開始できます。

警告とブレーキアシスト (WBA) には、国によって次の機能が含まれます：

- 距離警告
- 衝突警告
- ブレーキ時の振動
- 自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス
- 予防的乗員保護機能

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサーおよびフロントウィンドウ背面のカメラは、車両正面エリアを監視します。他の道路利用者 (車両、歩行者、自転車) と正面衝突しそうな状況を検出できます。

衝突警告は歩行者に関連して作動することがあります。すべてのサブ機能は車両に関連して作動します。

### **i** インフォメーション

- ▶ 特に、走行、車間距離、速度などに関して、該当する国固有の規制を遵守してください。ドライバーは常に、各国で適用される関連規制を遵守する責任があります。
- ▶ 警告およびブレーキアシストを OFF にするための指示に従ってください。
- ▶ 機能設定に関する情報を遵守してください。

▷ 145 ページの「警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える」の章を参照してください。

▷ 145 ページの「警告およびブレーキアシスト機能の設定」の章を参照してください。

## 距離警告

警告およびブレーキアシストが、近づきすぎて安全に危険があることを検出した場合、ドライバーはメータ・パネルでの警告

速度が約 65 km/h – 250 km/h の場合に検知できます。

## 衝突警告



図. 137: インストルメント クラスターの衝突警告

システムが衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストルメント クラスターに警告を表示してドライバーに注意を促します。

## ブレーキ時の振動

ドライバーが衝突警告に対応しない場合、警告音およびインストルメント パネルのシンボルに加えて、ブレーキ振動を与えます。ブレーキ振動によりドライバーの注意を喚起し、衝突の危険が高まっていることを知らせます。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。

## 自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス

ドライバーが緊急警告に反応しない、またはブレーキを十分にかけしていない場合、警告およびブレーキアシストは徐々にブレーキを強めていき、ドライバーのブレーキングをサポートしたり、車両を停止させることができます。

さらに、警告音が発せられ、インストルメント クラスターにシンボルマークが表示されます。車両を減速させることにより、事故の被害を軽減することができます。

### **i** インフォメーション

自動ブレーキ介入は、次のようにキャンセルできます。

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください
- ▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。
- ▶ 積極的にステアリング操作します。

### **i** インフォメーション

トレーラーモード時、質量の変化とブレーキとスタビライザーの挙動の変化により、トレーラーのブレーキ挙動とは異なる場合があります。

## ① インフォメーション

車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。

- ▶ 必要であれば、ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。

## 予防的乗員保護機能

### シートベルトシステム最適化

発進すると、フロントシートベルトは徐々に締め付けられます。

ドライブスピードが約 30 km/h に達するか、シートベルトを再度締めるとこの機能が作動します。

### シートベルトおよび車内のプレコンディショニング

危険な状態になると、予防的乗員保護システムの効果を高めるために、衝突に備える保護措置が開始されます。そのため、状況に合わせてフロントのシートベルトの張力調整が行われたり、ウィンドウを開いて（装置によっては）サンルーフが閉じられたり、（装置によっては）フロントシートの両側のボルスターが膨らまされたりします。

次の状況において、システムの制限内で予防的乗員保護措置を作動できます。

- ドライバーによる約 30 km/h の速度からの緊急停止中
- 車両による自動ブレーキ介入の作動中

衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シートベルト張力はもう一度緩められます。

### システム制限

- 繰り返し作動により（例えば、安全運転トレーニングにおいて）、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなること

があります。この場合、シートベルトを外して再度着用するか、警告およびブレーキアシストを無効にします。

- リバーシブルシートベルトプリテンショナーが故障している場合、予防的乗員保護機能は限られた範囲でのみ使用可能です。
- 事故後、シートベルトプリテンショナーは損傷している可能性があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- PSM の機能が制限されているか OFF になっていると、警告およびブレーキアシストの予防的乗員保護機能も無効になります。

## 警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える

### 情報

- ▶ 次の状況では、警告およびブレーキアシストを OFF にしてください。
  - 公道以外を走行する場合。
  - 復旧車両、車両輸送専用車、電車、船舶などでの輸送中。
  - 車両をけん引するとき。

### ▶ ▶ アシスタンス ▶ 標準アシスト ▶ 警告およびブレーキアシスト

- ➔ 警告およびブレーキアシストが制限されているか OFF になっている場合、それを示すアイコンがインストルメントクラスターに表示されます。

▶ 147 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

## 警告およびブレーキアシスト機能の設定

### ▶ ▶ アシスタンス ▶ ベーシックアシスト ▶ 警告およびブレーキアシスト ▶ 距離警告

以下の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

- **距離警告**  
警告時間も設定できます。
- **衝突警告**  
警告時間も設定できます。

## 表示および入力

### ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイ (HUD) は、重要なメッセージや選別された情報をフロント ウィンドウのドライバーが見える場所に投影します。これにより、ドライバーは道路から目を離すことなく、車両速度、エンジン回転数、ナビゲーションなどの情報を読み取ることができます。情報はカスタマイズできます。ヘッドアップディスプレイ (HUD) はインストルメント パネルの補助ディスプレイです。

#### 情報

ガラス カバーの傷により損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドアップディスプレイのガラス カバーの上に物を置かないでください。

#### 📌 インフォメーション

ヘッドアップディスプレイに表示された情報のドライバー ビューは、複数の要因に影響されます。

- ▶ 以下の点に留意してください。
  - 特定の偏光フィルター付きサングラス。
  - 濡れた路面。
  - 望ましくない照明条件。
  - ガラス カバー上の荷物。
- ▶ ヘッドアップディスプレイが適切な位置にセットされ、高さが正しく調節されていることを確認してください。

### ヘッドアップディスプレイの有効化 / 無効化 および設定

設定で、表示される情報のパーソナライズやヘッドアップディスプレイの明るさの設定など、さまざまな調整を行うことができます。

▶  ▶  設定 ▶  ディスプレイ ▶  ヘッドアップディスプレイ

## インストルメントパネル インストルメントパネル (パワーメータ -) の概要



図. 138: インストルメント クラスタ

### A-速度 & アシスト画面

外気温度、速度およびアシスト システムに関する情報は、チューブ 1 と 2 に表示されています。

速度 & アシスト表示の設定:

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### B-タコメーター (回転計)

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

### C-デジタルスピードメーター / パワー & ドライブ画面

速度、セレクターレバー位置、入っているギアおよび起動中の走行プログラムに関する情報は、デジタルスピードメーターに表示されます。

## D-車両 & 情報画面

車両ステータス、ドライバーアシスタンス、および日付と時刻に関する情報は、チューブ **4** と **5** に表示されています。

車両 & 情報表示の設定:

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## E-電カメーター

✓ Eハイブリッド車両

パワーメーターでは、現在の電気駆動力が6時方向の左側に表示され、現在の回生電力が6時方向の右側に表示されます。

## F-クーラント温度計

### 情報

クーラント温度が高すぎるとエンジンが損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。警告灯  が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両の装備仕様により、クーラント温度がディスプレイに表示される場合があります。

### バーが左部分にあるとき-エンジン冷間時

- ▶ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

### バーが中央部分にあるとき-通常の作動温度

- ▶ 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッドゾーンを示すことがあります。

### バーがレッドゾーンにあるとき-作動温度が高すぎる

- ▶ クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の作動状態に戻っても警告が消えない場合、クーラントレベルを点検してください。  
▶ 227 ページの「クーラント」の章を参照してください。

## F-バッテリーの充電状態

✓ Eハイブリッド車両

バッテリーの充電状態および電動走行可能距離を表示します。

### 充電ポートリッド位置の表示



矢印は充電ポートリッドが付いている車両の側を示しています。

## F-ブースト圧表示

車両の装備仕様により、ブースト圧はディスプレイに表示されます。

## G-燃料計

### 情報

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

車体の傾きが変化する場合（上り坂や下り坂の走行など）、表示位置が少し変化することがあります。

### 燃料残量警告

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、残燃料低下警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。  
▶ 259 ページの「補給」の章を参照してください。

## フィルターフラップ位置の表示



矢印は車両のフィルターフラップの付いている側面を示しています。

## インストルメントクラスターの操作



運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメントパネルは、イグニッションがONのときのみ作動します。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

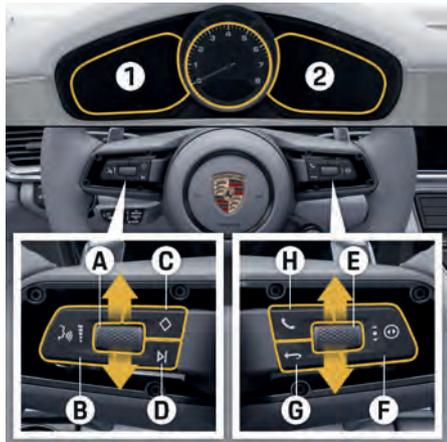


図. 139: マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターの操作

#### A- 音量の調節またはオーディオソースのミュート

- ▶ 音量調節：ロータリーノブA(図. 139)を上方向または下方向に回します。
- ▶ ミュート：ロータリーノブAを押します。

#### B- ボイスコントロールの呼び出し

- ▶ ボタンB(図. 139)を押してください。

#### C- 保存した機能呼び出し

- ▶ ◇ ボタンC(図. 139)を押してください。ボタンは個別に割り当てることができます。
  - ▶ 181ページの「車両設定」の章を参照してください。

#### D- 次/前の放送局/トラックを再生する

- ▶ ボタンD(図. 139)を押してください。

#### E- 速度 & アシスト機能1ディスプレイおよび車両 & 情報2ディスプレイでメニューおよび機能をスクロールし選択する

- ▶ スクロール：ロータリーノブE(図. 139)を上方向または下方向に回します。
- ▶ 選択/入力：ロータリーノブEを押します。

#### F- 速度 & アシスト機能1ディスプレイおよび車両 & 情報2ディスプレイの切り替え

- ▶ ボタンF(図. 139)を押してください。

#### G- ディスプレイでの1つ以上前の選択レベルへの移動

- ▶ 戻るボタンG(図. 139)を押してください。

#### H- 通話に応答する / 終了する / 拒否する

- ▶ 電話ボタンH(図. 139)を押してください。

#### **i** インフォメーション

長いリストから項目を探す際、選択した文字で始まる項目までスキップするには、ロータリーノブを上方向または下方向に短時間回してください。

#### オプションの選択および機能の有効化

手前のシンボルマークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

#### 複数のオプションから1つを選択

- オプションは選択されています。
- オプションは選択されていません。

#### 機能の有効化および無効化

- 機能は作動しています。
- 機能が停止している

## インストルメントパネルの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。



図. 140: インストルメントパネルの表示項目

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
1	▶ 外気温度	外気温度を表示します。	—
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	—
2	▶ 走行距離および区間走行距離	<p>オドメーター（積算距離計）およびトリップメーターを表示します。トリップメーターは、9,999 km を超えた後、「0」に戻ります。</p> <p><b>トリップメーターをリセットする</b></p> <p>▶ マルチファンクションステアリングホイールの右ロータリーノブ <b>A</b> (図. 139) を長押しします。 トリップメーターが点滅します。3回の点滅後、トリップメーターは「0」に戻ります。</p>	—
2	▶ アシスタンススクリーン	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) を調節および表示します。</p> <p>レーンチェンジアシスト (LCA) を表示します。</p>	<p>▶ P. 88</p> <p>▶ P. 134</p>

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
		レーンキープアシストを表示します。	▷ P. 131
		クルーズコントロールを表示します。	▷ P. 141
		交通渋滞アシストを表示します。	▷ P. 139
2	▶ ハイブリッドアシスタント	電気駆動力の現在の分配（緑色部分）を表示します。内燃エンジンはパワー限界値 E max で ON になります。	▷ P. 107
2	▶ 速度制限	速度警告を伴う速度制限のパーソナル設定を行い、表示します。	▷ P. 152
2	▶ ナビゲーション	ナビゲーション情報（分岐メッセージなど）を表示します。	—
4	▶ 電話	接続した電話を使用します。	▷ P. 202
4	▶ 駆動力分配	フロント アクスルとリヤ アクスルの間の現在のトルク分配を棒グラフ形式で表示します。	—
4	▶ Sport Chrono	ストップウォッチで時間を計測します。	▷ P. 199
4	▶ ブーストアシスト	加速に使用される電気駆動力の現在の分配を表示します。	▷ P. 107
4	▶ エナジーフロー	エネルギーフローを表示します。	▷ P. 107
4/5	▶ 電気消費量	車両ドライブおよびコンフォート電装品（エアコンなど）の電気消費量とその割合を表示します。	▷ P. 107
4/5	▶ 車両	車両設定および車両情報（メッセージ、サービス インターバル、および充填レベル）を表示します。	▷ P. 152

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
4/5	▶ トリップ	走行データ（平均燃費、走行可能距離、走行時間など）を表示およびリセットします。	▶ P. 181
4/5	▶ G-Force	現在の最大縦切加速度および最大横加速度を円グラフで表示します。	—
4/5	▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧モニタリングシステムを表示します。	▶ P. 244
4/5	▶ マップ	地図画面を表示および調整します。	—
4/5	▶ ナイトビューアシスト	熱画像検出機能付きのナイトビューアシストを表示します。	▶ P. 116
5	▶ 時刻と日付	時刻と日付を表示します。	—

## 速度警告を伴うカスタム速度制限の設定

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い有効にすると、制限を超えた場合に警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、装着しているタイヤの種類に許容される最高速度を守るために、ドライバーに注意を喚起する場合などに利用できます。

### 1. 速度制限 ▶ Lim 1: または Lim 2:

### 2. 任意の制限を選択します：

- リセット 速度制限をリセットします。
- 現行：現在の速度を設定してください。
- 手動 任意の速度値を設定してください。
- 有効 速度制限を有効、または無効にします。

- 速度制限が作動しています。  
 制限速度は無効です。

## 車両情報の表示

### さまざまな車両情報の表示

#### ▶ 車両 ▶ ビュー

希望する車両情報ビューを選択してください。

カスタム ディスプレイの設定方法:

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### メッセージの表示

#### ▶ 車両 ▶ 通知

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のエリアに表示される警告メッセージは、未解決の重要な警告メッセージの数を示します。

## サービスインターバルの表示

### ▶ 車両 ▶ メンテナンス

任意のサービスインターバルを選択します。

次のサービス時期が表示されます。

▶ 229 ページの「エンジン オイル レベルの点検」の章を参照してください。

## 警告灯およびインジケーター ライト

### 情報

不具合は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

- ▶ 車両の作動準備が整っているときや走行中に、警告灯が点灯または点滅した場合。
- ▶ ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告灯が表示されると、警告音も鳴ります。

特定のイベントが発生したとき、ドライバーにとって優先度が高いメッセージや、情報を提供するメッセージがインストールパネルに表示されます。このメッセージに了解すると、チューブメニューを開けるようになります。

- ▶ 148 ページの「インストール クラスターの操作」の章を参照してください。
- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両の装備に応じて、次の警告灯とインジケーター ライトが表示されます。



### クーラント温度の警告灯

クーラント温度が高過ぎます。

- ▶ 運転を続けず、適切な場所で安全に停車してください。
- ▶ ▶ 車両を OFF にして、冷却してください。
- ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。クーラント レベルを点検してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>
  - ▶ 227 ページの「クーラント」の章を参照してください。



### ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 警告灯

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 機能が故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>
  - ▶ 120 ページの「ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。



### エアバッグ警告灯

エアバッグ システムが故障している可能性があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>
  - ▶ 51 ページの「エアバッグ」の章を参照してください。



### シートベルト警告灯

シートベルトが着用されていないか、正しく着用されていません。

- ▶ シートベルトを正しく着用してください。
  - ▶ 78 ページの「シートベルト」の章を参照してください。



### ブレーキシステム警告灯

警告灯が常時点灯：パーキング ブレーキがかかっているか、ブレーキシステムが故障しています。ブレーキフルード レベルが低すぎる可能性があります。

警告灯が点滅：パーキング ブレーキに故障があります。

- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>
  - ▶ 96 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
  - ▶ 226 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ブレーキ システム警告灯**

警告灯が常時点灯：パーキング ブレーキがかかっているか、ブレーキ システムが故障しています。ブレーキ フルード レベルが低すぎる可能性があります。

警告灯が点滅：パーキング ブレーキに故障があります。

- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>  
▷ 96 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
- ▷ 226 ページの「ブレーキ フルード」の章を参照してください。

**エンジン制御システム警告灯**

エンジン制御システムで重大な欠陥が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ 運転を続けず、安全に停車し、車両を OFF にしてください。
- ▶ ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>

**火災の恐れあり**

車両の走行システムまたは充電システムに重大な不具合が検出されました。

- 直ちに安全な場所に駐車して、n 車から降りてください
- ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
- ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>

**ハイブリッドシステムの重大な故障を示す警告灯**

ハイブリッドシステムまたは車両の高電圧バッテリーで重大な欠陥が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ 運転を続けず、安全に停車し、車両を OFF にしてください。
- ▶ ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>

**中央の警報灯**

少なくとも 1 つの警告メッセージが表示または保存されています。

- ▷ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

**ブレーキパッドの摩耗を示す警告灯**

ブレーキパッドが摩耗しています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店でブレーキパッドを交換してください。<sup>1</sup>  
▷ 96 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

**エレクトリックパーキングブレーキ警告灯**

警告灯が常時点灯：パーキングブレーキに故障があります。

警告灯が点滅：ブレーキシステムに不具合があります。

- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。<sup>1</sup>
- ▶ 122 ページの「ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。
- ▶ 96 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**アンチロック ブレーキ システム警告灯**

アンチロック ブレーキ システム (ABS) またはボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しました。ブレーキブースターに不具合がある可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 可能な限り、急ブレーキを避けてください。制動距離が長くなることを考慮してください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>
- ▶ 122 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。



**ボルシェ スタビリティ マネージメント警告灯** 警告灯が点滅：ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) コントロール プロセス。122 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

**警告灯が常時点灯**：ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 過酷な走行条件下では急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店で修理してください。<sup>1</sup>
- ▶ 122 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

**PSM OFF 警告灯**

ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が無効になっています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 122 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

**ステアリングシステム警告灯**

ステアリングシステムが故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>

**AWD システム警告灯**

車両の AWD システムで不具合が検出されました。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>

**タイヤ空気圧警告灯**

ホイールまたはタイヤや新しく取り付けられた空気圧センサーの登録プロセス中に、1 つまたは複数のタイヤの圧力が低下した場合、またはタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障や一時的な不具合が生じた場合、警告灯が点滅または点灯することがあります。

- ▶ 道路状況に合わせた速度と運転を心がけてください。急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
- ▶ 適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。該当するタイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてシーラントを追加してください。次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店で修理してください。<sup>1</sup>

**アシスタンス システム警告灯**

ドライバー アシスタンス システムが OFF になっています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**E-Sound 警告灯**

E-Sound が OFF になっています。

- ▶ ▶ 電動モーターでの走行中、他の道路利用者があなたの車両の音に気付かない可能性があるため、細心の注意を払って走行してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup>
  - ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

**ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 警告灯**

ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) が故障しています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。<sup>1</sup>

**レーンチェンジアシストのインジケータライト**

レーンチェンジアシストが作動しています。

- ▶ 134 ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。

**ナイトビューアシストインジケータライト**

ナイトビューアシストが作動しています。

- ▶ 116 ページの「ナイトビューアシスト」の章を参照してください。

**距離警告灯**

前方車両に接近しすぎているという危険を知らせます。

- ▶ 143 ページの「警告およびブレーキアシスト」の章を参照してください。

**ライト警告灯**

車両のライトが故障している可能性があります。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>

**ハイブリッドシステムの故障を示す警告灯**

ハイブリッドシステムまたは車両の高電圧バッテリーで欠陥が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>

**警告およびブレーキアシスト警告灯**

警告とブレーキアシストの動作が制限されています。

道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。<sup>1</sup>
  - ▶ 144 ページの「作動原理」の章を参照してください。

**エンジンコントロールシステム警告灯**

エンジン制御システムで欠陥が検出されました。道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くポルシェ正規販売店で故障を修理してください。<sup>1</sup>

**HOLD HOLD 機能インジケータライト**

HOLD 機能が作動しています。車両は、自動的に停止状態を保ちます。

- ▶ 106 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。

**READY 作動待機インジケータライト**

車両を走行させないでください

- ▶ 100 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

**ロービームインジケータライト**

ロービームヘッドライトが ON になっています。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



**ダイナミックハイビームインジケータースイッチ**  
ダイナミックハイビームアシストがONになっています。

交通状況に応じて自動的にハイビームヘッドライトのONとOFFが切り替わります。  
▶ 111ページの「ライト」の章を参照してください。



**ハイビームのインジケータースイッチ**  
ハイビームヘッドライトがONになっています。  
▶ 111ページの「ライト」の章を参照してください。



**リヤフォグライトインジケータースイッチ**  
リヤフォグライトがONになっています。  
▶ 111ページの「ライト」の章を参照してください。



**フォグライトインジケータースイッチ**  
フォグライトがONになっています。  
▶ 111ページの「ライト」の章を参照してください。



方向指示灯、左



方向指示灯、右



#### トレーラー方向指示灯

トレーラー方向指示器がONになっています。

▶ 111ページの「ライト」の章を参照してください。



#### エミッションコントロール警告灯 (チェックエンジン)

汚染物質の排出量を増加させたり、損傷を引き起こす原因となったりする作動不良 (エンジンの不点火など) が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

#### エミッションコントロール (チェックエンジン) 警告灯が点滅または点灯する場合

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロールシステムの不具合を解消してください。  
▶ 168ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

### 概要説明 - PCM

この概要説明は、本項に記載された完全な説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図 141: PCM ロータリー プッシュ ボタンおよびボリューム スイッチ

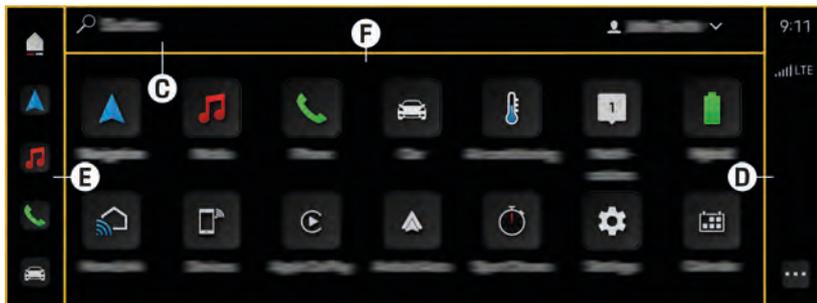


図. 142: タッチディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作箇所
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリューム スイッチ A (図. 142) を押してください。	—
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリューム スイッチ A (図. 142) を押し続けてください。	—

希望する操作	操作方法	操作箇所
音量を調節する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボリュームスイッチ <b>A</b> (図. 142) を回してください。</li> <li>–または–</li> <li>マルチファンクションステアリングホイールのボリュームスイッチ (ロータリーノブ) を回します。</li> </ul> <p>ミュート：マルチファンクションステアリングホイールのボリュームスイッチ <b>A</b> (図. 142) かボリュームスイッチ (ロータリーノブ) を軽く押してください。</p>	–
PCMの操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ロータリー プッシュ ボタン <b>B</b> (図. 142) で PCM を操作します。</li> </ul>	▶ P. 162
グローバル検索を使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 検索エリア <b>C</b> (図. 142) に検索テキストを入力するか、音声入力を使用してください。</li> </ul>	–
時間、接続、ステータスシンボル、オプションを表示する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ステータスエリア <b>D</b> (図. 142) を使用します。</li> </ul> <p>ステータスシンボルを選択すると、該当する設定 (イオナイザー、ガレージドアオープナーなど) を直接呼び出すことができます。</p>	▶ P. 162
アプリのカスタマイズビュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓  が選択されています。</li> <li>▶ ステータスエリア <b>D</b> (図. 142) ... で <b>アプリの並べ替え</b> をタップします。</li> </ul>	▶ P. 185
個人画面を開く	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ホーム画面  で左にスワイプします。</li> </ul> <p>MyScreen  が表示されます。</p>	▶ P. 185
MyScreenの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ MyScreen  が表示されます。</li> <li>▶ ステータスエリア <b>D</b> (図. 142) ... で <b>MyScreen の設定</b> をタップします。</li> </ul>	▶ P. 185

希望する操作	操作方法	操作箇所
メインメニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メインメニュー <b>E</b> (図. 142) とコンテンツおよびインタラクションエリア <b>F</b> (図. 142) を使用します。	P. 161
セットアップウィザードを呼び出す	PCM の初回起動時には <b>セットアップアシスタント</b> が開き、PCM 設定のための重要なステップが表示されます。 セットアップウィザードを手動で呼び出すには: -  ▶ <b>設定</b>  <b>セットアップアシスタント</b>	-
プライベートモードを有効/無効にする (一部の国で利用可能)	-  ▶ <b>設定</b>  <b>ボルシェコネクト設定</b> ▶ <b>プライベートモード</b> の順にタップします。	P. 197
サービス間隔の表示	▶  ▶ <b>[サービス]</b> をタップします  をタップします。 次回のサービス時期が表示されます。	-
システムおよび車両設定を変更する	▶  ▶ <b>設定</b>  ▶ <b>システム/車両</b> をタップします。	▶ P. 181
車両情報の表示	▶  (E (図. 142) を参照) <b>ドライブ</b> をタップします。	-
通知を表示する	▶ コンテンツおよびインタラクションエリア <b>F</b> (図. 142) で  をタップします。	▶ P. 180

## セントラルディスプレイ

### PCM表示コンテンツ

#### ダッシュボードのタッチディスプレイ

#### A – ホーム画面 / MyScreen

▶ 185 ページの「ホーム画面および個人画面」の章を参照してください。

#### B – メインメニュー（メイン操作エリア）

メインメニューは次の3つのメインエリアに分かれています。

- 🏠 ホーム画面 / 👤 個人画面
- 📍 ナビゲーション
- 🎵 メディア
- 📞 電話
- 🚗 車両

▶ 162 ページの「タッチスクリーンの操作」の章を参照してください。

メイン操作エリアは個別に設定することができます。

▶ 185 ページの「ホーム画面および個人画面の設定」の章を参照してください。

#### C – クイックフィルターバー / グローバル検索（サブ操作エリア）

選択したメニューに応じて、このエリア（クイックフィルターバー）にメニュー項目が追加されたメニューバーが表示されます。ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

#### D – 時刻 / 温度

▶ 162 ページの「タッチスクリーンの操作」の章を参照してください。

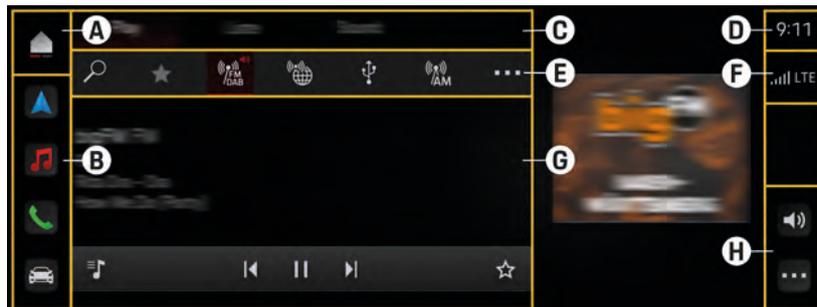


図. 143: ダッシュボードのタッチディスプレイコントロール

#### E – フィルターバー

選択したメニューに応じて、フィルターバーが表示されます。

#### F – 接続およびステータスシンボル

▶ 183 ページの「デバイスマネージャー」の章を参照してください。

#### G – コンテンツおよびインタラクティブエリア

#### H – コンテンツとインタラクティブエリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

[オプション]で、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

#### 操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) はセントラルコントロールユニットです。車両バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。

安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

## リヤのタッチディスプレイ

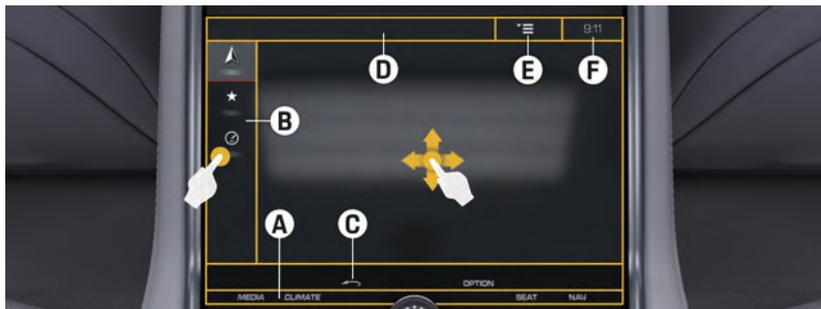


図. 144: リヤタッチディスプレイコントロール

## A-メインメニュー

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## B-サブメニュー

## C-戻る

## D-ヘッダー

例えば、選択したメディアソースを表示します。クリック選択をタップして開いてください。

## E-各メニュー項目のオプション

## F-時刻または外気温ディスプレイ

## タッチスクリーンの操作

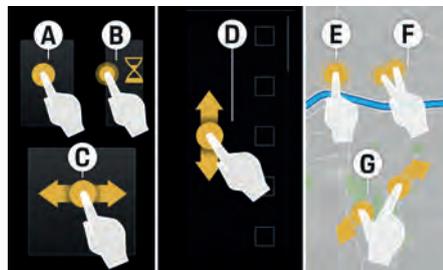


図. 145: タッチスクリーンの操作

## A タップ (選択)

タッチスクリーンを指で軽くタッチします。  
例：機能をタップしたり、チェックボックスを有効/無効に切り替えます。

## B 長押し

タッチスクリーンを指で長くタッチします。  
例：メディアメインメニューでお気に入りとして放送局を保存します。

## C スワイプ

タッチスクリーン上で指を左右に動かします。  
例：お気に入りを左右にスクロールします。

## D 上下にスワイプ (スクロールと切り替え)

タッチスクリーンを 1 本の指で上下にスワイプします。例：リスト内を手動でスクロールするか、Info Widget を変更します。

## E 上下にスワイプ (切り替え)

タッチスクリーンを2本の指を使って上下にスワイプするとナビゲーションメインメニューの地図が傾きます。

## F ズーム

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチディスプレイを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。

## ロータリー プッシュ ボタンとボタンを使用した PCM の操作



図 146: ロータリー プッシュ ボタンの操作

- 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタンを回してください。
- ロータリー プッシュ ボタンを押して、ハイライト表示された機能を有効にします。
- ボタン  で1つ前のメニューへ移動します。
- 各メニュー項目の最も重要な設定を開くには、ボタン **OPT** を使用します。

## メニューを開く

### メインメニューを開く

- ▶ メイン操作エリア (  など ) のメニューをタップします。

### サブメニューの呼び出し

- ▶ クイック フィルターバーのメニュー項目 (例: **連絡先**) をタップします。

### 各メニュー項目の設定を開く

✓ 希望のメニューが選択されている。

- ▶ オプション... をタップします。
  - ➔ それぞれのコンテンツまたはインタラクティブ エリアの設定およびその他の機能が表示されます。

### 時刻の表示または温度の設定

- ▶ ステータス エリアで時間 **9:11** または温度をタップすると、ディスプレイを調整できます。

### PCM の設定方法:

- ▶  ▶ **設定**  **ディスプレイ** ▶ **センターディスプレイ**

### テキストと文字の入力

テキストや文字を入力できる場合は、すぐに入力フィールドが表示されます (ナビゲーション目的地や検索ワードの入力など)。検索結果をタッチすると、検索結果リストが拡大表示されます。



図 147: タッチスクリーンのキーボード

- A 前
- B 現在のカーソル位置
- C 自動訂正と提案された検索結果
- D オンライン検索 (国によってはご利用いただけない場合があります)
- E 文字 / 数字と特殊文字の入力切り替え
- F 統合検索 (PCM メモリー内とオンライン コンテンツの検索)
- G スペースを挿入する
- H 検索結果リストの拡大
- I 検索エリア (国によってはご利用いただけない場合があります)
- J 入力データを削除する
- K 手書き入力 (タッチスクリーンからアルファベットや文字を入力) (一部の国別仕様では使用不可)
- L 結果リスト

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります:

### キーボードによる入力

- 希望の入力フィールドを選択してください。
  - ➔ タッチ ディスプレイ キーボードが表示されます。
- 希望のテキストまたは文字を入力してください。
- アクセントやウムラウトなどを入力するには、希望の文字を長押ししてください。
  - ➔ アクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

## ロータリー プッシュ ボタンによる入力

1. 希望の文字または記号がハイライト表示されるまで、ロータリー / プッシュ ボタン(図. 146)を回します。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3. ボタン  を使用して、文字入力フィールドから結果リストにジャンプします。
4. ボタン  を使用して、結果リストから入力フィールドにジャンプします。

## 手書き入力による入力

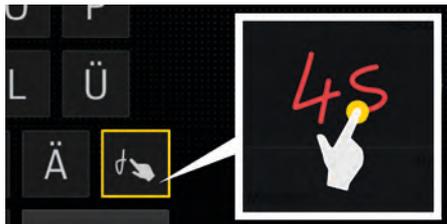


図. 148: 手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

1.  を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書いてください。
3. スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
4. スペースを削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。

## 音声入力による入力

ボイス コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

▶ 165 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

## PCM でマニュアルを開く

- ✓ 車両が停止していること。

▶  ▶ 取扱説明書

## ボイスコントロール

### ボイスコントロールの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

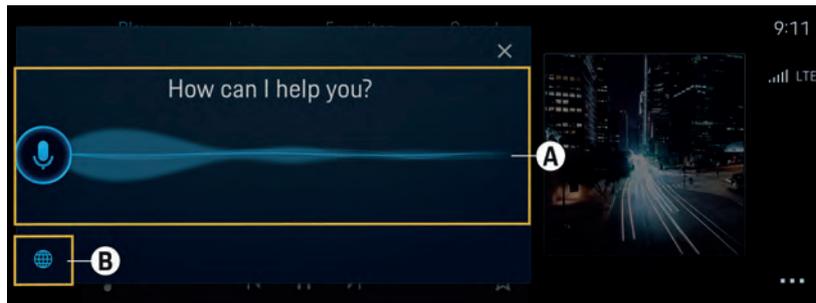


図. 149: ボイスコントロールを使用

希望する操作	操作方法	操作箇所
ボイスコントロールの起動	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。</li> <li>▶ <b>ヘイ、ポルシェ</b>と話しかけます (機能が有効になっていること)。</li> <li>▶ PCMで  ▶  ▶  をタップします。</li> </ul> 信号音が鳴り、PCM に対応するウィンドウ (A (図. 149) を参照) が表示されます。	▶ P. 165
ボイスコントロール設定の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ PCMで  (B (図. 149) を参照) をタップします。</li> </ul>	▶ P. 165

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。



**警告**

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。特定の状況では、これにより電話接続に失敗したり、接続に時間を要してしまうおそれがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。
- ▶ セントラルディスプレイを使用して緊急電話番号を入力してください。

ボイスコントロールシステムはドライバーの指示を聞き取って、車両機能の利用や運転中のさまざまな操作をアシストします。

ボイスコントロールシステムは頼りになるパートナーであり、インタラクティブに利用できます。ボイスコントロールは、音声入力に対して反応し、提案を行い、ドライバーからの質問に応じて検索を実行し、さらに環境データを取り込みます。

選択したブレーキリング/ヒーティング機能、人間工学に基づいた機能、メディア機能、ナビゲーション機能、電話機能を、簡単な音声コマンドによって手軽に利用できます。

ボイスコントロールはヘルプ機能も提供します。

### ボイスコントロールの使用 オンラインモード

- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっていること。
  - ✓ クラウドへのデータ転送が許可されていること。
  - ✓ データ接続が十分であること。
  - ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- オンラインモードでは、ボイスコントロール機能の全範囲にアクセスできます。

オンラインモードはPCMにアイコンで表示されま  
す。

データ接続が不十分な場合、PCMは自動的にオフライン  
モードに切り替えます。オフラインモードでは、一  
部のボイスコントロール機能を限られた範囲でのみ使  
用できます。

ボイスコントロールがオフラインモードになっている  
場合、PCMにアイコンが表示されます。

- ✓ イグニッションがONになっていること。
- ✓ リバースギヤが選択されていないこと。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パークアシストが作動していないこと。

## ステアリングホイールでボイスコントロール を開始する



図. 150: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

1. ステアリングホイールのボタンを押します。  
➔ 信号音が鳴り、対応するウィンドウがPCMに  
表示されます。
2. ボイスコマンドで発話してください。

## PCMからのボイスコントロール起動

1. PCMで▶▶▶をタップします。  
➔ 入力リクエストの音が鳴り、対応するウイ  
ンドウがPCMに表示されます。
2. ボイスコマンドで発話してください。

検索結果は、そのとき選択されているクイックフィル  
ターバーのみに限定されます。例えば、クイックフィル  
ターバーの**メディア**が選択されている場合は、この  
クイックフィルターバーの検索結果のみが表示されま  
す。

## 「Hey, Porsche」と発話してボイスコントロ ールを開始する

1. ▶▶ボイスコントロール▶「Hey  
Porsche」でボイスコントロール起動
2. 「Hey, Porsche」と言って、目的のボイスコマ  
ンドを発話します。

## ボイスコントロールの一時停止

- ✓ ボイスコントロールが作動しており、ボイスコマ  
ンド待機中であること。
- ▶ をPCMでタップします。  
➔ 会話が一時停止し、もう一度タップすると  
再開できます。

## ボイスコントロールの終了

- ✓ ボイスコントロールが作動しており、ボイスコマ  
ンド待機中であること。
- ▶ ステアリングホイールのボタンを押します。  
-または-  
中断と発話します。  
-または-  
ウィンドウ以外の場所をタップします。  
-または-  
PCMでをタップします。  
➔ 終了音が鳴ります。

## ボタンによるボイスコントロールの中断

- ボイスコントロールの音声出力は、会話中に中断され  
る場合があります。
- ▶ ステアリングホイールのボタンを短く押しま  
す。

## 音声入力によるボイスコマンドの中断

ボイスコントロールのボイスコマンドは会話中でも中  
断できます。これにより、他のボイスコマンドを発話  
したり、すぐの実行したりできます。PCMで機能を有  
効にします：

- ▶ ▶▶ボイスコントロール▶ボイスコ  
ントロールの**読み込みを有効にする**をタップしま  
す。

## 外部ボイスコントロール(SiriやGoogleアシ スタントなど)の起動

- ▶ 178 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してくだ  
さい。

▶ 176 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

## 外部ボイス コントロール (Siri や Google アシスタントなど) の終了

▶ 178 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

▶ 176 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。  
➔ 終了音が鳴ります。

## インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイス コントロールが起動している状態で、ボイス コントロール、ロータリー / プッシュ ボタン、またはタッチ ディスプレイからリスト項目を選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイス コントロールはもう一度お願いしますと応答しますので、再度ボイス コマンドを言ってください。

## ボイス コントロールを用いたコミュニケーション時の注意

ボイス コントロールを使用する際は、以下の点を遵守してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
- 長い間をおかずにもう一度ボイス コマンドを強調してください。
- ドア、ウィンドウ、スライディング ルーフを閉じるなどして、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ボイス コントロールはドライバーのために最適化されています。

## 自然な音声コマンドを使用する

ボイス コントロール システムは、自然な音声コマンドを使用して操作でき、さまざまな種類の発話コマンドに対応します。

- 「エアコンを 22 °C に設定して」、「指圧マッサージを ON にして」、「ロンドンのパラメント ストリートまで連れて行って」など、自然な会話による指示を使用できます。
- 「寒い」、「ガソリン スタンドに行きたい」、「お腹が空いた」など、自分が希望することを伝えることができます。
- 「高速道路を避ける」、「ルート沿いのパン屋を検索」など、状況に関連する音声コマンドを使用できます。
- 「走行可能距離は?」、「東京の天気は?」など、情報を確認することができます。
- 「メディア エリアでは何ができるの?」、「音声認識ってどういう仕組み?」など、一般的な質問をして検索することができます。

- 「マップを表示したい」、「連絡先を表示して」など、主要な機能を使用することができます。
- マップを使った目的地設定: 希望する目的地を長押しして、「へい、ポルシェ、ここに連れて行って」と言ってください。

## 一般ボイス コマンド

以下の音声コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

- 修正
- 一時停止
- キャンセル / 中断
- ヘルプ

## ボイス コントロールによるリストの使用

### リストをブラウズする

- ✓ ボイス コントロールが作動していること。
- ▶ **次のページ/前のページ**と発話します。

### リストから項目を選択する

PCM に青色で表示されている行番号とリスト項目は、発話により選択できます。

- ✓ ボイス コントロールが作動していること。
- ▶ **1 行目**と発話します。  
-または-  
リスト項目を発話します。

## マルチモデルマップ

マルチモデルマップにより、ナビゲーション中にボイスコントロールとマップ間の操作が可能になります。これにより、言語によるより迅速で多様な目的地の検索が可能となります。▶ 168 ページの「コマンドの例」の章を参照してください。

### ボイスコントロールによるマルチモードマップの起動

ボイスコントロールを使って起動する場合、PCM で呼び出されているメニューは関係ありません。

- ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- ▶ **マップ上に書き込みたい**と言います。  
- または -  
**マルチモデルマップを表示して**と言います。
- ➡ マップが開き、青いフレームが表示されます。

### マルチモデルマップを手動で有効にする

1.   **ナビゲーション**
2. ボイスコントロールを起動します。
- ➡ マップに青いフレームが表示されます。

## コマンドの例

以下のリストでは、ボイスコントロールシステムが対応可能な自然な音声コマンドと指示の一部のみを示しています。適切なデータ接続を確保することで、検索結果が改善され、所要時間が短縮されます。

### エアコンシステム/コンフォート機能

- シートヒーターをレベル 2 に設定して。
- フロントガラスが曇っています。
- マッサージをして欲しい。
- アンビエントライトを赤に変更して。
- リヤの温度を 24 °C に設定して。
- 助手席のシートベンチレーターをレベル 2 に設定して。

### ナビゲーション/運転中/ファインダー

- ポルシェ ミュージアムに連れて行って。
- 給油が必要になるのはいつ頃?
- ルート沿い/目的地のレストランを検索。
- どれくらい時間がかかる?
- 駐車場を検索して。
- 職場まで連れて行って。
- 私は最近どこまで運転した?
- 東京都港区虎ノ門 1-23-1 まで案内して。

### メディア

- Porsche Sounds で「Get a Life (例)」を再生して。
- マイケル・ジャクソンのアルバム「Bad」を再生して。
- 今聴いているのは何の曲?
- 音楽を検索したい。
- Apple Music で Nelly Furtado を再生して。
- クラシック FM を再生して。
- 次の曲をかけて。
- 別のソースを選択したい。

### 電話

- ✓ 通話中ではない。
- John Doe に電話して。
- 020 911 (例) をダイヤルして。
- Andreas Falk に電話をかけ直して。
- 通話履歴を表示して。
- 新しい電話を接続したい。

### 過去の会話に対応する

- ✓ ボイスコントロールが作動していること。
- その他の音声コマンドを使用して、メイン機能 (電話など) の過去の会話に対応することができます。
- John Doe にもう一度電話して。

### マルチモデルマップ

- ✓ 目的地が選択されている状態 (ピンがマップに配置されている)。
- そこまで案内して。
- 近くのレストランを検索して。
- 近くのパン屋を検索して。
- そこにある郵便局を検索して。

### ボイスコントロールのヘルプ

システムはさまざまな方法でのアシストが可能で、質問をしたり、特定の問題について報告したりすることができます。

- (一般的な) ヘルプが必要
- ボイスコントロールの仕組み
- ナビゲーションエリアで行える操作
- 何ができるか

### ボイスコントロール設定の変更

- ▶   **設定**  **ボイスコントロール** 希望の設定を選択します。

### 警告および情報メッセージ

警告メッセージが表示された場合は、このマニュアルの該当する章をお読みください。すべての測定条件が揃っている場合にのみ、警告メッセージが表示されます。そのため、定期的にすべてのフルードレベルを確認してください。メッセージは、一定時間が経過するか、了解すると消えます。

警告灯が表示された場合は、このマニュアルの該当する章をお読みください。

- ▶ 153 ページの「警告灯およびインジケーター ライト」の章を参照してください。

重要なメッセージは、メインメニューのセントラルディスプレイの■に保存されています。メッセージによってその表示が異なり、たとえば、プロンプトを了解または確定するためのグラフィック、シンボル、またはボタンと組み合わせて使用されることがあります。一部の

メッセージには、セントラルディスプレイでの指示の表示や最寄りのポルシェ正規販売店の検索など、他の機能が含まれている場合があります。

▶ 180 ページの「通知」の章を参照してください。

## 一般的なメッセージの構成

次の表に、各種メッセージとその意味を示します。

カラー	メッセージの構成	例：	緊急時	意味および必要な措置
赤	<p><b>原因:</b> 構成部品の不良 / 構成部品の故障 / 構成部品の不具合</p> <hr/> <p><b>手順:</b> 安全な場所に停車してください</p> <hr/> <p>必要に応じたさらなる手順</p>	<p>火災の恐れあり!</p> <hr/> <p>安全な場所に停車してください</p> <hr/> <p>[...] (車両) から離れてください</p>	<p>損傷の危険性が高い</p>	<p><b>直ちに適切な場所で停車してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 運転を続けず、適切な場所で安全に停車し、エンジンを停止してください。</li> <li>▶ 表示された警告メッセージに従って、または安全を確保できない場合は、車両から離れてください。</li> <li>▶ ロードサイドアシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。 ▶ 223 ページの「けん引」の章を参照してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。<sup>1</sup></li> </ul>
黄	<p><b>原因:</b> 構成部品の不良 / 構成部品の故障 / 構成部品の不具合 / 構成部品の過負荷 / 構成部品の制限 / 構成部品が使用不可など</p> <hr/> <p><b>アクションと必要に応じてその他のアクション</b>            例えは：要整備 / ワークショップ入庫 / 構成部品の点検（適応または制限）、引き続き走行可能 / 走行速度の調整または減速 / 負荷軽減</p>	<p>シャーシエラー</p> <hr/> <p>要整備</p> <hr/> <p>慎重に走行してください</p>	<p>損傷の危険性が高い</p>	<p><b>道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ 負荷を軽減してください</li> <li>▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。<sup>1</sup></li> </ul>
白	<p><b>原因:</b> 構成部品の不具合、構成部品の制限、構成部品が利用できない（入手不可）など</p> <hr/> <p><b>説明:</b> 一時的な状態など</p>	<p>カメラシステム使用不可</p> <hr/> <p>一時的な状態</p>	<p>損傷の危険性が低い</p>	<p><b>慎重に走行してください</b></p>

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

カラー	メッセージの構成	例:	緊急時	意味および必要な措置
	必要に応じて <b>その他のアクション</b> : 要整備 / 引き続き走行可能 / 負荷軽減 / 慎重に走行する	引き続き走行が可能です		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 一時的な状態。運転中または車両の再始動後に、標準の状態に自動的に復元されます。</li> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ この故障が頻繁に発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店で修理してください。<sup>1</sup></li> </ul>

### このマニュアルに詳細情報が記載されているメッセージ

インストルメントパネルまたはPCMへのメッセージ	意味および必要な措置
ブレーキ ブースター故障 - ですか?あるいはですか? - ブレーキ ブースターエラー 要整備 走行可能	パワー ステアリングは故障したか不具合があります。 <b>直ちに適切な場所で停車してください。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 運転を続けず、安全に停車し、車両を OFF にしてください。</li> <li>▶ ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。              ▷ 223 ページの「けん引」の章を参照してください。</li> </ul>
ブレーキパッド 摩耗 ブレーキパッドを交換 してください 走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 <b>道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店でブレーキパッドを交換してください。<sup>1</sup></li> </ul>

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメントパネルまたはPCMへのメッセージ	意味および必要な措置
<p>タイヤを点検してください</p>	<p>1 つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。  <b>車両を安全に駐車します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 運転を続けず、安全に停車し、車両を OFF にしてください。</li> <li>▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。</li> <li>▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。</li> <li>▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 244 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。</li> <li>▷ 252 ページの「パンク」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じて必要に応じて、ロードサイドアシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 223 ページの「けん引」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>
<p>空気を充填してください</p>	<p>1 つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。  <b>慎重に走行してください</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。</li> <li>▷ 252 ページの「パンク」の章を参照してください。</li> </ul>
<p>タイヤ空気圧が低すぎます 減速してください</p>	<p>設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。  <b>慎重に走行してください</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 減速してください</li> <li>▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 244 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>
<p>P ブレーキ サービスモード中</p>	<p>サービスモードの\n パーキングブレーキ  <b>道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul>

インストルメントパネルまたはPCMへのメッセージ	意味および必要な措置
<p><b>P位置使用不可</b>  <b>車両が動き出す恐れ</b>  <b>あり。電動Pブレーキ</b>  <b>をかけてください</b></p>	<p>トランスミッションパーキングロック<b>P</b>位置は使用できません。  <b>車両が動き出す可能性あり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 電動パーキングブレーキを締結します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 97 ページの「エレクトリックパーキングブレーキ」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>レイン/ライト</b>  <b>センサー故障</b>  <b>要整備</b></p>	<p>雨/光センサーが故障しています。  <b>慎重に走行してください</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロントワイパーおよびライトを手動でONにしてください。</li> </ul>
<p><b>油圧低下</b>  <b>安全な場所に</b>  <b>停車してください</b></p>	<p>油圧が低すぎます。  <b>車両を安全に駐車します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車し、エンジンを停止してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。</li> <li>▶ インストルメントパネルのオイル測定を呼び出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 147 ページの「インストルメントパネル（パワーメーター）の概要」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 229 ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。</li> </ul>
<p><b>オイルレベル限界</b>  <b>補充量の上限：</b>  <b>追加</b></p>	<p>オイルレベルが最低値を下回りました。  <b>直ちに適切な場所で停車してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車し、エンジンを停止してください。</li> <li>▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。</li> <li>▶ インストルメントパネルのオイル測定を呼び出してください。</li> <li>▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 229 ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>

インストルメントパネルまたはPCMへのメッセージ	意味および必要な措置
<p style="text-align: center;">エンジン温度 超過 エンジン冷却のため 停車してください</p>	<p>エンジンクーラントまたは油温が高過ぎます。 直ちに適切な場所で停車してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。</li> <li>▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。</li> <li>▶ クーラントおよびオイルレベルを点検してください。 ▷ 229 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。</li> <li>▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。 ▷ 227 ページの「クーラント」の章を参照してください。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">冷却水レベル低下 安全な場所に 停車して車両を 冷却してください</p>	<p>エンジンクーラントレベルが低過ぎます。 直ちに適切な場所で停車してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。</li> <li>▶ エンジンクーラントレベルを点検してください。 ▷ 227 ページの「クーラント」の章を参照してください。</li> <li>▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">ステアリングロックを 動かしてください</p>	<p>ステアリング ロックに大きな負荷がかかっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。</li> </ul>

インストールメントパネルまたはPCMへのメッセージ	意味および必要な措置
<p>キーが検出不可、 またはキーエラー マークされた エリアに対してキーを 保持 — ですか？あるいはですか？— キーが検出不可、 またはキーエラー キーの位置を 変更してください</p>	<p>キー信号エラー。キーの位置が正しくない、または車両キーのバッテリーが切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車両を始動するには、左フロントのセンターコンソールの小物入れにキーを置きます。</li> <li>▶ 電池を交換してください。 ▷ 32 ページの「キー」の章を参照してください。</li> <li>▶ 干渉源となっている可能性のあるもののスイッチを OFF にしてください。</li> </ul>
<p>シャーシシステム 故障 慎重に走行して ください。取扱説明書 をご確認ください — ですか？あるいはですか？— シャーシシステム 故障 慎重に走行して ください。取扱説明書 をご確認ください</p>	<p>シャーシが故障しているか、不具合があります。 <b>道路状況に合わせた限定的な運転が可能です。</b> ハンドリング性能に悪影響が出ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ 負荷を軽減してください</li> </ul>
<p>燃料システム エラー 走行可能 要整備</p>	<p>タンクシステムの電動ロック解除が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フィラーフラップの緊急解除を実施してください。 ▷ 259 ページの「補給」の章を参照してください。</li> </ul>

インストルメントパネルまたはPCMへのメッセージ	意味および必要な措置
<p>e ローンチ不可</p>	<p>e-Launch 使用不可  <b>車両を安全に駐車します。</b>            車両の温度が高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エンジンを OFF にして冷やしてください。                – または –                高電圧バッテリーが十分に充電されていません。</li> <li>▶ 高電圧バッテリーを充電してください。</li> </ul>
<p>長期エンジン            要稼働            取扱説明書を            お読みください</p>	<p>燃料がエンジン オイル内に溜まっています。このため、内燃エンジンをより長時間            作動させる必要があります。</p> <p><b>慎重に走行してください</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スポーツ モードを有効にします。                ▷ 98 ページの「走行プログラム」の章を参照してください。</li> <li>▶ メッセージが消えるまで中程度のエンジン回転数で運転してください。エンジ              ン回転数を上げすぎないように、スロットル操作を控えめにしてください。該              当する制限速度を遵守してください。</li> </ul>
<p>火災の危険あり!            直ちに車両を安全な            場所に停止し、車両            から離れてください</p>	<p>車両の走行システムまたは充電システムに重大な不具合が検出されました。  <b>直ちに適切な場所で停車してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに車両を安全な場所に停車し、車両から降ります：</li> <li>▶ ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してくださ              い。</li> </ul>

## 操作および使用

### Android Auto

#### Android Auto の呼び出し



図. 151: アームレスト内の USB インターフェース (タイプ C)

#### **i** インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボルマークが付いている USB ポート  を使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポート  を使用してください。

- ✓ Android 6 またはそれ以降。
- ✓ Android Auto が電話にインストールされていること。  
Android 10 以降では Android Auto がすでに内蔵されています。
- ✓ 電話のモバイル データ接続が有効になっていること。
- ✓ 設定で Google アシスタントと Android Auto が有効になっていること。

- ✓ トラブルなく使用するため、USB アダプターなしの、損傷のない電話メーカーの純正ケーブルを使用してください。
- ✓ Android Auto のホームページに記載されている最新の要件を遵守してください。

1. 電話をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ C) **A**▶ (図. 151) に接続します。
2. 通知で Android Auto が使用されていることを確認します。  
▶ Android Auto が呼び出され、利用可能なアプリが表示されます。
3. 電話に表示される通知を確認してください。

▶ 別のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには、 ▶ **Android Auto**  を選択します。

#### **i** インフォメーション

- 最新の Android バージョンをインストールするようお勧めします。
- Android Auto に対応している電話のアプリのみが表示されます。Android Auto で使用できるアプリは、Google Play ストアでご確認ください。
- この機能は Google がサポートされていない国ではご利用いただけません。対応している国に関する情報は、Android Auto のホームページをご確認ください。
- Android Auto の表示コンテンツと機能は、接続している電話でのみご利用いただけます。
- Android Auto の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (通話、メディア再生、またはメッセージなど) が自動的に解除されます。
- Android Auto をご利用いただくためには、有効なデータ接続が必要です。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に海外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## Android Auto の操作

### PCM による Android Auto の操作

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタン、バック ボタンで操作できます。

- ▶ **Android Auto** でメイン メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。

- ▶ PCMのメイン機能に移動するには、**Android Auto**  を選択します。  
-または-  
任意の機能  など) を選択します。

## Google アシスタント音声認識による Android Auto の操作



図. 152: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

### Google アシスタントの起動

- ✓ お使いのスマートフォンの設定で Google アシスタントが有効になっていること。
  - ✓ イグニッションと PCM が ON になっています。
  - ✓ 通話中ではない。
  - ✓ パークアシストが作動していないこと。
  - ✓ PCM のボイスコントロールが有効になっていません。
1. ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。
  2. 希望のボイスコマンドを発話します。

### Google アシスタントの終了

- ✓ Google アシスタントが有効で、ボイスコマンド待機中であること。
- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押してください。  
➡ 終了音が鳴ります。

ボイスコントロールに関する情報：

- ▶ 165 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

## ワイヤレス Android Auto の呼び出し

ワイヤレス Android Auto (一部の装備と国別仕様ではご利用不可) では、ケーブルなしで Android Auto を使用できます。ワイヤレス Android Auto でサポートされるのは、有効なスマートフォン 1 台のみです。

- ✓ スマートフォンの Bluetooth® 機能と WiFi 機能が有効になっており、他のデバイスに表示されていること。
- ✓ スマートフォンのワイヤレス Android Auto が有効になっていること。
- ✓ 車両の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が作動しています。

1. ステータスエリア  または  (接続ステータスによる) と接続ウィザードのメニューから **Android Auto** ▶ **検索** を選択します。  
-または-  
**デバイスをタップします**  ▶ **Android Auto**   
-または-  
検索が始まるまで、ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。

2. リストからデバイスを選択してください。

3. 通知で Android Auto が使用されていることを確認します。  
➡ Android Auto が呼び出されます。利用可能なアプリが表示されます。

スマートフォンを一度接続すると、乗車時には自動的に Android Auto が作動します。そのため、スマートフォンはバッグやポケットに入れたままにしておくことができます (Bluetooth® 機能と WiFi 機能を有効にしておくこと)。

別のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには：

- ▶  **Android Auto**  を選択  
-または-  
ステータスエリアで **Android Auto**  を選択します。

## ワイヤレス Android Auto の終了

1.  **Android Auto**  を選択します。
2. お使いのスマートフォンのアイコン  を選択します。  
➡ ワイヤレス Android Auto が終了します。

## Apple CarPlay

### Apple CarPlay を開く

#### ① インフォメーション

初めて接続する際に Apple CarPlay を必ず選択します。そうすると、望むとおり iPod と Apple CarPlay を切り替えることができます。

▶ 178 ページの「Apple CarPlay の操作」の章を参照してください。



図 153: フロントアームレスト内の USB インターフェース (Type-C)

#### ① インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボル付き USB ポートを使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポートを使用してください。

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 14 以上。
- ✓ 使用する iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
- ✓ トラブルなく使用するため、損傷のない Apple 純正ケーブルを USB アダプターなしで使用してください。

1. iPhone をアームレスト内の USB ポート A (図 153) に接続してください。
2. Apple CarPlay が使用されていることを確認します。
  - ➔ Apple CarPlay が開き、利用できるアプリが表示されます。

▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、**Apple CarPlay** を選択します。

#### ① インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone アプリのみが表示されます。アプリの入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。国別の入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に国外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) の操作に関するインフォメーション：

▶ 158 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## Apple CarPlay の操作

### PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタン、バック ボタンで操作できます。

▶ **Apple CarPlay** のメイン メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン **☰** を押してください。

▶ PCM のメイン機能に移動するには、**Apple CarPlay** **Porsche** を選択します。  
- または -  
任意の機能 (🎵 など) を選択します。

### Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する



図 154: ステアリングホイールのボイスコントロールボタン

#### Siri の起動

- ✓ お使いの iPhone の設定で Siri が有効になっています。
- ✓ イグニッションと PCM が ON になっています。

- ✓ 通話中ではない。
  - ✓ パークアシストが作動していないこと。
  - ✓ PCM のボイス コントロールが有効になっていません。
1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
  2. 希望のボイス コマンドを発話します。

### Siri の終了

- ✓ Siri が有効で、ボイス コマンドを待機しています。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押してください。
  - ➔ 終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報：

▶ 165 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

### Apple CarPlay と、iPod として使用している iPhone の切り替え

接続している iPhone を iPod として接続すると、Apple CarPlay を利用できません。デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay モードで使用するかを切り替えることができます。

1. デバイス マネージャーを呼び出すには、接続ステータスに応じて、ステータス エリアの  または  のいずれかを選択します。  
 –または–  
 デバイスをタップします  を選択します

2. 使用している iPhone の **Apple CarPlay**  マークを選択します。  
 –または–  
 お使いの iPhone の **iPod**  アイコンを選択します。  
 ▶ 183 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。  
 ➔ 現在有効になっている iPhone のアイコンがハイライトされ、現在の接続 (**Apple CarPlay** または **iPod**) が表示されます。

### ワイヤレス Apple CarPlay の呼び出し

**ワイヤレス CarPlay** [一部の装備と国別仕様ではご利用不可] では、ケーブルなしで Apple CarPlay を使用できます。ワイヤレス CarPlay でサポートされるのは、有効な電話 1 台のみです。

- ✓ 電話の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が有効になっており、他のデバイスに表示されていること。
- ✓ 電話でワイヤレス CarPlay が有効になっていること。
- ✓ 車両の Bluetooth® 機能と WiFi 機能が作動しています。

1.  または  ステータス エリア [接続ステータスによる] および接続アシスタントメニューで、**Apple CarPlay** ▶ 検索を選択します。  
 –または–  
 デバイスをタップします  ▶ **Apple CarPlay**   
 –または–  
 検索が始まるまで、ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
2. リストからデバイスを選択してください。

3. Apple CarPlay を使用していることを確認します。  
 ➔ Apple CarPlay が開きます。利用可能なアプリが表示されます。

iPhone を一度接続すると、乗車時には自動的に Apple CarPlay が作動します。そのため、電話はバッグやポケットに入れたままにしておくことができます。(Bluetooth® 機能と WiFi 機能を有効にしておくこと)

または、**ワイヤレス CarPlay** を以下のように接続できます：

1.  ▶ デバイスをタップします 
2. 使用している iPhone の  マークを選択します。

他のメニュー項目から **Apple CarPlay** に切り替えるには：

- ▶  **Apple CarPlay**  を選択  
 –または–  
 ステータス エリアで **Apple CarPlay**  を選択します。

### 保存した iPhone をデバイス リストから削除する

1.  デバイスをタップします  を選択します。
2. 削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。  
 ➔ デバイスがデバイス リストから削除されます。

### ワイヤレス CarPlay の終了

1.  デバイスをタップします  を選択します。
2. 使用している iPhone の  マークを選択します。  
 ➔ ワイヤレス CarPlay が終了します。

## 通知

### 概要 - 通知

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関する情報：

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

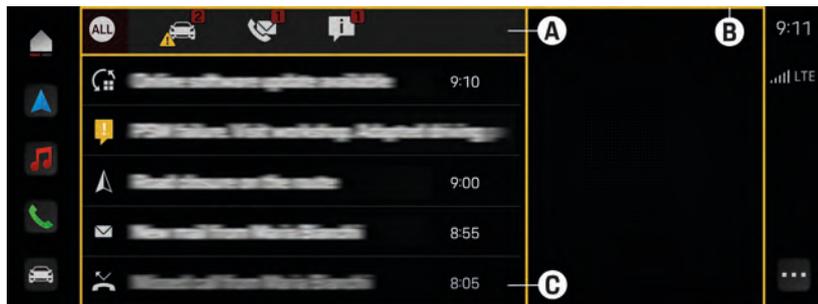


図. 155: 通知のメイン・メニューのエリア

希望する操作	操作方法
通知を表示する	▶ ■メイン・メニューでをタッチする。
通知のフィルタリング	▶ メイン・メニューの■、例 車両 (A(図. 155)を参照) クイック フィルター バーをタップします。
通知を開く	▶ ■メイン・メニューでの選択、例：すべて (Aを参照(図. 155)) 通知 (C(図. 155)を参照)。通知は詳細エリアに表示されます (B(図. 155)を参照)。
コンテンツ表示を設定する	▶ ■メイン・メニューの...

### 通知を開く

▶ メインメニューの■をタップします。

- ☑ 接続されている携帯電話の通知が表示されます。
- 📄 情報の通知の表示。

### 通知のフィルタリング

通知はクイック フィルター バーでフィルタリングできます (Aを参照)。コンテンツは次の領域に分かれています：

- 📄 既存のすべての通知の表示。
- 🚗 車両の通知の表示。

### 通知設定の変更

▶ 🏠 ▶ 設定 ⚙️ 通知センター ▶ 希望の設定を選択します。

## 車両設定

### 車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここで説明した車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

車両設定はイグニッションを OFF にしても保存され続けます。

▶ 74 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
ロックおよびロック解除オプションの設定	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ロックする	—
ライト、フロントウィンドウワイパーおよびドアミラーを調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトおよび視界	—
シートヒーター、シートベンチレーターおよびシート位置を調節する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ シート調整	—
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング	▶ P. 244
マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを割り当てる	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ステアリングホイールボタン 	—
ジャッキおよびスノーチェーンモード	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ シャーシ	—
車両とアプリケーション間の通信の停止	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ボルシェカー コネクト	▶ P. 195
疑似エンジン音を出力する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ Eサウンド	—
サービス履歴を表示する (サービスの電子記録)	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ メンテナンス履歴 実施されたサービスおよびサービス範囲が表示されます。	—
PCM 表示を調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 表示 ▶ PCM 表示	—

希望する操作	何を選択するべきですか？	操作箇所
インストルメントパネルディスプレイを調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 表示 ▶ インストルメントパネルの表示	—
インストルメントパネルのカスタマイズ表示を調整する	▶  ▶ Einstellung  ▶ 表示 ▶ インストルメントパネルの表示 ▶ 内容 ▶ 情報表示設定 長押しして移動させると、各種車両情報を4つのフィールドに割り当てることができます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当ててはできません。	—
日付と時刻の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 日付と時刻	—
単位を設定する	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 単位	—
ボイスコントロールシステムの設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ ボイスコントロール	—
言語の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 言語	—
警告シグナルおよびパークアシストの音量の調整	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 警告音	—
システムを工場出荷時の状態にリセット	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 出荷時の状態 すべての設定は解除され納車時の状態にリセットされます。	—

## ドライビングデータの表示（トリップ情報）

タッチディスプレイおよびインストルメントパネルのトリップメニューには、走行時間、走行距離、平均速度、平均燃費などの多数の走行データが表示できます。とインストルメントパネルの操作に関する情報：

▶ 148 ページの「インストルメント クラスターの操作」の章を参照してください。

▶ 162 ページの「タッチスクリーンの操作」の章を参照してください。

## インストルメント クラスターの走行データの表示

### 車両 & 情報画面にドライビングデータを表示

1. [トリップ] メニューを選択します。
2. リストから表示内容を選択します。

## トリップデータのリセット

1. トリップリセット
2. リストから表示内容を選択します。

## ダッシュボードのタッチディスプレイ上での走行データの表示

### トリップデータの表示

1.  ▶ 車両  ▶ トリップを選択します。
2. 必要な表示内容までスクロールしてください。

## トリップ設定をカスタマイズする

1. **▲ ▶ 車両**  ▶ トリップ ▶ ... ▶ トリップのカスタマイズ
2. 長押しして移動させることで、各種ドライビングデータを4つのフィールドに割り当てることができます。走行データの1つの項目を複数のフィールドに割り当ててはできません。

## トリップデータのリセット

- ▶ **▲ ▶ 車両**  ▶ トリップ ▶ ... ▶ トリップデータをリセットする

## リヤタッチディスプレイ上での走行データの表示

### トリップデータの表示

1. ボタン **NAV** ▶ トリップ
2. 必要な表示内容までスクロールしてください。

## トリップデータのリセット

1. 車両 **NAV** ▶ トリップ ▶ オプション  ▶ トリップデータをリセットする
2. リストから表示内容を選択します。

## デバイス マネージャー

### デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーには、使用可能な機器とその接続ステータスの一覧が表示されます。

#### ▶ **▲ ▶ デバイスをタップします**

– または –

ヘッドラインの  または  を選択します (接続状態により異なる)。

### 接続ステータスの表示

シンボルの色と意味

- 赤色のシンボル: 接続が有効
- 白色シンボル: 白色のシンボル: 接続は可能だが、有効になっていない
- 記号なし: 接続不可

### 選択できる機能:

-  **電話**: Bluetooth 経由で接続された電話<sup>®</sup>  
▶ 202 ページの「電話」の章を参照してください。
-  **音楽**: 外部メディアソースが Bluetooth<sup>®</sup> で接続されている。  
▶ 186 ページの「メディア」の章を参照してください。
- **メッセージ** (国によってはご利用いただけない場合があります) Bluetooth<sup>®</sup> 経由でメッセージ受信の ON/OFF を切り替えます。
-  **Apple CarPlay**: iPhone が USB ポートまたは無線で接続され、Apple CarPlay にアクセスしている。

▶ 178 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

-  **Android Auto** (国によってはご利用いただけない場合があります) Android Auto にアクセスできる USB 接続経由で接続された Android の電話。  
▶ 176 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

- ▶ 接続マネージャーは、デバイスまたはメディアソースの接続を支援します。 **▲ ▶ デバイスをタップします**  ▶ **新しいデバイスを接続する**

## 外部機器を Bluetooth 経由で接続する<sup>®</sup>

1. **▲ ▶ デバイスをタップします**  ▶ **新しいデバイスを接続 ▶ 新しい電話を接続/新しい音楽プレーヤーを接続** タッチします。
2. リストからデバイスを選択してください。  
➔ 6桁の Bluetooth<sup>®</sup> コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。
3. PCM とデバイスの Bluetooth<sup>®</sup> コードを比較します。
4. 携帯電話の Bluetooth<sup>®</sup> コードが一致していれば確定してください。  
➔ 携帯電話が正常に接続されたら、デバイスリストに表示されます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## デバイスをデバイスリストから削除

- ▶  ▶ デバイスをタップします  ▶ タップします。削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
- ▶ デバイスがデバイスリストから削除されます。

## デバイス マネージャーの設定

- ▶  ▶ デバイスをタップします  ▶ ...をタップします。

次の設定が利用可能です (国によって異なります)。

- **電話設定** : 202 ページの「電話」の章を参照してください。
  - **Bluetooth 設定** :
    - **Bluetooth** の ON/OFF を切り替えます。
    - PCM の **Bluetooth 名** を変更します。
  - **WiFi 設定** :
    - **WiFi** の ON/OFF を切り替え、PCM の車両ホットスポットを有効または無効にします。
    - **インターネット アクセスを有効にする (国別仕様による)** : 接続機器のデータ接続を有効にします。
    - **車両ホットスポットの設定** : PCM の WiFi アクセス データを表示し、設定します。このデータはデバイス (携帯電話など) を PCM に接続するのに必要です。車両ホットスポットを使用するにはデータパッケージが必要です。これは下記で予約することができます。
- ▶ [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)

- **車両ホットスポットに接続されているデバイスの表示** : PCM に接続されているすべてのデバイスを表示します。
- **希望する電話の選択**
  - PCM に複数の携帯電話が接続されている場合、希望する電話を設定できます。次回、この電話を使用して発信できます。PCM に接続されている他の携帯電話を使用して、音楽の再生などができます。

## インターフェイス

USB インターフェイス (タイプ C) は、センター アームレストとリヤアームレストの中にあります。

PCM が ON の場合に USB インターフェイスが有効になります。

### インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボルマークが付いている USB ポート  のみを使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポート  を使用してください。

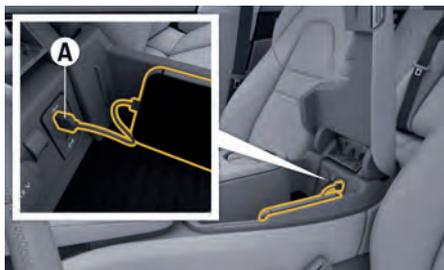


図. 156: フロント センター アームレスト内の USB インターフェイス (タイプ C)



図. 157: リヤセンターアームレスト内の USB インターフェイス (タイプ C)

## USB を介した外部機器の接続

装備によって、リヤ部の USB インターフェイスはデバイスを充電する目的のみで使用できます。マークにご注意ください。

1. センター アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB メモリーなど) を USB インターフェイス (タイプ C) **A** (図. 156) に接続します。
3. **メディア  再生** で希望のメディアソースを選択します。  
▶ 186 ページの「メディア」の章を参照してください。
4. 必要に応じて、外部機器および PCM の音量を調節します。

## インターフェースおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体にファイル、フォルダーまたはプレイリストが多数格納されている場合、媒体のトラックを最初に読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオファイルの再生時は、記録された追加情報(アーティスト、タイトル、アルバムカバーなど)が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも特定の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ:

▷ 264 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

## ホーム画面および個人画面 ホーム画面および個人画面の設定

### ホーム画面の設定

1. ▶...▶ ソートの変更
2. 任意のタイルを押したまま、任意の位置に移動します。
3. **承認**を押します。

### インフォメーション

- メイン操作エリアに最大 5 つのタイルを表示することができます。
- コンテンツおよびインタラクションエリアからメイン操作エリアにタイルを移動すると、両方のエリアに表示されます。

### 個人画面の設定



図. 158: 個人画面のエリア

ホーム画面の 2 ページ目(個人画面)のさまざまなエリアをカスタマイズできます。

1. ホーム画面で左にスワイプします。  
➔ 個人画面が表示されます。
2. ...▶ **個人画面の設定**
3. 希望するカテゴリを選択し、ドラッグ&ドロップで任意のエリアに移動します (A、B、C) (図. 158)を参照)。

4. タイルは別のタイルと交換することで削除できます。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関する情報:

▷ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## メディア

### メディアの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

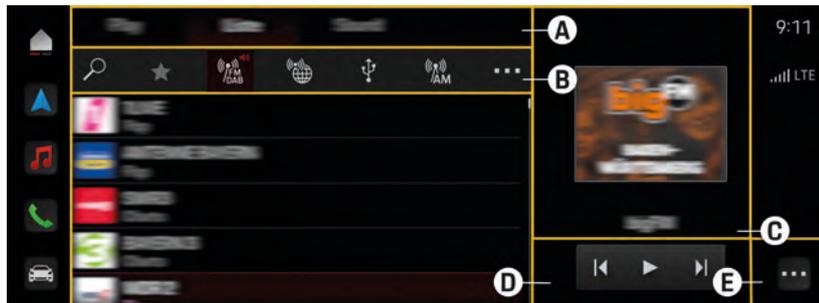


図. 159: メディアの再生

希望する操作	操作方法	操作箇所
メディアソースを読み込む	<ul style="list-style-type: none"> <li>- CD/DVD を挿入してください。</li> <li>- SD カードを挿入してください。</li> <li>- USB を介して外部機器を接続してください。</li> <li>- 外部デバイスを Bluetooth® を介して接続します。</li> </ul>	▶ P. 162  ▶ P. 183
放送局 / トラック / アルバムを検索する (検索結果は現在選択されているメディアソースに関連したものです)	▶ メディア  ▶ メディアソースを呼び出す  (A (図. 159)を参照) 希望の放送局/トラックを入力します。	-
メディアソース / 受信範囲を選択する	▶ メディア  ▶ 再生  ▶ メディアソースを呼び出す  (B (図. 159)を参照) メディア・ソースを選択します (例: FM)。	-
音楽を再生 / 一時停止する	▶ メディア  ▶ 再生  ▶ または  (C (図. 159)を参照) を選択してしてください。	-
次 / 前の放送局 / トラックを再生する	▶ メディア  ▶ 再生  ▶  または  を選択します。	-
放送局 / トラック / アルバムをお気に入りとして保存する	▶ メディア  ▶  (D (図. 159)を参照)。	▶ P. 187

希望する操作	操作方法	操作箇所
放送局 / トラックのリストを表示する	▶ <b>メディア</b>  ▶ <b>リスト</b>  選択したメディアソースに応じて、 <b>プレイリスト</b> 、 <b>アーティスト</b> などのサブフォルダーを利用できます。	-
周波数帯または番号を入力して選局する	▶  ▶ <b>メディア</b>  ▶ <b>チューナ</b>  ▶  または  を選択します。	-

## メディアを再生する

### 利用できるラジオおよびメディアソース

ラジオはFM および AM (国による) 周波数帯をサポートしています。

車両の装備仕様により、次のメディアソースが利用可能です：USB または Bluetooth® 経由の外部デバイス、オンラインメディアサービス。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ：

▶ 264 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

### メディア再生中の他の機能

✓  ▶ **メディア**  ▶ **再生** が選択されています。

概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です。

- 現在の再生リストを表示する： 
- ランダム再生を有効にする： 
- トラックをリピートする： 

### お気に入りの保存および編集

### お気に入りの保存

- ▶  ▶ **メディア**  ▶ **リスト** ▶ **希望の放送局を長押し**  をタップします。  
- または -  
 ▶ **メディア**  ▶ **再生** ▶  をタップします。

### お気に入りの整理

1.  ▶ **メディア**  ▶ **お気に入り** ▶ ... ▶ **お気に入りの並び順を変更する**
2.  をタップして編集モードに入ります。

### お気に入りの削除

1.  ▶ **メディア**  ▶ **お気に入り**
2. 希望の放送局を長押しします。  
➡ 削除マークが表示されます。
3. 削除マークをタップします。

### メディア設定の変更

- ▶  ▶ **メディア**  ▶ ... ▶ **希望の設定を選択** します。

## メッセージ

### メッセージの表示と編集

#### メッセージの表示

ショートメッセージ (SMS) を読むだけでなく、メッセージを読み上げさせたり、メッセージに含まれている電話番号に電話をかけることができます。一部の機能は電話でサポートされていない場合があります。この設定に関する詳細情報は、お使いの電話の取扱説明書を参照してください。

電話が接続されていると、通知センターにメッセージアプリケーションが表示されます。

#### インフォメーション

- 電話でデバイスのメモリーに保存されているショートメッセージしか表示できない場合は、車両で受信したショートメッセージが電話のメッセージリストに表示されない可能性があります。受信した SMS は SIM カードに保存されます。
- PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

#### テキストメッセージの表示

##### 1. ▶メッセージ ▶SMS

2. リストから希望の SMS をタップしてください。

➡ SMS が PCM に表示されます。

## ナビゲーション

### ナビゲーションの概要

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

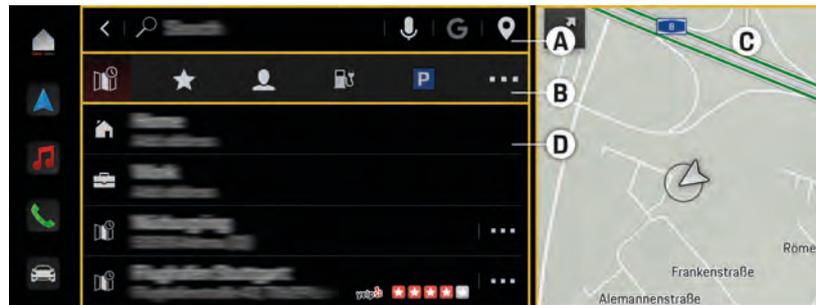


図. 160: 目的地の入力 / 検索

希望する操作	操作方法	操作箇所
目的地の検索 / 目的地の住所の入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ ナビゲーション </li> </ul> <p>コンテンツとインタラクション エリアに候補が表示されます (D (図. 160) を参照)。</p> <p>入力オプション (A (図. 160) を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-  検索エリア: ルート沿いまたは付近を検索</li> <li>-  検索 (国によってはご利用いただけない場合があります): インターネット検索</li> </ul>	-
目的地履歴から選択する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フィルター バー (B (図. 160) を参照) 上で、 を選択します。</li> </ul>	-
連絡先から目的地を選択する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フィルター バー (B (図. 160) を参照) 上で、 を選択します。</li> </ul>	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
<p>検索結果を絞り込む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 検索結果はフィルターバーで絞り込むことができます (B (図. 160) を参照)。</li> <li>- 前回の目的地</li> <li>- お気に入り</li> <li>- 連絡先</li> <li>- 駐車場</li> </ul> <p>フィルターバーのオプション... (B (図. 160) を参照) からはその他のフィルター (施設情報、充電スタンドなど) を表示できます。</p>	-
<p>マップビューを開く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ ナビゲーション </li> </ul>	-
<p>ルート オプションを表示する (代替ルートなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ ナビゲーション   ▶ オプション... ▶ ルートオプション</li> </ul>	-
<p>ルート案内を開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地の入力 ルート案内を開始 をタップします。</li> </ul>	-
<p>ルート案内の停止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マップ表示で  ▶ ナビゲーション  ▶ ストップ をタッチします。</li> </ul>	-
<p>目的地をお気に入りに追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地を入力するか候補リストから選択 (D (図. 160) を参照)... をコンテンツおよびインタラクティブエリア (D (図. 160) を参照) ☆ から選択してください。お気に入りはマップビューに ★ で表示されます。</li> </ul>	-
<p>交通情報を表示する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ルート案内が作動中です。</li> <li>▶  ▶ ナビゲーション </li> </ul>	P. 191
<p>オンラインナビゲーションを有効にする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ 設定  ポルシェ コネクト設定 ▶ ポルシェ コネクト サービス を選択します。購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。</li> </ul>	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
ナビゲーション音声案内の設定	▶  ▶ ナビゲーション  ▶ ... ▶ 他のナビゲーション設定 を選択します。	-
ポルシェ コネクト サービスを使用する (オンラインマップアップデートなど)	✓ データ接続が確立されていること。ポルシェ コネクト サービスが有効になっていること。ポルシェ コネクト に関する詳細は、www.porsche.com/connect を参照してください。	▶ P. 195
ETC を表示する	-  ▶ CAR  ▶ ▶ ETC	▶ P. 193

## ナビゲーションの使用



### 警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが該当する道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。



### 警告

システム関連の正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に路面状態に注意してください。

## 地図からの目的地入力

1. ▶ ナビゲーション を選択します
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。

3. 表示された住所をタッチして、ルートナビゲーションを開始します。

## リヤから運転席への目的地の送信

ナビゲーション目的地は、リヤ部のタッチディスプレイを介してセンターコンソールのタッチディスプレイに送信できます。

1. リヤタッチディスプレイの **NAV ▶ FAV** ★ ボタンを選択します。
2. 前回の目的地または保存した目的地からナビゲーション目的地を選択します。
3. 目的地を送信を選択し、選択した目的地をセンターコンソールのタッチディスプレイに送信します。

## 代替ルート

マップビューには最大3つのルートが表示されます。

1. マップビューで、... ▶ 代替ルートを選択します。
2. 利用可能な代替ルートが表示されます。

3. 代替ルートをタップして選択します。  
➡ 選択したルートが強調表示されます。
4. 開始を選択し、ルート案内を開始します。

## ツアーの計画 (経由地の入力)

ツアーは、1つの目的地と最大8箇所の経由地からなります。

### ツアーの入力および開始

1. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 目的地を入力 ▶ 開始。
2. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 経由地を入力 または 選択 ▶ ... ▶ 経由地として追加。
3. ツアーを開始。

### ツアーの編集

経由地の順番は後で変更できます。

✓ ツアーが開始されています。

- ▶ オプション ... ▶ ルートの編集から該当する経由地のアイコン を押したままにし、目的の位置にドラッグします。

## 地図コンテンツの設定

1. ナビゲーション (サイドバーの左)
2. 希望の地図コンテンツを有効 / 無効にする (一部の国別仕様では不可) :

- 北向き : 常に地図の上方が北になります。
- 3D マップ : 3D マップビュー (と 2D ビュー) の表示または非表示を切り替えます。
- サテライトマップ : 地図のサテライトビューの表示 / 非表示を切り替えます。

## 地図設定の変更

1. ナビゲーション ... ナビゲーション設定 マップ設定
2. 希望の地図コンテンツを有効 / 無効にする (一部の国別仕様では不可) :

- オートズーム : 地図の自動ズーム機能の有効と無効を切り替えます。
- 施設情報を表示 : 地図上の施設情報の表示と非表示を切り替えます。
- 3D 建築物 : 3D マップビュー (と 2D ビュー) の表示または非表示を切り替えます。
- デイビュー/ナイトビュー : マップ上のビューを選択します。

## 交通情報を表示する

地図上に交通情報を表示 P. 192

地図上に、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます :

- 色付き警告シンボル : 選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- グレー表示の警告シンボル : 選択したルート上ではない交通渋滞

以下の交通量情報が表示されます。

- フリーライン : 円滑に流れる交通状態
- 黄色のライン : 動きの遅い交通状態
- オレンジ色のライン : のろのろ運転状態
- 赤線 : 交通渋滞
- 濃い赤線 : 交通渋滞と封鎖されている道路

加えて、道路工事、事故、事故多発地点などに関する通知も地図上に表示されます。

## 交通渋滞の回避

ルート案内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

- ▶ ナビゲーション ... ルートオプション 道路交通案内の通知を有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンラインコンテンツ プロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェは責任を負いかねます。

## トリップ概要



図. 161: トリップ概要の情報

ナビゲーション作動中に をタップすると、トリップ概要を開いたり閉じたりすることができます。エリア A (図. 161) をタップすると、ルート概要が表示されます。現在のルート案内に関する以下の情報を確認できます :

- 目的地への到着時刻および距離 (A (図. 161) を参照)
- 交通渋滞などによる遅延。遅延の度合いも表示されます (B (図. 161) を参照)
- 経由地

以下の交通量情報が表示されます。

- 青色 : 円滑に流れる交通状態
- 黄色 : 流れの遅い交通状態
- 赤 : 交通渋滞

## 追加情報の表示

- ▶ 地図上またはトリップ概要の情報 (渋滞による遅延 B (図. 161) など) を選択します。
  - ▶ このメッセージに関する詳細情報が、PCM の詳細エリアに表示されます。

## マップビューおよびナビゲーション情報をインストールメントクラスターに表示する

インストールメントクラスターの操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▶ 148 ページの「インストールメントクラスターの操作」の章を参照してください。

### 地図画面の表示および設定

1. インストールメントパネルの地図画面を選択します。
  - ▶ 147 ページの「インストールメントパネル（パワーメーター）の概要」の章を参照してください。
2. マルチファンクションステアリングホイールから希望のビューオプションを選択してください：
  - **手動ズーム**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
  - **オートズーム**：地図の縮尺は自動調節されます。
  - **3Dマップ**：3次元地図を表示します。
  - **北向き**：常に地図の上方が北になります。
  - **マップ情報**：インストールメントパネルで車両 & 情報画面でマップ表示が選択されていない場合、ナビゲーション作動時にマップが自動的に表示されます。
  - **矢印情報**：インストールメントパネルで速度 & アシスト表示のナビゲーションメニューが選択されていない場合、ナビゲーション作動時にメニューが自動的に表示されます。

### インストールメントクラスター上でのナビゲーション情報の表示

- ▶ インストールメントパネルで速度 & アシスト表示のナビゲーションメニューを選択します。
  - ▶ 147 ページの「インストールメントパネル（パワーメーター）の概要」の章を参照してください。

## ナビゲーション設定の変更

- ▶ **🏠 ▶ ナビゲーション ▲ ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ 希望の設定を選択します。**

### オンラインソフトウェアアップデートの実行

オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、以下をご覧ください：

▶ 194 ページの「オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードとインストール」の章を参照してください。

### 道路通行料自動収受システム (ETC) の使用

#### ETC カードの挿入および取り出し



図. 162: グローブボックス内の ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードをカチッと音がするまでカードリーダーに差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、**△** を押してください
  - ▶ ヘッドラインに表示される **ETC** は、カードがないこと、またはカードエラーを示します。

### ETC 設定

- ✓ ETC カードの詰まり

#### ▶ **🏠 ▶ 車両 🚗 ▶ ETC ▶ 支払い方法**

- 通行料の表示
- 通行料の警告
- カード抜き忘れ警告

## オンラインソフトウェアアップデート

### オンラインソフトウェアアップデートのダウンロード

オンラインソフトウェアアップデート機能(一部の国で利用可能)により、PCM および車両をアップデートできます。

オンラインソフトウェアアップデートはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。すべてのPCM機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

- ✓ ポルシェ コネクト ストアでポルシェ コネクト パッケージまたは Porsche Connect Care を購入している。
- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっている。
- ✓ オンラインソフトウェアアップデートが My Porsche で有効化された。
- ✓ データ接続が正常に確立されています。
- ✓ プライベート モードが無効です。

ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。ダウンロード時間は接続品質によって異なります。ダウンロードの完了後、インストールを開始できます。

### オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードとインストール

#### オンラインソフトウェアアップデートのダウンロード

国別仕様のオンラインソフトウェアアップデート機能により、PCM と車両をアップデートできます。

オンラインソフトウェアアップデートはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。すべてのPCM機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

- ✓ ポルシェ コネクト ストアでポルシェ コネクト パッケージまたはポルシェ コネクト ケアを購入していること。
- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっていること。
- ✓ オンラインソフトウェアアップデートが My Porsche で有効になっていること。
- ✓ データ接続が正常に完了していること。
- ✓ プライベート モードが無効になっていること。

ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。ダウンロード時間は接続状況によって異なります。ダウンロードが完了すると、インストールを開始できます。

#### オンラインソフトウェアアップデートのインストール

インストールの準備ができると、PCM が再起動するたびに、利用可能なオンラインソフトウェアアップデートに関するメッセージが 1 回表示されます。通知で、いつでもメッセージを表示できます。

- ▶ オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、ホーム画面で **アップデート** を選択してください。

#### 情報

オンラインソフトウェアアップデート中の使用制限。

**車両の走行準備が整っておらず、始動できません。** ディスプレイと車両機能(コンフォート機能や盗難防止機能など)が一時的に無効になる場合があります。

- ▶ 車両を安全に駐車します。
- ▶ PCM のプロンプトに従ってください(すべての乗員が降車するなど)。
- ▶ オンラインソフトウェアアップデート中は、車両を使用しないでください。
- ▶ 車両はインストール後にのみ使用してください。

1つのインストール プロセスのみ開始できます。このインストール プロセスは中断できません。インストール時間はオンラインソフトウェアアップデートの内容に応じて異なります。一度インストールしたオンラインソフトウェアアップデートは元に戻すことができません。

- ✓ オンラインソフトウェアアップデートのダウンロードが正常に完了していること。
- ✓ 車両が OFF になっていること。
- ✓ パーキングロックとパーキングブレーキが作動していること。
- ✓ バッテリーが十分充電されていること。
- ✓ さらに条件が必要になる場合があります(ドアが閉まっている、車両がロックされているなど)。これらの条件は PCM に表示されます。

- ▶ **インストール**でオンラインソフトウェアアップデートのインストールを確定します。

再び走行可能状態を確立すると、PCM に通知が 1 度表示されます。車両を再びフル活用することができます。

#### 📌 インフォメーション

インストールが確認されていない場合、または**後で通知する**を使用した場合、インストール時間は自動的に延期されます。

## オンラインソフトウェアアップデートの失敗

オンラインソフトウェアアップデートの実行中に故障が発生する場合があります。

発生した故障の重大度とその結果はPCMに表示されません。

**エラーが発生する場合、PCMの該当する情報を厳守してください。**

### 情報

オンラインソフトウェアアップデートの失敗による損傷と使用制限。

表示および車両機能が正常に機能しません。

- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ポルシェ コネクト

### 可用性

モデル、国、機器によって使用方法が異なる可能性があります。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。国によっては、内蔵SIMカードまたは外部WiFiホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。現在有効なデータ接続はPCMのステータスラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

- ▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。
- ▶ 183 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

### 登録および有効化

#### Porsche ID アカウント (ポルシェ コネクト ユーザー) とポルシェ コネクト サービスの有効化

- ✓ Porsche ID アカウントを有効にするための E メールを受け取っていること。

1. Eメールの「Porsche ID アカウントを有効にする」ボタンをクリックし、確認コードを入力します (保存されている携帯電話番号に送信されます)。
2. Porsche ID アカウントのパスワードとセキュリティコードを設定します。
3. プロフィール情報を入力し、一部の国で設定されているポルシェ コネクトの無料ご利用期間を有効にします (該当する国ではバックグラウンドにて自動的に反映)。

### ① インフォメーション

Porsche ID を有効にするための E メールが届かないようであれば、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### 暗証コード

車内で Porsche ID のログインを完了させ、アプリや My Porsche から一部のリモートサービスをご利用いただくためには、セキュリティ コードを指定する必要があります。

1. My Porsche を開きます。[ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります。]
2. お客様の個人アクセス データ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. セキュリティ コードは、ユーザー設定において設定、変更、またはリセットできます。

以下のサービスを使用する場合など、国によっては**セキュリティコード**を発行する必要があります。

- 乗車後に Porsche ID をロック解除 (「セキュリティコードでログイン」が設定されている場合)
- 車両のログイン設定を変更 (「セキュリティコードなしでログイン」などに変更)
- ポルシェ車両追跡システム (PVTS) の停止
- 追加ユーザーのためのリモート機能の作動

## My Porsche 経由での追加サービスの有効化

✓ Porsche ID アカウントが有効になっている。

1. My Porsche を開きます。(ポルシェ ウェブサイトの左上に表示されますが、国により異なります。)
2. お客様の個人アクセス データ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. サービス タブを選択します。  
➔ 利用可能なサービスが表示されます。
4. ご希望のサービスを選択します。
5. アクティベーションと設定を行います。

▷ 194 ページの「オンライン ソフトウェア アップデートのダウンロードとインストール」の章を参照してください。

### インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス パッケージは、無料利用期間中、幅広いポルシェ コネクト サービスを無料で提供します。その期間はサービスと国ごとに期間が異なる場合があります。無料ご利用期間、ならびにそれ以降の費用やアクティベーション、ご利用、ご利用可能な各サービスに関する詳細情報については、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) をご覧いただくか、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- 国によっては、ポルシェ コネクト サービスを内蔵 SIM カードまたは外部の WiFi ホットスポットで利用できます (ロシアでのみ利用可能)。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。

サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

## 車両での Porsche ID (ポルシェ コネクトユーザー) のログイン

一部のポルシェ コネクト サービスをご利用いただくためには、車両で Porsche ID のログインが必要となります。このログインを行うことにより、My Porsche のパーソナル設定を車両で呼び出すことができます。

- ✓ My Porsche でポルシェ コネクト ユーザー (Porsche ID) が作成されていること。
- ✓ セキュリティ コード (参照先: ▷ P. 195) が Porsche ID 用に My Porsche で作成されており、コードを把握していること。

### 1. ▶ **設定** ▶ **アカウント** ▶ **アカウントの設定**

2. Porsche ID、E メール アドレス、My Porsche パスワードを入力し、**ログイン** で確定します。

## ナビゲーション システムおよびボイス コントロール システムを使用する

- My Porsche からナビゲーション目的地を入力して、ポータル施設情報やその他の施設情報カテゴリをロードする場合のオンライン検索。
- 追加地図画面
- リアルタイム交通情報では、インターネット経由で事故、工事作業、渋滞情報およびその他の事象に関する情報が提供されます。
- オンライン音声検索

## データ接続の確立

### 内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する

国によっては内蔵 SIM カード経由のデータ接続確立オプションをご利用いただけない場合があります。

✓ プライベート モードが無効になっていること。

▷ 197 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

データ接続は、作動待機が確立されると自動的に確立されます。

### インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

- プライベート モードが無効です。
- 車両がネットワークからの電波を十分受信できる場所 (電波の届かない場所ではない) にあります。

▶ 必要に応じて PCM を再起動してください。

### 外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立する

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立は、現在ロシアでのみ利用可能です。

### インフォメーション

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続には、(データ ローミングなどによる) 追加のコストが発生する場合があります。

✓ 電話の WiFi ホットスポットか公衆ホットスポットを利用できます。

1. ステータスエリア  または  において (接続ステータスによって異なる)、... ▶ **WiFi 設定**  
▶ **外部ホットスポットを検索**を選択します。  
➔ WiFi ネットワークが検索され、表示されます。
2. WiFi ホットスポット (公衆ホットスポットや電話の個人ホットスポットなど) を選択し、PCM に WiFi アクセス データを入力します。データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。  
➔ 外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立します。

## PCM WiFi ホットスポットの有効化

車両ホットスポットに接続できる WiFi デバイスは最大 8 台です。

1. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す：  ▶ **設定**  **接続ウィザード** ▶ **車両ホットスポットに接続**  
➔ デバイス名と PCM WiFi パスワードがセン  
トラルディスプレイに表示されます。
2. デバイスの WiFi 設定に PCM の WiFi アクセス  
データを入力するか、デバイスを使用して PCM  
に表示された QR コードをスキャンします。  
➔ PCM のワイヤレス インターネット アクセ  
スへの接続が確立されます。

## 管理と設定

### Porsche ID (ポルシェ コネクトユーザー) の管理

- ✓ Porsche ID (ポルシェ コネクトユーザー) がログインしています。

1. 名前と機能は変更される可能性があります

▶  ▶ **設定**  ▶ **アカウント** 希望のアカウントを選択します... ▶ **アクション** を完了します：

- **セキュリティコードでログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID およびセキュリティコードを確定する必要があります。
- **セキュリティコードなしでログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の確定のみが必要になります。
- **自動ログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の再確認を必要とせずに自動的にログインします。
- **アカウントの削除**：Porsche ID は車両から削除されます。
- **アカウント登録の取り消し**：Porsche ID は車両からログアウトされます。ゲストアカウントが有効になります。

## サービス概要の表示

▶  ▶ **設定**  ▶ **プライバシーおよびポルシェ コネクトの設定** ▶ **すべてのポルシェ コネクト サービスの概要** を選択します。  
➔ 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

## リモート アクセス権限の付与

My Porsche または車両のポルシェ コネクト アプリ (国によって利用可能) のサービス制御プログラムを使用するには、リモート アクセス権限が必要です。リモート アクセス権限は、メインユーザーが初めて車両にログインするとすぐに自動的に付与されます。

- ✓ メインユーザーが少なくとも 1 回車両にログインしています。

▶ 以下で登録済みユーザーの確認： ▶ **設定**  ▶ **アカウント**

## アプリ

国によって、さまざまなアプリが車両で利用できます (Apple App Store または Google Play ストアからダウンロードしてください)。



**警告** 運転中の使用および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ アプリを使用および操作するのは車両が完全に停止している場合だけにしてください。

## My Porsche アプリ<sup>1</sup>

一部の国で利用可能なアプリを使用して、電話を車両に接続できます。これにより、車両固有の情報を電話から直接取得し、選択した車両設定をアプリから行うことができます。さらに、故障時電話をアプリでトリガーできます (国により利用可能)。たとえば、以下の機能を利用できます。走行可能距離、燃料水準、またはバッテリーのステータスなどの現在の車両データを取得し、車両のロックおよびロック解除をリモートで制御し、エアコンまたは予熱器を有効および無効にし、パーソナル POI (施設情報) を管理して車両に送信し、カレンダー入力から目的地を電話から PCM に転送します。さらに、このアプリは、製品の機能やイベントなど、ポルシェブランドに関する現在の情報へのアクセスを提供します。

## WiFi 経由でアプリを PCM に接続し、PCM でアプリを起動する

- ✓ アプリが電話にインストールされている (Apple App Store または Google Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ WiFi が電話で有効になっている。
- ✓ WiFi が PCM で有効になっている。

1.   デバイスをタップします    インターネットにアクセスするには  [WiFi 設定を有効にする] をタップします。

2. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す:   デバイスをタップします   接続ウィザード  PCM ホットスポットに接続  
 ➔ PCM の WiFi アクセスデータ (デバイス名および WiFi パスワード) が表示されます。

3. デバイス WiFi 設定に表示された PCM の WiFi アクセスデータを入力するか、表示された QR コードを電話でスキャンします。  
 ➔ PCM のワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

車両とアプリ間の通信を無効にすることができます。

▷ 197 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

### インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。このアプリを使用すると、携帯電話ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービスプロバイダーの追加料金が発生する場合があります。

## スマート サービス



運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

### 機能

車両の一部のコンポーネントは、定期的なメンテナンスまたは交換を必要としています。スマートサービス (国によっては利用可能) を使用すると、メンテナンスおよび修理データを呼び出して更新できます。コンポーネントのメンテナンスまたは修理が必要な場合、PCM にメッセージが表示されます。

### スマート サービスの操作

コネクストアのコネクタカーパッケージの一部として操作します。その後、この機能は自動的に車両で利用できるようになります。

▷ 195 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

### インフォメーション

ポルシェコネクタに関する詳細 (ヘルプビデオ、ポルシェコネクタ取扱説明書およびヘルプ) は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) にあります。

## スマート サービスの使用

操作後、現在のスマートサービスデータを PCM で確認できます。

### スマート サービスを開く

▶   スマートサービス  タップします。

- ➔ スマートサービスデータを含む概要が表示されません。
- ブレーキフルード
- 車室内フィルター
- 一般的な点検

### コンポーネントの機能の呼び出し

- ✓ スマートサービスが開いている。

1. ... 希望のコンポーネントの横をタップします。
2. 希望の機能を選択してください。

選択したコンポーネントに応じて、以下の機能が利用可能です。

- 手順を開きます。
- 最寄りの修理工場を PCM に表示します。
- コンポーネントをリセットします。
- 新しい有効期限を入力してください。

### コンポーネントの停止または操作

- ✓ スマートサービスが開いている。

1. 希望するコンポーネントを選択する ▶  設定
2. コンポーネントの停止または操作  
 ➔ 停止したコンポーネントに関する必要なメンテナンスまたは修理の通知は表示されません。

## 必要なメンテナンスまたは修理の通知の表示

- ▶ 次の機会にコンポーネントをメンテナンスまたは修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェは、トレーニングを受けた作業スタッフと必要な部品とツールが備わっているため、ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めします。

以下の機能を利用できます。

- メッセージを読み上げます。
- 最寄りの修理工場を PCM に表示します。
- メッセージを閉じます。メッセージは PCM を再起動すると再び表示されます。

コンポーネントのメンテナンスおよび修理に関する詳細情報は、で開くことができます。My Porsche

- ▶ 195 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

## スマート サービスの停止

- ▶ プライベート モードを有効にして、スマート サービス (国により利用可能) を無効にします。
  - ▶ 197 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

## インフォメーション

個々のサービスは、My Porsche のコネクタ設定から無効にすることができます。

## スポーツクロノストップウォッチ機能

スポーツクロノストップウォッチでいつでも時間を停止、評価できます。ラップタイムは、ダッシュボードのストップウォッチ、ダッシュボードのタッチディスプレイ、インストルメントパネルに表示されます。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップタイム
- オプション: その他の各種データ (車両位置や速度など)

記録中、以下を表示します。

- 現在のラップ数
- 現在のラップタイムと最速ラップタイムの色分けでの比較
- 基準ラップに対して完了したラップの割合
- 現在のラップタイムが以前の最速ラップまたは選択したラップより速いか、遅いか、同じかを表示するカラー レート
- 燃料の残量および現在タンクに残っている燃料での走行可能距離および完了できるラップ回数。
- 残りの記録時間
- 現在のラップおよび基準ラップに関するトラック進捗。

## スポーツクロノストップウォッチの操作 ダッシュボードのストップウォッチ



図. 163: スポーツクロノストップウォッチ

アナログポインターは秒を表示します。デジタル表示は 1/100 秒まで正確に示します。

デジタルディスプレイおよびダッシュボードとインストルメントパネルのタッチディスプレイのディスプレイは、99 時間 59 分 59.99 秒まで表示できます。

## ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示およびライトの設定

- ▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## PCM のストップウォッチ



図. 164: PCM のストップウォッチ

- A** 燃料の残量および現在の燃費残量で走行可能なラップ回数などの記録情報。

**B** トラック進捗状況またはラップカウンター付きのサークルダイアグラム：基準ラップと比較してすでに完了したラップの割合。現在のラップタイムが基準ラップより速い（緑色）、同一（黄色）、または遅い（赤色）のいずれであるかを示すカラーレート。

## 計時の開始

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ 開始**
  - ➔ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

## 計時の停止

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ **Sport Chrono 停止**

## 計時の継続

✓ 計時が停止されました。

- ▶  ▶ **Sport Chrono 続ける**

## ラップの停止 / 新しいラップの開始

1回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ 新しいラップ**
  - ➔ ラップカウンターの値が1ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が設定した差に収まっていれば、最速ラップタイムとして記録されます。

## 中間タイムの保存

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ 中間タイム**
  - ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

## ストップウォッチタイムのリセット

✓ 計時が停止されました。

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ リセット**
  - ➔ すべてのストップタイム表示は0にリセットされ、走行記録は停止されます。

## 基準ラップの読み込み

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ ラップの読み込み**

## 基準ラップの保存

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 表示**
  - ▶ 評価 希望の記録を選択 **基準ラップの保存**

## 記録の表示と編集および統計の記録

1回のセッションで最大 99 ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されません。最大で 10 時間の記録が可能です。

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 表示**
  - ▶ 評価

## 記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート

- ✓ ... ▶ **Sport Chrono 評価** が選択されています。
- ✓ インポート / エクスポート用に接続された USB データバンク。データは、記憶媒体の「SportChrono」フォルダーに保存されています。
- ✓ データバンクは FAT32 か exFat にフォーマット化されています (Windows または Linux)。

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ ...**

## スポーツクロノの設定

### 追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップタイムに加えて、他の走行データ（速度など）を 1 秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定**
  - ▶ 詳しいデータ記録

### 許容距離差の設定

基準ラップの長さとして任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。

- ▶  ▶ **Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定 ▶ 許可されたルート偏差**

## 評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一（黄色マーク）と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

- ▶ **🏠 ▶ Sport Chrono ▶ … ▶ Sport Chrono 設定**
- ▶ **評価の最大タイム差**

## 最速ラップ（ゴーストカー）の車両位置の表示

- ▶ **🏠 ▶ Sport Chrono ▶ … ▶ Sport Chrono 設定 ▶**
- ▶ **最速ラップの位置を表示**

## インストルメントパネルのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両&情報」ディスプレイに表示されます。



図. 165: インストルメントパネルのストップウォッチ

- A** 最終のラップタイム
- B** 最速ラップタイム
- C** ラップカウンター
- D** 現在のラップタイム / 一時中間ラップ

- E** 基準ラップタイムまたは最速ラップタイム
- F** オプションおよびコントロールコマンド（スタート、ストップなど）
- G** サークルディスプレイ：基準ラップと比較してすでに完了したラップの割合。現在のラップタイムが基準ラップより速い（緑色）、同一（黄色）、または遅い（赤色）のいずれであるかを示すカラーレート。

## 計時の開始

- ▶ **Sport Chrono ▶ 開始**
- ▶ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

## 計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ 停止**

## 計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ 続ける**

## ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

1回の記録で最大99ラップを保存することができます。

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ ラップ**
- ▶ ラップカウンター **C** (図. 165) が1ラップずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイム **B** (図. 165) として保存されます。

## 中間タイムの保存

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ 中間タイム**
- ▶ 中間タイム **D** (図. 165) は短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。サークルダイアグラム **G** (図. 165) の数字は設定された中間タイムを示します。

## ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ リセット**
- ▶ すべてのストップウォッチタイムをゼロにリセットすることができます。

## 電話

### 電話についての概要説明

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 158 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

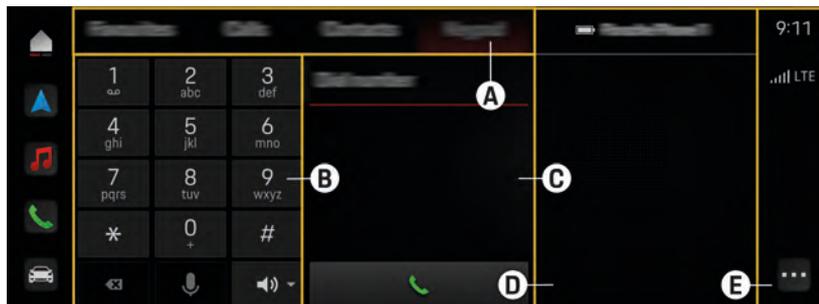


図. 166: 電話番号の入力 (キーパッド)

希望する操作	操作方法	操作箇所
Bluetooth® を介した電話の接続	▶  ▶ 電話  ▶ 既知のデバイスを選択するか、新しいデバイスを検索します ▶ 検索を開始します。	▶ P. 203
接続された2つの電話を切り替える	▶ ステータスエリアで現在接続されている電話を選択します(D(図. 166)を参照してください)。既に接続している2つのデバイスが表示されます。希望する携帯電話を選択してください。 - または - ▶ ステータスエリアをタップします(E(図. 166)を参照)	-
電話をお気に入りに設定する	▶  ▶ デバイスをタップします  ▶ ☆ タップします。	-
デバイスリストから携帯電話を削除する	▶  ▶ デバイスをタップします  タップします。 ▶ 削除する電話の行を右から左にスワイプします。 ▶ デバイス リストから電話が削除されます。	-
接続されたオーディオ出力デバイス間の切り替え	▶  ▶ 電話  ▶ キーパッド を押します ( B を参照(図. 166)) 。希望の装備を選択してください。	-
番号をダイヤルする	▶  ▶ 電話  ▶ キーパッド ( B を参照(図. 166))  をタップします。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
連絡先をお気に入りに登録する	▶  ▶ 電話  ▶ お気に入り (A(図. 166)を参照) お気に入りを追加 ▶ 対象の連絡先をリストからタップして選択します ☆。	▶ P. 203
通話履歴を表示する	▶  ▶ 通話履歴 (A(図. 166)を参照) – または – マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを押します。 通話リストがインストールメントパネルおよびヘッドアップディスプレイに表示されます。	–
連絡先を表示する	▶  ▶ 連絡先 (A(図. 166)を参照)	–
メッセージを表示する	▶  通知  をタップします。	▶ P. 188
ボイスメールを聞く	▶  ▶ 電話  ▶ キーパッド (B(図. 166)を参照) ボタン 1 を押し続けてください。	–
着信に応答する/拒否する	▶ 応答  または拒否  を押します。	–
通話を終了する	▶ 拒否  ステータスエリアをタップします (C(図. 166)を参照)。 – または – マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを押します。	–

モデル、国別仕様、および装備仕様に応じて、いろいろなオプションが利用できます。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。

### ▲ 警告

電話の使用による事故の危険あり

走行中に電話を使用すると、注意力が散漫になり交通状況に集中できなくなります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

## Bluetooth® を介した電話の接続

### ▲ 警告

ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

## 新しい電話を接続

▶ 183 ページの「デバイスマネージャー」の章を参照してください。

✓ 電話の Bluetooth® 機能が作動しており、他のデバ

## 荷物および運搬

### 収納スペース

#### 荷物の収納



**警告**

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ この指示で説明されている収納オプションのみを使用してください。
- ▶ 可能な場合は、必ず荷物をロック可能な小物入れに入れて運んでください。
- ▶ 前述の状況で荷物が滑ったり投げ出されたりしないように収納します。
- ▶ 荷物が小物入れやラゲッジネットからはみ出していないことを必ず確認してください。
- ▶ 小物入れやトレイを開けた状態で、重い、尖った、鋭利または壊れやすい荷物を輸送しないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

#### 情報

収納ネットを損傷する危険があります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

車両装備によっては、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- グローブボックス
- フロントおよびリアドリンクホルダー

- フロントシートバックレスト背面のマップポケット
- リヤグラブハンドルの衣類フック
- ラゲッジコンパートメントフロア下の小物入れ
- フロントおよびリアアームレストの小物入れ
- フロントおよびリアドアパネルの小物入れとボトルホルダー
- フロントおよびリアセンターコンソールの小物入れ
- フロントシート下の小物入れ

### グローブボックスの開閉

#### グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。
  - ➡ グローブボックスは自動的に開きます。

#### グローブボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。

グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。

▶ 32ページの「キー」の章を参照してください。

グローブボックスの冷房機能に関する情報：

▶ 63ページの「エアコンシステム [2-/4-ゾーンエアコン]」の章を参照してください。

### アームレストの小物入れを開く

#### フロントアームレストの小物入れを開く



図. 168: フロントアームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストの運転席側のボタンを押してください。
  - ➡ リッドが自動的に開きます。

#### リアアームレストの小物入れを開く

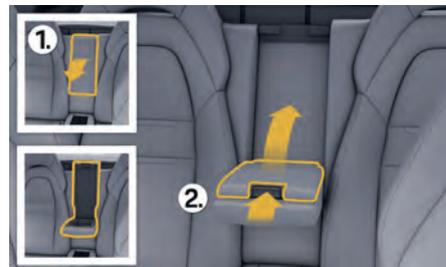


図. 169: リアアームレストの小物入れを開く

1. アームレストをたたみます。
2. ボタンを押してリッドを持ち上げます。

## リヤセンターコンソールの小物入れを開く



図. 170: リヤセンターコンソールの小物入れを開く

- ▶ ハンドルリセスの部分で、リッドを左右どちらかにスライドさせてください。
  - ➡ リッドが自動的に開きます。

## 格納式テーブルを使用する

対象：エグゼクティブ車両



警告

ケガをする恐れがあります。

格納式テーブルは、ブレーキを踏んだとき、進路変更をしたときや、事故が発生したときに、負傷の原因となる恐れがあります。走行中に、テーブル上の物やテーブルの一部が車内に飛び出してしまうことがあります。

- ▶ 走行中に格納式テーブルを開いたり、使用したりしないでください。



注意

火傷、挟み込み、つぶされる危険

格納式テーブルの上の荷物が重すぎると、テーブルが折れて、身体の一部が挟まれる、またはつぶれる恐れがあります。熱い飲み物がこぼれると火傷をする場合があります。

- ▶ 折りたたみ式テーブルは最大 5 kg の重量に耐えることができます。
- ▶ 熱い飲み物を格納式テーブルに置かないでください。

### 情報

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器を格納式テーブルに置かないでください。

### 情報

シートを前方に倒すことによる損傷の恐れがあります。

- ▶ バックレストを前方に倒す前に、格納式テーブルを折りたたんでください。

## ① インフォメーション

格納式テーブルは最大 5 kg の重量に耐えることができます。載せているものが重すぎると、折りたたみ式テーブルが閉じて、その後再び開いてしまう場合があります。過負荷保護が 25 回作動したら、格納式テーブルを交換する必要があります。

## 格納式テーブルを開く

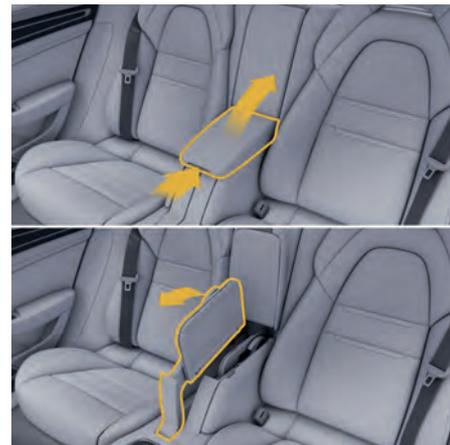


図. 171: 格納式テーブルを開く

1. ボタンを押して、リヤセンターコンソールを開きます。
2. 格納式テーブルをつかみ、カチッと音がして収まるまで進行方向に開きます。

## 格納式テーブルの調整



図. 172: 格納式テーブルの調整

1. テーブルトップを開きます。テーブルトップを傷つけないように注意してください。
  2. 必要に応じて、センター コンソールを閉じます。
- ▶ テーブルトップは水平方向と垂直方向に動かすことができます。

## 格納式テーブルを折りたたむ

- ▶ テーブルの折りたたみは、逆の順序で行います。格納式テーブルが完全に押し下げられていることを確認してください。

## ルーフ トランスポート システム

### ルーフに物を載せて運ぶ場合

#### ▲ 警告

固定されていない、または不適切に固定したルーフ トランスポート システムまたは積載器具。

固定されていない、または不適切に固定されたルーフ トランスポート システムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー/スノーボードホルダーやルーフボックスなどの積載機器は、サポート底部に対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 毎回走行を開始する前に、ルーフ トランスポート システムや積載器具が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニング スクリューを再度締め付けます。

#### ▲ 警告

車両のハンドリング特性の変化

ルーフ トランスポート システムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- ▶ 適切な運転を心がけてください。
- ▶ ルーフ トランスポート システムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフ トランスポート システムは装着しているものの荷物は載せていない場合、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ポルシェ テクニクメントの積載器具については、速度に関する情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書に従ってください。

#### ▲ 警告

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合、走行中に荷物がルーフ トランスポート システムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- ▶ 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ▶ ルーフ トランスポート システムに荷物を載せる際には、荷物がシステムの側面からはみ出さないようにしてください。荷物が車両の幅を決して超えないようにしてください。
- ▶ ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ▶ ルーフ トランスポート システム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に分散されるようにしてください。

#### 情報

ルーフ トランスポート システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ トランスポート システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフ トランスポート システムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ トランスポート システムを含めた車両の全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

### ① インフォメーション

- ▶ ルーフトランスポートシステムを使用しない場合は、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外すことで、燃料を節約し、ノイズを低減できます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフトランスポートシステムや他の補助アタッチメント（スキー/スノーボードホルダー、ルーフボックス、バイクラックなど）を使用してください。

### ① インフォメーション

ポルシェが試験および認定したルーフトランスポートシステムのみを使用するよう、お勧めします。

ルーフトランスポートシステムについて詳しくは、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ルーフトランスポートシステムの取り付け

- ✓ Panamera および Panamera Sport Turismo モデルのみ。



図 173: ルーフトランスポートシステムの構成部品

- A** フロントキャリアバー（ロング）  
側面ごとにロックピン1個（Sport Turismo 車両には2個）
- B** リヤキャリアバー（ショート）  
側面ごとにロックピン1個
- C** カバートリム
- D** トルクレンチ
- E** キー
- F** ルーフキャッチ用の取り外しツール

- ✓ キャリアバーサポート部分のルーフとドアおよびキャリアバーサポート表面を清掃します。



図 174: ルーフキャッチの取り外し

1. 取り外し用ツールを使用してすべてのルーフキャッチを引き出します。



図 175: カバーフラップのロックおよび折りたたみ

2. カバーフラップをキーでロック解除します。
3. カバーフラップが完全にかみ合うまで折り上げます。

4. トルクレンチを使用してファスニング スクリューを反時計方向にゆるめますが、完全には取り外しません。

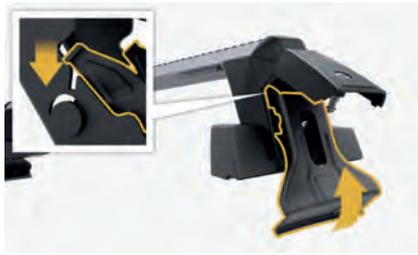


図. 176: キャリア サポートでファスニング ブラケットを固定します。

5. ファスニング ブラケットを上方向に回転させ、キャリア サポートにはめ込みます。  
6. 車両のドアを開きます。

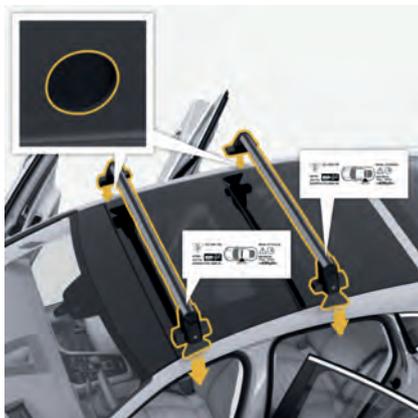


図. 177: キャリアをルーフに取り付ける

7. ステッカー (図. 177) が車両の左側になるようにキャリアをルーフに慎重に取り付けてください。同時に、ステッカーを使用してフロントおよびリア キャリアを識別します。



図. 178: ロック ピンの挿入

8. アングル ブラケットを外して、ロック ピンをルーフ フレームの内側の該当する穴に挿入してください。  
9. ファスニング ブラケットを押し上げてください。力をかけずにファスニング ブラケットを押し上げることができない場合、キャリアを再調整してください。  
10. 両方のキャリアのサポート底部のファスニング スクリューを軽く締め付けます。ここではまだ完全には締め付けしないでください。ロック ピンが確実に固定され、キャリア バーがスリップしないことを確認してください。  
11. トルクレンチを使用して、ファスニング スクリューを対角線上に 6 Nm のトルクで時計回りに締め付けます。  
12. カバーを閉じ、キーを時計回りに回します。最後に、必要に応じてカバートリムを挿入します。

### ① インフォメーション

- ▶ 短距離走行後にファスニングを締め直し、定期的な再点検してください。
- ▶ 状態の悪い路面を走行するときは、スクリューを頻繁に点検してください。アタッチメントのゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

### マウント部品の取り付け



図. 179: カバートリムをサイズに合わせて切り、押し込む

1. キャリア キャップを取り外します。
2. 所定の T 溝にマウント部品を挿入します。
3. サポート カバーを閉じます。
4. マウント部品の取り付けと固定については、必ず該当する取扱説明書をお読みください。

### プロファイルトリムの閉鎖

水分や汚れから保護し、風切り音を防止するため、マウント部品が使用されていないときはプロファイルトリムの T 溝を閉鎖します。



図. 180: マウント部品の取り付け

1. 基本的なキャリアの長さにプロファイルトリムを切断します。
2. プロファイルトリムをT溝に押し入れます。

## ドリンクホルダー カップホルダーを使用する

### ▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためだけに使用してください。

### 情報

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。

仕様により、フロントおよびリヤセンターコンソールには2個から6個のカップホルダーがあります。リヤアームレストにはさらに1個のカップホルダーがあります。

## フロントドリンクホルダーの使用



図. 181: フロントドリンクホルダー

## リヤドリンクホルダーの使用



図. 182: リヤのカップホルダー

- ▶ センターコンソール開口部を左右にスライドさせます。

## ボトルの収納

- ▶ ボトルはドアの小物入れに収納してください。

## ラゲッジコンパートメント

### 荷物の積載

#### ⚠ 危険

有毒な排気ガスの吸入

リヤリッドが開いているか正しく閉じられていない状態でエンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。

#### ⚠ 警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

#### ⚠ 警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定していなかったり不適切な位置に載せたりした荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントで輸送し、車室内(座席の上または前など)には絶対に置かないでください。
- ▶ 荷物は可能な限りシートバックレストで支えてください。バックレストは必ず固定してください。
- ▶ 重い荷物は必ずリヤシートバックレストを立てて、ロックした状態で積載してください。
- ▶ 可能な限り、空いている座席の後ろに荷物を置きます。
- ▶ 重い荷物はできるだけフロアの前方に寄せ、軽い荷物はその後ろに置いてください。
- ▶ バックレストの上端より上には荷物を載せないでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントカバー上に荷物を置いて走行しないでください。
- ▶ リヤシートに乗員がいない場合は、シートベルトを使用してシートバックレストを補助的に支えることができます。そのためには、外側座席のシートベルトを斜めに渡し、反対側のバックルにはめてください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中は小物入れカバーを必ず閉じてください。

#### ⚠ 警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を調整した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定も更新してください。

#### 情報

リヤウィンドウおよびサイドウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物によるリヤウィンドウおよびサイドウィンドウの損傷に注意してください。

ラゲッジコンパートメントの最大許容荷重は 200 kg です。荷重はラゲッジコンパートメント全体に均等に配分する必要があります。

### タイダウンベルトによる荷物の固定

- ▶ 荷物を固定するためにゴムベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップが尖った端部を通らないようにしてください。
- ▶ 荷物の上をベルトが横切るようにします。
- ▶ ベルトは必ず手で締め付けてください。補助的なテンション工具(ラatchet)を使用しないでください。
- ▶ タイダウンベルトに関する指示や情報に従ってください。

## タイヤシーラント、工具セット、軽修理用装備の取り外しおよび収納

### 応急処置セットと三角停止表示板の取り外し<sup>1</sup>



図. 183: ツイストロックとカバーを開く

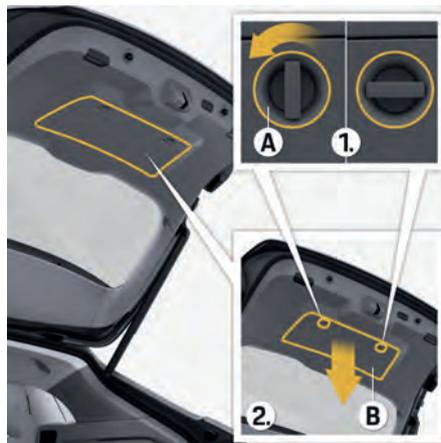


図. 184: ツイストロックとカバーを開く

✓ リヤリッドが開いている。

1. ツイストロック A (図. 183) を時計回りに 90° 回します。
2. カバー B (図. 183) を開きます。  
- または -
1. ツイストロック A (図. 184) を反時計回りに 90° 回します。
2. カバー B (図. 184) を慎重に開きます。
3. 三角の警告灯および応急処置セット C (図. 185) を取り外します。

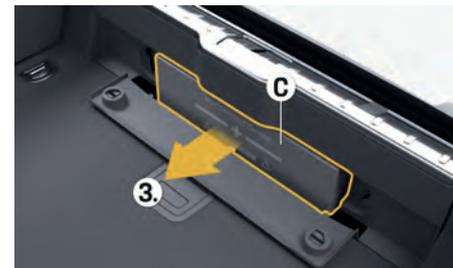


図. 185: 応急処置セットと三角停止表示板の取り外し

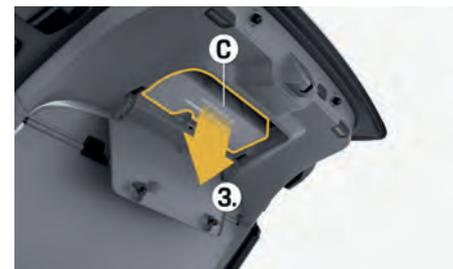


図. 186: 応急処置セットと三角停止表示板の取り外し

1. 利用可否は国によって異なります

## ラゲッジコンパートメントフロアの開閉



図. 187: ラゲッジコンパートメントフロアを開く

### ラゲッジコンパートメントフロアを開く

- ▶ ハンドルのフロントを下方に押してから引き上げ、ラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げます。

### ラゲッジコンパートメントフロアを閉じる

- ▶ ラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げ、閉じます。

### 工具セットの取り外し

工具セットは、ラゲッジコンパートメントフロアの下に収納されています。

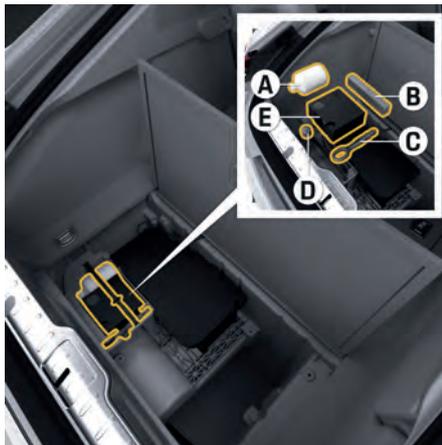


図. 188: 工具セットの取り外し

- A タイヤシーラント (Tire Mobility System - TMS)
- B 車載工具
- C けん引フックをゆるめます
- D 盗難防止ホイールボルト用レンチソケット
- E コンプレッサー

対象: E ハイブリッド車両

工具セットは、ラゲッジコンパートメントフロアの下、進行方向左側のサイドウォール内に保管されています。

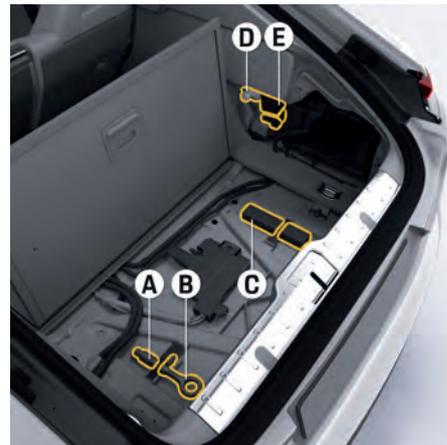


図. 189: 工具セットの取り外し

- A けん引フックをゆるめます
- B 盗難防止ホイールボルト用レンチソケット
- C 車載工具
- D タイヤシーラント (Tire Mobility System - TMS)
- E コンプレッサー

### 📌 インフォメーション

ホイール交換に必要な工具は車両に標準装備されておりません。

### コンプレッサーおよびパンク修理剤の取り外し (Tire Mobility System-TMS)

コンプレッサーとタイヤシーラントはラゲッジコンパートメントの床下にあります。

タイヤ空気充填に関する情報:

- ▶ 244 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

タイヤの補修に関する情報:

▶ 252 ページの「パンク」の章を参照してください。

## ラゲッジコンパートメントフロアの開閉



図 190: ラゲッジコンパートメントフロアを開く

### ラゲッジコンパートメントフロアを開く

- ▶ ハンドルのフロントを下方に押し下げてから引き上げ、ラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げます。

### ラゲッジコンパートメントフロアを閉じる

- ▶ ラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げ、閉じます。

## ラゲッジコンパートメントカバーの使用



**警告**

ラゲッジコンパートメント  
カバー上の荷物

ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、荷物が車内に滑り出て乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメントカバーの上に荷物を置かないでください。

ラゲッジコンパートメントカバーは、左右リヤシートの後方に取り付けられている可動装備品です。必要な場合、開いているリヤリッドから外し、取り外すことができます（清掃時など）。

## ラゲッジコンパートメントカバーの取り外しと取り付け

### ラゲッジコンパートメントカバーの取り外し



図 191: ラゲッジコンパートメントカバーの取り外し

1. 両側の掛け金を外します。
2. ラゲッジコンパートメントカバーをホルダーから矢印の方向に引き出します。

### ラゲッジコンパートメントカバーの取り付け

1. ラゲッジコンパートメントカバーをホルダー内（進行方向）に押し入れます。
2. 両側に掛け金を掛けます。

## 格納式ラゲッジコンパートメントカバーの引き出し / 格納

格納式ラゲッジコンパートメントカバーは、リヤロールアップブラインドに内蔵されています。



図 192: 格納式ラゲッジコンパートメントカバーの引き出し

### 格納式ラゲッジコンパートメントカバーの引き出し

- ▶ 格納式ラゲッジコンパートメントカバー **1** を引き出し、テールゲート **2** (図 191) の左右にあるガイドに挿入します。

### 格納式ラゲッジコンパートメント カバーの格納

- ▶ 格納式ラゲッジコンパートメント カバーをテールゲートのガイドから外し、慎重にカバーをリトラクターローラーに巻き取らせませす。

### リヤロールアップブラインドホルダーの取り外し / 取り付け

リヤロールアップブラインドホルダーは、右リヤドアから取り外しおよび取り付けができます。

#### リヤロールアップブラインドホルダーの取り外し



図 193: リヤロールアップブラインドの取り外し

- ✓ リヤロールアップブラインドが格納されている。
- ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。

- ✓ ラゲッジコンパートメント カバーが取り外されている。
- または–  
格納式ラゲッジコンパートメント カバーが格納されている。

1. 一方の手を使ってリリースハンドルをロックするまで矢印の方向に引きます。リリースの妨げとなるため、リヤロールアップブラインドホルダーに寄りかかったり、手で握ったりしないでください。
2. リヤロールアップブラインドホルダーを車両右側の取り付け位置から上方向に取り外します。
3. リヤロールアップブラインドホルダーを車両左側の取り付け位置から上方向に取り外し、ラゲッジコンパートメント内に固定します。
4. リヤロールアップブラインドホルダーを開いた車両のドアから取り外してください。

#### リヤロールアップブラインドホルダーの取り付け

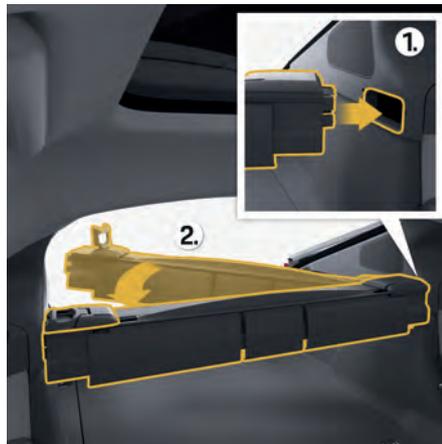


図 194: リヤロールアップブラインドホルダーの取り付け

- ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。

1. リヤロールアップブラインドホルダーをハンドルが固定されるまでゆるめます。同時に、カバーをセンターで保持します。リリースの妨げとなるため、リヤロールアップブラインドホルダーを手で握らないでください。
2. リヤロールアップブラインドホルダーをリヤシートから、車両左側の取り付け位置に差し込んでください。
3. 一方の手を使ってリヤロールアップブラインドホルダーをリリースハンドルの位置で握り、車両右側の取り付け位置に上から押し込みます。リヤロールアップブラインドホルダーがかみ合うまでリリースハンドルを折り曲げます。
4. バックレストを垂直位置に戻してください。

## スキーバッグとタイダウンリングの使用

### スキーバッグの使用

車内を損傷することなくスキーまたはスノーボードを安全に運ぶことができます。

#### 情報

荷物の鋭い端(スノーボードなど)によってスキーバッグが損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

## スノーボードやスキーをスキーバッグに収納する



図. 195: スキーバッグの使用

スキーバッグはラゲッジコンパートメント内の関連するギヤバッグに収納されます。

1. エッジプロテクターをスノーボードまたはスキーに装着します。
2. スノーボードやスキー板をスキーバッグに入れて、バッグを閉じてください。スキー板は後端からスキーバッグに入れてください。スキーバッグのファスナーは車両後方に向けてください。
3. スキーを締め付けストラップで締め付けます。スキーピンディングはこのストラップより後ろにする必要があります。
4. リヤシート間のパススルーカバーを折り曲げます。
5. タイダウンリングにテンションストラップのスパリングフックを掛けます。

## 6. テンションストラップを締め付けます。

### タイダウンリングの使用



図. 196: タイダウンリングの使用

タイダウンストラップをリングに留めて、ラゲッジコンパートメントの荷物が移動しないように固定することができます。

- ▶ 荷物固定時に、すべてのリングに均等に負荷がかかっていることを確認します。

装備仕様により、2~6個のタイダウンリングが車両に装備されています。

### **i** インフォメーション

タイダウンリングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません。

### カーゴマネージメントの使用

カーゴマネージメントシステムはラゲッジコンパートメントに荷物を固定するために使用するシステムです。

## テレスコピックバーの差し込みと調整

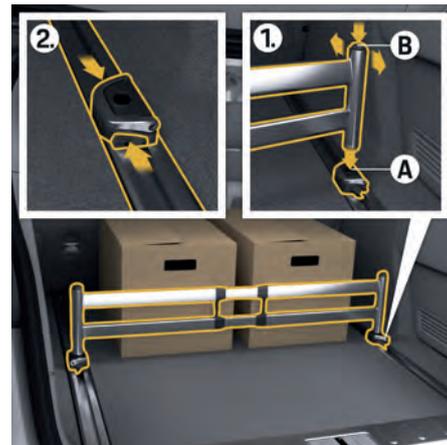


図. 197: テレスコピックバーの挿入

1. エンドエレメントのボタン **B** を押し、マウントレールの開口部 **A** (図. 197) に差し込んでください。
2. タイダウンリングのボタンを押して荷物側に押し付け、動かないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. エレメントが適切にはめ込められているかを、押しして確認します。

### ストラップリールの差し込みと調整

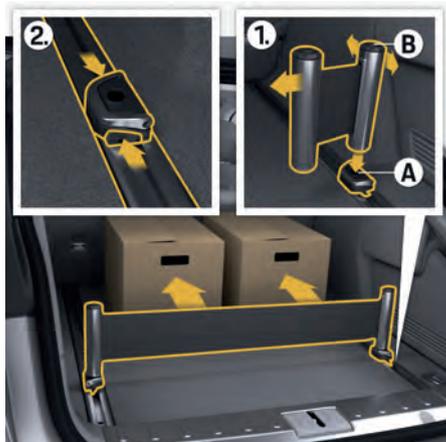


図 198: ストラップリールの使用

1. エンドエレメントのボタン **B** を押し、マウントレールの開口部 **A**▶ (図 198) に差し込んでください。  
同時に、ストラップリールを希望の長さまで引てください。
2. タイダウンリングのボタンを押して荷物側に押し付け、動かないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. エレメントが適切にはめ込められているかを、押して確認します。

### リバーシブルマット

濡れた荷物または重い荷物を輸送するときにリバーシブルマットの上面にほこりや傷が付くのを防ぐため、ラゲッジコンパートメントのリバーシブルマットの底面は滑り止め加工が施されています。

### ラゲッジコンパートメントパーテーションネットの使用

ラゲッジコンパートメントパーテーションネットは車室に軽い荷物が飛び込んでくるのを防ぎます。

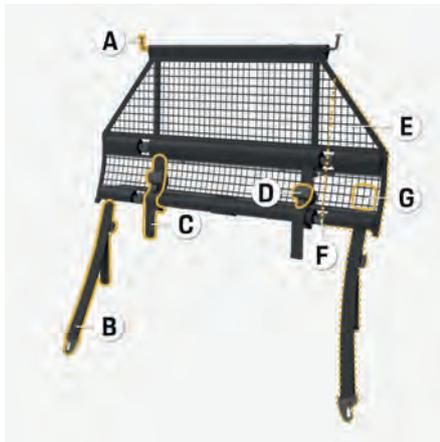


図 199: ラゲッジコンパートメントパーテーションネット

- A** ルーフアンカー
- B** フロントタイダウンベルト着用
- C** リヤタイダウンベルト着用
- D** センターベルトのタイダウンリング
- E** ラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンション
- F** ラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンションのリリース
- G** ステッカー

### ① インフォメーション

車室内のラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り外しと取り付け

- ▶ ステッカー **G** がリヤ側に面していることを確認してください。

### リヤのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

- ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。



図 200: リヤのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

1. ルーフ左右のリア固定リングにラゲッジコンパートメントパーテーションネットを掛けます。

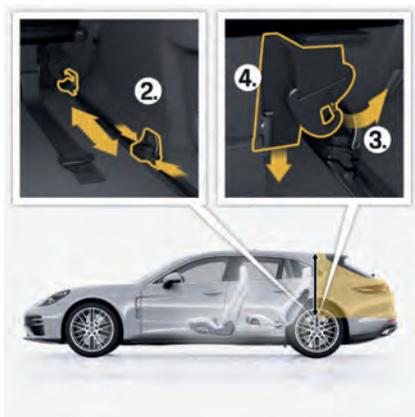


図 201: リアのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

2. 下部フック **C** (図. 199) を使用してラゲッジコンパートメントパーテーションネットを荷室フロア左右のタイダウンリングにはめ込んでください。
3. タイダウンストラップを使用してラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。  
ラゲッジコンパートメントパーテーションネットが垂直に張られていることを確認してください。
4. リヤシートバックレストを起こしてください。

### フロントのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け



図 202: フロントのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

- ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。
- ✓ 左右のラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンション **E** (図. 199) が開いている。

1. ルーフ左右のフロント固定リングにラゲッジコンパートメントパーテーションネットを掛けます。
2. 下部フック **B** (図. 199) を使用して、ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを左右のリアサイドトリムパネルのタイダウンリングにはめ込んでください。
3. タイダウンストラップを使用してラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。  
ラゲッジコンパートメントパーテーションネットが垂直に張られていることを確認してください。

### ラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り外し

1. タイダウンストラップ **B** または **C** (図. 199) をゆるめます。
2. ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを上部固定リングと下部フックから外します。
3. 必要に応じて、ボタン **F** (図. 199) を押してラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンションを格納します。

## スモーカーズパッケージ

### 灰皿の使用



警告

可燃性物質による火災警告

灰皿に可燃性物質が入っていると発火する可能性があります。

- ▶ 可燃物を灰皿に入れしないでください。

### フロントの灰皿の使用



図. 203: フロントの灰皿の使用

#### 灰皿を開く

- ▶ 灰皿のリッドを素早く押してください。  
➡ リッドは自動で開きます。

#### 灰皿を空にする

1. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
2. 灰皿を掃除した後は、インサートを元に戻してカチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

### リヤの灰皿の使用

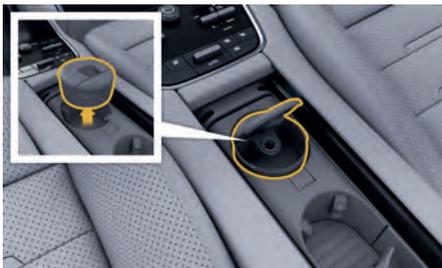


図. 204: リヤの灰皿の使用

#### ① インフォメーション

- ▶ リヤのドリンクホルダーの灰皿のみ使用します。
- ▶ 走行中はリヤセンターコンソールを閉じてください。

#### 灰皿を開く

1. リヤセンターコンソールを開きます。
2. ハンドルの取っ手部分の灰皿のリッドを開いてください。

#### 灰皿を空にする

1. 灰皿インサートのリッド部分を持って、取り外してください。
2. 灰皿を空にしたら、灰皿インサートを挿入します。

## 電気ソケット

### プラグソケットの使用



危険

感電、ショート、または火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。ソケットの不適切な使用は、回路をショートさせる場合があります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ 液体がソケットに入らないようにしてください。ソケットに液体が入った場合は、使用する前にソケット内が完全に乾燥し、液体が残っていないことを確認してください。
- ▶ アダプターまたは延長ケーブルを使用しないでください。アダプターまたは延長ケーブルを使用すると、100Vソケットのチャイルドプロテクション機能が無効になり、通電されます。

#### 情報

接続機器を損傷する恐れがあります

- ▶ 100Vソケット用に設計された機器のみを接続してください。
- ▶ 接続機器の消費電力が150Wを超えてはなりません。
- ▶ 蛍光灯の入ったランプは接続しないでください。

#### ① インフォメーション

接続機器が高温になる場合があります。その結果、過電流シャットダウン機構が動き、スイッチがONにならない場合があります。

- ▶ 機器をソケットから外し、10秒後に再接続します。

プラグソケットは次のいずれかの位置にあります(車両装備による):

- リヤおよびフロントセンターコンソール内の 12 ボルト プラグソケット
- リヤセンターコンソール内の 12 ボルト プラグソケット

230 V ソケットには、JIS 規格プラグ付きの機器が接続可能です。プラグが挿入されているときは、ソケットのインジケータライトが緑色に点灯します。過電流または過熱が発生すると、ソケットへの電源供給が OFF になり、インジケータライトが赤色に点灯します。ソケットへの電源供給は、温度が下がるともう一度 ON になります。

## 充電アダプターの接続

### 情報

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプターのみを使用してください。不適切な充電アダプターにより、プラグソケットが損傷を受ける可能性があります。

### ① インフォメーション

- ソケットはイグニッションが OFF の状態でも使えます。電装品が ON になっていると、バッテリーが放電します。車両のバッテリーを保護するため、約 30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを再度 ON にしてください。
- プラグソケットの最大電流値は、20 A です。複数の電装品を同時に使用する場合は、プラグソケット 1 つ当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、電波干渉や車両電装品の誤動作の原因となることがあります。

**B**: 不適切な充電アダプター(グラウンド接続と充電アダプターの上端の間の距離 **X** が約 16 mm より大きい)。

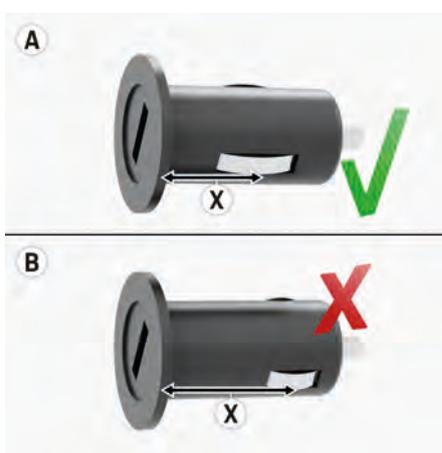


図. 205: 12 ボルト プラグソケット用充電アダプター

**A**: 適切な充電アダプター(グラウンド接続と充電アダプターの上端の間の距離 **X** が約 16 mm 未満)。

## モビリティおよび軽修理

## 12Vバッテリー

## ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー ケーブルを使用して外部電源を接続したりすることができます。両方のバッテリーの公称電圧が 12V でなければなりません。支援車側のバッテリー容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリー容量に比べて小さすぎないようにする必要があります。上がったバッテリーは、必ず車両電気系統に正しく接続してください。

▷ 232 ページの「充電」の章を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。



警告

不適切なジャンパー ケーブルや始動手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用した場合や、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性の装飾品 (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用端子のみにしてください。



警告

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、爆発および化学熱傷を引き起こす危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパー ケーブルによるエンジンの始動は、**実行しないでください。**



注意

腐食性バッテリー液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の冷水で数分間洗い流してください。

## ジャンプスタート



図. 206: ジャンプスタート

1. ボンネットを開きます。
2. プラスチック カバーを取り外します。
3. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを開きます。
4. 赤色のプラス ケーブルをジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続します。
5. 赤色のプラス ケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
6. 黒色のマイナス ケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
7. 黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 - に接続します。

8. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
9. エンジンを始動してください。ジャンパー ケーブルを使用した始動は、15 秒以上続けしないでください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
10. エンジンが作動状態のまま、まず黒色のマイナス ケーブルをアース箇所から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
11. エンジンが作動状態のまま、赤色のプラス ケーブルを先に支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用のプラス端子+から外します。
12. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。
13. プラスチック カバーを元の位置に取り付けます。

## バッテリーを充電する



**警告**

感電、ショート、または火災

- 車両の通電部品に触れると感電する危険があります。車両電気システムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。
- ▶ エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
  - ▶ 工具や電気を通す装身具 (指輪、ネックレス、時計バンドなど) が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。



**警告**

火災または爆発

燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。鉛酸バッテリー充電時には、爆発性の高い混合ガスが発生する可能性があります。

- ▶ エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。



**注意**

腐食性バッテリー液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の冷水で数分間洗い流してください。

## 情報

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレー

ニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ エレクトリカル システムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

12V バッテリーは、ラゲッジ・コンパートメント・フロア下の個別のプラスチック・カバー下にあります。

E ハイブリッド車両：12V バッテリーは、車両右側のラゲッジ コンパートメント トリム パネル裏にあるラゲッジ コンパートメント内にあります。

- ▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。
- ▶ 220 ページの「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章を参照してください。
- ▶ 222 ページの「バッテリーを充電する」の章を参照してください。

## バッテリー上の安全シンボル



説明書をお読みください



保護眼鏡を着用してください



お子様を絶対に近づけたりしないでください



爆発の危険があります

バッテリー充電中には、爆発性の高い混合ガスが発生します。そのため、



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています。電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。中央排気口のあるバッテリーの場合、ホース開口部では爆発性ガスの濃度が高くなります。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。



#### 腐食性火傷の危険があります

バッテリー液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。



#### 応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちにきれいな水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。バッテリー液(酸)が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一バッテリー液(酸)を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者への診察を受けてください。



#### 廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。



絶対に古いバッテリーを家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。

## バッテリーのお手入れ

### ① インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が0℃であっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40℃まで凍結しません。

#### 希望する操作 操作方法

- | 希望する操作           | 操作方法  |
|------------------|---|
| バッテリー上<br>がりを避ける | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチをOFFにします。</li> <li>▶ 車両から離れるときは、イグニッションをOFFにしてください。</li> </ul> |

- |                |   |
|----------------|---|
| バッテリーの<br>お手入れ | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。</li> <li>▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。</li> </ul> |
|----------------|---|

- |            |                                      |
|------------|--------------------------------------|
| 冬季走行の準備をする | ▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。 |
|------------|--------------------------------------|

- |                |                                 |
|----------------|---------------------------------|
| バッテリーを<br>充電する | ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。 |
|----------------|---------------------------------|

▶ 222 ページの「バッテリーを充電する」の章を参照してください。

#### 希望する操作 操作方法

- |         |   |
|---------|---|
| 車両を保管する | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車両をガレージやワークショップで長期間保管する場合は、ドアとリッドを閉めておきます。</li> <li>▶ イグニッションをOFFにしてください。</li> </ul> |
|---------|---|

▶ 31 ページの「警報システム」の章を参照してください。

### ① インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはAGM (Absorbent Glass Mat (アブソーバント ガラス マット)) バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェ テクニク インプメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

## バッテリーを充電する



**警告** 凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。



図. 207: バッテリーを充電する

- ✓ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
  - ✓ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。
1. ボンネットを開きます。
  2. プラスチックカバーを取り外します。
  3. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを開きます。
  4. 充電器の赤色のプラスケーブルを、ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+に接続してください。
  5. 充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所-に接続します。
  6. 充電器のスイッチを ON にしてください。
  7. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にして切り離します。
  8. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。
  9. プラスチックカバーを元の位置に取り付けます。
- 適切な充電器に関する情報は、
- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格 / 仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェの要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリー交換は必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
- ▶ バッテリーの交換時は、車両が必要とする要件を満たした AGM (Absorbent Glass Mat : 浸透ガラスマット) バッテリーを必ず使用してください。ポルシェ純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
- ▶ 新しいバッテリーは取り付け後、コントロールユニットに登録する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ バッテリーの廃棄に関する法規を遵守してください。

## 電源遮断

一時的な電源遮断の後、特定の機器では再初期化が必要です。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存します。
  - ▶ 34 ページの「ウィンドウ」の章を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。
  - ▶ 244 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

## けん引

### 車両のけん引

#### ① インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりとして理解しておくことが大切です。
- ▶ けん引する前に、両方の車両のドライバーアシスタンスシステムを OFF にします。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要になることがあります。

### けん引または押しがけによるエンジンの始動

#### 情報

けん引または押しがけによる始動は車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は行わないでください。
- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイドアシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。
- ▶ ローブ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▶ 220 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

▶ 220 ページの「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」の章を参照してください。

## 車両のけん引



図. 208: けん引許可

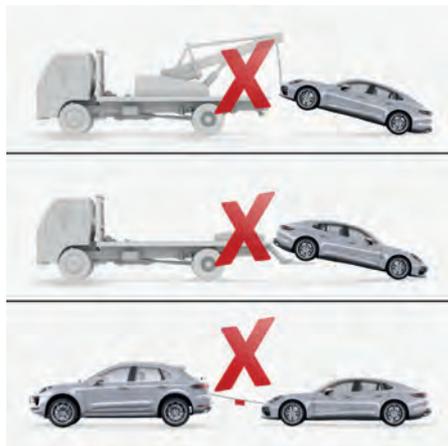


図. 209: けん引不可

▶ 225 ページの「鉄道、船舶および積載車で車両輸送」の章を参照してください。

## けん引ロープまたはけん引バーの使用による別の車両のけん引



**警告**

パワー アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引されている車両のエンジンが停止している場合、パワー ステアリングを利用することはできません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。

▶ これらの仕様と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。

▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。

▶ けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。

▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。

▶ けん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。

▶ 224 ページの「けん引フックの使用」の章を参照してください。

## けん引ロープの使用

▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

## けん引バーの使用

▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

## けん引フックの使用



図. 210: けん引フックをゆるめる

## けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▶ 210 ページの「ラゲッジ コンパートメント」の章を参照してください。

1. プラスチックカバーの下端部をバンパー内に押し込んで取り外すか、または適切なツール(例: スクリュードライバー)で慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フックA(図. 210)を反時計方向いっぱいねじ込み(逆ねじ)、手で締め付けます。

### けん引フックの取り外し

1. けん引フックA(図. 210)をゆるめます(時計回りに回転、逆ねじ)。
2. 開口部の下端にプラスチックカバーを差し込んでください。
3. プラスチックカバーを折り曲げ、バンパーにはまるまで上端を押します。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

### 鉄道、船舶および積載車で車両輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
2. 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。  
▶ 31 ページの「警報システム」の章を参照してください。

### フラットベッドの使用

#### 車両をフラットベッドに載せる

フラットベッドは、トランスミッションパーキングロックまたはエレクトリックパーキングブレーキを解除できる場合のみ使用してください。故障(バッテリーの放電など)が発生した場合は、車両をフラットベッドに積み込まないでください。



図. 211: 車両をフラットベッドに載せる

1. セレクターレバーをNの位置にします。
2. イグニッションをOFFにしてください。  
約30分間、車両のタイヤを回転させることができます。その後、トランスミッションパーキングロックが自動的に作動します。
3. 傾斜路をフラットベッドの基部に配置して、積み込み時の角度を小さくします。
4. ウインチケーブルを引き込み、車両のアンダーボディをチェックして、障害物がないかどうかを確認します。

#### 車両をフラットベッドに固定する



図. 212: 車両をフラットベッドに固定する

1. 後輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアを損傷しないように注意してください。
2. フラットベッドの後部にストラップを固定します。
3. ラッシングストラップに張力がかかる程度だけ、ウインチケーブルを引き込みます。
4. 前輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアを損傷しないように注意してください。
5. フラットベッドの前部にストラップを固定します。

6. ウィンチケーブルをゆるめますが、外さないでください。

## ブレーキフルード

### ブレーキフルードレベルの点検

▶ 23 ページの「フィラー キャップ」の章を参照してください。



図. 213: ブレーキ液タンク

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキフルードレベルを読み取ります。フルード液量は常に **MIN** マークと **MAX** マークの間に保つ必要があります。
- ▶ ブレーキ液量が **MIN** マークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください：  
 ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ブレーキフルードの交換



危険

ブレーキフルードの飲み込み

ブレーキフルードは健康に有害であり、飲み込むと死に至る可能性があります。

- ▶ カーケア用品はおお客様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ ペットをブレーキフルードに近づけないでください。ペットは、こぼれたブレーキフルードや開口容器に保管されている古いブレーキフルードに引き付けられる可能性があります。
- ▶ ブレーキフルードが皮膚や目に付着した場合は、すぐに患部をきれいな水で数分間すすいでください。直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ ブレーキフルードの補充容器に関するすべての情報に注意を払ってください。

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ ご自身ではブレーキフルードを交換しないでください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 15 ページの「お出かけの前に：車両に関する重要な情報」の章を参照してください。

## 警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストールメントクラスターに警告灯 (①) と警告メッセージが表示されます。ペダルの可動域が大きくなり、警告灯が点灯する場合、ブレーキシステムが故障している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## クーラント

### 一般的な安全に関する指示



**警告**

エンジン コンパートメント  
ブローワーおよびエンジン付  
近の他の可動部品

エンジン コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジン コンパートメント ブローワーやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジン コンパートメント ブローワーはエンジン カバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジン コンパートメント内の温度が監視されます。この間、エンジン コンパートメント ブローワーが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーター ファン、エンジン コンパートメント ブローワー、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。



**警告**

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント リザーバーには圧力がかかっています。クーラント タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジン コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラント タンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が 60 °C を下回るまで待ってください。

## 情報

警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンを OFF にして冷却してください。
- ▶ クーラント レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37 °C までの凍結防止の働きがあります。

クーラント レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

ポルシェが認定した不凍液のみを使用してください：

- Glysantin® G65®

## クーラント レベルの点検と補充

### Eハイブリッド車の特徴について

Eハイブリッド車には、アクセスできないクーラントリザーバータンクが付属する 2 番目の冷却回路が存在します。そのクーラント レベルを点検する必要はありません。故障はインストルメント クラスタに表示されます。

この 2 番目の冷却回路で故障が発生した場合：

- ▶ 絶対にクーラントを追加しようとししないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### クーラント レベルの点検と補充

▶ 23 ページの「フィルター キャップ」の章を参照してください。



図 214: クーラントリザーバー

▶ 147 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
  - ✓ エンジンが冷えていて、水温計が 60 °C 以下である。
1. クーラント レベルを読み取ります。クーラント レベルは常に **MIN** マークと **MAX** マークの間に保つ必要があります。
  2. クーラント レベルが **MIN** マークより下にある場合は、クーラントを補充してください。
  3. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
  4. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
  5. クーラントを補充します。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。 **MAX** マークを超えないように補充してください。

6. リザーバータンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
7. クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。クーリングシステムを点検し、直ちにクーラント減少の原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### ① インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあると考えられます。

- ▶ 早急に原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジン オイル

### エンジン オイル レベルの点検

#### オイル レベル 警告への対応

オイルレベルが低すぎる場合、インストルメント クラスタにシンボルが表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

### エンジン オイル レベルの測定と表示

#### 情報

オイルレベルが下限マークを下回っている場合、エンジンオイルが不足しており、適切な潤滑ができません。これによりエンジンが損傷するおそれがあります。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

#### **i** インフォメーション

特定の状況下では、オイルレベルが測定されないことがあります。以下の場合に発生します。

- エンジン冷間時。
- フルスロットル走行後のエンジン回転数が高い状態 で車両を停車させた場合。
- エンジン油温が高すぎる。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止している。

- ▶ 車両 ▶ オイルレベル

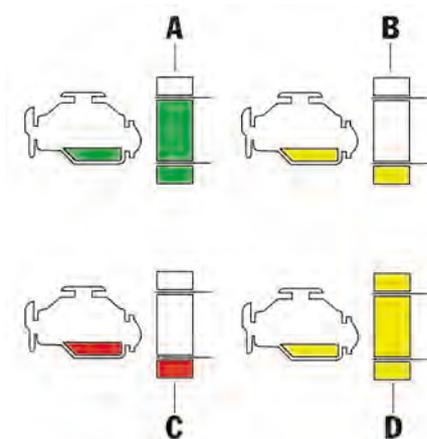


図 215: オイルレベルゲージ

- A** オイルレベルは十分 - 上限に達している
- B** オイルレベル下限に達している
- C** オイルレベルが下限を下回っている
- D** オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 **A** (図 215) の場合、オイルレベルは上限のマークに達していて、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 **B** (図 215) で表示されている場合、オイルレベルが下限のマークまで低下していることを示しています。

- ▶ 次の機会に、インストルメント クラスタに表示されている量のエンジンオイルを補充します。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。

最下部のセグメントが赤色 **C** (図 215) で表示されている場合、オイルレベルが下限を下回っています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメント クラスタに表示されている量のエンジンオイルを直ちに補充します。表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。

最上部 **D** (図 215) まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷する恐れがあります。

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジンオイルの選択と追加

### 警告

エンジンコンパートメントブローおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブローやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブローはエンジンカバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジンコンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジンコンパートメントブローが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブロー、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

### 警告

エンジンオイルの発火

エンジンオイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

### 警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジンコンパートメント内で作業するときは十分に注意してください。
- ▶ エンジンオイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

### 情報

エンジンオイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。エンジンオイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッションコントロールシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する際は、上限マークのところまでにしてください。オイルを補充しすぎた場合は、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください：

- ボルシェが認定したエンジンオイルのみを使用してください。定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- ボルシェが認定したオイルであれば、互いに混ぜ合わせるができます。
- オイル添加物を使用しないでください。
- エンジンオイルの漏れが検出されたら、直ちにエンジンを点検してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 23 ページの「フィルター キャップ」の章を参照してください。

1. インストルメントクラスターでエンジンオイルレベルを確認します。
2. オイルフィルターキャップをゆるめて取り外します。
3. インストルメントクラスターに表示されている量のエンジンオイルを補充します。表示された補充量を超えるエンジンオイルを補充しないでください。
4. オイルフィルターキャップを慎重に取り付けます。

## エンジンオイルの選択

ボルシェでは、**Mobil 1** を推奨します。

認定されたエンジンオイルの名称を示すラベルがエンジンコンパートメントにある場合、このマニュアルに記載された情報よりもラベルの情報を優先してください。

不確かな場合、および現在の認定オイルを確認するには、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

認定品	ポルシェ A40	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
	VW 502 00/505 00	VW 511 00	VW 504 00/507 00	VW 508 00/509 00
SAE 粘度等級	0W-40 または 5W-40/5W-50	0W-40/5W-40	5W-30/0W-30	0W-20

エンジン	微粒子フィルター	ポルシェ A40	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
グループ I					
2.9L ツインターボ V6 エンジン	可	-	-	X	-
2.9L ツインターボ V6 エンジン	不可	-	-	X	-
4.0L ツインターボ V8 エンジン	可	-	X	-	-
4.0L ツインターボ V8 エンジン	不可	-	X	-	-

エンジン	微粒子フィルター	ポルシェ A40	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
グループ II					
2.9L ツインターボ V6 エンジン	可	-	-	X	-
2.9L ツインターボ V6 エンジン	不可	X	-	-	-
4.0L ツインターボ V8 エンジン	可	-	X	-	X

エンジン	微粒子フィルター	ポルシェ A40	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
4.0L ツインターボ V8 エンジン	不可	-	X	-	-

ポルシェ正規販売店から適切なエンジン オイルに関する情報を入手してください。エンジン オイルを補充する必要がある場合は、指定されているエンジン オイルを使用してください。

## 充電 高電圧バッテリーの充電

最大電動走行回数の場合：

- ▶ 車両を夜間駐車するときなどは、高電圧バッテリーを充電してください。



**危険**

不適切な充電

間違った充電プロセス、一般的に当てはまる安全上の注意事項の非遵守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ 車両を始動する前に、充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート リッドを閉じ、充電ケーブルを安全に収納してください。
- ▶ 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電中は、電気ソケットから充電ケーブルを外さないでください。充電プロセスが終了した後に電気ソケットから充電ケーブルを外してください。
- ▶ ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を遵守してください。
- ▶ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。



**危険**

不適合または損傷した電気ソケットおよび充電ケーブル

不適合または損傷した電気ソケットと充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いは、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ プラグインハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーがテストし承認した充電ケーブルのみを使用してください。
- ▶ 充電ケーブルは、必ず適切に取り付けられた電気ソケットに接続してください。
- ▶ 損傷した、または汚れた電気ソケットに、充電ケーブルを接続しないでください。
- ▶ 損傷した充電ケーブルを使用しないでください。
- ▶ 延長ケーブル、ケーブルリール、電源タップ、またはトラベルアダプターを使用しないでください。
- ▶ いずれの電子部品に対しても、改造や修理を行わないでください。
- ▶ 電気ソケットおよびプラグ コネクターを水、湿気、その他の液体から保護してください。
- ▶ 充電ソケットの汚れ、氷、雪を、鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。



**警告**

固定されていない充電ケーブル

固定されていない、または固定位置が正しくない充電ケーブルは、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に滑り出して乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ いかなる場合も車内で固定されていない状態で充電ケーブルを輸送することはせず、常にラゲッジコンパートメント内の充電ケーブルバッグ内に収納してください。
- ▶ 充電ケーブルは常にラゲッジコンパートメントに入れて輸送してください。車室(座席の上または前など)には絶対に置かないでください。

**▲ 警告**

エンジンコンパートメント  
ブロワーおよびエンジン付  
近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブロワーやドライブベルトなどの可動部品に巻き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブロワーはエンジンコンパートメントリッドの下に取り付けられています。充電プロセスの間、高電圧バッテリーとオンボード充電器を冷却するために、エンジンコンパートメントブロワーが作動する場合があります。

- ▶ この付近での作業は、エンジンがOFFになっているとき、充電が機能していないときに限ってください。作業中、身体の一部、衣服の一部、または装飾品がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブロワー、ドライブベルト、その他の可動部品に巻き込まれないよう十分に注意してください。

**情報**

電源の過電圧により、充電装置および車両が損傷する恐れがあります。

- ▶ 雷雨のときは、車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- ▶ 雷雨発生時には、可能なら充電装置を主電源装置から切り離します。

**高電圧バッテリーの充電と整備に関する指示**

高電圧バッテリーは、物理的および化学的な劣化と消耗のプロセスの影響を受けます。これにより、使用パターンや環境条件に応じて、ライフサイクル全体にわたって高電圧バッテリーの容量が減少します。そうすると特に、バッテリーが古くなるにつれて最大走行可能距離が減少し、充電時間が長くなります。

バッテリーの劣化と消耗を抑えるために、以下の対策を講じることができます。

- プラグインハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、テストされ承認済みの充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2、SAE J1772 または GB/T 20234-2 に準拠して規格化された車両プラグおよび IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 [モード 2 および 3] に準拠した充電プロセス)。かつ、国家規格および法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェでは、ポルシェ ユニバーサル チャージャ (AC) を充電ドックまたはベーシックウォールマウントと共に使用することを推奨しています。ポルシェ充電装置および使用する充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
- 保護なし充電ケーブル (IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 [モード 1] に準拠して標準化された) には対応していません。
- 充電プロセス中の車両の温度は、約 -20 °C から +40 °C の間でなければなりません。
- ポルシェは、電気駆動力と従来型駆動力を可能な限りバランスの取れた比率で使用することを推奨します。電気駆動力を常時かつ単独で使用すると、高電圧バッテリーの消耗の増加につながる場合があります。
- 可能であれば、フル電気モードでの急激な加速の繰り返しやブースティングにより、高電圧バッテリーを急速に放電することは避けてください。
- ポルシェでは、車両の日常使用において高電圧バッテリーの充電を約 80% にすることを推奨しています。長い走行距離を要する旅行の前であれば、ポルシェでは高電圧バッテリーの充電状態を 100% にすることを推奨しています。

**▲ 注意**

植込み型ペースメーカーお  
よび植込み型除細動器

植込み型ペースメーカーまたは植込み型除細動器 (ICD) をご使用になっている方の場合、充電中に充電器自体から放出される電磁波が一時的にペースメーカーまたは ICD の機能を損なう恐れがあります。したがって、以下の注意事項に従ってください。

- 充電器に近づかないでください。
- 充電器を使用する場合は、他の人に操作を依頼してください。
- 他の種類の電気医療機器を使用している場合は、機器製造元に障害のリスクがあるかどうか確認してください。

**充電プロセスの開始と終了**

車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する



図. 216: 充電ポートのドアを開く

- ✓ トランスミッションパーキング・ロック **P** が操作している。
- ✓ イグニッションが OFF になっている/コントロールユニットがイグニッション位置 **2** にない。
- ✓ 車両がロック解除されている。
- ✓ 主電源に充電ケーブルが接続されています。

1. ボルシェ充電装置および使用する充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
2. 充電ポートのドアの後部を押してドアを開けてください。(図. 216)
3. 車両プラグ **A**(図. 217)を充電ポートの奥まで差し込みます。

➔ 車両プラグがロックされ、充電プロセスが開始されます。

インジケータライト **B**(図. 217)とボタン **C**(図. 217)のインジケータライトは、高電圧バッテリーの充電状態と車両プラグのロック状態を示します。

▷ 234 ページの「車両充電ポートの充電ステータス表示およびロックステータス表示」の章を参照してください。

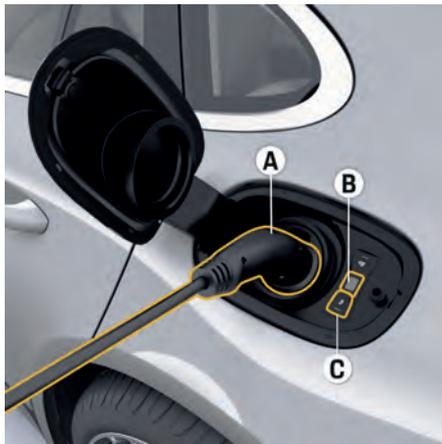


図. 217: 挿入された車両プラグ

### **i** インフォメーション

- 車両をロックする際に車両プラグが差し込まれている場合、車両プラグは引き続きロックされます。
- イグニッションは、充電プロセスの開始後にオンにできません。
- 充電プロセス中にコントロールユニットをイグニッションロック位置 **2** に回すと、充電プロセスが中断されます。車両プラグを取り外さなければ、約 20 秒後に充電プロセスが再開されます。
- 充電タイマー機能を操作させると、充電タイマーが充電プロセスの開始を制御する状態となり、車両プラグを差し込んでロックしてもすぐに充電プロセスが開始されないようにすることができます。
- 充電操作中は無線受信が制限される場合があります。

## 充電プロセスの終了および車両充電ポートからの車両プラグの取り外し

1. 車両をロック解除します。
2. 車両充電ポートのボタン **C**(図. 217)を押してください。
  - ➔ 車両プラグのロックが解除されます。充電プロセスが開始していた場合でも、終了します。
3. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
4. 充電ケーブルを主電源から切り離し、安全に収納します。
5. 充電ポートのドアを閉じてください。

### **i** インフォメーション

- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
- 充電プロセスが終了した後にソケットから充電ケーブルを切り離してください。
- 高電圧バッテリーの充電に関する安全指示を守ってください。

## 車両充電ポートの充電ステータス表示およびロックステータス表示

インジケータライト **B** は高電圧バッテリーの充電状態を示し、ボタン **C** のインジケータライトは車両プラグのロックステータスを示します。

▷ 233 ページの「充電プロセスの開始と終了」の章を参照してください。

B	C	意味
消灯	消灯	車両プラグが差し込まれていないか、主電源と接続されていない。 <b>または</b> 車両プラグ挿入中：車両はアイドル状態。現在のロックステータスと充電ステータスを検出するには：キーの  ボタンまたは  ボタンを押してください。
消灯	点滅	車両プラグは挿入されているが、ロックされていない(車両プラグの電圧が正しくない場合など)。
 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。主電源への接続が確立されています(タイマー充電など)。
 点滅	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされている。高電圧バッテリーが充電されます。点灯時間は高電圧バッテリーの現在の充電状態に応じます。
 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされている。充電プロセスが完了しました。

B	C	意味
 点灯	点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生した。

充電プロセスが開始されていない場合：

- ▶ 車両プラグが正しく差し込まれているか確認します。
- ▶ ボルシェの充電機器および使用する車両充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
- ▶ 車両プラグを抜き、再度差し込みます。

## 充電タイマー機能の使用

出発タイマー機能が作動しているとき、プログラミングされた出発時刻に高電圧バッテリーは完全に充電されます。事前にエアコンを作動させて、車内を適切な温度に調節しておく事ができます。

高電圧バッテリーの現在の充電状態が車両のマルチファンクションディスプレイとインストルメントクラスターのバッテリー充電状態表示に表示されます。

充電タイマーが作動中でも、このモードの場合、高圧バッテリーは常に約 10 % の状態に充電されます。

## 出発タイマーの作動および停止

出発タイマーのプログラミングと作動は PCM によって行われます。

各出発タイマーは 1 回開始 (シングルタイマー) するように設定することも、定期的に開始 (回復タイマー) するように設定することもできます。さらに、**追加プレクール/ヒート オプション**を選択すると、車室を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます (プレクーリング/ヒーティング)。

## インフォメーション

一部の公共充電ステーションでは、出発タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

一部の公共充電ステーションでは、出発タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

- ✓ 出発時刻が未来。
- ✓ 車両プラグが挿入されている。
- ✓ プレクール/ヒート タイマー: 燃料タンクの残量が少ない。

### 1. ▶ 充電 タイマー

- 新しいタイマーを追加を選択します。  
-または-  
タイマーを編集します .
- 日付/出発時間をプログラミングします。選択したタイマーを定期的に使用する場合は、**リピート**を有効にし、**平日**を選択します。
- 目標充電をプログラミングします。
- 充電を有効にします。
- 必要であれば**エアコン**を有効にします。
- タイマーを有効にします。  
71 ページの「リモートエアコンのタイマーおよびプレクーリング/ヒーティングの使用」の章を参照してください。

## インフォメーション

車内プレクーリング/ヒーティングは、イグニッションを OFF のままにして使用すると、最も効率的に動作します。充電タイマーの場合、プレクール/ヒートは車両プラグが挿入されている場合のみ作動します。

## 出発タイマーの停止

1. ▶ 充電 ▶ タイマー
2. タイマーを無効にします。

## 充電タイマーで充電の開始



図. 218: 充電タイマー機能

- ✓ 出発タイマーがPCMにプログラミングされ、作動している。
- ✓ 主電源への接続が確立されている。
- ✓ 車両プラグが挿入されており、ロックされています。
- ✓ プレクール/ヒート タイマー: 燃料タンクの残量が少なくない。

ボタンA(図. 218)のインジケータライトが点灯します。

充電タイマー機能は充電プロセスがいつ開始されるかを制御します。高電圧バッテリーはプログラムされた出発時刻の前に充電されます。

プレクール/ヒート タイマーがプログラムされていると、高電圧バッテリーは完全に充電されていない場合があります。

出発タイマーがプログラミングされていない場合、ボタンを押すとA(図. 218) ボタンのインジケータライトが3回点滅して、消灯します。

## 充電タイマーで充電の終了

- ✓ 車両プラグが挿入されている。
  - ✓ 充電タイマー機能が作動している。
  - ▶ A(図. 218) ボタンを押してください。
    - ➔ ボタンA(図. 218)のインジケータライトが消えます。
- 高電圧バッテリーの充電が直ちに開始されます。高電圧バッテリーが充電されるまでの残り時間がインストルメントクラスターに表示されます。

## 充電時間

充電時間は、以下の要因に応じて変化します。

- 使用する電気ソケット(家庭用電気コンセントまたは工業用電気コンセント)。
- 国別の電源電圧および電流。
- コントロールパネルでの充電電流制限の設定。
- 主電源電圧の変動。
- 車両や充電装置周辺の外気温。
- 高電圧バッテリーおよび操作ユニットの温度。
- 車内プレエアコンの作動。
- 車両プラグの通電容量。

物理的な充電ロスにより、主電源からのエネルギー量は高電圧バッテリーの充電中に蓄えられるエネルギー量を上回ります。

## 充電ポートリッドおよび車両プラグの緊急解除

### 充電ポートリッドの緊急解除の実行

電動ロック解除機構が故障したときは、充電ポートリッドを手で開くことができます。



図. 219: 充電ポートリッドの緊急解除の実行

## 1. 情報

ラゲッジコンパートメントトリムパネルを損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急解除ストラップを引くときは、ラゲッジコンパートメントトリムパネルもしっかり保持します。

左ラゲッジコンパートメントトリムの白い緊急解除ストラップを**矢印の方向**に慎重に引きます。

- ◆ 充電ポートリッドのロックが機械的に解除されます。

## 2. 充電ポートリッドの後部を押してドアを開けてください。

充電ポートリッドのロック解除機構を確認するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 車両プラグ緊急解除の実行

(故障などにより) 車両プラグが解除できない場合、緊急解除の実行が必要です。

1. コントロールユニットをイグニッションロック位置 **2** に回してください。
  - ◆ 車両プラグが自動的に解除され、充電が約 20 秒間中断されます。
2. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。

この時間が経過した後は、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。

## 緊急電話システム

### 故障時電話

故障または事故が発生した場合、故障時電話によって援助を求めることができます(国別仕様および装備による)。

#### ① インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ)は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) で入手できます。

- ✓ 携帯電話ネットワークを利用可能。
- ✓ 故障時電話システムの作動準備が整っていること(車両を ON にしてから約 20 秒後)。
- ✓ プライベートモードが無効になっていること。
  - ▶ 195 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

#### ② インフォメーション

故障時電話システムには独立した携帯電話モジュールが備わっているため、車内に電話が登録されている**必要はありません**。

ポルシェが制御できる範囲を超える技術的または組織的な制限(ローミングまたは有効なデータ接続がないなど)により、ポルシェ アシスタンスに故障時電話を確立することができない場合があります。

### データ通信

故障時電話が発生した場合、必要な措置を決定するためのデータ(利用可能な場合)をポルシェ アシスタンスに送信することができます。これには以下が含まれる場合があります。

- 現在の車両位置
- 車両識別番号

- 車両タイプ
- 故障箇所を特定するための故障コードとその他のデータ

### 故障発信の作動

1.  ▶ **電話**  ▶ **キーパッド** をタップします。
2. **スイッチ**  を押します。  
故障時電話を終了するには  を選択します。
3. 状況が許す場合は、ポルシェ アシスタンスへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

故障時電話はアプリから作動させることもできます(国別仕様によって異なる)。

## 車両のお手入れ

### 一般的なお手入れの諸注意



**警告**

ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

ボルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

ボルシェでは、ボルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ カーケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認定いたします。

### 情報

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、塗装用のデコラティブフィルムおよび保護フィルム
- 塗装面
- オルタネーター
- エンジンコンパートメント内の電装部品およびプラグ接続
- パークアシストセンサー
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) や他のアシスタンスシステムで使用される (レーダー) センサー
- リバースカメラ
- ワイパーブレード

- ▶ 機器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを丸型ジェットノズルと組み合わせることはしないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせると、車両に傷が付きます。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらの構成部品にジェットノズルを直接向けしないでください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは絶対に開口部 (スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアフィルターなど) に向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

## 高電圧バッテリーのお手入れ

### お手入れの諸注意

高電圧バッテリーの物理的性質のため、ライフサイクル中にバッテリー容量が減少し、その結果、使用可能な最大電動走行距離も短くなります。

次の対策は、ライフサイクル中に減少するバッテリー容量の程度にプラスの影響を与える可能性があります。

- ▶ 充電タイマー機能を使用して高電圧バッテリーを充電します。
- ▶ 可能であれば、車両を高温にさらさないでください。例：直射日光の当たる場所に駐車する場合

### 車両を長期間使用しない場合の注意事項

休止期間が一月以上の場合：

- ▶ 放電した高電圧バッテリーのまま車両を放置せず、充電/トリクル充電用の主電源に常時接続しておいてください。

車両を主電源に常時接続することができない場合：

- ▶ 車両を駐車する前に、高電圧バッテリーを完全に (充電状態 100%) 充電してください。
- ▶ 充電状態を 3 か月ごとに点検し、必要に応じて充電してください。
- ▶ タイマー制御式パーキングブレエアコンの無効化
- ▶ 事前冷却/加熱タイマーを無効にします。
- ▶ アプリの使用は避けてください。アプリと車両の接続が確立されると高電圧システムが作動するため、高電圧バッテリーおよび 12 V バッテリーが放電します。

## 車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両の下周りは、少なくとも道路の砂まきのシーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- ▶ すず、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

## 自動洗車機

### 情報

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

危険	遵守すべき事項
洗車機で洗車中、フロントウィンドウワイパーの不意の作動による損傷の可能性がります。	▶ フロント ウィンドウワイパーのスイッチを OFF にしてください。
外装部品への損傷	▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
ホイールへの損傷	▶ 洗車機のガイドレールの寸法をよく確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロス ホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

## 塗装面のお手入れ

### 情報

塗装された表面に付着したほこり粒子は、お手入れ方法を誤ると塗装を損傷する可能性があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭き取らないでください。

### 情報

適切にお手入れを行わないと、構成部品のつや消し効果が失われる場合があります。

- ▶ つや消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

## 塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなりますので、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

## 塗装面のつや出し (研磨)

ペイント ポリッシュを使用するのは、保護剤では元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。

## 汚れ、染みの除去

タールの跳ねかき、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクトリムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

## 小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。ボディが腐食したときは、まず錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

## アンダー コーティングの補修



警告

エキゾースト システム付近  
の可燃物

エキゾースト システム エリア内に防錆剤またはアンダー コーティングを追加で塗布すると、運転時に過熱して発火する可能性があります。

- ▶ エキゾースト マニホールド、エキゾースト パイプ、触媒コンバーター、またはヒート シールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェ正規販売店で定期的に点検を受け、必要に応じて保護コーティングの復元を依頼するようお勧めします。

## デコラティブフィルムの清掃

### 情報

洗浄時にデコラティブフィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

## ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、センサーとカメラの清掃

### 情報

洗剤がコントローラーまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウ クリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品とその表面、アダプティブクルーズ コントロールのレーダー センサー、車両カメラの清掃には、汚れない水と少量の食器用洗剤または室内用ウィンドウ クリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ ヘッドライトは磨かないでください。
- ▶ タッチセンシティブ ボタンを有するセンター コンソールの清掃には、マイクロファイバー クロスのみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

## ウィンドウの清掃

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する(疎水性の)撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ 洗浄剤を使用して定期的に清掃してください。
- ▶ 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウを拭き取らないでください。保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
- ▶ 虫の死骸はインセクト リムーバーで取り除きます。

## ワイパー ブレードのお手入れ

### 情報

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラフィット コーティングが損傷することがあります。

- ▶ 高圧洗浄機のスチーム クリーナーをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロントワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウ クリーナーを使用してフロント ウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合(虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロント ウィンドウを清掃します。

## ホイールのお手入れ



警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

洗剤(ホイール洗剤など)がブレーキディスクにかかる、ブレーキディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ 洗剤がブレーキディスクにかかった場合は、強力なウォータージェットでブレーキディスクをしっかりと清掃してください
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子(ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など)は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴(ピッチング)が生じます。

他の金属および機械ツールや製品に一般的に使用される酸化物除去効果のある洗剤や不適切な pH 値の洗剤は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- ▶ 軽合金製ホイールには中性洗剤のみを使用してください(pH 値: 4~10)。pH 値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤、すべり止め剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

## ドア、ボンネット、リッド、ウィンドウシールの清掃

### 情報

インナー ドア シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃やカーケア製品の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ カーケミカル洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ カーケア用品は使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください:

- ▶ 定期的に、すべてのシールの汚れ(摩耗、ほこり、凍結防止剤、すべり止め剤など)を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- ▶ 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウタードアシールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

## 車内の清掃とお手入れ

### 革のお手入れ

### 情報

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに取り除いてください。

適切な車両の清掃と整備のために、次の点を遵守してください:

- ▶ 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れ(水性のしみではない)は、革用洗剤で取り除きます。容器に記載されている取扱説明をお読みください。
- ▶ ポルシェでは、ポルシェ テクニクイップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみ取り扱うようにしてください。

## シートベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

## 水じみおよび湿気によるしみを取り除く

- ✓ シートヒーターおよびシートベンチレーターが OFF になっている。
  - ✓ 直射日光が当たっていない。
1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シートクッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
  2. シートカバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シートカバーを乾かす際、シートヒーターやシートベンチレーションを ON にしないでください。
  3. 乾いた後、シートカバーを乾いた柔らかい布で拭いてください。

## カーペットおよびフロアマットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 電気掃除機または柔らか過ぎないブラシを使用して清掃します。
- ▶ しみ抜きを使用して、ひどい汚れやしみを取り除きます。  
ボルシェでは、ボルシェ テクニク用品製のカーケア用品の使用を推奨しています。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、ボルシェは車両に適したサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

## エアバッグカバーの清掃



危険

不適切な清掃

不適切な洗剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに染み込む場合があります。不適切な取り扱いにより、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ 個々の部品 (ステアリングホイールカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネル、ルーフレームパネルなど) にはいかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグの周部には洗剤や他の液体を使用しないでください。

## ファブリックライニングの清掃

ピラー、ルーフレイナーおよびサンブラインドなどのファブリックライニングは、素材に適した洗剤やドライフォームと柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

## Alcantara®のお手入れ

Alcantara®製マイクロファイバーカバーの清掃には皮革ケア製品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面に永久的な変化を与えてしまいます。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で湿らせて、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、ぬるめのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を湿らせ、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

マイクロファイバーカバー付きステアリングホイールは、皮膚との恒久的な接触が原因でひどく汚れる可能性があります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で湿らせ、これでアウターステアリングホイールリムをふき取ります。
- ▶ ひどい汚れの場合、フォームメーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張りフォームクリーナーでアウターステアリングホイールリムを軽くこする/たたくことで清掃できます。

## シートベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ シートベルトの汚れには、中性洗剤を使用しません。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

## スクリーンとタッチディスプレイの清掃

情報

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切なお手入れを行うと画面およびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ 画面またはタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きつけしないでください。液体が入り込むと、電子部品は修理不能になることがあります。代わりに布を湿らして慎重に画面を拭いてください。
- ▶ 画面の清掃は、画面をOFFにしてから行ってください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ スクリーンとタッチディスプレイは擦ると傷がつく恐れがあります。時々、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)で慎重にスクリーンとタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用してふき取ります。

## 車両の保管

車両を長期保管する場合：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。必要な対策(腐食予防、お手入れ、メンテナンス、保管など)についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

- ▶ 223 ページの「けん引」の章を参照してください。バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：
- ▶ 44 ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

## テストスタンドでの測定

### テストスタンドでのテストの実施

#### ▲ 警告

有毒な排気ガスの吸入

有害な排気ガスを吸い込むと、重症または致命傷に至る恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は低濃度でも人体に有害です。

- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または車両排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

#### ▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかりと固定されていないか正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですでおやめください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下するおそれがあります。

## パフォーマンステスト

ポルシェでは、ローラータイプテストスタンドでのパフォーマンステストを承認していません。

## ブレーキテストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください：

- 測定速度 7.5 km/h
- 測定時間 20 秒

## エレクトリックパーキングブレーキのテスト

- ▶ ブレーキテストスタンドでエレクトリックパーキングブレーキのテストを行うときは、必ず**イグニッションをON**にし、**ニュートラル(トランスミッションパーキングロックをかけない)**にします。

車両が自動的にブレーキテストスタンドモードに切り替わり、エレクトリックパーキングブレーキのテストが可能になります。インストルメントパネルに通知が表示されます。

## タイヤおよびホイール

### 積載荷重および速度の要件を満たす

タイヤの寿命は、適正なタイヤ空気圧やホイールアライメントに加えて、お客様の運転スタイルにも左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

- ▶ 適切な速度で走行してください。
  - ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。
- ▷ 264 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

#### 情報

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを車両で同時に使用しないでください。

- ▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。

## タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム

### タイヤ空気圧の点検

#### 情報

– 不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤが過熱し、目に見えないところまで損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても、目に見えないタイヤの損傷は取り除くことができません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない [空気を抜かない] してください。タイヤが温かい状態ではタイヤ空気圧が増加します。タイヤ空気圧が規定値を下回ってしまいます。



図. 220: タイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき (20 °C) を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します (図. 220)。
  - ▶ 最低 2 週間ごとに、タイヤが冷えているときにタイヤ空気圧を点検します。
- ▷ 246 ページの「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章を参照してください。

## タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

### 警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

- ▶ インストルメントクラスターに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペアホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ボルシェ正規販売店で点検を受けてください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 警告

コンフォート プレッシュャーでの高速走行

コンフォート プレッシュャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ インストルメントクラスターに表示された最大速度まで減速してください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

タイヤ空気圧モニタリングシステムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実測空気圧) の表示。
- 2段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- 停車中に：規定空気圧からの空気圧偏差の表示。

タイヤ空気圧警告灯 (⚠) およびインストルメントクラスターの関連するメッセージは、空気圧が不足している場合、2段階 (空気圧低下の程度に応じた黄色および赤色のタイヤ空気圧警告) で警告を表示します。

タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。

黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を停止してイグニッションをOFFにした場合、またはイグニッションを再度ONにした場合に、約10秒間表示されます。イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中にも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ圧力が正常にもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯してタイヤ圧力警告が表示される場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ① インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下と、タイヤに異物が刺さったことなどによる空気圧のゆっくりとした低下について警告します。タイヤ空気圧モニタリングシステムは、突然のタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部からの影響によるパンクなど)。

## タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、モニタリングは正常に機能しません：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤ設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤ温度が高すぎる場合

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

▶ 153 ページの「警告灯およびインジケーターライト」の章を参照してください。

## インストルメントパネルのタイヤ空気圧を確認する

個々のタイヤ空気圧は、速度が約 25 km/h を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar (1.5 psi) 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。車両が約 10 分以上停止した後にイグニッションをONにした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 [-.] が表示されます。

### ▶ タイヤ空気圧 ▶ 現在の空気圧

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

## 空気圧偏差の表示



図. 221: 空気圧偏差の例

- ✓ 車両が停止している。

### ▶ タイヤ空気圧 ▶ 空気圧偏差

該当するホイールについて規定空気圧からの偏差が表示されます。

例：右リヤホイールの位置に **-0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

## タイヤ設定

タイヤのタイプとタイヤのサイズ、負荷およびコンフォートプレッシャー / 標準プレッシャーの設定は、ダッシュボードのタッチディスプレイで行えます：

▶ 246 ページの「PCM でのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章を参照してください。

## PCMでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定



警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が極端に低い場合または高い場合、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載条件に対応していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載量の変更後)。
- ▶ 新しく装着したホイールセットのタイヤ空気圧が以前の設定と一致している場合でも、タイヤ空気圧モニタリングメニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

### 空気圧偏差の表示

- ✓ 車両が停止している。

▶ ▶ ▶ ▶ ▶

該当するホイールの規定空気圧、規定空気圧との差、および積載量、タイヤの種類、タイヤのサイズに関する設定が表示されます。

例：右リヤホイールの位置に  $-0.1$  bar と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧差を必ず使用してください。

タイヤがまだ登録されていない場合、現在の空気圧偏差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

### タイヤの種類とサイズの設定

#### インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ [タイヤ空気圧モニタリング] メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したタイヤおよびホイールのみを使用してください。

▶ ▶ ▶ ▶ ▶

### 全積載または部分積載の選択

▶ ▶ ▶ ▶ ▶

- 全積載**  
全積載が選択されます。
- 全積載**  
部分積載が選択されます。

- ▶ 選択した積載タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

#### インフォメーション

全積載オプションが表示されない場合は、積載タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

### コンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーの選択

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。

コンフォート プレッシャーを選択した場合、タイヤ空気圧モニタリング システムはタイヤ空気圧をモニタリングして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

▶ ▶ ▶ ▶ ▶

- コンフォート プレッシャー**  
コンフォート プレッシャーが選択されます。
- コンフォート プレッシャー**  
標準プレッシャーが選択されます。
- ▶ タイヤ空気圧をコンフォート プレッシャーまたは標準プレッシャーに調整してください。

## タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ / ホイール交換、ホイールトランスミッター交換、またはタイヤ設定更新を行うと、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各ホイールとその装着位置を検出します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが検出した各ホイールに正しい装着位置を割り当てると、直ちにホイールの位置と空気圧情報が表示されます。

登録プロセス中、PCM には冷間時 (20 °C) のタイヤ空気圧の規定値が表示され、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

すべてのホイールの登録が完了するまで、インストルメントクラスターのタイヤ空気圧警告灯 (⚠) は点灯したままになります。

▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## タイヤ空気の充填



**注意**

高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

▶ 作業用手袋を着用してください。

空気圧計付きコンプレッサーは進行方向から見て左側の荷室フロア下のラゲッジコンパートメント、または右側のトリムパネルのカバーの裏側に収納されています。

▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサー プラグを車両のソケットに接続してください。

3. コンプレッサーを ON にしてください。  
➡ タイヤに空気が充填されます。
4. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であればタイヤ空気圧を調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。
5. コンプレッサーを OFF にしてください。
6. コンプレッサー充填ホースを外します。

## タイヤ表記の読み取り



図. 222: タイヤ表記

- |   |             |
|---|-------------|
| A | 公称タイヤ幅 (mm) |
| B | 偏平率 (%)     |
| C | タイヤ構造記号     |
| D | リム径 (インチ)   |
| E | ロードインデックス   |
| F | 速度記号        |

速度記号 F (図. 222) は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで
Y	300 km/h まで
(Y)	300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合)。タイヤのロードインデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状態の場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

## タイヤを点検する

### タイヤの損傷の検出

#### ▲ 警告

目に見えないタイヤ損傷とリムフランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 – 側面も含めて – を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体(石など)に強くぶついたり鋭角に乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき – 特に内側 – は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、機械的な負荷がかかった可能性があるとき。

## バルブおよびバルブキャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかりと閉めてください。バルブインサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

## タイヤトレッドの点検

多くのタイヤにはトレッド中央部にスリップサインがあります。スリップサインは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6 mm になると現れます。

- ▶ 安全のため、スリップサインが現れる前にタイヤを交換してください。ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。
- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

## トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

#### ① インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ホイール交換

### タイヤおよびホイールの交換

- ▶ ホイール交換の際には、イグニッションを OFF にしてください。

#### ▲ 警告

グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 装着するタイヤはすべて同一メーカーの同一仕様（「N0」、「N1」など）に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30% を超えないようにしてください。

- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で行ってください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 走行特性を改良されたハンドリング特性に調整します。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
- ▶ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。  
この車両の適正ホイールと TPM に関する情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両登録書類またはを参照してください 264 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

## ❶ インフォメーション

一方のアクスルのみ新しいタイヤを取り付ける場合、他方のアクスルと比較してトレッド深度が異なることにより、以前の運転挙動から顕著な変化が生じる可能性があります。新しいタイヤをリヤアクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

## ホイール交換

### ▲ 警告

車両の下に入っでの作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキ アップしながらのホイール交換時は、車内に誰もいないようにしてください。
- ▶ 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面 (上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など) に駐車されている場合は絶対にジャッキ アップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためだけに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート スタンドで車体を支えてください。

## ❶ インフォメーション

ホイール交換に必要な工具 (ジャッキ、ホイール ボルトレンチ、組み付け補助工具など) は車両の標準装備品ではありません。

- ▶ 必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ❶ インフォメーション

前輪と後輪それぞれのタイヤおよびホイールのサイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 前輪 / 後輪には必ずそれぞれ認可されたサイズのホイール / タイヤを使用してください。
- ▶ 車両登録書類またはを参照してください 264 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

## ホイール取り付け面のお手入れ



図. 223: ホイール取り付け面

### 情報

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ ディスクのホイール取り付け面 **B** とホイール ハブ本体の取り付け面にはグリースを絶対に塗布しないでください。
- ▶ 表面 **A** におのみグリースを塗布できます。この領域に Optimoly® TA グリースをごく薄く塗ります：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

## ホイール ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール ボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイール ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイール ボルトは交換してください。この車両タイプ専用のボルシェ純正ホイール ボルト、またはボルシェが要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ **ホイール ボルトは 160 Nm の締め付けトルクで締め付けてください。**インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

## 盗難防止ホイール ボルトの使用



図. 224: 盗難防止ホイール ボルト用アダプター

盗難防止ホイール ボルト用アダプターはツール キットの中にあります。

- ▶ 盗難防止機能付きホイール ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイール ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

## ホイール交換



**警告**

レベリング システムのコントロール作動

レベリング システムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 手でノーマル レベルに設定し、車両のリフト アップを行う前にレベリング システムを OFF にします。

▶ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 車両の準備

1. トランスミッション パーキング ロックを P ボタンを使用して作動します。
2. 電動パーキングブレーキ
3. イグニッションを OFF にしてください。
4. 交換するタイヤの対角線方向の反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
5. 交換するホイールのホイール ボルトまたはホイール ナットをわずかにゆるめます。
6. 車両のリフト アップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。
  - ▶ 262 ページの「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

## 交換の実施

## 情報

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特に PCCB 装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。



図. 225: PCCB 非装備車には、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます

1. 非装備車の場合：PCCB ホイール ボルトを 1 本取り外し、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます。  
- または -



図. 226: PCCB 装備車には、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます

装備車の場合：PCCB ホイール ボルトを 2 本取り外し、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます。

2. 残りのホイール ボルトを取り外してください。  
▶ 250 ページの「ホイール ボルトのお手入れ」の章を参照してください。
3. ホイールを取り外します。  
▶ 249 ページの「ホイール取り付け面のお手入れ」の章を参照してください。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイール ボルトを挿入し、対角交互順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。  
すべてのホイール ボルトを対角交互順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角交互順に完全に締め付けてください。  
インパクト ドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. ホイール交換後は、直ちにトルクレンチを使用してホイール ボルトの規定締め付けトルク (160 Nm) を確認してください。
11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定が更新されました。  
▶ 244 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

## ウィンタータイヤとスノーチェーンの使用

## ウィンタータイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
  - ▶ ウィンタータイヤの側面に M+S 指定、または雪の結晶のマークがある場合、車両の最高速度より最高許容速度が低いタイヤのみを装着してください。法定速度を遵守してください。
  - ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
  - ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。
- 
- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンタータイヤを装着してください。
  - ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
  - ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ① インフォメーション

気温が低い時には、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にタイヤが原因のジャダーノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が7°Cを下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェは気温が7°Cを下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨します。

さらに外気温度が-15°Cを下回り極端に低くなると、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4 mm以下になると使用に適さない状態になります。

## スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤタイヤのみに装着してください。またテクニカルデータの章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

▷ 269 ページの「ホイールおよびタイヤ」の章を参照してください。

- ▶ スノーチェーンとタイヤハウスのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ リヤアクスルステアリング装備車では、スノーチェーンモードを起動します。
  - ▷ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ チェーンを装着する前に、ホイールハウジングに溜まった氷や雪を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

## ホイールのバランス調整

万が一に備えて、春(サマータイヤ)および冬の前(「M+S」のタイヤ)にホイールのバランス調整を実施してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## タイヤの保管

製造から6年以上が経過したタイヤは**使用しないでください**。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、タイヤは2016年の第30週に製造されたことを示します。

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15°C以下の場所にサマータイヤを保管したり、サマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

## パンク

### 装備品

モデルと車両装備によっては、車両にパンク修理剤キット(Tire Mobility System –TMS)またはスペアホイールが付属しています。

パンク修理剤キットを装備した車両:

スペアホイールを装備した車両:

## タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングシステムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。
- ▷ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 安全な場所に停車してください

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキをセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザードライトをONにします。
3. 電動パーキングブレーキ
4. トランスミッションパーキングロックをPボタンを使用して作動します。
5. フロントホイールをまっすぐにします。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。降車時には交通状況に注意してください。
7. 適切な距離に停止表示板を設置します。

8. 交換するタイヤの対角にある車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。

## 損傷したタイヤの補修

### ▲ 警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となる可能性があります

タイヤ シーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかっていると圧力を失ったり、パーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは4 mm以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ リムが損傷している場合、空気圧が低い状態のタイヤや空気の抜けたタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が-20℃未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。

- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤを交換します。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤシーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

**パンク修理剤キット** (Tire Mobility System –TMS) はラゲッジコンパートメント内に収納されており、以下を含みます。

- 充填ホースをねじ入れます
- バルブ回し
- 交換バルブ インサート
- 許容最高速度表示用ステッカー
- 使用説明書

**コンプレッサー**はラゲッジコンパートメントにあります。

▶ 210 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

## タイヤシーラント (Tire Mobility System –TMS) の充填

### ▲ 警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

### ▲ 警告

タイヤの空気圧低下が検出されない

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

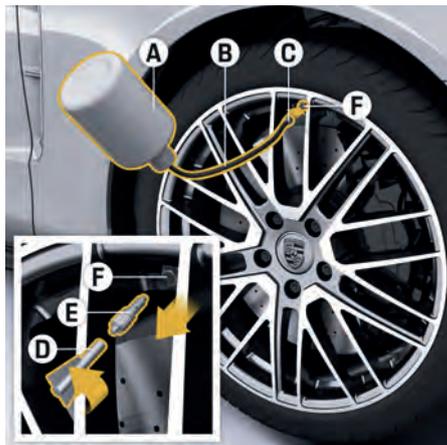


図 227: タイヤシーラントの充填

- A 充填ボトルを振ります
- B 充填ホースをねじ入れます
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサートをねじ入れます
- F タイヤバルブ

### 充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラグッジコンパートメントからパンク修理剤および付属のステッカーを取り除いてください。  
▷ 210 ページの「ラグッジコンパートメント」の章を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

### タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

▷ タイヤシーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル **A** (図. 227) を振ります。
2. 充填ホース **B** (図. 227) を充填ボトル **A** に取り付けてください。  
◆ 充填ボトルが開いています。
3. タイヤバルブ **F** (図. 227) からバルブキャップをゆるめます。
4. バルブ回し **D** (図. 227) を使用して、バルブインサート **E** (図. 227) をタイヤバルブ **F** から取り外します。  
交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。

5. 充填ホース **B** (図. 227) からプラグ **C** を取り外します。
6. 充填ホース **B** をタイヤバルブ **F** に押し付けてください。
7. 充填ボトル **A** をタイヤバルブ **F** より上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. タイヤバルブ **F** から充填ホース **B** を取り外します。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し **D** を使用して、交換用バルブインサートまたはバルブインサート **E** をタイヤバルブ **F** に確実にねじ込んでください。

### タイヤ空気の充填

▷ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

▷ 244 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続し、圧力が 2.5 bar 以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
2. バルブキャップをタイヤバルブ **F** (図. 227) にねじ込みます。

### タイヤ空気圧の点検

▷ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。

タイヤ空気圧が 1.5 bar 以上の場合、指定のタイヤ空気圧に調整してください。

▷ 264 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

### タイヤ交換

▷ 244 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

### ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

▷ P. 244

## スペアホイールの使用



警告

車両のハンドリング特性の変化

スペアホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ スペアホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。  
安全のため、トレッドの溝にスリップサイン(深さ1.6mm)が**現れる前に**タイヤを交換してください。
- ▶ ポルシェスタビリティマネージメント(PSM)システムを絶対に解除しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。  
スペアホイールを装着すると走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも**80km/h**の最高速度を厳守してください。
- ▶ 車種の異なるスペアホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のスペアホイールを他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のスペアホイールを使用しないでください。

スペアホイールはラゲッジコンパートメントのスペシャルバッグ内にあります。

1. カラビナーとベルトストラップをゆるめます。バッグを取り外します。
2. スペアホイールをバッグから取り外します。
3. スペアホイールを取り付けるには：  
▶ 244ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

4. 空気を充填する前に、スペアホイールを車両に取り付けてください。車両をジャッキアップしたままにしてください。
5. タイヤに空気を入れてください。

### スペアホイールを使用した後は：

1. スペアホイールを収縮させます。そのため、コラプシブルスペアホイールのバルブキャップをゆるめます。  
➡ コラプシブルスペアホイールが元の形状に戻るまでは、空気を抜いてから数時間かかります。これを怠ると、スペアホイールをバッグ内に収納できません。
2. スペアホイールをバッグに入れます。
3. バッグをラゲッジコンパートメントに位置決めし、バッグがシートのバックレストに対して取り付けられ、ハンドルが車両後方に向くようにします。
4. カラビナーをタイダウンリングに締結し、ベルトストラップを締め付けます。

### スペアホイールが故障している場合、

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヒューズ

### 一般的な安全に関する指示



危険

感電

エンジン作動中またはイグニッションONの状態では、ヒューズまたはリレーを交換すると、感電の恐れがあります。

- ▶ 車両電気システム作業を行うときは、必ずエンジンとイグニッションをOFFにしてください。



警告

短絡

車両電気システム作業により、短絡が発生する場合があります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ず12Vリチウムバッテリーのマイナス端子を外してください。

▶ 220ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。

**▲ 警告**

不適切な介入および不適切なアクセサリー

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリーの使用は、電気リカルシステムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品（リレーなど）については、交換しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したアクセサリーのみを使用してください。認定アクセサリーに関しては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

**ヒューズの点検および交換**

短絡や過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。

ヒューズボックスの1つはフットウェルに、別の1つはエンジンコンパートメントの進行方向右側にあります。さらに2つのヒューズボックスがダッシュボードの運転席側と助手席側の外側端部の左フロントフットウェルにあります。

装備仕様により、追加のヒューズボックスが車両内のさまざまな箇所にあります。これらの箇所には修理工場でのみアクセスできます。

**ヒューズ定格**

色		定格電流
■	紫色	3 A
■	薄茶色	5 A
■	茶色	7.5 A
■	赤色	10 A
■	青色	15 A
■	黄色	20 A
■	白色 / 透明	25 A
■	緑色	30 A
■	青緑色	35 A

**ヒューズの点検および交換**

ヒューズスロットの番号は、ヒューズキャリアのカバー内側または上に印字または刻印されています。

**① インフォメーション**

割り当てられていないヒューズスロットは、以下の概要に記載されません。

1. 可能であれば、交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズボックスカバーを開きます。
3. 必要に応じて、ヒューズ上の紫色のプラスチックストリップを慎重に取り外します。

4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバーを使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチックストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ヒューズボックスを開く****ダッシュボードのヒューズボックスを開く**

図. 228: 左ヒューズボックス

- ▶ 適切なもの（ドライバーなど）を使用して、カバーを慎重にこじり外してください。

## 左ヒューズボックス

No.	積載量
2	インストルメント パネル
3	ステアリングコラム ロック
4	オンボード診断 (OBD)
5	アナログ時計
6	マルチメディア システム用オペレーター コントロールユニット2
7	ステアリングコラム スイッチ ステアリングホイールヒーター
8	リヤタッチディスプレイ
9	ステアリングホイールの電動調節
10	故障診断用ソケット (緊急電話用)
11	フロントセンター コンソールの操作
12	電気リックパーキングブレーキスイッチ ライトスイッチ

## 右ヒューズボックス

No.	積載量
2	PCM
4	補助オーディオ / ビデオ接続ユニット
6	緊急電話モジュールコントロールユニット
8	エアコンコントロールユニット
9	ダッシュボードのタッチディスプレイ
10	カードリーダー

## フットウェルのヒューズボックスを開く

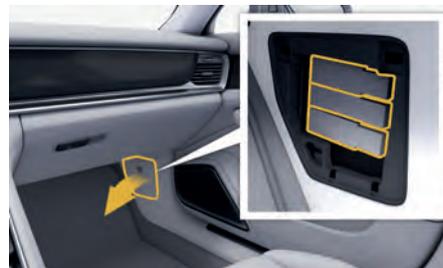


図. 229: 右フットウェルのヒューズボックス

- ▶ 指を穴に入れて、カバーを引き外します。

## B列

No.	積載量
1	シート調整用コントロールユニット、左フロント
2	シート調整用コントロールユニット、右フロント
3	Eハイブリッド：パワーエレクトロニクス
4	Eハイブリッド：バッテリーマネージメント
5	Eハイブリッド：電動モーター
6	ダッシュボード
7	酸素センサー
8	ホーン
9	BCMコントロールユニット
10	電気ソケット
11	スマートフォントレイ、フロント
12	スマートフォントレイ、リヤ

## C列

No.	積載量
1	シートベンチレーター、左フロント。シートベンチレーター、左リヤ
2	シートベンチレーター、右フロント。シートベンチレーター、右リヤ
3	イオナイザー、日射センサー
4	PSMコントロールユニット
5	ロシア：ERA-Glonass
6	Eハイブリッド：エレクトリックブレーキブースター
7	画像処理コントロールユニット
8	ヘッドライトエレクトロニクス
9	サウンドアクチュエーターコントロールユニット
10	エアコンシステム
11	ナイトビューアシストコントロールユニット

## エンジンコンパートメント内のヒューズボックスを開く



図. 230: エンジンコンパートメント内のヒューズボックス

1. 進行方向右側のエンジンコンパートメント内のプラスチックカバーを取り外します。
2. ヒューズボックスカバーを慎重に開けて取り外します - 必要に応じて適切な道具(ドライバーなど)を使用 -。

## A列

No.	積載量
1	イグニッションコイル
2	エンジンエレクトロニクス
3	クーラントポンプのシャットオフバルブ
5	Eハイブリッド：タンク漏れ検出
6	エンジンエレクトロニクス
9	ラジエーターファン、冷却シャッター
10	エキゾーストシステムフラップ
11	シリンダーカットオフ

## B列

No.	積載量
1	エンジン制御システム
2	ブレーキライトスイッチ
6	クーラント循環ポンプ
7	エンジン制御システム
8	クーラントランオンポンプ
9	エンジンマウント、サーモスタット、タンクベンチレーション、エンジン制御
10	フューエルシステムの診断ポンプ

No.	積載量
11	燃料ポンプコントロールユニット

## 補給

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火炎、裸火、および喫煙は禁止されています。

#### ▲ 警告

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

#### ⓘ インフォメーション

場合により燃料に硫黄成分が多く含まれることがあります。特定の運転条件下では、エンジン内での燃焼により不快な臭い(いわゆる「腐った卵の匂い」)を伴う排気が発生する場合があります。ボルシェにはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションを ON にすると、インストルメントクラスターに燃料の残量が表示されます。

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 168 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

▶ 265 ページの「充填容量」の章を参照してください。

### 適切な燃料の選択

#### 情報

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、エキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 以下の仕様に適合する燃料のみ使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料は**使用しないでください**。

#### ⓘ インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

エンジン	推奨燃料	代替燃料
Panamera、 Panamera 4	95 RON / 85 MON 以上	
その他すべての ガソリンエン ジン車	98 RON / 88 MON 以上	95 RON / 85 MON 以上

この車両のエンジンは、エタノール含有量 10% 以下の燃料の使用に適しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。



E10

**i** インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価が**91 RON / 82.5 MON**の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪くなることがあります。

- ▶ オクタン価 **91 RON / 82.5 MON**以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用してください。
- ▶ オクタン価 **91 RON/82.5 MON**の無鉛ガソリンを使用した場合は、**フルスロットルで走行しないでください。**

**オクタン価の低い燃料と添加剤の使用**

情報

ボルシェが承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 添加剤は給油の前に充填してください。

国によっては、燃料の析出挙動がボルシェの基準を満たしていないことがあります。基準を満たす燃料を入手できない場合は、ボルシェが販売し推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ボルシェ部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 容器に記載された指示や混合比を読み、それに従ってください。
- ▶ 常に定期点検時期およびオイル交換時期に従ってください。

**燃料の給油**

情報

**Eハイブリッド車両：**

燃料不足によってエンジンが停止した場合、車両が燃料残量を新たに検出するには、タンクに最低限の量の燃料を補充する必要があります。そうしないとエンジンを再始動できません。

- ▶ 燃料を 15 リットルまで再充填します。

情報

デコラティブフィルムに燃料が付着すると、退色の原因になります。

- ▶ フィルムに付着した燃料はすぐに拭き取ってください。

**i** インフォメーション

**Eハイブリッド車両：**

燃料タンクの高圧ガスが原因で、ある程度の過圧が発生する恐れがあるため、フィルターフラップを開く前に逃がす必要があります。この状況でのタンクの排気には時間がかかる場合があります。フィルターフラップは、燃料タンクベンチレーションが完了したときのみ開きます。



図. 231: ボタン A：燃料タンクベンチレーションを開始し、フィルターフラップを開く



図. 232: フィルターフラップを開く



図. 233: タンクキャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ✓ 車両がロック解除されている。

- ▶ **Eハイブリッド車両**：燃料タンク ベンチレーションを開始するために、運転席ドアのボタン **A** (図. 231) を押してください。

燃料タンク ベンチレーション ステータスがインストルメント クラスターに表示されます。燃料タンク ベンチレーションが完了すると終了音が鳴り、フィルター フラップが解除されます。燃料タンク ベンチレーションが正常に完了しない場合、燃料タンク ベンチレーションを再び開始するために、ボタン **A** を再度押してください。

1. **Eハイブリッド車両**：ロック解除されたフィルター フラップを完全に開きます。

**Eハイブリッドドライブ非装備車**：フィルター フラップの後部 (図. 232) を押すと、フラップが開きます。

この車両に使用できる燃料の種類は、フィルター フラップの裏のステッカーに明示されています。

2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
3. タンク キャップをホルダー (図. 233) に入れます。
4. 給油ノズルはハンドルを下向きにして確実に給油口の奥まで差し込んでください。
5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。温度が高くなったときに、タンクの燃料が吹き返したり、あふれ出したりすることがあります。
  - ▶ 264 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。
6. 給油後はすぐにタンク キャップを元の位置に戻し、カチッと閉まる音が聞こえ、手ごたえがあるまで締め付けます。
7. フィルター フラップを閉じてフィルター フラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

## ① インフォメーション

タンク キャップを紛失した場合は、必ず純正部品と交換してください。

### フィルター フラップの緊急解除



図. 234: 緊急時のフィルター フラップのロック解除

装備に応じて、さまざまなロック解除オプションを利用できます。フィルター フラップの電動ロック解除が故障したときは、手で燃料フィルター フラップを開くことができます。

#### ✓ Eハイブリッド車両以外

1. 右ラゲッジ コンパートメント トリムの赤色の緊急解除ストラップを**矢印の方向**に慎重に引きます。
  - ▶ フィルター フラップのロックが機械的に解除されます。
2. フィルター フラップの後部を押して開きます。

#### ✓ Eハイブリッド車両

1. 車両右側のラゲッジ コンパートメント トリム パネルを取り外します。緊急解除ストラップは、12 V バッテリーの左側にあります。
2. 右ラゲッジ コンパートメント トリムの赤色の緊急解除ストラップを**矢印の方向**に慎重に引きます。
  - ▶ フィルター フラップが開きます。

緊急解除後にタンク キャップをゆるめる際、燃料気化ガスが漏れ出す恐れがあります。

#### ▲ 警告

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

## ジャッキおよびリフティングプラットフォーム

### 車両のリフトアップ



図. 235: フロント側のリフティングプラットフォームおよびジャッキのジャッキアップポイント



図. 236: リヤ側のリフティングプラットフォームおよびジャッキのジャッキアップポイント

#### ▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかりと固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 交換するタイヤの対角にある車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、エレクトリックパーキング・ブレーキをかけ、かつトランスミッションパーキング・ロック **P** を有効にします。

▶ 244 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

#### ▲ 警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 手でノーマルレベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリングシステムを OFF にします。

▷ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### **i** インフォメーション

ホイール交換に必要なツールは標準装備の供給範囲に含まれていません。

## ウォッシャー液

### ウォッシャー液の選択

▷ 23 ページの「フィラー キャップ」の章を参照してください。

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤 (ウィンドウ クリーナー濃縮液、不凍液) を混ぜ合わせてください。常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載されたすべての指示を読んでください。
  - **夏季**：水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください
  - **冬季**：水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください

次の要件を満たしたウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用します：

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品

ポルシェが推奨するウォッシャー液濃縮液については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなりすぎると、インストールメント クラスタに警告メッセージが表示されます。

## ウォッシャー液の追加

### 情報

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けます。
2. ウォッシャー液を追加します。

▷ 265 ページの「充填容量」の章を参照してください。

3. キャップを慎重に閉めます。

## テクニカルデータ

### 車両識別データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国固有の理由により、車両固有のデータとは異なる場合があります。個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、公式な車両関連文書や車両登録書類、および車両のインフォメーションプレート(例：ビークルプレート)を参照してください。

車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。

### 車両識別番号



図. 237: 車両識別番号の記載箇所

車両識別番号はフロント ウィンドウ枠の左下と助手席フットウェルのカーベットのカバー下にあります。

- ▶ スペア パーツを注文する場合、必ず車両識別番号を記載してください。

### タイヤ空気圧プレート



図. 238: タイヤ空気圧プレートの記載箇所

### 車両データバンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

## 寸法

全長 (装備仕様により異なる)	5,049 mm – 5,199 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,937 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,165 mm
DIN 規定の空車重量での車高	1,399 mm – 1,432 mm
リヤ リッド開状態時の全高	2,110 mm – 2,129 mm
DIN 規定の空車重量での地上高 シャーシバージョンによる	134 mm

## 充填容量

	Panamera Turbo S E-Hybrid	Panamera Turbo S	Panamera GTS	Panamera 4S	Panamera 4 E- Hybrid	Panamera 4S E- Hybrid	Panamera、 Panamera 4
燃料タンク	約 80 L (予備の約 12 L を含む)。	約 90 L (予備の約 12 L を含む)。	約 90 L (予備の約 12 L を含む)。	約 75 L (オプション: 90 L) (予備の 約 10 L を含む)。	約 80 L (予備の約 10 L を含む)。	約 80 L (予備の約 10 L を含む)。	約 75 L (オプション: 90 L) (予備の 約 10 L を含む)。
フロント ウィンド ウ/ヘッドライト ウォッシャー液	約 2.5 L (ヘッドライト ウォッシャー システム装備車: 約 6 L)						

## 燃費と CO2 排出

CO<sub>2</sub> 排出量は燃料消費量の影響を直接受けます。安全運転や定期点検によって、CO<sub>2</sub> 排出量を最小限に抑制するのに役立ちます。

### インフォメーション

国により、納車時に提供された書類 (例: 「適合証明」) に車両の燃料消費と排出値が記載されています。規定の測定方法による値を表示しています (現行バージョンの Euro 6: 規則 (EC) 715/2007、現行バージョンの Euro 5: ECE-R.83 と ECE-R 101 の組み合わせ)。

## 重量

規格 (EC) 1230/2012 に基づく、75 kg の運転者 1 名と荷物分を含む空車重量。

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加装備が取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。

ルーフ積載荷重は、ルーフトランスポート システムの重量、マウント部品、および荷物の合計です。

- ▶ 206 ページの「ルーフトランスポート システム」の章を参照してください。

	Panamera Turbo SE-Hybrid (リヤシート 2 席)	Panamera Turbo SE-Hybrid (リヤシート 3 席)	Panamera Turbo S (リヤシート 2 席)	Panamera Turbo S (リヤシート 3 席)
最大軸荷重、フロント	1,355 kg	1,355 kg	1,295 kg	1,310 kg
最大軸荷重、リヤ	1,540 kg	1,575 kg	1,365 kg	1,430 kg
最大総重量	2,810 kg	2,880 kg	2,585 kg	2,665 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
最大けん引重量 (ブレーキ装備車)、坂道の勾配率が 12% 以下のとき	–	–	2,200 kg	2,200 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	–	–	750 kg	750 kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	–	–	4,785 kg	4,865 kg
最大垂直連結荷重	–	–	100 kg	100 kg

	Panamera GTS (リヤシート2席)	Panamera GTS (リヤシート3席)	Panamera GTS Sport Turismo (リヤシート2席)	Panamera GTS Sport Turismo (リヤシート3席)
最大軸荷重、フロント	1,295 kg	1,310 kg	1,305 kg	1,315 kg
最大軸荷重、リヤ	1,365 kg	1,430 kg	1,390 kg	1,450 kg
最大総重量	2,585 kg	2,665 kg	2,615 kg	2,700 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
最大けん引重量 (ブレーキ装備車)、坂道の勾配率が12%以下のとき	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	750 kg	750 kg	750 kg	750 kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	4,785 kg	4,865 kg	4,815 kg	4,900 kg
最大垂直連結荷重	100 kg	100 kg	100 kg	100 kg

	Panamera 4SE-Hybrid (リヤシート2席)	Panamera 4SE-Hybrid (リヤシート3席)	Panamera 4 Executive
最大軸荷重、フロント	1,285 kg	1,285 kg	1,240 kg
最大軸荷重、リヤ	1,530 kg	1,590 kg	1,320 kg
最大総重量	2,750 kg	2,825 kg	2,505 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	-

	Panamera 4E-Hybrid (リヤシート 2 席)	Panamera 4E-Hybrid (リヤシート 3 席)	Panamera 4E-Hybrid Sport Turismo (リヤシート 2 席)	Panamera 4E-Hybrid Sport Turismo (リヤシート 3 席)
最大軸荷重、フロント	1,285 kg	1,285 kg	1,280 kg	1,300 kg
最大軸荷重、リヤ	1,510 kg	1,570 kg	1,525 kg	1,585 kg
最大総重量	2,710 kg	2,785 kg	2,735 kg	2,810 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
	Panamera 4 (リヤシート 2 席)	Panamera 4 (リヤシート 3 席)	Panamera 4 Sport Turismo (リヤシート 2 席)	Panamera 4 Sport Turismo (リヤシート 3 席)
最大軸荷重、フロント	1,210 kg	1,230 kg	1,220 kg	1,235 kg
最大軸荷重、リヤ	1,320 kg	1,385 kg	1,355 kg	1,420 kg
最大総重量	2,460 kg	2,550 kg	2,510 kg	2,585 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg
最大けん引重量 (ブレーキ装備車)、坂道の勾配率が 12% 以下のとき	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg	2,200 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	750 kg	750 kg	750 kg	750 kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	4,660 kg	4,750 kg	4,710 kg	4,785 kg
最大垂直連結荷重	100 kg	100 kg	100 kg	100 kg

	Panamera (リヤシート2席)	Panamera (リヤシート3席)
最大軸荷重、フロント	1,195 kg	1,195 kg
最大軸荷重、リヤ	1,385 kg	1,385 kg
最大総重量	2,515 kg	2,515 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg	75 kg
最大けん引重量 (ブレーキ装備車)、坂道の勾配率が12%以下のとき	2,200 kg	2,200 kg
最大けん引重量、ブレーキなし	750 kg	750 kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量のレーティング	4,715 kg	4,715 kg
最大垂直連結荷重	100 kg	100 kg

## ホイールおよびタイヤ

### ホイールおよびタイヤのサイズ

ポルシェが承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。荷重指数 (「105」など) と許容最高速度を示す記号 (「Y」など) は、いずれも最低要件です。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時は:

▷ 244 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたホイールおよびタイヤのサイズにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ リヤアクスルステアリング装備車では、スノーチェーンモードを起動します。
  - ▷ 181 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ タイヤ/ホイールを取り付ける前に、EU 適合宣言をチェックし、そのホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に許可されているかどうかを確認してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ	タイヤのサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
<b>全モデル</b>			
スペアホイール	155/70 R 20	4.5B x 20	不可
<b>Panamera、Panamera 4、Panamera 4 E-Hybrid、Panamera 4S、Panamera GTS、Panamera 4SE-Hybrid</b>			
サマータイヤ	FA : 265/45 ZR 19 (105Y) XL RA : 295/40 ZR 19 (108Y) XL	FA : 9.0J x 19、RO 64 <sup>1</sup> RA : 10.5J x 19、RO 62 <sup>1</sup>	不可
	FA : 275/40 ZR 20 (106Y) XL RA : 315/35 ZR 20 (110Y) XL	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA : 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 275/40 R 20 106V M+S RA : 315/35 R 20 110V M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 R 21 103V XL M+S RA : 315/30 R 21 105V XL M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
ウィンタータイヤ	FA : 265/45 R 19 105V XL M+S RA : 295/40 R 19 108V XL M+S	FA : 9.0J x 19、RO 64 RA : 10.5J x 19、RO 62	リヤアクスルのみ
	FA : 275/40 R 20 106V XL M+S RA : 315/35 R 20 110V XL M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 10.5J x 20、RO 71	リヤアクスルのみ
	FA : 275/35 R 21 103V XL M+S RA : 315/30 R 21 105V XL M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 10.5J x 21、RO 71	リヤアクスルのみ
<b>Panamera Turbo S</b>			

1. ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB) には使用できません

タイヤ	タイヤのサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
サマータイヤ	FA : 275/40 ZR 20 (106Y) XL RA : 315/35 ZR 20 (110Y) XL	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA : 315/30 ZR 21 (105Y) XL	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 275/40 R 20 106V M+S RA : 315/35 R 20 110V M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 R 21 103V M+S RA : 315/30 R 21 105V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
ウィンタータイヤ	FA : 275/40 R 20 106V M+S RA : 315/35 R 20 110V M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 10.5J x 20、RO 71	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/35 R 21 103V M+S RA : 315/30 R 21 105V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 10.5J x 21、RO 71	リヤ アクスルのみ
<b>Panamera Turbo SE-Hybrid</b>			
サマータイヤ	FA : 275/35 ZR 21 (103Y) XL RA : 325/30 ZR 21 (108Y) XL	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 275/40 R 20 106V M+S RA : 315/35 R 20 110V M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 11.5J x 20、RO 68	不可
	FA : 275/35 R 21 103V M+S RA : 315/30 R 21 105V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 11.5J x 21、RO 69	不可
ウィンタータイヤ	FA : 275/40 R 20 106V M+S RA : 315/35 R 20 110V M+S	FA : 9.5J x 20、RO 71 RA : 10.5J x 20、RO 71	リヤ アクスルのみ

タイヤ	タイヤのサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
	FA : 275/35 R 21 103V M+S RA : 315/30 R 21 105V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 71 RA : 10.5J x 21、RO 71	リヤアクスルのみ

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

## タイヤ空気圧

タイヤ空気圧は、いずれも、ポルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 画面で確認できます。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) でタイヤの種類、タイヤのサイズおよび車両の積載状況を設定し、[標準タイヤ空気圧] または [コンフォート タイヤ空気圧] のいずれか (国または装備に応じて) を選択します。
  - ▷ 244 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ タイヤ空気圧プレートと、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) ディスプレイを参照してください。
  -  ▶  設定 ▶  車両 ▶  タイヤ空気圧モニタリング ▶  空気圧偏差
- ▶ タイヤ空気圧を仕様に合わせて調整します。



**警告**

タイヤ空気圧の不足

[コンフォート] オプションは国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

- ▶ コンフォート プレッシャーは「コンフォート プレッシャー」機能を備えた車両のタイヤにのみ設定してください。

## ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

## テクニカルデータ：オーディオおよびビデオ ファイル

対応するメディア	ポータブル プレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 3.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバー ソフトウェアを含まない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリー、およびハードドライブなど)
ファイルシステム	USB 大容量ストレージ exFAT、FAT、または FAT32、NTFS ファイルシステム (最大 4 パーティション)
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media Audio 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特性	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps)
ファイル数	USB 大容量ストレージ 1 メディアにつき最大 10,000 ファイル、1 ディレクトリー / 1 再生リストにつき最大 1,000 ファイル
メタデータ	アルバム ジャケット 最大 800 x 800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース 経由

## テクニカルデータ：接続

モバイルネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII)/1800 MHz (Band III)/2100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20)/900 MHz (Band 8)/1800 MHz (Band 3)/2600 MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、到達範囲約 10 m

テクニカルデータ：ラジオ

周波数範囲 / 規格

UKW (FM) : 87.5 – 108MHz (100 kHz ごとの手動調節)  
 MW (AM) : 537 – 1602 kHz (国別仕様による、9 kHz 単位の手動設定)

放送局の自動検索による選局グリッド

UKW (FM) : 100 kHz  
 MW (AM) : 9 kHz (国別仕様により異なる)

ライセンスについて

Bluetooth®

Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。その他のマークおよびブランド名は、それぞれの所有者に帰属します。

Dolby Digital

Dolby Laboratories のライセンスの下で製作 Dolby およびダブル D マークは Dolby Laboratories の登録商標です。

DTS Digital Surround



DTS の特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround のシンボルは DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

Gracenote®



Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンドユーザー ライセンス契約

Gracenote®

Gracenote® エンドユーザー ライセンス契約

このアプリケーションまたは機器には、米国カルフォルニア州エメリービルの Gracenote, Inc.によるソフトウェア (「Gracenote」) が搭載されています。このアプリケーションは Gracenote によるソフトウェア (「Gracenote Software」) を利用し、オンラインのディスクまたはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 (「Gracenote Data」) をオンラインサーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。Gracenote データは、アプリケーションまたは機器のエンドユーザー機能の意図に沿う形でのみ利用できます。Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人的かつ非営利の目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止

## エンドユーザー ライセンス契約

すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーすべての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについてのすべての所有権を含む、すべての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者の個人情報を取得せずにクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブ ページを参照してください。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、「現状のまま」でお客様にライセンス供与されます。Gracenote は、Gracenote サーバーから得られた Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリーを変更したりする権利を留保します。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データ タイプまたはカテゴリーを提供する義務を負いません。またいつでもサービスを中断することができます。Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的または付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。©Gracenote, Inc. 2009

## Bluetooth® 認証 (抜粋)

アルバニア - アンドラ - アンゴラ - アルバ - オーストラリア - オーストリア - バハマ - バーレーン - パルバドス - ベラルーシ - ベルギー - ベリーズ - ボリビア - ボネール島 - ボスニアヘルツェゴビナ - ブラジル - ブルネイ - ブルガリア - ブルキナファソ - カナダ - チリ - 中国 - コロンビア - コスタリカ - クロアチア - キュラソー - キプロス - チェコ共和国 - デンマーク - ドミニカ共和国 - エクアドル - エジプト - エルサルバドル - エストニア - エチオピア - フィンランド - フランス - フランス領ギアナ - フランス領ポリネシア - ガボン - ドイツ - ガーナ - ジブラルタル - グアドループ島 - グアテマラ - ギリシャ - グリーンランド - 香港 - ハンガリー - アイスランド - インド - インドネシア - アイルランド - イラク - イスラエル - イタリア - コートジボワール - ジャマイカ - 日本 - ヨルダン - ケニア - コソボ - クウェート - ラトビア - レバノン - レソト - リベリア - リビア - リヒテンシュタイン - リトニア - ルクセンブルグ - マカオ - マケドニア - マダガスカル - マレーシア - マルタ - マルティニーク - モーリシャス - メキシコ - モナコ - モンゴル - モロッコ - モザンビーク - オランダ - ニューカレドニア - ニュージーランド - ナイジェリア - ノルウェー - オマーン - パキスタン - パナマ - ペルー - ポーランド - ポルトガル - プエルトリコ - カタール - レユニオン - ルーマニア - ロシア - サンマリノ - サウジアラビア - セネガル - セルビア - シンガポール - スロバキア - 南アフリカ - スペイン - セントルシア - スウェーデン - スイス - タヒチ - 台湾 - タイ - アラブ首長国連邦 - イギリス - ウルグアイ - 米国 - ベネズエラ - ベトナム - イエメン - ジンバブエ

## リサイクル

### 耐用年数経過後の車両の返却

#### EU 加盟国のみ：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG の車両はリサイクル性を考慮して開発されています。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## エアバッグおよびシートベルト テンショナーユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグユニット、シートベルト テンショナーユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ✕電気/電子部品および使用済みバッテリー

キー、リモート コントロールおよび古いバッテリーは、「通常」のスクラップや廃棄物として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混ぜて廃棄したりしないでください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 古いバッテリーおよび電気/電子機器は、回収場所に持ち込んでください。
- ▶ 高電圧バッテリーおよび 12V リチウム バッテリーは危険物です。このためこれらのバッテリーについては、改造したり、ご自分で処分したりしないでください。

キー、リモート コントロールおよび古いバッテリーの正しい処分の詳細については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## 欧州化学物質規制 (REACH) に基づく表示

ポルシェは EU 化学物質規制 REACH (化学物質の登録、評価、認可、および制限) に従い、車両に含まれている可能性のある高懸念物質 (SVHC) に関する情報を提供します。

この情報はインターネットで入手できます。

- ▶ <https://www.porsche.com/international/reach-regulation/>

## 無線機器 (EU 地域外)

### 検査マークおよび適合宣言書

バーレーン、ボスニアヘルツェゴビナ、フランス領ギアナ、ジョージア、ジブラルタル、グアドループ島、アイスランド、イスラエル、コートジボワール、クウェート、マケドニア、マルティニーク島、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、ニューカレドニア、ノルウェー、レユニオン、スリランカ、セントルシア、スイス、トリニダード&トバゴ、トルコ

CE

### アルジェリア

ARPCE 認証済 : N°156/R/MRG/PC/ARPCE/2020 (MIB3)

ARPCE 認証済 : N°130/IR/HMG/PC/ARPCE/2020 (ConBox ハイ オンライン)

ANF 認証済 : N°323/H/ANF/2021 (RR4)

ANF 認証済 : N°276/H/ANF/2021 (R3T)

### Argentina



CNC ID: C-20323 (MIB2+ Online)

CNC ID: C-20324 (MIB2+ Offline)

CNC ID: C-21672 (LRR4)

CNC ID: C-21798 (MRR1Rear)

CNC ID: C-24063 (MIB3)

CNC ID: H-17001 (Homelink)

CNC ID: H-24102 (TPMS)

CNC ID: C-23466 (ConBox High offline)

C-18053

H-22302

H-21037

### Australia



### Belarus



### Brazil



00716-15-03745 (LRR4)

00971-18-02930 (Key PK3)

02230-14-03745 (MRR1)

02393-19-05364 (BCMevo5)

05031-16-06324 (Homelink)

05224-19-12227 (MIB3)

05674-16-06830 (R3TR)

09087-19-07978 (ConBox High offline)

09589-19-12707 (IC-CPD)

01683-20-12822 (HEM)

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados. Para maiores informações, consulte o site da ANATEL [www.anatel.gov.br](http://www.anatel.gov.br)

### Brunei

DTA-002281 (Key PK3)

DTA-002453 (BCMevo5)

DTA-003655 (MIB3)

DTA-005830 (LRR4)

DTA-006367 (MRR1Rear)

DTA-004048 (Conbox-High offline)

DTA-006277 (R3TR)

### カナダ

This vehicle includes following Radio Frequency Devices/ Ce véhicule comprend les appareils à radiofréquence suivants:

IC: 2694A-BCMEVO5 (BCMevo5)

IC: 2701A-PK3 (Key PK3)

IC: 3887A-LRR4 (LRR4)

IC: 3887A-MRR1REAR (MRR1Rear)

IC: 4112A-ADHL5D (Homelink)

IC: 8595A-JODYW16407A (MIB3)

IC: 3659A-R3TR (R3TR)

IC: 6434A-P114 (ConBox High online)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with RSS-210 of Industry Canada. ISED Canada's licence-exempt RSSs and These devices contain licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) These devices may not cause interference; and
- (2) These devices must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

These Class B digital apparatus comply with Canadian ICES-003.

Ces appareils sont conformes à la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Les émetteurs/récepteurs exempt de licence contenu dans le présent appareil sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

- (1) Ces appareils ne doivent pas causer d'interférences nuisibles et
- (2) Ces appareils doivent accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Ces appareils numérique de la classe B sont conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## 中国

本设备包含型号核准代码 (分别) 为:  
CMIT ID: 2016DJ6564 (ホームリンク ADHL5D)  
CMIT ID: 2016DJ6719 (R3T)  
CMIT ID: 2019AJ10240 (MIB3)  
CMIT ID: 2019CJ6265 (ConBox オンライン)  
的无线电发射模块

## コスタリカ

SUTEL 00922-2018 (Key PK3)  
SUTEL 02922-2019 (MIB3)  
SUTEL 05901-2019 (BCMevo5)  
SUTEL 07096-2014 (LRR4)  
SUTEL 07764-2016 (Homelink)  
SUTEL 2733-2014 (MRR1Rear)  
SUTEL 08513-2016 (R3TR)  
SUTEL 05107-2019 (ConBox High offline)

## Customs Union (including Armenia, Belarus, Kazakhstan, Russia)



Model: LTE-MBC-EU

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12 V 400 mA

Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12 V 400 mA

## Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-14B (Key PK3)  
NCA APPROVED: 3R8-8M-7DF-2AA  
NCA APPROVED: BRE-1M-GE2-15A (BCMevo5)  
NCA APPROVED: ZRO-M8-7E3-X79 (MIB3)  
NCA APPROVED: 6X6-4H-7E0-0F3 (R3TR)  
NCA APPROVED: ORG-4H-7E3-X98 (ConBox High offline)  
NCA APPROVED: SRO-1M-7E4-222 (LRR4)

## Great Britain



車両にはさまざまな無線装置が装備されています。この無線機器のメーカーは、ウクライナの無線機器に関する技術規格 (Decree 355/2017) に準拠した仕様であることを宣言しています。関連する適合宣言書の全文は、以下のウェブサイトからご確認ください :

<https://www.porsche.com/international/accessoriesandservice/porscheservice/vehicleinformation/documents/>

以下は、無線機器規則 2017 の意図の範囲内で、英国市場向けの無線機器デバイスのインポーターとして活動します：

ポルシェ カー イギリス (PCGB) Ltd.

Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE

United Kingdom

## Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radioequipment exempted from licensing.



## India

ETA-1759/18-RLO(NE) (PK3)

ETA-3001/16-RLO(WR) (LRR4)

ETA-3000/16-RLO(WR) (MRR1Rear)

ETA-SD-20190601822 (MIB3)

ETA-SD-20201208973 (Homelink)

ETA-SR-20180387 (BCMevo5)

ETA-1520/17-RLO(NE) (R3TR)

ETA-SD-20190500710 (ConBox High offline)

## Indonesia



Dilarang melakukan perubahan spesifikasi yang dapat menimbulkan gangguan fisik dan/atau elektromagnetik terhadap lingkungan sekitarnya



55538/SDPPI/2018  
2208

38478/SDPPI/2015

44229/SDPPI/2016

36930/SDPPI/2014



## Israel

Model Name: Homelink ADHL5D

Manufacturer: Gentex Corporation

Model Name: TSSRE4Uf / TSSSG4G5b

Manufacturer: Huf Electronics Bretten

Model Name: LRR4

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: MRR1Rear

Manufacturer: Robert Bosch GmbH

Model Name: R3TR  
 Manufacturer: Aptiv Services Deutschland GmbH

**Japan**



Model Name: MIB3  
 Manufacturer: Aptiv Services Deutschland GmbH



Model Name: ConBox High online  
 Manufacturer: Harman Becker Automotive Systems GmbH



Model Name: PK3  
 Manufacturer: Marquardt GmbH



Model Name: BCMevo5  
 Manufacturer: Hella GmbH Model



Name: Homelink ADHL5D  
 Manufacturer: Gentex Corporation



**Jamaica**

These products have been Type Approved by Jamaica:

- SMA - BCMevo5
- SMA - PK3
- SMA - MIB3 TOP
- SMA - Conbox-High



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

**Jordan**

- TRC/LPD/2014/73 (MRR1Rear)
- TRC/LPD/2014/129
- TRC/LPD/2016/44
- TRC/LPD/2017/615 (PK3)
- TRC/SS/2019/155 (MIB3)
- TRC/34/6858/2020 (BCMevo5)
- TRC/31/7712/2020 (R3TR)
- TRC/34/7206/2020 (ConBox High offline)

**Malaysia**



- CIDF15000490 (LRR4, MRR1Rear, LRR3)
- CIDF17000143 (R3TR)
- CIDF19000029 (PK3)
- CIDF19000029 (BCMevo5)

**Mexico**

- IFETEL: RLVBOLR14-1873 (LRR4)
- IFETEL: RLVPOPK17-1947 (PK3)
- IFETEL: RCPAUMI19-2202 (MIB3)
- IFETEL: RCPHEBC18-2099 (BCMevo5)
- IFETEL: RLVHEBC15-093
- IFETEL: RCPBOMR14-0922 (MRR1Rear)
- IFETEL: RLVCOBC16-1825
- IFETEL: IFT-008 – 2015
- IFETEL: RCPAPR318-2005 (R3TR)
- IFETEL: RTIVWCO19-1185 (ConBox High online)

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

### Moldova

Acest vehicul este echipat cu o varietate de echipament radio. Urmatorul este importatorul de echipament radio pentru piata din Republica Moldova cu privinta reglementarii echipamentului radio: GT Sport Auto Ltd., General Importer of Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG in Moldova.  
Calea Iesilor str. 28/1, MD-2069, Chisina

### Mongolia



APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A19000455



APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A17000167



APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A18000286



APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A19000474



APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A19000396

### Morocco

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 9668 ANRT 2014  
Date d'agrément: 30/09/2014

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19571 ANRT 2019  
Date d'agrément: 26/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15019 ANRT 2017  
Date d'agrément: 26/10/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 24106 ANRT 2020  
Date d'agrément: 20/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 17800 ANRT 2018  
Date d'agrément: 24/10/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 13255 ANRT 2017  
Date d'agrément: 09/02/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019  
Date d'agrément: 23/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 12623 ANRT 2016  
Date d'agrément: 11/10/2016

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19505 ANRT 2019  
Date d'agrément: 25/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 9186 ANRT 2014  
Date d'agrément: 22/04/2014

ナイジェリア

Connection and use of this communications equipment is permitted by the Nigerian Communications Commission

Oman

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/2160/14

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/1849/14

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7350/19

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/6363/18

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/4813/17

OMAN - TRA
D172249
TRA/TA-R/6358/18

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/2282/14

OMAN - TRA
D80134
TRA/TA-R/3848/17

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/3673/16

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/4471/15

OMAN - TRA
D172249
TRA/TA-R/56891

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7524/19

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/3621/16

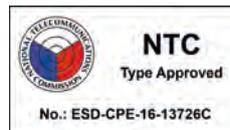
Pakistan



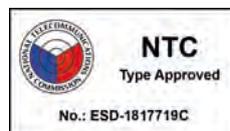
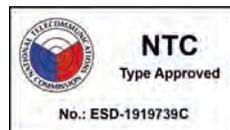
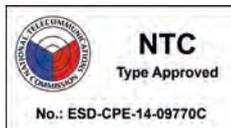
## Paraguay



- NR: 2019-09-I-000517 (LRR4)
- NR: 2019-05-I-000236 (MRR1Rear)
- NR: 2019-04-I-000226 (MIB3)
- NR: 2018-10-I-000492 (BCMevo5)
- NR: 2017-12-I-000410 (PK3)
- NR: 2016-11-I-000293 (Homelink)
- NR: 2014-10-I-000305
- NR: 2019-07-I-0335 (ConBox High offline)
- NR: 2016-11-I-000310 (R3TR)



## Philippines



## Qatar

- Approval Ref.: CRA/SM/2019/R-7764 (MIB3)
- Approval Ref.: CRA/SM72018/R-7460 (Homelink)
- Approval Ref.: CRA/SM/2018/R-7340 (BCMevo5)
- Approval Ref.: CRA/SA/2017/R-6610 (PK3)
- Approval Ref.: CRA/SA/2014/R-4315 (LRR4)
- Approval Ref.: ICTQATAR/RT2014/R-3957 (MRR1Rear)
- Approval Ref.: CRA/SM/2019/R-7872 (ConBox High offline)
- Approval Ref.: CRA/SA/2016/R-5808 (R3TR)

## Serbia





I011 16



I 011 18



I 011 19



I 005 20



I 005 21

### Singapore

Complies with  
IMDA Standards  
DB107205

Complies with  
IMDA Standards  
DB103787

Complies with  
IMDA Standards  
DB106879

### South Africa

ICASA TA-2014/1784  
認証済

ICASA TA-2014/212  
認証済

ICASA TA-2014/2235  
認証済

ICASA TA-2016/2568  
認証済

ICASA TA-2016/136  
認証済

ICASA TA-2016/3539  
認証済

ICASA TA-2016/2455  
認証済

ICASA TA-2017/2491  
認証済

ICASA TA-2018/3465  
認証済

ICASA TA-2019/978  
認証済

ICASA TA-2019/5116  
認証済

ICASA TA-2016/2759  
認証済

ICASA TA-2019/1853  
認証済



TA-2020/6392  
 認証済



TA-2019/550  
 認証済

South Korea

**ACC (LRR4) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Robert Bosch GmbH

기차재의 명칭(모델명):  
 특정소출력 무선기(차량 충돌방지용 레이더 무선기)

인증번호:  
 MSIP-CMM-BO2-LRR4

제조사/제조국가:  
 Robert Bosch GmbH/독일



**Key (PK3) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Marquardt GmbH

기차재의 명칭(모델명):  
 특정소출력 무선기

인증번호:  
 R-C-MQU-PK3

제조사/제조국가:  
 Marquardt GmbH/독일



**Body Control Module (BCMevo5) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Hella GmbH & Co. KGaA

기차재의 명칭(모델명):  
 미약 전계강도 무선기

인증번호:  
 R-R-HLA-BCMevo5

제조사/제조국가:  
 Hella GmbH & Co. KGaA /독일



**Communication Management (MIB3) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Aptiv Services Deutschland GmbH

기차재의 명칭(모델명):  
 특정소출력 무선기

인증번호:  
 R-R-DDg-MIB3TOPKR1

제조사/제조국가:  
 Aptiv Services Deutschland GmbH /독일



**LTE-Compensor 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Molex CVS Dabendorf GmbH

기차재의 명칭(모델명):

인증번호:  
 MSIP-RMM-N7VLTE-MBC-CN

제조사/제조국가:  
 Molex CVS Dabendorf GmbH/독일



**TPMS (TSSRE4Uf) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Huf Baolong Electronics Bretten GmbH

기차재의 명칭(모델명):  
 특정 소출력 무선기

인증번호:  
 R-C-HEB-TSSRE4UF

제조사/제조국가:  
 Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일



**TPMS (TSSSG4G5b) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Huf Baolong Electronics Bretten GmbH

기차재의 명칭(모델명):  
 TPMS ECU E5.5 433MHz

인증번호:  
 R-R-HEB-TSSSG4G5b

제조사/제조국가:  
 Huf Baolong Electronics Bretten GmbH/독일



**CONBOX-HIGH 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 HARMAN/BECKER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH

기차재의 명칭(모델명):  
 LTE

인증번호:  
 R-C-T8G-CONBOX-HIGH

제조사/제조국가:  
 HARMAN/BECKER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH



**LCA (R3TR) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Aptiv Services Deutschland GmbH

기차재의 명칭(모델명):  
 특정소출력 무선기(차량 충돌방지용 레이더 무선기)

인증번호:  
 R-CRM-DDG-R3TR

제조사/제조국가:  
 Aptiv Services Deutschland GmbH



**LCA (MRR1Rear) 인증정보**

적합성평가를 받은자의 상호:  
 Robert Bosch GmbH

기차재의 명칭(모델명):  
 특정소출력 무선기(차량 충돌방지용 레이더 무선기)

인증번호:  
 MSIP-CMM-BO2-MRR1Rear

제조사/제조국가:  
 Robert Bosch GmbH



이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

Taiwan



CCAL16LPS0078

CCAE16LPS01977

CCAB16LPS16877

CCAB16LPS14874

CCAL16LPS00877

CCAF16LPS00872

CCAB16LPS00879

## 低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計

之特性及功能。第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電

信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

## Thailand

This telecommunication equipment conforms to NTC technical requirements.

## トルコ

### TELZI EPMANRI YKETMELI SEALIT (2014/53/以降)

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır. Telsiz Ekipmanları Yönetmeliği (2014/53/AB) açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı ithalatı\*: Doğu Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş. Şekerpınar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45, 41420 Çayırözü/Kocaeli \*Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğu Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği ürünler için geçerlidir.

## Ukraine

車両にはさまざまな無線装置が装備されています。この無線機器のメーカーは、ウクライナの無線機器に関する技術規格 (Decree 355/2017) に準拠した仕様であることを宣言しています。この情報には、2019年4月以降の無線機器のメーカーとトランスミッションの特性に関する詳細が含まれています。関連する適合宣言書の全文は、以下のウェブサイトからご確認いただけます：

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/>

[porschesevice/](https://porschesevice/)



## United Arab Emirates

TRA  
REGISTERED No:  
ER36213/14  
DEALER No.  
DA36758/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER58762/17  
DEALER No.  
DA0018994/09

TRA  
REGISTERED No:  
ER66073/18  
DEALER No.  
DA0018994/09

TRA  
REGISTERED No:  
ER71148/19  
DEALER No.  
DA43253/10

TRA  
REGISTERED No:  
ER72174/19  
DEALER No.  
DA0062437/11

TRA  
REGISTERED No:  
ER39135/15  
  
DEALER No.  
DA36785/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER38298/15  
  
DEALER No.  
DA18994/09

TRA  
REGISTERED No:  
ER16889/09  
  
DEALER No.  
DA36785/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER47992/16  
  
DEALER No.  
DA43253/10

TRA  
REGISTERED No:  
ER39136/15  
  
DEALER No.  
DA36758

TRA  
REGISTERED No:  
ER72288/19  
  
DEALER No.  
Harman/Becker  
Automotive Systems

TRA  
REGISTERED No:  
ER80171/20  
  
DEALER No.  
Harman/Becker  
Automotive Systems

## 米国

This vehicle includes Radio Frequency Devices that are certified under the following IDs:

FCC ID: IYZ-PK3 (PK3)

FCC ID: NF3-LRR4 (LRR4)

FCC ID: NF3-MRR1REAR (MRR1Rear)

FCC ID: NBG-BCMEVO5 (BCMevo5)

FCC ID: NZL-ADHL5D (Homelink)

FCC ID: XPY-JODYW164 (MIB3)

FCC ID: T8GP114 (ConBox High online)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) These devices may not cause harmful interference, and

(2) These devices must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to the equipment not expressly approved by Porsche may void the FCC authorization to operate the equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the devices is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the devices shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. Any antenna used with these devices must be located at least 8 inches (20,3 cm) from all persons.

NOTE: The equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

### Vietnam



## 索引

## 番号と記号

◇ ボタンの設定	181
4 輪駆動	
4 輪駆動表示	150
トルク ディストリビューション表示	150
暗証コード	195
迂回	192
運転席	
オドメーター	150
タコメーター	147
トリップメーター	150
パワー & ドライブ画面	147
ライト調節	53
警告灯およびインジケーターライト	153
車両 & 情報画面	148
水温計	148
速度 & アシスト画面	147
燃料計	148
運転席メモリー	74
運搬 (カートレイン、フェリーなど)	
車両の固定	225
応急処置セット	211
横方向の加速度	
表示	150
温度の設定	
エアコン	67
音楽	
USB を介した外部機器の接続	184
アームレスト内のインターフェイス	184
お気に入りの保存 / 編集	187
再生	186
対応するデータ形式	273
画面	
パワー & ドライブ	147
車両 & 情報	148
速度 & アシスト	147

灰皿	
開く	218
掃除する	218
閉閉	
ウィンドウ	34
ルーフシステム	41
閉閉操作とロック	44
パーソナル設定の保存と呼び出し	74
ロールアップ式サンブラインド	42
車両	44
外部 WiFi ホットスポット	196
格納式スポイラー	
作動原理	130
格納式リヤスポイラー	
展開 / 格納	130
革	
お手入れの諸注意	241
給油	
フィルター フラップ位置の表示	148
距離警告	144
緊急ブレーキ機能	
作動	98
緊急操作	
車両プラグ	237
充電ポート リッド	236
空気圧	
タイヤ空気圧プレート	264
速度警告	244
携帯電話	
Bluetooth® を介した接続 (新しい電話)	203
Bluetooth® を介した接続 (登録済みの電話)	203
Bluetooth® を介した接続 (別の電話)	203
電話の接続	203
保管	203
携帯電話の収納	203
経由地を入力する (ナビゲーション)	191
計器照明	
明るさの調節	53

警告およびブレーキアシスト	143
ON/OFF の切り替え	145
システム制限	143
に関する一般的な安全指示	143
距離警告の ON/OFF の切り替え	145
距離警告の警告時間の設定	145
警告メッセージ	143
衝突警告の ON/OFF の切り替え	145
衝突警告の警告時間の設定	145
設定機能	145
警告およびブレーキアシスト	
ブレーキ	144
ブレーキバック	144
距離警告	144
衝突警告	144
予防的乗員保護機能	145
警告および情報メッセージ	168
警告とブレーキアシスト	
機能	144
警告灯	153
警報システム	
ON/OFF の切り替え	31
機能説明	31
機能表示	31
室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを OFF にする	31
軽合金製ホイール	
お手入れの諸注意	241
軽修理	
スベア ホイールの使用	255
パンクしたとき	252
車両のけん引	223
検知ライト	113
言語	
設定	181
故障	
ウィンドウリフター	35
ウィンドウの停止位置の保存	35
キーのバッテリー	33
ルーフシステム	43

故障時電話	237	車両		車両充電ポートの高電圧バッテリー充電ステータスおよびロックステータス	234
データ通信	237	キーによるロック解除	45	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電ステータス表示およびロックステータス表示	234
作動	237	ボルシェ コンフォートアクセスによるロック	47	車両設定	
故障診断用ソケット	7	緊急ロック	49	PCM 表示の調整	181
故障対策		緊急ロック解除	49	インストルメント パネル表示の調整	181
車両が動き出さないように固定してください	252	車内からのロック	48	キーへの保存	74
交通渋滞アシスト		車内からの車両のロック	48	シートヒーター、シートベンチレーター、シート位置の調整	181
各操作部	140	車両キー		ジャッキモードの設定	181
交通情報	192	車両のロック解除	45	タイヤの種類とサイズの設定	246
交通標識検知		車両キー (リモートコントロール)		タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	246
ディスプレイ	142	ウィンドウの開閉 (ボルシェ コンフォートアマセス非装備)	34	パーソナル ボタンへの保存	74
制限速度警告表示	142	車両ジャッキモード	181	ボイスコントロールシステムの設定	181
前方カーブあり警告	142	車両データバンク	264	マルチファンクションステアリングホイールのボタン割り当て設定	181
速度制限の表示	142	車両ドア		ロック オプションの設定	181
工具セット	212	ボルシェ コンフォートアクセスによるロック	47	空気圧偏差の表示	246
高圧洗浄機		開く	48	警告音とパークアシストの音量設定	181
取扱説明書	238	車内からの開閉操作とロック	48	言語設定	181
高速道路ライト	113	車両のお手入れ		実施	181
高電圧バッテリー	232	Dinamica	242	出荷時の状態にリセット	181
高電圧バッテリーのお手入れ	238	アンダー コーティング	240	単位	181
の諸注意	238	ウィンドウ	240	日付と時刻の設定	181
高電圧バッテリーの充電		エアバッグ	242	収納オプション	204
充電プロセスと車両プラグの取り外し	234	シートベルト	242	グローブボックス	204
左 / 右スタティック		シール	241	フロント アームレストの小物入れ	204
スタティック コーナリングライト	113	デコラティブ フィルム	240	充填容量	
ダイナミック コーナリングライト	113	ファブリック ライニング	242	ウオッシュャー液	265
始動		プラスチック部品	240	充電	
エンジン	101	ヘッドライト	240	充電ポート リッド位置の表示	148
時刻と日付		ホイール ボルト	250	充電 (高電圧バッテリー)	
の設定	181	革	241	安全に関する指示	232
自動減光機能		警告	238	車両プラグの緊急操作	237
ミラー	87	軽合金製ホイール	241	車両プラグを接続し、充電プロセスを開始する	233
自動内気循環モードの設定		高圧洗浄機の使用	238	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電ステータス表示およびロックステータス表示	234
エアコン システム	69	洗車	239	充電 (高電圧バッテリー)	
識別番号	264	塗装	239	充電タイマー機能	235
車台番号	264	車両の休止期間	238		
車内で取扱説明書を開く	164	車両プラグ (緊急操作)	237		
車幅灯	111	車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	233		
		車両ホットスポット	197		

充電アダプター.....	219	遅延消灯の設定.....	112	つや出し (ポリッシュ).....	239
充電タイマー機能.....	235	着信に応答する/拒否する.....	202	汚れ、染みの除去.....	239
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し.....	234	駐車場		傷の補修.....	239
充電ポートリッド		Porsche Doppelkupplung (PDK).....	103	保護.....	239
位置の表示.....	148	パークアシスト.....	118	登録および有効化	
緊急操作.....	236	通知.....	180	My Porsche への登録.....	195
渋滞アップデート (ナビゲーション).....	192	フィルタリング.....	180	盗難防止機能	
縦方向の加速度		開く.....	180	イモビライザー.....	31
表示.....	150	通知センター.....	180	読書灯.....	53
重量		停止		内気循環ボタン.....	69
テクニカルデータ.....	266	エンジン.....	101	内気循環モードの	
出荷時の状態		エンジンの自動停止 (オートスタート/ストップ機		ON/OFF の切り替え.....	69
車両設定をリセット.....	181	能) (マニュアルトランスミッション装備車).....	94	内蔵 SIM カード	
小物入れ		停止表示板.....	211	データ接続の確立.....	196
フロント アームレストを開く.....	204	締め付けトルク		日付と時刻	
収納オプション.....	204	ホイール ボルト.....	250	の設定.....	181
衝突警告.....	144	点検		燃料	
ON/OFF の切り替え.....	145	タイヤ空気圧.....	244	オクタン価.....	259
警告時間の設定.....	145	電池の切れたキー		残量警告.....	148
寸法.....	265	車両の始動.....	33	燃料タンクの容量.....	265
接続		電話		品質.....	259
データ接続の確立.....	196	Bluetooth® を介した接続.....	203	補給.....	260
接続ステータス.....	203	Bluetooth® を介した接続 (新しい電話).....	203	燃料インジケーター.....	148
接続ステータス.....	203	Bluetooth® を介した接続 (登録済みの電話).....	203	燃料のオクタン価.....	259
設定		Bluetooth® を介した接続 (別の電話).....	203	燃料計.....	148
キーへの保存.....	74	SOS 通報時の番号データ通信.....	203	燃料消費量	
パーソナル設定の保存と呼び出し.....	74	インストールメント パネルの通話情報.....	203	燃費.....	265
車両.....	181	お気に入りの保存 / 編集.....	203	排出ガス	
洗車.....	239	デバイス マネージャー.....	183	CO2.....	265
全積載		収納.....	203	発進	
調節.....	246	接続ステータス.....	203	ローンチコントロール.....	105
走行プログラム.....	98	設定を行う.....	203	標識の眩しさの軽減.....	113
走行モード		通話中の各種機能.....	203	標準プレッシャー	
警告メッセージ.....	100	番号をダイヤルする.....	202	選択.....	246
車両設定.....	100	連絡先の編集.....	203	不凍液	
走行可能距離.....	100	電話用 SIM カード		(クーラント中).....	227
送風口		を使用する.....	202	ウォッシャー液の割合.....	263
の設定.....	68	塗装		部分積載	
足元の温度		お手入れ.....	239	調節.....	246
の設定.....	69	お手入れの諸注意.....	239	風量の調整.....	67

閉動作			
ボルシェ コンフォートアクセスによる車両のロック	47		
保存			
パーソナル設定	74		
歩行者保護	37, 38		
補給	259, 260		
燃料	259		
方向指示灯			
コンフォート方向指示	114		
作動	114		
目的地の入力 / 検索	189		
予防的乗員保護機能	145		
連絡先 (電話)	202		
<b>A</b>			
A/C MAX ボタン			
エアコンシステム	66		
ABS (あんちろっくぶれーきしすてむ)			
機能説明	123		
Android Auto	176		
Google アシスタント	177		
Apple CarPlay			
Siri	178		
Apple CarPlay	178		
iPod と Apple CarPlay の切り替え	179		
<b>B</b>			
Bluetooth®			
デバイス マネージャー	183		
電話の接続	203		
<b>C</b>			
CO2 排出	265		
Connect	195		
<b>D</b>			
DAB			
周波数帯の設定	186		
<b>E</b>			
E チャージモード	109		
e ローンチ	105		
E-HOLD 走行プログラム	109		
E-POWER 走行プログラム	109		
<b>F</b>			
FM			
周波数帯の設定	186		
<b>G</b>			
G-Force ディスプレイ	150		
Google アシスタント	177		
<b>H</b>			
HOLD 機能	106		
作動原理	106		
HOLD 機能			
一般的安全に関する指示	106		
警告メッセージ	106		
HUD			
ヘッドアップディスプレイ	146		
<b>I</b>			
i-Size システム	57		
i-Size システム付きチャイルド シートの取り付け	60		
トップテザー	61		
INDIVIDUAL モード	98		
ISOFIX システム	57		
ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け	60		
トップテザー	61		
<b>L</b>			
LCA			
レーンチェンジアシスト	136		
LED マトリックスヘッドライト搭載のボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)	113		
<b>M</b>			
My Porsche			
Porsche ID を使って登録	195		
サービスの設定	196		
<b>P</b>			
PASM (ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント)	120		
PCM			
Android Auto	176		
Apple CarPlay	178		
PCM の WiFi ホットスポットを利用	197		
お手入れの諸注意	242		
キーボード	163		
スタート ページの設定	185		
スタート メニュー	185		
スマート サービス	198		
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ	161		
テキストと文字の入力	163		
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	182		
ホーム画面の設定	185		
メニューを開く	163		
リヤタッチディスプレイ	162		
外部 WiFi ホットスポットの利用	196		
警告および情報メッセージ	168		
個人画面	185		
個人画面の設定	185		
時刻の表示または温度の設定	163		
通知	180		
表示の調整	181		
PCM でマニュアルを開く	164		
PCM ホットスポット	197		
Porsche Doppelkupplung (PDK)	102		
e ローンチ	105		
ステアリングホイールでのギヤシフト	104		
PSM (ボルシェ スタビリティ マネージメント)	122		
機能説明	122		

<b>R</b>					
Race-Text					
お手入れの諸注意	242				
<b>S</b>					
SPORT PLUS モード	98				
SPORT モード	98				
<b>T</b>					
TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	244				
<b>U</b>					
USB を介した外部機器の接続	184				
USB 接続	184				
<b>W</b>					
WiFi					
PCM の WiFi ホットスポットを利用	197				
外部 WiFi ホットスポットの利用	196				
WiFi 経由でポルシェ コネクト アプリ を PCM に接続する	198				
WLAN					
デバイス マネージャー	183				
<b>A</b>					
アームレスト					
フロント小物入れ	204				
アームレストの接続	184				
アームレスト内のインターフェイス USB	184				
アイス シールド / サン シールドの装着	129				
アカウント	76				
アコンの種類 の設定	69				
アダプティブクルーズコントロール (ACC)					
ON/OFF の切り替え	91				
コントロールの中断と再開	93				
ディスプレイ	90				
各操作部	90				
		作動原理	89		
		操作ステータス	90		
		目標速度の設定	92		
		アップパーベンチレーションパネル	68		
		アップデート			
		インストール	194		
		ダウンロード	194		
		失敗	195		
		アプリ	197		
		アルミニウムリム			
		お手入れの諸注意	241		
		アンダーコーティング			
		お手入れの諸注意	240		
		アンチロック ブレーキシステム (ABS)			
		機能説明	123		
		アンビエントライト	53		
		<b>I</b>			
		イージー エントリー機能	84		
		イオナイザーの ON/OFF の切り替え	69		
		イグニッションロック			
		機能説明	100		
		イモビライザー	31		
		インジケータライト	153		
		いんじけーたーらいと	153		
		インストールメント クラスタ			
		警告灯およびインジケータライト	153		
		インストールメント クラスタのオイルレベルゲージ	229		
		インストールメント パネル			
		オドメーター	150		
		オプションの選択および機能の有効化	149		
		サービスマイルの表示	152		
		スポーツクロノストップウォッチ	199		
		タイヤ空気圧モニタリングシステム	244		
		タコメーター	147		
		ディスプレイの調整	181		
		ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	182		
		トリップメーター	150		
		パーソナル設定の保存と呼び出し	74		
		パワー & ドライブ画面	147		
		メニュー概要	150		
		ライト調節	53		
		概要	147		
		警告および情報メッセージ	168		
		警告灯およびインジケータライト	153		
		車両 & 情報画面	148		
		車両情報の表示	152		
		水温計	148		
		操作	148		
		速度 & アシスト画面	147		
		速度警告の設定	152		
		速度制限の設定	152		
		燃料計	148		
		表示の調整	181		
		インストールメントパネルの 車両情報の呼び出し	152		
		インストールメントパネルの速度警告の設定	152		
		インストールメントパネルの速度制限の設定	152		
		インターネット データ接続の確立	196		
		インテリアライト			
		ON/OFF の切り替え	53		
		アンビエントライト	53		
		減光	53		
		<b>U</b>			
		ウインタータイヤ 一般情報	251		
		ウインターホイール の交換	249		
		ウィンドウ			
		お手入れの諸注意	240		
		フロントウィンドウデフロスター	71		
		リヤウィンドウヒーターの ON/OFF の切り替え	71		
		開閉	34		
		車両キー (リモートコントロール) による開閉	34		
		停止位置の保存	35		

ウインドウメカニズム			
ウインドウの開閉	34		
ウインドウリフター			
ウインドウの開閉	34		
ドアハンドルの近接センサーでウインドウを閉じる (ボルシェ イージー エントリー 装備車)	35		
車両キー (リモート コントロール) によるウインドウの開閉	34		
停止位置の保存	35		
ウォッシュ液			
充填容量	265		
追加	263		
不凍液	263		
<b>エ</b>			
エアサスペンション (PASM)	120		
エアサスペンションおよびレベリングシステム付きボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	121		
エアサスペンションおよびレベリングシステム付きボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)			
レベリングシステムを OFF にする (車両ジャッキモード)	121		
エアベント			
センター エアベントの開閉	68		
センター エアベントの調整	68		
の開閉	67		
の調整	67		
エアコン			
イオナイザーの ON/OFF の切り替え	69		
エアコン タイマー	72		
プレエアコン	72		
温度の設定	67		
風量の調整	67		
エアコンシステム			
A/C MAX モードの ON/OFF の切り替え	66		
ON/OFF の切り替え	66		
エアコンの種類の設定	69		
オート エアコン コントロールを ON にする	66		
フロント ウィンドウ デフロスター	71		
自動内気循環モードの設定	69		
上部ベンチレーション パネル	68		
送風口の設定	68		
足元の温度設定	69		
内気循環モードの ON/OFF の切り替え	69		
風量の調整	69		
エアバッグ			
お手入れの諸注意	242		
ポジション	51		
警告灯	52		
取り付け位置	51		
助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え	59		
エマージェンシーキー	33		
エミッションコントロール (チェック エンジン)	157		
えみっしょんこんとろーるけいこくとう	157		
エレクトリック パーキング ブレーキ			
ブレーキテスト スタンドでの点検	243		
解除	97		
緊急ブレーキ機能	97		
警告灯	97		
作動	97		
発進時のパーキング ブレーキ自動解除	97		
エンジン			
オイルの補充	230		
始動	101		
自動停止 (オート スタート / ストップ機能) (マニュアル トランスミッション 装備車)	94		
駐車場	101		
冷却システム	148		
エンジン オイル			
インストルメント クラスタのオイル レベルゲージ	229		
一般情報	230		
追加	230		
エンジン コンパートメント リッド	37		
<b>オ</b>			
オイル	229		
インストルメント クラスタのオイル レベルゲージ	229		
一般情報	230		
追加	230		
オート スタート / ストップ機能			
エンジンのオート スタート (マニュアル トランスミッション 装備車)	94		
エンジンの自動停止 (マニュアル トランスミッション 装備車)	94		
作動原理	94		
前提条件	94		
例外	95		
オートマチック カミング ホーム ライト	112		
オートマチック トランスミッション	102		
オートマチック ヘッドライト			
調節	111		
オドメーターの表示とリセット	150		
オンボード コンピューター			
タイヤ空気圧モニタリング システム	244		
ドライビング データの表示 (トリップ情報)	182		
メニュー概要	150		
オンライン サービス			
データ接続の確立	196		
オンライン ソフトウェア アップデート			
インストール	194		
ダウンロード	194		
失敗	195		
オンライン ナビゲーション	189		
お気に入りの保存 / 編集			
メディア	187		
電話	203		
お手入れの諸注意	238		
PCM	242		
Race-Text	242		
アンダー コーティング	240		
ウィンドウ	240		
エアバッグ	242		
カーベット	242		

シートベルト	242
シール	241
スクリーン	242
タッチディスプレイ	242
ディスプレイ	242
デコラティブフィルム	240
ファブリックライニング	242
フロアマット	242
ホイールボルト	250
革	241
軽合金製ホイール	241
洗車	239
塗装	239
お手入れ方法	
停止期間中の注意事項	238
<b>カ</b>	
カーゴマネージメント	215
カーペット	242
お手入れの諸注意	242
ガソリン	
残量警告	148
燃料計	148
カメラ	
の概要	22
<b>キ</b>	
キー	32
エマージェンシーキーの取り出し	33
キーの交換	33
パーソナル設定の保存と呼び出し	74
バッテリーの交換	32
車両のロック解除	45
キーの交換	33
キーボード	163
キャリアーの取り付け	206

**ク**

クーラント	
クーラントレベルの点検	228
クーラントの補充	228
の凍結防止効果	227
クルーズコントロール	141
クルーズコントロール	141
ディスプレイ	141
クルーズコントロール(CC)	
ON/OFFの切り替え	141
一般的な安全に関する指示	141
警告メッセージ	141
作動	142
作動原理	141
制御のキャンセル	142
制御の再開	142
目標速度の変更	142
グローブボックス	
収納スペース	204
けん引	
けん引フックをゆるめる	224
けん引ロープまたはけん引バーの使用	224
一般情報	223

**コ**

コマンドの例	168
コンフォートアクセス	
作動原理	45
コンフォートプレッシャー	
選択	246
速度警告	244
コンフォートメモリーパッケージ	74
コンフォートアクセス	
車両のロック	47
コンプレッサー	212

**サ**

サービスインターバルをインストルメントクラスターに表示する	152
サービスポジション	129
サービス履歴	
表示	181
サイドロールアップ式サンブラインド	35
サマータイヤ	
収納スペース	252
サマーホイール	
の交換	249
サンブラインドの停止位置の保存	43
サンルーフ	
パノラミックルーフ	41
<b>シ</b>	
シート	
イージーエントリー機能の利用	84
シート位置の調節	81
シート位置の保存と呼び出し	74
フロントシートの調節	81
ベビーキャリア	59
マッサージ機能の使用	84
リヤシートの調整	81
リヤマッサージ機能の使用	84
シートヒーターをON/OFFにする	83
シートベルト	
お手入れの諸注意	242
シートベルトプリテンショナー	78
ベルトの高さ調節	79
解除	79
警告灯/警告シンボル	79
着用	79
注意	78
シートベンチレーターON/OFFの切り替え	83
シートメモリー	74
シートベルトプリテンショナー	78
シール	
お手入れの諸注意	241

シフト			
Porsche Doppelkupplung (PDK)	102		
シャーシ高の選択	121		
シャーシ設定の選択	121		
ジャッキ	262		
エアサスペンション装備車のリフトアップに関する情報	121		
車両のジャッキアップ	262		
ジャンパーケーブルによるエンジンの始動	220		
外部電源	220		
しり	178		
<b>ス</b>			
スキーバッグ			
スキー/スノーボードの収納	214		
スクリーン			
お手入れの諸注意	242		
スタート/ストップ機能	94		
スタートメニュー	185		
スタティックコーナリングライト	113		
ステアリングホイール			
◇ボタンの設定	181		
ヒーターのON/OFFの切り替え	73		
調節	72		
ステアリングホイールヒーターのON/OFFの切り替え	73		
ストップウォッチ	199		
スノーチェーン			
一般情報	252		
スポイラー	130		
作動原理	130		
スポーツエキゾーストシステム	100		
スポーツクロノストップウォッチ	199		
スポーツクロノモードスイッチ	99		
スマートサービス	198		
スマートフォン			
Bluetooth®を介した接続	203		
収納	203		
スモーカーズパッケージ	218		
<b>セ</b>			
セーフロック	47		
キーで無効にする	47		
ドアハンドルの近接センサーによる解除	47		
セレクトターレバーポジションインジケーター	103		
センサー			
の概要	22		
センターアームレスト			
フロント小物入れ	204		
センターエアベント			
の開閉	68		
の調整	68		
セントラルロックシステム			
ボルシエコンフォートアクセスによる車両のロック	47		
ボルシエコンフォートアクセスによる車両のロック解除	45		
車内からの開閉操作とロック	48		
車両キーによる車両のロック解除	45		
セントラルロック	44		
パーソナル設定の保存と呼び出し	74		
調節	48		
<b>ソ</b>			
ソース(メディア)の選択	186		
<b>タ</b>			
タイダウンリング			
使用	215		
ダイナミックコーナリングライト	113		
タイヤ	244		
ウィンタータイヤ(一般情報)	251		
コンフォートプレッシャーまたは標準プレッシャーの選択	246		
スノーチェーン(一般情報)	252		
スペアホイールの使用	255		
タイヤバルブ	248		
タイヤの種類とサイズの設定	246		
タイヤ空気圧プレート	264		
タイヤ交換(一般情報)	248		
タイヤ表記	247		
トレッドの深さ	248		
の交換	249		
パンクの修理	253		
ホイールおよびタイヤのサイズ	269		
空気圧偏差の表示	246		
収納スペース	252		
充填	247		
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング(TPM)に登録する	247		
全積載または部分積載の設定	246		
タイヤバルブ			
タイヤ	248		
タイヤの速度記号	247		
タイヤ空気圧			
インストールメントクラスターで開く	244		
システムは登録中	247		
速度警告	244		
点検	244		
タイヤ空気圧プレート	264		
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	244		
開く	246		
設定	246		
登録中	247		
タイヤ空気圧警告灯	153		
タイヤ充填コンプレッサー	212		
タコメーター(回転計)	147		
ダッシュボードのタッチディスプレイ	161		
タッチディスプレイ			
お手入れの諸注意	242		
タッチスクリーン			
の操作	162		
表示の調整	181		
タッチスクリーンを使用したPCMの操作	162		

<b>チ</b>		<b>ト</b>	
チェックエンジン (エミッションコントロール) . . . . .	157	ドア	
チャイルドシート . . . . .	59	ボルシェ コンフォートアクセスによるロック . . . . .	47
i-Size システム付きの取り付け . . . . .	60	ボルシェ コンフォートアクセスによる車両のロック . . . . .	47
ISOFIX システム付きの取り付け . . . . .	60	開く . . . . .	48
トップテザー . . . . .	61	緊急ロック . . . . .	49
取り付け . . . . .	59	緊急ロック解除 . . . . .	49
助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え . . . . .	59	車内からの開閉操作とロック . . . . .	48
正しい使用 . . . . .	54	ドア ミラー ヒーターの ON/OFF の切り替え . . . . .	71
正しい取り付け位置の使用 . . . . .	57	ドアの緊急ロック . . . . .	49
適切な体重およびサイズ グループの使用 . . . . .	55	ドアの緊急ロック解除 . . . . .	49
チャイルドロック . . . . .	48	トップテザー . . . . .	
リヤシート . . . . .	36	トップテザー付きチャイルドシートの取り付け 61	
<b>テ</b>		トップテザーを通す	
ディスプレイ		ISOFIX テザー付きチャイルドシートの取り付け . . . . .	61
お手入れの諸注意 . . . . .	242	ドライブングデータの表示 (トリップ情報) . . . . .	182
データ接続		トラフィック ジャム アシスト (TJA)	
デバイス マネージャー . . . . .	183	ON/OFF の切り替え . . . . .	139
外部 WiFi ホットスポット . . . . .	196	トラベル モード	
確立 (内蔵 SIM カード) . . . . .	196	ライト . . . . .	115
車両ホットスポットの利用 . . . . .	197	トランスミッション	
テキスト メッセージの表示および編集 . . . . .	188	Porsche Doppelkupplung (PDK) . . . . .	102
テクニカル データ		トリップ メーターの表示とリセット . . . . .	150
充填容量 . . . . .	265	トルクル	
燃料消費量 . . . . .	265	ホイール ボルトの締め付けトルク . . . . .	250
デコラティブ フィルム		トレイ (電話) . . . . .	203
お手入れの諸注意 . . . . .	240	トレーラ	
デジタル スピードメーター . . . . .	147	レベリング システム . . . . .	121
デジタル取扱説明書		トレッドの深さ	
アプリ . . . . .	2	タイヤ . . . . .	248
オンボード . . . . .	2	<b>ナ</b>	
テスト スタンド		ナイト ビュー アシスト	
ブレーキテスト . . . . .	243	ON/OFF の切り替え . . . . .	117
デバイス マネージャー . . . . .	183	システム制限 . . . . .	116
		一般的な安全に関する指示 . . . . .	116
		警告メッセージ . . . . .	116
		作動原理 . . . . .	116
		動物警告 . . . . .	116
		歩行者警告 . . . . .	116
		ナビゲーション . . . . .	189
		インストールメント パネルのマップ ビューおよびナビゲーション情報 . . . . .	193
		ツアーを計画する . . . . .	191
		トリップ概要 . . . . .	192
		経由地を入力する . . . . .	191
		交通渋滞の迂回 . . . . .	192
		設定 . . . . .	193
		地図コンテンツの設定 . . . . .	192
		地図画面の表示 / 設定 . . . . .	193
		道路交通案内を表示 . . . . .	192
		目的地の入力 / 検索 . . . . .	189
		ナビゲーション ツアーを計画する . . . . .	191
		<b>ハ</b>	
		パーキング ブレーキ	
		ブレーキテスト スタンドでの点検 . . . . .	243
		解除 . . . . .	97
		作動 . . . . .	97
		パーテーション ネット . . . . .	216
		ハイビーム ヘッドライト	
		ハイビーム レバー . . . . .	114
		ハイブリッド車両	
		e ローンチ . . . . .	105
		走行モード . . . . .	109
		ハイブリッド走行プログラム . . . . .	109
		ハザード ライト . . . . .	115
		ハザード ライトの ON/OFF . . . . .	115
		バッテリー . . . . .	221
		ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動 . . . . .	220
		バッテリーに関する注意事項 . . . . .	221
		警告 . . . . .	221
		交換 . . . . .	223
		充電 . . . . .	222
		接続後の作業 . . . . .	223
		バッテリーの交換	
		キー . . . . .	32

パノラミック ルーフ サンルーフ.....	41
パワー ウィンドウ ドア ハンドルの近接センサーでウィンドウを閉じ る (ボルシェ イージー エントリー 装備車) ....	35
車両キー (リモート コントロール) によるウィン ドウの開閉.....	34
停止位置の保存.....	35
パワー ウィンドウの停止位置の保存.....	35
パンク修理剤の取り外し.....	212
ハンドブレーキ (エレクトリック パーキング ブレー キ) 作動.....	97
自動解除.....	98
手動解除.....	98
<b>ヒ</b>	
ビデオ 対応するデータ形式.....	273
ヒューズ ヒューズ ボックス.....	255, 256
ヒューズの割り当て.....	255, 256
ヒューズの交換.....	255, 256
<b>フ</b>	
ファブリック ライニング お手入れの諸注意.....	242
ファンの設定 エアコン.....	67
フィルター フラップ 位置の表示.....	148
ブースト ブレッシュャー ゲージ.....	148
プラグ ソケット [12 V].....	218
フルードおよび燃料 ウォッシュャー液.....	265
燃料.....	265
ブレイリストを開く.....	186
ブレーキ テスト スタンド.....	243
フットブレーキ.....	97

ブレーキパッドとブレーキディスク.....	97
ブレーキパッド警告灯メッセージ.....	97
ボルシェ サーフィス コーテッド ブレーキ (PSCB).....	97
ボルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB).....	97
一般的な安全に関する指示.....	96
慣らしと清掃.....	97
緊急ブレーキ機能.....	98
ブレーキアシスタンス.....	144
ブレーキフルード ブレーキフルードの交換.....	226
れべるのでんけん.....	226
ブレーキ時の振動.....	144
ブレーキリング / ヒーティング.....	72
フロアマット お手入れの諸注意.....	242
プロファイルトリムの閉鎖.....	208
フロントウィンドウ デフロスター.....	71
フロントウィンドウウォッシュャー システム ウォッシュャー液の追加.....	263
充填容量.....	265
不凍液.....	263
フロントウィンドウヒーター フロントウィンドウデフロスター.....	71
フロントウィンドウワイパー.....	126
お手入れの諸注意.....	240
フロントウィンドウのワイパー作動とウォッシャ ーシステム.....	127
レインセンサーを ON にする.....	127
ワイパー ブレード.....	129
ワイパー ブレードの交換.....	129
ワンタッチ機能.....	127
フロントシート マッサージ機能の使用.....	84
調節.....	81

## へ

ヘッドアップディスプレイ HUD.....	146
ヘッドライト.....	115
お手入れの諸注意.....	240
トラベル モード.....	115
バルブの交換.....	115
調節.....	115
ヘッドライト較正、オートマチック.....	113
ベビーキャリア.....	59
ベビーシート.....	59
助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え.....	59
ベルト お手入れの諸注意.....	242
シートベルト プリテンショナー.....	78
警告灯 / 警告シンボル.....	79
高さ調節.....	79
注意.....	78

## ホ

ホイール.....	244
ウィンター タイヤ (一般情報).....	251
スノー チェーン (一般情報).....	252
スペア ホイールの使用.....	255
タイヤバルブ.....	248
タイヤ空気圧プレート.....	264
タイヤ交換 (一般情報).....	248
タイヤ表記.....	247
の交換.....	249
ホイール ボルト (お手入れの諸注意).....	250
ボルトの締め付けトルク.....	250
故障の修理.....	253
収納スペース.....	252
締め付けトルク.....	250
盗難防止ホイール ボルト (レンチ ソケット).....	250
ホイール ボルト.....	250
ホイールのお手入れ.....	241
ボイス コマンドの発話.....	167

ボイスコントロール.....	165	ボルシェ コンフォート アクセス	
Google アシスタント.....	177	作動原理.....	45
オンライン モード.....	165	ボルシェ コンフォート アクセスによるロック	
コマンドの例.....	168	解除.....	45
ボイス コマンドの発話.....	167	ボルシェ コンフォートアクセス	
ボイスコントロールの使用.....	166	車両のロック.....	47
自然な音声コマンドを発話.....	167	車両のロック解除.....	45
設定.....	168, 181	ボルシェ サーフェスコーテッドブレーキ (PSCB)	97
ボイスコントロールによるリストの使用.....	167	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM).....	122
ボイスコントロールのヘルプ.....	168	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	
ボイスコントロールの使用.....	166	トレイラー スタビリティ マネージメント.....	124
ボイスコントロール設定.....	168	ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus).....	113
ボイスメールを聞く.....	202	ぼろしえせらみっくこんぼじっとぶれーき (びーしーしーびー).....	97
ホットスポット		ボンネット.....	37
PCM の WiFi ホットスポットを利用.....	197	<b>マ</b>	
外部 WiFi ホットスポットの利用.....	196	マウント部品の取り付け.....	208
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM).....	120	マッサージ機能	
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)		フロント.....	84
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント.....	121	リヤ.....	84
ボルシェ エントリー & ドライブ		マップ (ナビゲーション)	
イージー エントリー機能の利用.....	84	を呼び出す.....	189
ボルシェ コネクト.....	195	マップ (ナビゲーション)	
(Porsche ID) ユーザーの管理.....	197	設定.....	192
サービス概要の表示.....	197	マルチ ファンクション ステアリング ホイール	
セキュリティ コード.....	195	ボタンを押す.....	148
データ接続の確立.....	196	マルチファンクション ステアリング ホイール	
ユーザー (Porsche ID) のログイン.....	195	◇ ボタンの設定.....	181
リモート アクセス権限の付与.....	197	マルチファンクション ステアリング ホイールのファンクション ボタン.....	148
車両でのユーザー (Porsche ID) のログイン.....	196	マルチファンクション ステアリング ホイールのボタン	
ボルシェ コネクトの管理と設定.....	197	.....	148
ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)		まるちふあんくしょんでいすぶれいすてありんくほいーるのぼたんのわりあてへんこう.....	181
ダッシュボードのタッチスクリーン.....	161	マルチモデル マップ.....	168
の操作.....	158		
リヤ タッチ ディスプレイ.....	162		
車両でマニュアルを開く.....	164		

## ミ

## ミラー

ドア ミラー ヒーター.....	71
ドア ミラーの格納および復帰.....	86
ドア ミラーの調節.....	86
パーキング エイドとしてのドア ミラーの使用.....	87
自動減光機能.....	87

## メ

メッセージ.....	188
メッセージ (SMS) の表示 / 編集.....	188
メディア.....	186
USB を介した外部機器の接続.....	184
アームレスト内のインターフェイス.....	184
お気に入りの保存 / 編集.....	187
ソースを選択.....	186
検索.....	186
再生.....	186
設定の変更.....	187
対応するメディアおよびデータ形式.....	273
放送局を選局 / 保存.....	186
メディアを再生する.....	187
メモリー パッケージ.....	74
メンテナンス	
ウォッシュャー液の追加.....	263
エンジン オイルの補充.....	230

## モ

モード スイッチ.....	99
モバイル データ (接続).....	196

## ラ

## ライト

LED マトリックス ヘッドライト搭載の PDLS Plus.....	113
OFF にする.....	112
アンビエント ライト.....	53
インテリア ライト.....	53
エクステリア ライト.....	111
エントリー / イグジット機能.....	112

オートマチック カミングホーム ライト.....	112	周波数帯の設定.....	186	ルーフ トランスポート システム	
オートマチック ヘッドライト.....	111	放送局を選局 / 保存.....	186	キャリアーの取り付け.....	206
オートマチック ヘッドライト 較正.....	113	ラジオ放送局を選局 / 保存.....	186	プロファイルトリムの閉鎖.....	208
お手入れの諸注意.....	240			マウント部品の取り付け.....	208
ターン ライト.....	113	<b>リ</b>		ルーフ トランスポート システムの	
ダイナミック コーナリング ライト.....	113	リフティング プラットフォーム.....	262	ルーフ上での荷物の運搬.....	206
ダイナミック ハイ ビーム.....	113	車両のリフト アップ.....	262		
ダイナミック ハイ ビームの ON/OFF の切り替え		リモート コントロール.....	32	<b>レ</b>	
.....	114	リモコン		レーン キープ アシスト.....	131
トラベル モード.....	115	車両のロック 解除.....	45	の ON/OFF の切り替え.....	134
パーキング ライトの ON/OFF の切り替え.....	114	リヤ ウィンドウ		作動原理.....	132
ハイ ビームの ON/OFF の切り替え.....	114	ヒーターの ON/OFF の切り替え.....	71	レーン チェンジ アシスト	
ハザード ライト.....	115	リヤ サイド ウィンドウ 用 サン ブラインド		画面の明るさの設定.....	136
バッシング ライト.....	113	の繰り出し / 格納.....	35	レーン チェンジ アシスト (LCA).....	134
バルブの交換.....	115	リヤ シート		リヤ ターン アシスト.....	134, 136
ヘッドライト バッシング.....	114	チャイルド ロック.....	36	一般的な安全に関する指示.....	134
リヤ フォグ ライト.....	111	バックレストを前方に倒す.....	81	運転状況.....	136
ロー ビーム.....	111	マッサージ機能の使用.....	84	レーン チェンジ アシスト (SWA)	
悪天候のライト.....	113	調節.....	81	の ON/OFF の切り替え.....	136
一般的な安全に関する指示.....	112	リヤ スポイラー.....	130	レンチ ソケット (盗難防止ホイール ボルト).....	250
概要 -.....	111	作動原理.....	130	<b>ロ</b>	
警告メッセージ.....	112	リヤ ターン アシスト.....	134, 136	ロー ビーム.....	111
検知 ライト.....	113	リヤ フォグ ライト.....	111	ロータリー プッシュ ボタン	
高速道路 ライト.....	113	配光の適応.....	113	を使用した PCM の操作.....	163
高速道路 走行用の機能.....	113	リヤ リッド		ロータリー プッシュ ボタンの操作.....	163
車幅灯.....	111	開く.....	39	ロール アップ 式 サン ブラインド	
状況に応じたライト 配光.....	113	開く高さの調整.....	40	開閉.....	42
遅延消灯の設定.....	112	リヤのタッチ ディスプレイ.....	162	清掃.....	43
標識の眩しさを軽減.....	113			停止位置の保存.....	43
方向指示灯.....	114	<b>ル</b>		ロール アップ ブラインド.....	35
霧機能.....	113	ルーフ		ローンチ コントロール.....	105
ライト バルブ.....	115	に荷物を載せて運ぶ場合.....	206	ロック	
ラゲッジ コンパートメント.....	210	ルーフ システム.....	41	セーフロック.....	47
開く.....	39	サン ブラインドの清掃.....	43	ボルシェ コンフォート アクセスによる車両のロッ	
ラゲッジ コンパートメント カバー.....	213	ルーフ 駆動機構が故障している場合の閉操作.....	43	ク.....	47
ラゲッジ コンパートメント パーテーション ネット.....	216	開閉.....	41	車内からの車両のロック.....	48
ラジオ.....	186	緊急操作.....	43	車両の緊急ロック.....	49
オンライン ラジオ.....	186	停止位置の保存.....	43	ロック オプション	
お気に入りの保存 / 編集.....	187	ルーフ システムの停止位置の保存.....	43	の設定.....	181

ロック解除	
キーからパーソナル設定を呼び出す.....	74
キーによる車両のロック解除.....	45
ポルシェ コンフォートアクセス装備車のロック解除.....	45
リヤリッドのロック解除および開操作.....	39
車両の緊急ロック解除.....	49

## ワ

ワイパー ブレード	
お手入れの諸注意.....	240
交換.....	129
ワイヤレス インターネット アクセス.....	197